

博士論文

論文題目 水に関する国際会議プロセス「国連水と衛生諮問委員会」及び「世界水フォーラム」による地球規模水行動実現の成否要因に関する分析研究

(Analytical study on international meeting processes, “United Nations Secretary-General’s Advisory Board on Water and Sanitation” and “World Water Forums”, in realizing global actions on water and sanitation)

廣木 謙三

この研究・論文執筆にあたり私を常に励まし、支えてくれた妻の双葉、
子の晃治、進吾に心からの感謝を表します。

廣木謙三

水に関する国際会議プロセス「国連水と衛生諮問委員会」及び「世界水フォーラム」による地球規模水行動の実現の成否要因に関する分析研究

目次

1. 研究の背景と目的	4
2. 水に関する国際会議プロセスの分類	10
3. 国際会議プロセス「国連水と衛生諮問委員会」の活動と「橋本行動計画」主要提言実現の成否要因に関する分析	14
3.1 国連水と衛生諮問委員会	14
3.2 橋本行動計画	15
3.3 橋本行動計画実現の要因に関するアンケート調査結果	17
3.3.1 アンケート質問票	18
3.3.2 橋本行動計画主要提言の実現状況への評価	24
3.3.3 橋本行動計画主要提言項目実現の要因	25
3.3.4 議長・委員の名声と権威	31
3.3.5 事務局の能動性	34
3.3.6 パートナー組織の説得と協働	36
3.3.7 資金・時間等の一般的外部要因	37
3.3.8 アンケート調査のまとめ	40
3.4 ケース・スタディ	40
3.4.1 アフリカ連合水サミットの開催	41
3.4.2 国際衛生年(IYS2008)	45
3.4.3 水事業体パートナーシップ	47
3.4.4 地域開発銀行との協力書締結	52
3.4.5 水・衛生協働モニタリングプログラム (JMP) の改善	53
3.4.6 国連水賞	56
3.4.7 ケーススタディのまとめ	57
3.5 まとめ	58
3.6 考察	59
4. 国際会議プロセス「世界水フォーラム」の会議構造、それによる地球規模水行動実現へのアプローチ及びその成否に関する分析	64
4.1 世界水フォーラムの概要	64
4.1.1 世界水フォーラムとは	64
4.1.2 世界水フォーラムの構成	64
4.1.3 世界水フォーラムの運営	65
4.2 世界水フォーラムの会議構造、世界水フォーラムによる地球規模水行動	65

実現へのアプローチ及びその成否に関するアンケート調査結果	
4.2.1 主催者アンケート質問票	65
4.2.2 世界水フォーラムの国連会合との違いー開放性と拘束力の不在ー	69
4.2.3 世界水フォーラムの継続性と新規性	73
4.2.4 世界水フォーラム開催において主催者が重視する項目	84
4.2.5 世界水フォーラムによる地球規模水行動実現へのアプローチ	92
4.3 世界水フォーラムによる地球規模水行動実現成否の追跡検証	101
4.4 まとめ	111
4.5 考察	112
5. 比較のための国連会議プロセスの整理	118
5.1 国連システム	118
5.2 国連総会	119
5.2.1 国連総会の構成	119
5.2.2 国連総会の合意形成過程	120
5.2.3 国連総会議決の拘束力	121
5.2.4 国連総会議決のモニター・報告	121
5.2.5 水に関する国連総会議決の効果例	122
5.3 まとめ	124
6. 国連水と衛生に関する諮問委員会と世界水フォーラムの比較分析と国際会議	126
プロセス連携モデルの提示	
6.1 UNSGAB、世界水フォーラム、国連会合の比較	126
6.2 国際会議プロセス間関係と補完	129
6.3 主要地球規模水行動における世界水フォーラム、UNSGAB、国連	129
政府間会合の関係	
6.4 水に関する国際会議プロセス連携による地球規模水行動実現モデル	135
6.4.1 国際会議プロセス連携の概念化	135
6.4.2 国際会議プロセス連携による地球規模水行動実現モデルの提示	137
6.4.3 要素となる国際会議プロセスの成立条件	139
6.5 国際議論プロセスの水平連携	146
6.6 連携モデルの水以外の分野への適用可能性	148
6.7 まとめ	149
7. 総まとめ	154
8. おわりに	156
9. 謝辞	157
参考資料	159

水に関する国際会議プロセス「国連水と衛生諮問委員会」及び「世界水フォーラム」による地球規模水行動実現の成否要因に関する分析研究

廣木謙三

1. 研究の背景と目的

環境問題など顕在化する地球規模の課題の解決のために様々な国際会議プロセスが設置・開催され、各国や利害関係者の意見集約を図り、コミットや提言をまとめ、具体的な行動に結びつけようという活動が世界各地で行われている。ここで国際会議プロセスとは国際合意や提言、呼びかけを目的とする国際会議、政策対話、賢人会議等を指す。又、ここで言う「プロセス」には会議による議論、成果の作成だけでなく、会議主催者及び構成員による会議成果のフォローアップ活動を含む。水問題を解決するための国際会議プロセスにおいても他の分野と同様に大小さまざまな会合や宣言・報告などが出されているが、水問題が幅広く社会・自然条件によって多様であるため、議論を収斂することや一般的な結論から具体的な行動を国際会議で導くことが困難であることなどから、実際の国や現場での具体的な行動に結び付いていないとの指摘は多い。

こうした水の国際会議プロセスの成否（ここではその後の具体的水行動の実現に焦点を置く）は会議の形式・規模や参加者、正統性、課題設定、準備過程や議論の誘導方式、提言書などの会議結果の内容・表現、フォローアップのプロセスなど、会議の組織運営構造に多く支配される。課題設定と会議形式のミスマッチや、会議の目標に対して会議参加者の種類・規模や議論の誘導手順が不整合であることによって所期の目的を達成できない国際会議や対話プロセスも多い。しかし、会議の目標や狙いに対してどのような会議形式、参加者選定、準備対話過程やフォローアップ活動を用いていくのが適切かといった点について科学的知見が不足しているために、多くの場合トライアル・アンド・エラーが繰り返されているのが実態といえる。

以上を踏まえ、この研究は地球規模の水問題の解決という目標を掲げて設置された小規模ハイレベルの賢人会議「国連水と衛生に関する諮問委員会（UNSGAB）」と、同じ目標ながら会議の基本構造上その対極にある大規模任意会議である「世界水フォーラム」が地球規模水行動に与えたインパクトをアンケート調査及びケーススタディにより分析し、これら2つの会議の特徴的な会議構造がどのように地球規模水行動の実現に繋がったかを明らかにすることによって、水の国際会議プロセスの成否（＝ここでは地球規模水行動に結びつくか）を握る要因（会議規模・形式、会議の正統性、会議構成員、動機づけ、課題設定・議論プロセス、提言の内容、フォローアッププロセス等の会議構造の要素）とそのメカニ

ズムを明らかにする。またこれら会議の構造比較と相互関係の分析を国連会議の代表である国連総会も含めて行い、その結果に基づき「地球規模水行動に結び付く」有効な水国際会議プロセスの連携モデルを提示しようとするものである。

本研究の会議成否の要因分析は、会議が達成した成果に対して、会議規模、参加者構成といった会議の外形的要因、課題設定・準備・論議プロセスなど意見集約過程に関わる要因、報告書表現・内容など会議成果に関わる要因、フォローアップの活動などの事後要因がどのように寄与したかの分析を基礎とする。この要因分析ではアンケート結果やケーススタディ等を用いて、要因を類型化し分析の客観化を図る。

本研究に関連する既往研究及び関連研究分野を俯瞰すると図1.1のようになる。

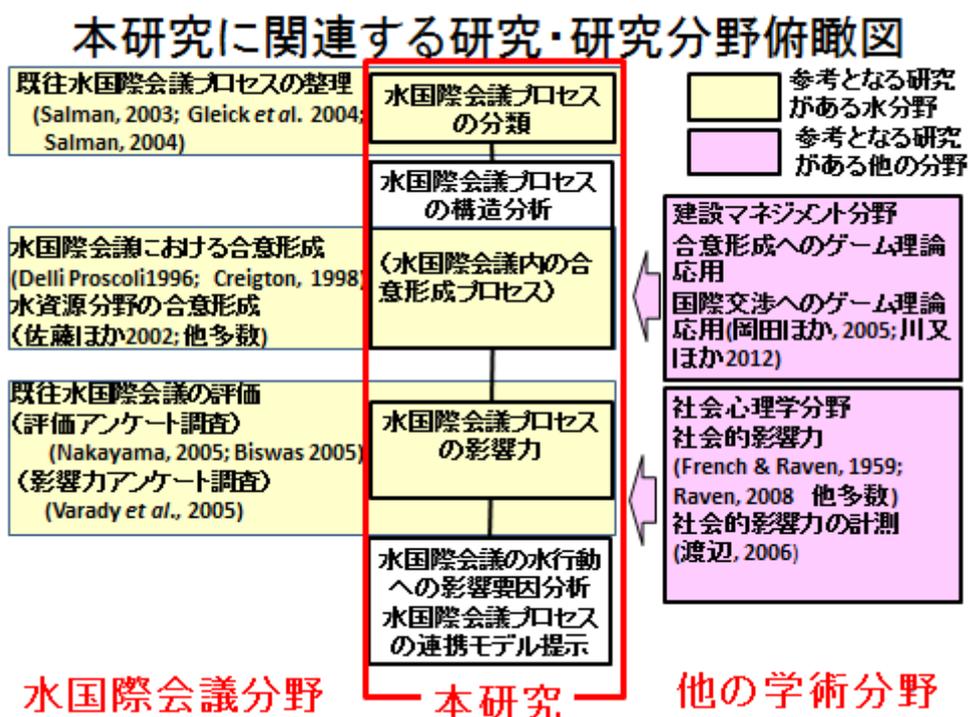


図1.1 本研究に関する研究・研究分野俯瞰図

水分野に於ける本研究に関連する研究としては、主として合意形成に関する過程や方法論を対象としたものが多い。例えばDelli Priscoliらは水資源に関する合意形成を促進するための会議（パブリックミーティング）の手法について研究を進め(Delli Priscoli, 1996; Creighton *et al.*, 1998)、最適な会合開催の手法（人数、形式、会議階層、座席配置など）について実際的な手法を提案している(Delli Priscoli *et al.* 2003)。一方、Gleickは水に関する国際会議プロセスそのものに関する調査研究は多くないと述べている(Gleick *et al.*, 2005)。また、Varadyは水の大規模国際会議に関して公式な第三者調査が行われたこともないと述べている(Varady *et al.*, 2005)。

こうした中で、中山は第3回世界水フォーラム参加者にアンケート調査を行った結果、回答者の47%がこの会議に肯定的な回答をした一方で、この会議が回答者やその属する組織に良いインパクトを与えなかったと答えた回答者は0%であったと述べている

(Nakayama, 2005)。また、大規模会議の強みとして回答者の45.6%が「直接の情報や意見の交換」を、36.8%が「意識の高揚、情報提供、有力な意見の形成」を、24.6%が「共通認識形成、課題の問題点理解」を挙げていることを紹介している。こうした調査研究は水に関する国際会議プロセスについて会議開催者以外の第三者が行った調査として貴重である。

また、Varradyらは水に関する主要な大規模国際会議について水専門家117名を対象としたアンケート調査（回答者82名（回収率70%））を行っている(Varrady *et al.*, 2005)。これによれば1992年から2003年に行われた10の水に関する大規模国際会議の影響度を訊ねたところ（1:(最高)；5(最低)）、最も影響が大きかった会議（影響力1位（評点2.17））は国連水と環境に関する国際会議（ダブリン会議：1992年）であり、最も低い会議（影響力10位（評点3.73））は持続可能な開発に関する世界サミット（ヨハネスブルグサミット：2002年）となり、国連環境と開発に関する世界サミット（リオサミット：1992年）が影響力2位（評点2.39）に、第2回世界水フォーラム（ハーグ：2000年）が影響力3位（評点2.50）に、第3回世界水フォーラム（京都・大阪・滋賀：2003年）が影響力5位（評点2.56）に、国連水会議（マルデルプラタ会議：1997年）が影響力6位（評点2.86）に、淡水に関する国際会議（ボン淡水会議：2001年）が影響力7位（評点3.13）に、第1回世界水フォーラム（マラケッシュ：1997年）が影響力9位（評点3.37）に評価されている。また、更に2次調査として40の質問に詳細な回答を求める調査を、回答することに同意した水専門家57名に対し行ったところ水に関する大規模会議の全体としてのインパクトはどうだったかとの質問に対し、大規模国際会議の重複や増殖にもかかわらず、回答29名中27名が前向きのインパクトを与えたと回答しているとしている（Varrady *et al.*, 2005）。

一方Biswas は世界水評議会及び国際水資源協会の会員2,698名にアンケート調査を行い651名の回答(回収率25%)を集計した結果として、回答者の48%は「世界規模の会議というコンセプトは良いものの現状の会議開催の枠組みは劇的に変更されるべきである。会議はより焦点を絞りその成果に重きを置くべきである。成功の主たる指標は参加者数でなく会議結果の質とインパクトであるべきである。」と答えているとしている。また回答者の31%は「世界規模の会議より地域の問題や課題に焦点を絞って結果主義で議論する、地域規模の会議を開催すべきである」と答えているとしている(Biswas *et al.* 2005)。

更にBiswasらはマルデルプラタ国連水会議から第3回水フォーラムまでの水政策対話の定性的分析の結果として、「水に関する大規模会議がその費用に見合う成果を出しているかを根本的問題として答えるべきであり、会議のインパクトという観点から組織運営を考えるべきである」と述べている(Biswas *et al.*, 2004)。またGleickらは水に関する大規模国際会議の増加に対し定性的考察を加え、増えている水に関する世界規模国際会議の付加価値には疑問があり、世界会議は地域や地方の水問題でなく地球規模のコンセンサスを要する

水問題のみを議論するべきであり、閣僚会合は国連会合又は国家政府によってのみ開催されるべきで大規模国際会議の一部として開催されるべきではないと述べている(Gleick *et al.*, 2005)。こうした大規模国際会議に懐疑的でかつデータに基づかない定性的な幾つかの分析結果は、アンケート等のデータに基づく分析結果（水に関する大規模国際会議に対してより肯定的な知見が得られている）と結論が異なる部分がある。更にこれらの定性的考察による分析は、その後の10年間に世界水フォーラムをはじめ増加した国際会議の規模が維持され、かつそれらの会議から有力な水に関する地球規模行動が生み出されている現状を合理的に説明できていないように見える。

このように、水の国際会議そのものについてのデータに基づく分析は数が少ない。更に会議主催者がどのような意図で会議の組織運営を行っているか、どのようなメカニズムで会議が国や現地レベルの水行動にインパクトを与えようとしているかの調査はなされておらず、また会議結果とその後の具体的な水行動の関係について事例追跡がなされた既往研究は見られない。

この研究課題に関連する他の学術分野を俯瞰すると、水に関する国際議論プロセスが水行動実現につながる過程を国際社会における社会的影響力の行使問題ととらえた場合、社会心理学分野において集団または個人が他の集団又は個人の行動に与える社会的影響力に関する研究が進み(Fiske, 2010)、知見の蓄積が進んでおり、本分野への応用可能性が考えられる。French & Ravenによれば社会的影響力は賞影響力、罰影響力、正統影響力、専門影響力、参照影響力、情報影響力(情報影響力は1965にRavenにより追加)に分類される(French John R. P. *et al.*, 1959; Raven. 2008)。このうち水の国際議論プロセスにおいては特別な場合(越境水に関する交渉等)を除いては賞影響力、罰影響力の関与は小さいと考えられるため、国際議論プロセスが行動主体に及ぼす正統影響力、専門影響力、参照影響力の程度と実際の行動の関係を分析する(例えば国際議論水プロセスの結果と影響力を分析した上でその後に発生した関係者・機関の行動との関係を調べるなど)ことが有用となる。社会心理学分野においてはこうした影響力の計測尺度についても研究が進んでおり(渡辺光一, 2006)、水の国際会議プロセスを研究する分野でもこうした方向での分析を進めることは可能であろう。

一方、建設マネジメント及び社会技術研究分野ではゲーム理論などを用いて、公共セクターの意思決定や交渉プロセスをモデル化する試みが多くなされている(猪原健弘ほか, 2011)。この中で多くの研究(藤井ほか, 2002; 佐藤ほか, 2013)がなされている合意形成についてのゲーム理論の応用は国際交渉プロセスの分析にまで進んできているので(岡田, 2005; 川又ほか, 2012)、こうしたモデルを提言から水行動実現のための交渉プロセスに適用することも可能となってこよう。さらにこうした国際議論プロセス内部の意思決定の合理化やそのための会議構成員の適正化に関する研究も進められており(Benne, Kenneth D. *et al.*, 2007)、本研究分野への適用も考えられる。

このように、水資源分野の合意形成に関するモデルやノウハウなどの知見の進展や、他

分野の合意形成・国際交渉、集団から他集団への影響分析などの知見形成が進む中で、水分野の国際議論プロセスに関する研究は少なく、更に本件が対象とする国際水議論プロセスから水行動実現への過程の分析部分は研究事例の極めて少ないいわゆるミッシング・リンクとなっており、早急に事例分析などによる知見の蓄積とそれに基づく他分野との融合が必要な研究分野になっていると言える。

第1章引用文献

Benne, Kenneth D. Sheats, Paul. 2007. Functional Roles of Group Members. *Group Facilitation: A research & Applications Journal*. 30-35

Biswas Asit K. 2004. From Mar del Plara to Kyoto, an analysis of global water dialogue. *Global Environmental Change* 14. 81-88

Biswas, Asit; Tortjada, Cecullia. 2005. Impacts of Global Mega-Conferences on the Water Sector. *Asian Water*. 276

Creighton, James L.; Dunning, C. Mark; Delli Priscoli, Jerome; Ayres, Donna B. 1998. Public Involvement and Dispute Resolution. Institute of Water Resources, US Army Corps of Engineers. 380

Delli Priscoli, Jerome. 1996. Overview of Alternative Dispute Resolution (ADR): US Army Corps of Engineers. 71

Delli Priscoli, Jerome. 2003. Participation, Consensus Building, and Conflict Management Training Course (Tools for Achieving PCCP).

<http://unesdoc.unesco.org/images/0013/001333/133308e.pdf> (参照 2014/04/24)

French, J. R. P., Jr., & Raven, B. H. 1959. The bases of social power. In D. Cartwright (Ed.), *Studies in Social Power* 150–167.

Gleick Peter H.; Jon Lane. 2005. Large International Water Meetings: Time for Appraisal. *Water International* Volume 30, Number 3, 410-414.

Fiske Susan T.; Berdahl Jennifer; Chapter 29 Social Psychology Handbook of Basic Principles. The Guilford Press. 678-692

藤井聡; 竹村和久; 吉川肇子. 2002. 「決め方」と合意形成：社会的ジレンマにおける利己的動機の抑制に向けて. 土木学会論文集. No. 709/IV-56. 13-26

猪原健弘. 2011. 合意形成学. 勁草書房. 296

川又孝太郎; 堀田昌英. 2012. 気候変動国際交渉プロセスのゲーム理論的考察. 社会技術研究論文集 9. 41-49

Nakayama Mikiyasu. 2005. Some Views from Japan. Impacts of the Mega-conferences on Water Sector. 163-195

岡田章. 地球温暖化をめぐる国際交渉：京都議定書のゲーム理論的分析 http://www.econ.hit-u.ac.jp/~aokada/essay_pdf/international%20negotiation.pdf (参照 2014/02/01)

Raven Bertram H. 2008. The Bases of Power and the Power/Interaction Model of Interpersonal Influence. Analysis of Social Issues and Public Policy Vol. 8, No. 1. 1-22

Salman Salman M. A. 2003. From Marrakech through the Hague to Kyoto: Has the Global Debate on Water Reached a Dead End? Part One. Water International Volume 28 No 4. 491-500

Salman Salman M.A. 2004. From Marrakech through the Hague to Kyoto: Has the Global Debate on Water Reached a Dead End? Part Two. Water International Volume 29 No 1. 11-19

Varady, Robert G.; Iles-Shih, Mathew. 2005. Global Water Initiatives: What Do the Experts Think? Report on a Survey of Leading Figures in the World of Water. Sasakawa Piece Foundation USA Discussion Paper 7 from Impact of Mega-Conferences and Global Water Management.

<http://udallcenter.arizona.edu/gwi/pdfs/Varady-Iles%20Biswas%20chapter%20final%20page%20proof.pdf> (参照 2014/02/04)

渡辺光一. 2006. 社会的影響力の形成・計測と最適化のモデル—シミュレーションと Web コミュニティでの実験—. 理論と方法 21, No. 1. 109-129

2. 水に関する国際会議プロセスの分類。

水に関する国際会議プロセスを規模と正統性に分けて分類、図化すると図 2.1 のようになる。横軸は参加者数による会議の規模を表している。水に関する国際会議は数十人程度の小規模なものから参加者数万人を超える大規模なものまで多数開催されてきている。縦軸は、その会議プロセスが各国政府及び関係者から認知と受容がなされている程度を表現したもので、国際社会における会議の正統性（Legitimacy）と大きくりに呼んでいる。水分野においては水資源管理、上下水道管理、灌漑、水質管理など殆どの分野で政府の関与が大きいことから、正統性が高いものほど各国中央政府の意思決定と行動に影響を及ぼす程度が大きいと想定される。

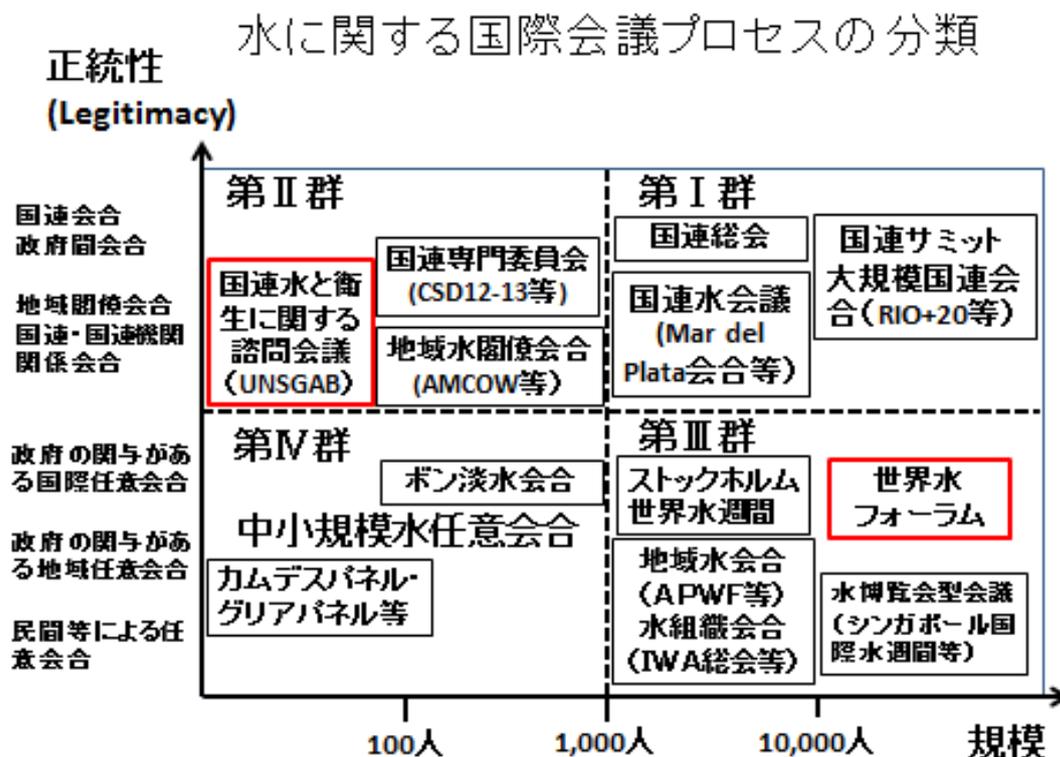


図 2.1 水に関する国際会議プロセスの分類

このような座標軸を使って国際会議プロセスを位置付けることで、水に関する同種の国際会議プロセスの分類を行うことが出来る。国際社会は主権国家・国民の集合体として呼称されることが多いが、国連は国連憲章に同意・署名した主権国家の集合体であり、その会議プロセスは国連憲章や国連会議規則及びあらかじめ合意がなされた一定の手続きに則り行われていることから、現状では国際社会における国際会議プロセスとしての正統性は国連会議プロセスが最も高いと言える。またアジア、アフリカ等地域内の各国政府が集ま

る域内国際会議もその域内及びメンバー国に限って言えば正統性が高い。国連機関や複数の政府の主催や、ハイレベルの政府関係者の参加を見込む会議は国際社会や政府の認知があるという意味ではその決定や提言に一定程度の正統性（＝結果に対する政府の認知や受容）があると言える。

この分類図 2.1 中で I 群に属する正統性が高く規模も大きい会議は、環境と開発に関する国連会議（リオサミット）、持続可能な開発に関する国連会議（ヨハネスブルグサミット）や気候変動枠組条約締結国会議（COP）などの大規模国連会議であり、各国やメディアの関心も非常に高い。横浜（1994 年）、兵庫（2005 年）で開催された防災に関する世界会議（World Conference on Disaster Reduction (WCDR)）もこの範疇に入る。この群に属する会議は多くの場合多数の元首級、閣僚級の参加を得て開催されており、また会議目標も世界の共通目標の設定合意など、国際社会としては最も野心的な目標を掲げていることが多い。この範疇に属する水関係会議は 1977 年に開催された淡水に関する国連会議（マルデルプラタ会議）や 1992 年に開催された水と環境に関する国際会議（ダブリン会議）であるが、水に関する大規模国連会議はダブリン会議以降開催されていない。

図中 II 群に属するものは同様な国連会議で参加者数十人～数百人程度の規模のもので、国連専門委員会（水に関しては 2004 年、2005 年に開催した持続可能な開発委員会会合（Commission for Sustainable Development: CSD12, CSD13）や、地域水閣僚会合（アフリカ水閣僚評議会：AMCOW）などが挙げられる。G8 サミットなどで併催される水会合もこの範疇に含まれる。これらには専門家や地域での注目度は比較的高いものの一般の目に留まるほどの認知は得ていない会議プロセスが多い。CSD はリオ・プロセスのフォローアップ会合であり、元首級サミットで定められた事項を閣僚・高級事務レベルでフォローアップする場合も多い。国連水と衛生に関する諮問委員会(UNSGAB)は規模と正統性ではこの範疇（II 群）に属する。UNSGAB は国連事務総長の諮問会議であるので、国連加盟国の直接関与はないものの、国連事務総長直属の会議という点で比較的高い正統性を有する。一方で CSD や AMCOW、G8 のように加盟国が参加する会議ではないこと、及び国連システムの外に置かれている独立委員会であることに留意する必要がある。II 群に属する国際会議プロセスは、その注目度は様々であるが、より専門性の高い議論がなされ、結果のフォローがされやすい特徴があり、また高い正統性を有することから比較的小規模ながら地球規模の行動を促しうるポテンシャルがある。

図中 III 群に属する国際会議は世界水フォーラムを代表とする任意大規模国際会議プロセスで、近年その開催数は増加傾向にある。この範疇に属する定期的な会合として代表的なものは世界水フォーラムとストックホルム世界水週間である。世界水フォーラムは 3 年に 1 回開催される参加者数 2 万人超の世界最大級の水に関する国際会議プロセスである。ストックホルム世界水週間は参加者 2,000～3,000 人規模と世界水フォーラムより一回り小規模だが毎年同時期（8 月～9 月）に開催され、毎年違うテーマ設定と 1 年ごとの議論継続とフォローアップを行える強みがある。シンガポール国際水週間(Singapore International

Water Week)に代表される水博覧会型国際会議も近年増加傾向にある。この形式の会議は展示やイベントを主体とし各種の専門会合が併設されているといった形式を取っていることが多い。アジア太平洋水サミットやイスタンブール水サミットなどの地域会議プロセスは世界水フォーラムを契機に発足するなどした地域大規模任意会合で、閣僚会合の併設など世界水フォーラムと同様の会議構造を持っている。これらⅢ群に属する会合は世界（或いはアジア等地域全体）の水問題解決を標榜し、他分野（財政、環境、農業など）を含む議論・多様な利害関係者の参加を得ているところが共通点である。会議構造上も閣僚等ハイレベル会合、専門会合、展示会を併設している点などお互い類似点が多い。この群に属する国際会議は大規模であることからメディアの注目度も高く、参加者の多さもあって、各国の水関係者の意見形成に一定の影響を及ぼすことが出来る。一方で多様な意見の表明と議論がなされることから一定の方向性での結論や具体的提言のコンセンサス形成に至ることは少ない。なお、この群に属する会議プロセスとしてこの他に世界水協会(IWA)総会や世界大ダム会議(ICOLD)などの水に関する専門組織の大規模会合などがあるが、いずれも会員間の交流や専門技術の共有などが主たる目的であって、今回分析対象としている政策論議や地球規模の水行動促進の会議という性格が弱いので分類対象からは除外する。

第Ⅳ群は上記以外の任意中小規模会合であり、世界各地で開催されている。この規模及び正統性で国際社会の注目を集める会合は多くはなく、「世界〇〇会議」、「△△サミット」と銘打った会議もあるが規模、注目度、正統性も不十分であることから、国際社会にインパクトを与えることは稀である。主催者は政府系列から NGO まで多様であり、定期的な会議プロセスを除けば議論が単発に終わり、フォローが不十分な場合も多い。会議構成によっては特定の分野や議論の論点が集中することもあり、参加者以外の賛同が得にくい場合もある。この中で2001年に独政府主催で開催された淡水に関する国際会合(ボン淡水会合)は「衛生未アクセス人口の半減」といった数を絞った具体的提言を絞って議論集約を行い、その結果国連千年紀目標への組み込みを達成した数少ない成功事例であると言える(第6章で詳述)。なお、独政府は同様の手法で2011年にボン+10会合を開催し、水・エネルギー・食料の連携(Water, Energy and Food Nexus)を国際水社会での議論テーマ化することに成功しつつあり、シングルイシューの中規模任意会議によって地球規模の行動を促進する会議手法として注目に値する。また、カムデスパネル(IMF ミシエル・カムデス元代表理事が議長)やグリアパネル(OECD アンヘル・グリア事務総長が議長)など国際社会で知名度の高い議長を置いた水に関する小規模国際パネル(賢人会議)は小規模ながら比較的高い注目度を有する。一方でそれ自体の正統性は高くないため、その提言内容を国際機関(例えば OECD)や他の小規模会合(例えば国連水と衛生に関する諮問会議(UNSGAB))に引き継いで実効性を高めようとしている。

以上に示したように水に関する国際会議プロセスを規模と国際会議としての正統性(=国際社会の認知と受容)で分類することにより、同様の特徴を持つ会議プロセスとしてグループ分けをすることが出来る。上記で見たように第Ⅰ群～第Ⅲ群のグループに属す

る国際会議プロセスはその注目度や影響度から地球規模の水行動に影響を及ぼすことが可能であると考えられる。このうち第Ⅰ群の大規模国連会議プロセスは国際社会の注目度も高く、結論を得るために国連憲章やあらかじめ合意した国連会議規則類に則った議論と議決のプロセスが高い事、国際社会の主要構成員が意思決定者であるので議決の拘束性も高いと考えられ、その結果が地球規模の行動に結びつく蓋然性は高い。一方、その規模・レベルの会議を開催することはロジ面・資金面・人材面で容易ではない上、国連手続きの複雑性や、200近い加盟国のコンセンサスを形成する困難さ、結論までにかかる時間の長さを考慮すると、実施することが困難であって、例えば課題に対する関心の世界的高まり（例えば気候変動）なしには会議プロセスを開始することすら難しい。1992年のダブリン国際水と環境会議以降、水に関する国連会議が開催されていないのはこうした事情が背景にあることも考えられる。

これに対して第Ⅱ群の大規模任意会合や第Ⅲ群の小規模ハイレベル会合は、こうした会議開催上の困難性は大幅に減じられる。一方でその会議構造、構成員、位置付けが第Ⅰ群と異なるので、国際会議の実施が地球規模の水行動に結びつくとは限らない。様々な水問題に関する議論を具体的な結論に導き、行動に結びつけるためにはこれら類型ごとの会議プロセスの特色と強み、弱みを知り、目的に合致した会議構造の選定と会議間連携を図り、具体的な行動が実現可能な国際会議プロセスをデザインしていく必要がある。

こうしたことから、次章から第Ⅱ群と第Ⅲ群の国際会議プロセスを代表して世界水フォーラムと国連水と衛生に関する諮問委員会についてアンケート調査・ケーススタディを通じて分析し、その会議構造と具体的な行動に結びつく過程、会議プロセスとしての強み、弱みを明らかにする。さらに第Ⅰ群に属する国連会議プロセス（国連総会を主として取り上げる）を対照しながら両プロセスを比較分析すると同時にその連携過程をケーススタディする。これらに基づき具体的な行動に結びつく国際会議プロセスのモデルを提示する。

3. 国際会議プロセス「国連水と衛生諮問委員会」の活動と「橋本行動計画」主要提言実現の成否要因に関する分析

本章では国連水と衛生に関する諮問委員会 (UNSGAB) とその主要提言書「橋本行動計画」について、会議構造、議論内容、提言書作成過程、発表、提言実現過程を同委員会委員に対する全数アンケート及びケーススタディによって調査した結果を示し、この国際会議プロセスの有効性（ここでは地球規模水行動実現につながったかどうか）とその要因を分析・検討することによって、この水の国際会議プロセス（小規模ハイレベル会議）による地球規模水行動実現の成否を握る要因（会議形式とメンバー構成、動機づけ、課題設定・議論プロセス、起草、発表、フォローアッププロセス等）とそのメカニズムを明らかにし、それに基づき「地球規模水行動に結び付く」有効な水国際会議プロセスに必要な要因を提示する。

3.1 国連水と衛生諮問委員会

国連水と衛生諮問委員会は、水と衛生に関する千年紀目標 (Millennium Development Goals: MDG) の達成に貢献するためにコフィ・アナン国連事務総長により 2004 年 3 月に設立された独立委員会（ここでは国連憲章 (The United Nations Department of Public Information, 2008) その他で規定される国連システム (Ministry of Foreign Affairs and Trade of New Zealand, 2013) から独立した委員会を指す）である。委員会は王室、閣僚、政治、国際機関、行政、学術・科学技術、市民社会、労働組合、水道事業体、民間などの広い分野から選ばれた、水と衛生に関する高い専門知識と広い経験を有する専門家で構成されている (UNSGAB, 2014)。委員は約 20 名～25 名で初代議長 (2004-2006) は橋本龍太郎元首相、第 2 代議長 (2006-2013) は蘭皇太子殿下オレンジ公（当時、現在蘭国国王陛下）、第 3 代議長 (2013-2014) はヨルダン王国王子エル・ハッサン・ビン・タラール殿下である。その任務は：

- 国連事務総長への助言
- 国際社会の水議論への貢献
- マスメディア等を通じた水・衛生に関する意識の高揚
- 世界・地域・国家規模での政府・国際機関への働きかけ
- 千年紀目標達成に向けた自らの行動

を行うことになっている。また、委員会の当面の主要課題としては水と衛生に関し：

- 千年紀目標 (MDG) の達成に向けて資源を動員すること。
- 広く一般の支援を集め、関係者の行動を促し、政治的な関心を高めること
- 水と衛生に関する目標に向けた進捗状況を評価すること。
- 政府及び国際機関の能力向上を呼び掛けること。

を掲げている (UNSGAB, 2014)。

先に述べたようにこの委員会は国連システムから独立した立場であって、賢人会議とし

での助言・提言を事務総長に行うとともに、国連システム・国際社会に対して提言・助言・呼びかけを行う。委員会を支援する事務局は国連本部経済社会局に設置され、事務総長・国連各機関との調整、委員会と一体となった国際社会・政府・利害関係者への働きかけ及び調整を行っている。この委員会の大きな特徴は、地球規模水行動の提言、呼びかけを行うだけでなく、その実現に向けて自ら働きかける活動を行うことである(UNSGAB, 2006a)。

3.2 橋本行動計画

橋本行動計画(UNSGAB, 2006a)は、同委員会が2006年3月に取りまとめた地球規模の水衛生改善の具体的行動に関する基調提言書である。2004年7月の第一回委員会開催以来、水と衛生に関する一般的な議論が繰り返されていた(UNSGAB, 2004a; UNSGAB, 2004b; UNSGAB, 2004c; UNSGAB, 2004d)。2005年4月に国連経済社会局内に委員会専任事務局が設置され、その支援を受けて2005年11月の第3回会合において委員会としての主要提言書を作成することを決定(UNSGAB, 2005a)、約半年の集中議論を得て、2006年3月の第4回世界水フォーラムの場において橋本行動計画が発表された(UNSGAB, 2006a)。この橋本行動計画は世界の水問題を解決するために優先すべき分野と、分野ごとに直ちに実行すべき具体的活動を明示した基調提言書であり、曖昧な表現を排し、単刀直入で提言の行動主体を名指しするなど、わかりやすく行動に移しやすいところに特徴がある。橋本行動計画の優先分野(UNSGAB, 2006a)と分野ごとに示されたメッセージ(下記カギ括弧内)を要約すると以下のとおりであり、同委員会として橋本行動計画発表後はこの橋本行動計画の実現を委員会の主な使命としている(UNSGAB, 2006a)。

橋本行動計画の優先分野とメッセージ(カギ括弧内がメッセージ)

- ① 公営水事業体パートナーシップ: 「世界の水衛生供給改善にとり喫緊の課題は、世界の水衛生供給の90%を担っている公営水道事業体(いわゆる自治体の水道局等)を如何に改善するかにかかっており、そのためには水道事業体同士がパートナーシップを組みお互いに教えあうことが最も効率的である。」
- ② 水の資金調達促進: 「国際金融機関が中心となり各国の水衛生サービス強化拡大のための投資・運営資金を調達する仕組みを改善すべきである」
- ③ 衛生: 「衛生問題の政治レベルでの関心と行動を地球規模で飛躍的に向上させるべきである」
- ④ 水衛生モニタリング強化: 「世界の水と衛生改善のためには、まずその進捗度を測る水衛生監視体制の強化が必要である」
- ⑤ 統合水資源管理: 「統合水資源管理の計画策定と実施を世界標準にすべきである」
- ⑥ 水と災害: 「水と災害の意識高揚と施策提言体制を世界的に強化すべきである」

また、橋本行動計画の表現・形式面の特徴は次のとおりである:

- 行動主体が明示されており、かつ主体が実施すべき行動の内容が具体的
- 提言実現のために提案者（=国連水と衛生諮問委員会）が起す行動が併せて明示されており、呼びかけだけで終わる（いわゆる言いつばなし）従来の提言と一線を画している。
- 提言の内容と提言理由が明快で、合意文書にありがちな曖昧な（玉虫色の）表現が排されている。
- 表現が平易で短い

この橋本行動計画には優先分野毎に複数の具体的な地球規模水行動の提言が含まれている。同委員会会合議事録等(UNSGAB, 2004a～2004d; UNSGAB, 2005a～2005b; UNSGAB, 2006a～2006d; UNSGAB, 2007a～2007c; UNSGAB, 2008)をもとに、それらのうち具体的な提言項目を抽出し、それらが実際に実現したかどうかを追跡した結果を表 3.1 及び表 3.2 に示す。この2つの表で示したように橋本行動計画で示された具体的な提言の8割以上が実現に至っており、橋本行動計画における具体的な提言項目の実現率は高いと言える。

表 3.1 橋本行動計画の分野別具体的提言事項とその実現状況（その1）

(◎は実現、○は一部実現までは進捗中、×は未実現、□枠はそのうち主要な提言項目)

橋本行動計画の具体的提言事項と実現状況

分野	主な具体的提言事項	実現した事項	判定
公営水道の改善	水事業体パートナーシップの設立	国連居住計画に水事業体パートナーシップを設立した	◎
水の資金調達促進:「国際金融機関が中心となり各国の水資金調達の仕組みを改善すべきである」	UNSGABと地域開発銀行が協力覚書を締結	ADB, AfDB, IDB, IsDBとUNSGABが協力協定締結	◎
	地域機関が資金供給の持続的なプログラム設定	ADB, IDB, AfDBが水衛生プログラムを設置。増強	◎
	OECDが水援助に関するプログラム設置	OECDが水局設置、OECD水資金パネル等を創設	◎
	資金関係機関が地方資金開発プログラム創設	世界銀行が地方資金開発調査を実施	○
衛生:「衛生問題の政治レベルを地球規模で飛躍的に向上させるべきである」	2008年を国際衛生年とする	国連が国際衛生年を決議、実施	◎
	国際衛生年に地域ハイレベル衛生会合を実施	アフリカ連合水衛生元首級会合他、各地域で衛生関係会合を開催	◎
	衛生国際会議を実施	IYSフォローアップ東京会議を実施、国連総会で国際衛生の5年を決議	◎
	国連水衛生賞を設置	国連本体の水衛生賞未設置	×

表 3.2 橋本行動計画の分野別具体的提言事項とその実現状況（その2）

(◎は実現、○は一部実現までは進捗中、×は未実現、□枠はそのうち主要な提言項目)

橋本行動計画の具体的提言事項と実現状況

分野と主張	具体的提言事項	実現した事項	判定
水衛生モニタリング強化:「世界の水衛生監視体制の強化が必要である」	世界水衛生共同監視プログラムの資金・人的強化	世界水衛生共同監視プログラム(JMP)の資金・人員が強化された。	◎
	JMPの質的強化	JMPの調査報告内容が改善した	◎
	OECDの水データ収集整理体制を強化	OECDの水関係支出等データ収集体制が強化された	◎
統合水資源管理水の資金調達促進:「統合水資源管理の計画策定と実施を世界標準にすべきである」	CSDで統合水資源管理計画進捗状況報告	UN-WaterがCSDで進捗状況調査結果を報告	◎
	国際流域機関支援	WWFと連携し国連越境水協定批准を推進	○
	国連経済社会局がIWRMデータベースを整備	データベース整備は進捗していない	×
水と災害:「水と災害の意識高揚と施策提言体制を世界的に強化すべきである」	水と災害に関する高級パネルを設立	水と災害に関する高級パネル(HLEP/UNSGAB)が設立された	◎
	ISDRの水災害情報収集体制を強化	HLEP/UNSGABを通じて情報収集支援ながら全体として不十分	△
	災害時の水衛生強化策を提言	HLEP/UNSGABIにより提言がなされた	○

本件研究では、これらの具体的な提言項目のうち世界の水問題解決にインパクトが大きかった提言項目として委員が共通認識している提言項目を「主要提言項目」として同委員会Eid副議長に全て挙げてもらい(全部で6つ)、それらの実現要因をアンケート調査とケーススタディで分析した。この6つの主要提言項目は①国際衛生年(2008年に実現)、②水事業体パートナーシップ(2007年に実現)、③アフリカ連合水サミット(2008年に実現)、④地域開発銀行との協力協定(2007年～2008年に実現)、⑤水衛生共同監視プログラム(JMP(Joint Monitoring Program): UNICEFとWHOが共同で実施している全世界各国の水衛生供給カバー率計測を隔年で行うプログラム(UNICEF *et al.*, 2012; UNICEF *et al.*, 2014))の改善(2006年～2012年に実現)、⑥国連水賞(未実現)の6つである。これらの6主要提言は表3.1及び表3.2の中では赤太枠囲みで示している。この6つの主要提言項目のうち実現した5つの主要提言項目は、地球規模レベル或いはそれに近いインパクトがあるもので、多くの国際会議の提言やコミットが長い時間の経過にもかかわらず実現されずに終わったり、忘れられたりするのとは明瞭な差異が見受けられる。

3.3 橋本行動計画実現の要因に関するアンケート調査結果

今回のアンケートは全委員のうち 2004 年～2008 年に在籍した委員 18 名に対して行い、このうち 17 名の回答を得た（回答率 94%）。また、分析はこれに加えて当時在籍した事務局員 1 名を加えた計 18 名の回答に対して行った。回答委員の職業属性を表 3.3 に示す。図に示す。これを見ると閣僚・行政経験者の他、学識経験者、民間企業、労働組合、NGO など水衛生分野に関わる主要な利害関係職業分野をバランスよく網羅していると言える。委員の職業上の地位は閣僚・閣僚経験者をはじめ、行政では全員が局長級以上、大学・研究機関では全員が学部長・研究所長以上、企業では全員が取締役以上、NGO 等では全員が組織代表もしくは部門長であり、それぞれの職業で水・衛生分野の意思決定に関わってきた極めてハイレベルなグループであるといえる。

表 3.3 UNSGAB アンケート調査対象委員の属性（数字は人数）

委員の職業的属性	アンケート回答有	アンケート回答無し	合計
閣僚・閣僚経験者	4	1	5
行政・行政経験者	4	0	4
大学・研究機関	3	0	3
民間企業	3	0	3
NGO、組合、市民社会	3	0	3
合計	17	1	18

3.3.1 アンケート質問票

アンケート質問票の作成は、原案を作成したうえで、橋本行動計画作成・実施に関わった副議長、委員、事務局員の 3 者に面接し、質問項目と表現を追加・改善したものを質問票として配布し、回収した。アンケート票を表 3.4 に示す。

表 3.4 UNSGAB 橋本行動計画主要提言項目実現に関するアンケート票

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements **as reasons why UNSGAB was successful** in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

Q2.1 The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.2 Focused and clear recommendations were proposed in HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.3 Wording and expression in HAP were short, straight and to the point

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.4 Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Characteristics of the Board and its members)

Q2.5 There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.6 Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.7 Broad perspectives of the members with various background helped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.8 There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.9 Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.10 UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Discussion process leading to the recommendations)

Q2.11 Focused discussion under the members' shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even conflicting, views and perspectives

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.12 Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.13 The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.14 The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.15 A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Secretariat)

Q2.16 Secretariat was very active in supporting activities of Board and collaborating with Partners

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.17 Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Promotion strategy and process)

Q2.18 Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.19 Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.20 A large amount of financial resources were spent for promotional activities

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.21 Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.22 Deadline was given to steps to realize the recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q2.23 Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Others)

Others (please describe)

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has givens substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

3.3.2 橋本行動計画主要提言の実現状況への評価

アンケート調査では、橋本行動計画の主要提言項目を実現できているか（Q1）、橋本行動計画を実現できた主な理由（Q2-1～Q2-23）、橋本行動計画及びその主要提言が世界規模の水・衛生状況の改善に寄与したか（Q3～Q9）について質問した。回答は非常にそう思うが4点、全くそう思わないが0点で、回答項目毎の評点は回答者全員の平均点で表している。まず、「委員会が橋本行動計画（HAP1）の主要な提言項目を実現できているか」（Q1：評点3.39）について聞いた(図3.1)。これについては評点3.39と極めて高く、強くそう思う（18人中8人）、そう思う（18人中9人）を合わせて95%の委員が肯定的な意見である。

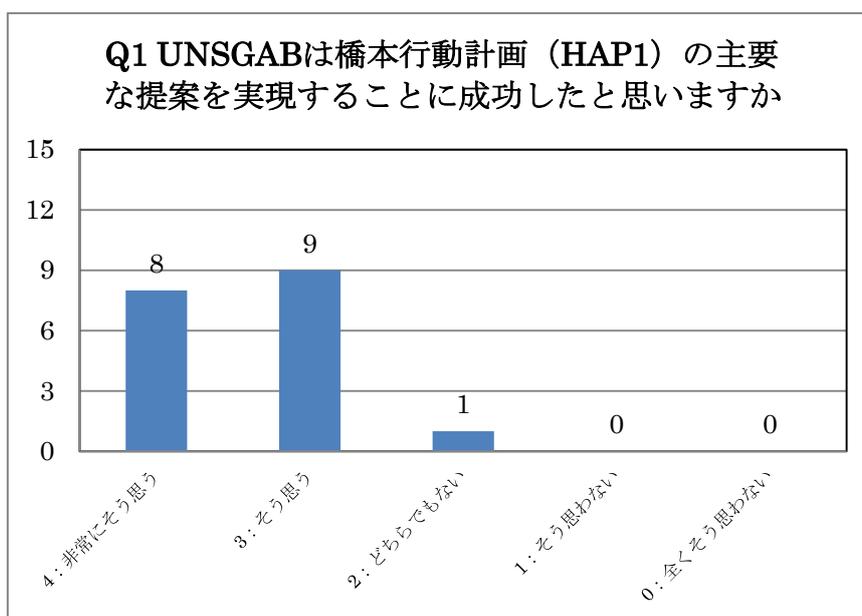


図 3.1 評点別 Q1 回答者数

自由意見では「橋本行動計画の全ての項目において実現を達成したわけではないが、水事業体パートナーシップ、水・衛生モニタリングの改善（JMP強化を含む）、国連水調整機構（UN-Water）の後押し、衛生の意識高揚、全般的な水への政治的関心の向上などを前進させた。」「政治・科学分野での識見や管理能力に長けたメンバーの多様な分野での高い専門性を駆使して、委員会は比較的容易に目標設定と達成のためのパートナーづくりに成功している」、「国際衛生年が地域やサブ地域の衛生関係等会合で強く支持され、JMPでWHO/UNICEFと連携し、地域開発銀行との協力合意が各機関の水・衛生での資金投入拡大につながり、世界規模で水と衛生への各国政府の関心を高めることが出来た」等、具体的達成項目とその理由を挙げて肯定する回答が見られるなど、各委員が成功事例とその要因を具体的に把握したうえで委員会活動の成功を評価していることがわかる。

次に橋本行動全体が世界の水・衛生状況を改善するのに大きくインパクトがあったか聞いた。これについても、委員の多数が橋本行動計画は世界の水衛生状況改善に大きなインパクトを与えたと回答している。ここで特徴的なのは、橋本行動計画の内容、表現、記述が明瞭であることが成功の主要因の一つに挙げられていることである。委員は橋本行動計

画が発表されたこと自体（図 3.3（Q3）：評点 2.62）よりも、その提言内容（図 3.4（Q4）：評点 3.14）が国際社会に大きなインパクトを与えたと考えている。

このように国連水と諮問委員会(UNSGAB)委員は同委員会が橋本行動計画主要提言項目の実現に成功したと考えており、このことも含め橋本行動計画全体が世界の水と衛生状況を改善する上で大きな影響があったと評価している。

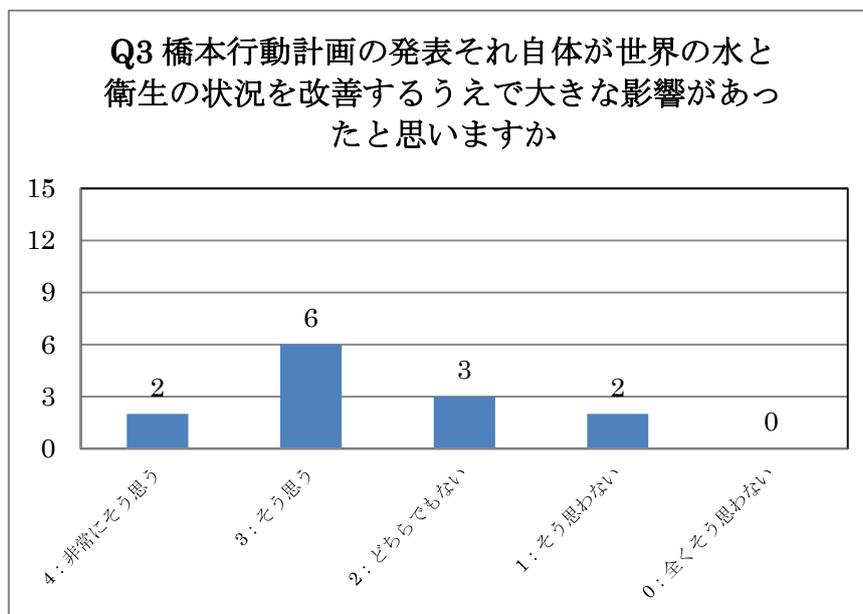


図 3.3 質問 3 評点別回答者数

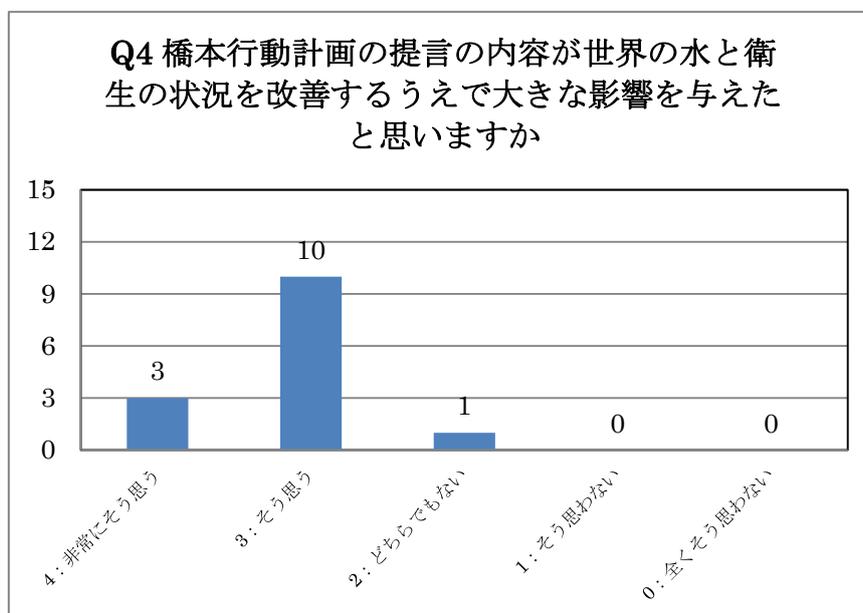


図 3.4 質問 4 評点別回答者数

3.3.3 橋本行動計画主要提言項目実現の要因

次に橋本行動計画主要提言項目実現の成功要因について質問した（Q2-1～Q2-23）。先に述べた通り、質問の作成に当たっては著者の原案に加えて、副議長、事務局を含む3名から成功要因として考えられる追加項目を列举してもらい、それらについて成功要因として同意するかどうかを全委員に質問した。

その結果を図 3.2 に示す。成功要因として考えられる項目は大きく、①橋本行動計画の性格（内容、表現）に関するもの(Q2.1～Q2.4)、②委員会の位置づけや構成メンバーに関するもの(Q2.5～Q2.10)、③橋本行動計画の作成過程に関するもの(Q2.11～Q2.15)、④事務局活動に関するもの(Q2.16～Q2.17)、⑤計画実現に向けての戦略及び活動に関するもの(Q2.18～Q2.23)に分けられる。

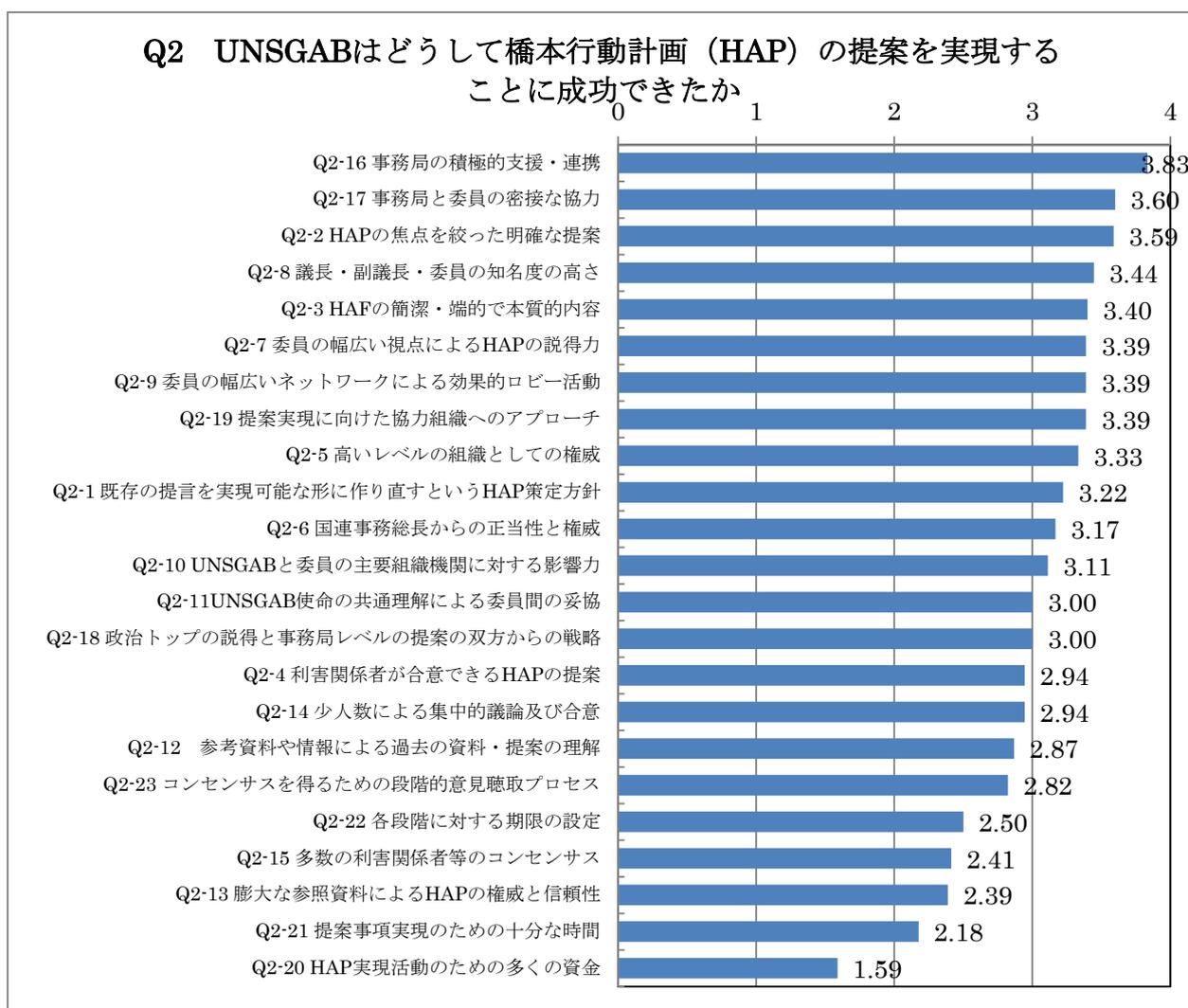


図 3.2 質問 2 「UNSGAB が橋本行動計画の提案を実現することに成功した理由」
 評点平均点（強く同意:4点～強く不同意:0点）

回答全 23 項目中最高の評点は 3.83(Q2-16)、最低の評点は 1.59(Q2-20)、全評点の平均点は 2.87 であった。評点の見方としては評点自体が各委員の絶対評価の平均であること、平均点が 2.87 点と比較的高いこと、及び項目ごとの自由意見と評点を比較すると評点 3 点以上の項目は自由意見でも肯定的意見が多数を占めることから、評点が 3.5 点以上は強く肯定的、評点 3.0 以上（回答平均点が“そう思う（3.0 点）”以上）が肯定的とし、3.0 未満は肯定的でないとして評価した。

成功理由として特筆されるのは「橋本行動計画の提言が具体的で明快だった」（図 3.5 (Q2-2) : 評点 3.59)、「橋本行動計画での表現が、短く、直接的で単刀直入だった」（図 3.6 (Q2-3) : 評点 3.40) と橋本行動計画のメッセージの具体性、明瞭性が提言実現のための最大の成功要因のひとつとして受け止められていることである。これらは「大多数の利害関係者が納得する提言をまとめた」（図 3.7 (Q2-4) : 評点 2.94) より一段高くなっており、ある程度の反発や反論を覚悟しても、明確で具体的な提言を発信したことが橋本行動計画の成功につながったと委員が認識しているためと考えられる。A 委員は「大多数の利害関係者が納得する提言をまとめることが成功要因だとは思わない。委員会が最大の影響力を持ったのは、国際社会を驚かした提言（を行った）分野と既に提言されていたもののそれまで弱々しい主張しかできていなかった（のに対し UNSGAB が強い主張を行った）分野においてであった。」と述べている。また、B 委員は「橋本行動計画の提言は委員会内部の利害関係者間の妥協の成果であったが、外部の利害関係者の意見を求めてはいない。例えば国連の水セクター全体の改革に関する提言や水サービスから民間事業者を締め出すといった提言を委員会に望む利害関係者が外部にはいた」と述べている。このように、橋本行動計画は水に関する全ての議論を包括したり、外部の利害関係者に満足を与えるよりも、委員会提言としての付加価値は何かを追求し、単刀直入にそれを表現することで、具体的に明快な提言を導き出し、それが成功につながったと評価していると考えられる。

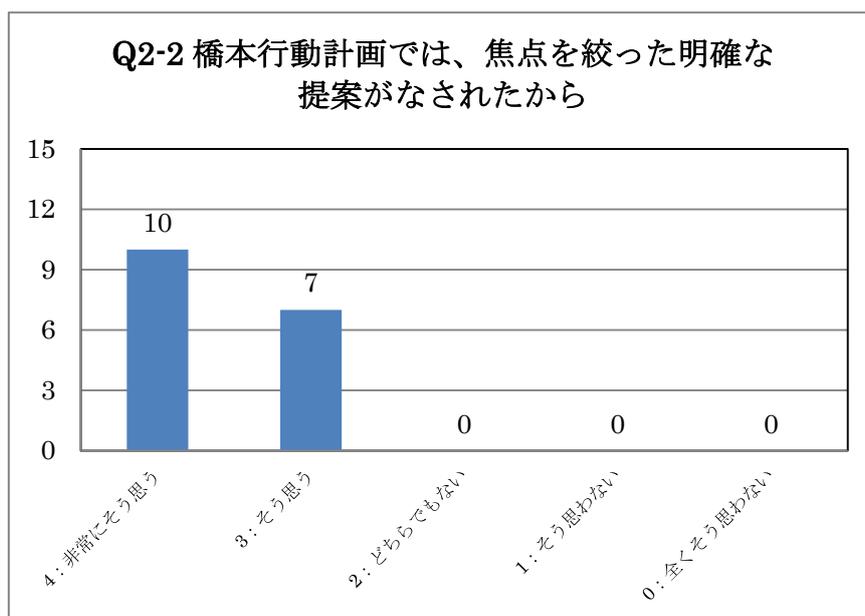


図 3.5 回答 2-2 評点別回答者数

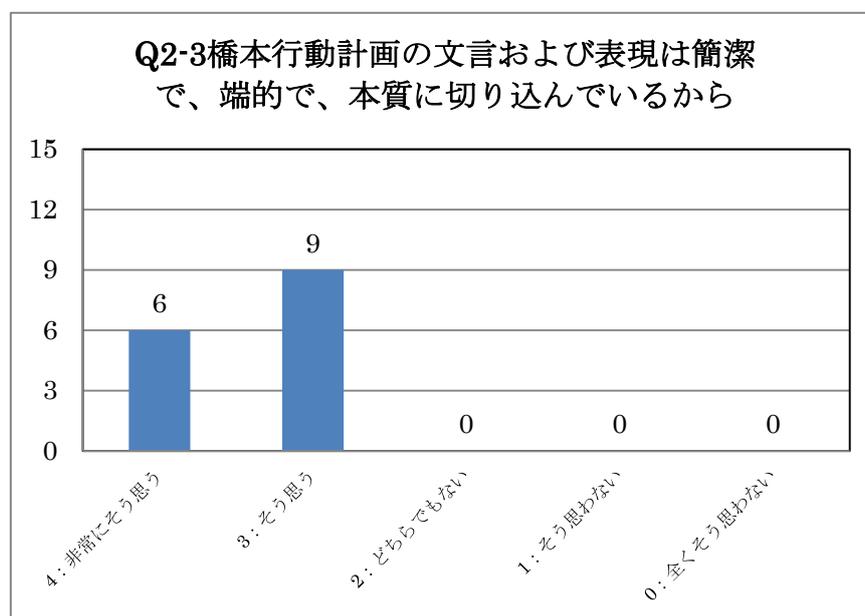


図 3.6 回答 2-3 評点別回答者数

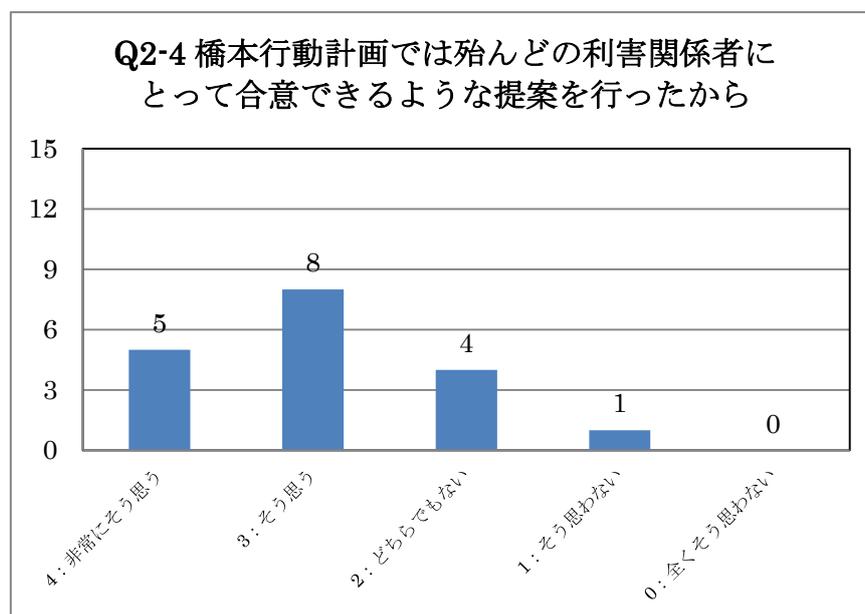


図 3.7 回答 2-4 評点別回答者数

次に橋本行動計画の作成プロセスの中では、「新しい提言作りに時間を費やすのではなく、既にある多数の提言群から最も重要な提言を抽出するプロセスを経て行動計画をまとめた」（図 3.8 (Q2-1)：評点 3.22）ことも成功の主因と捉えられている。また、「委員が目的意識を持ち、意見や見解が食い違う時にも焦点を定めた議論を行った」（図 3.9 (Q2-11) ,評

点 3.00) ことが成功につながったと捉えられている。これに比して「合意形成の上での提言が重要なので多数の利害関係者から意見聴取した」(図 3.10 (Q2-15)、評点 2.41)、「参考とした多数の文献が行動計画に権威を与えた」(図 3.11 (Q2-13) ,評点 2.39) は成功要因としては肯定的に捉えられていない。実態としては、橋本行動計画作成の際に各委員が参考にした百余の文献は“UNSGAB 文献集 (ビブリオテカ)”としてまとめられる程のかなりの数量ではあったが、これらについて例えば A 委員は「文献は委員の考えを整理する上で役に立った」と述べており、参考文献は権威づけのためにではなく寧ろ「行動計画に使われた文献は既存の提言の長所や短所を判断する上で役に立った」(図 3.12 (Q2-12)、評点 2.87) と、過去の提言を抽出する上での評価に活用されたと考えられるが、いずれにせよ評点は高くない。従って、参考文献や外部意見はアウトプットの権威づけというよりも委員の意見や議論の確認や参考に留まり、寧ろ委員の識見や議論から引き出すプロセスが「単刀直入で明快な」行動計画作成の決め手になったと考えられる。

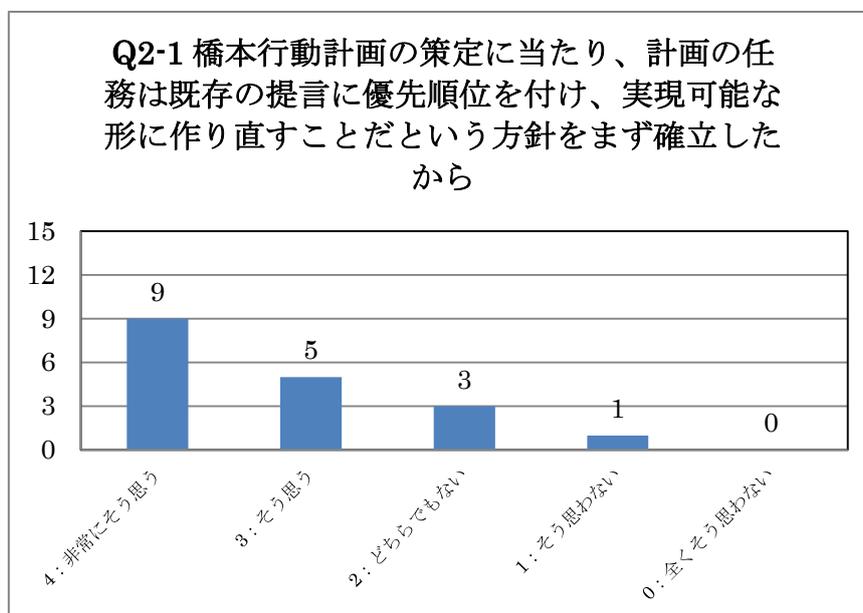


図 3.8 回答 2-1 評点別回答者数

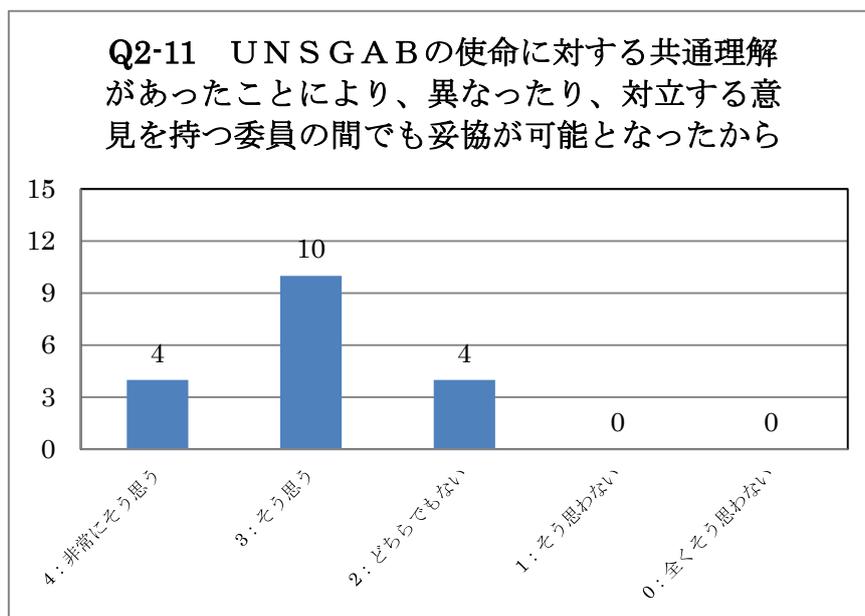


図 3.9 回答 2-11 評点別回答者数

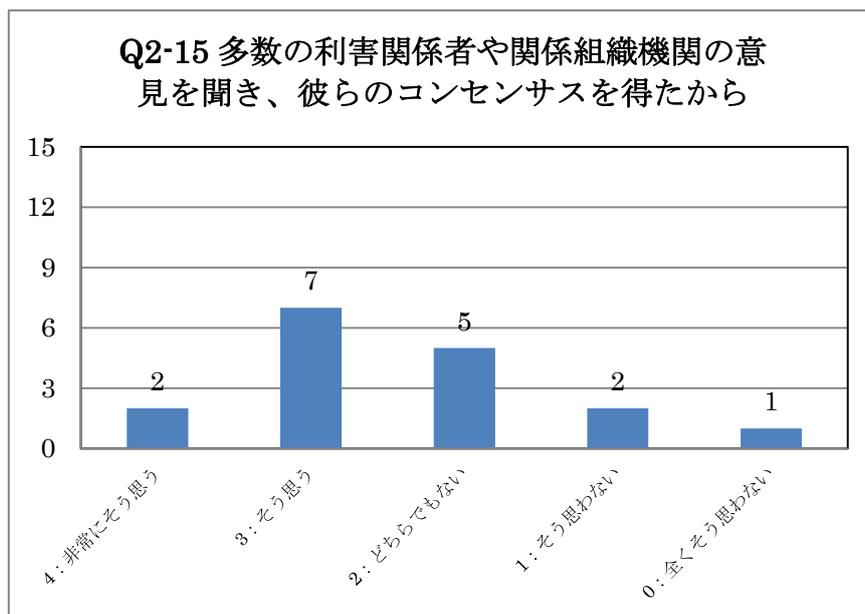


図 3.10 回答 2-15 評点別回答者数

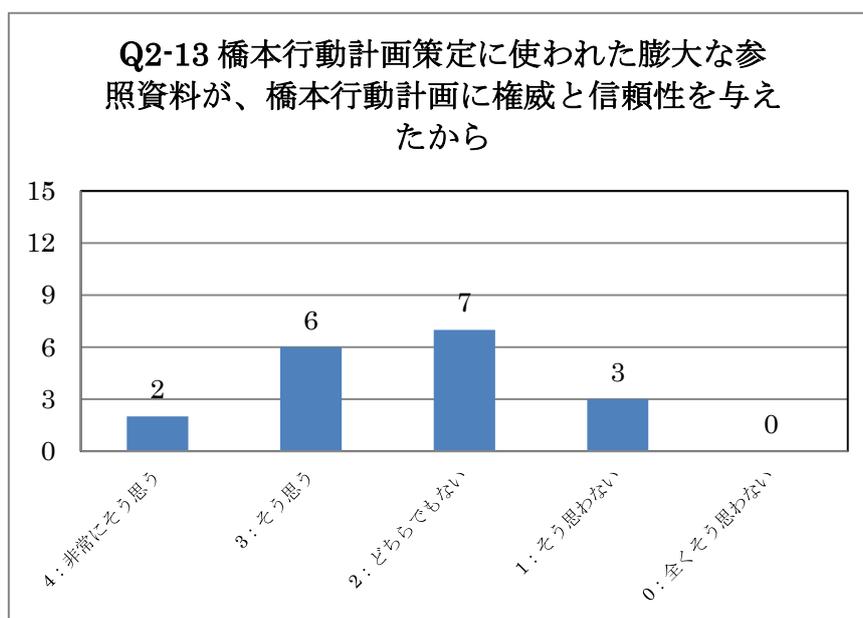


図 3.11 回答 2-13 評点別回答者数

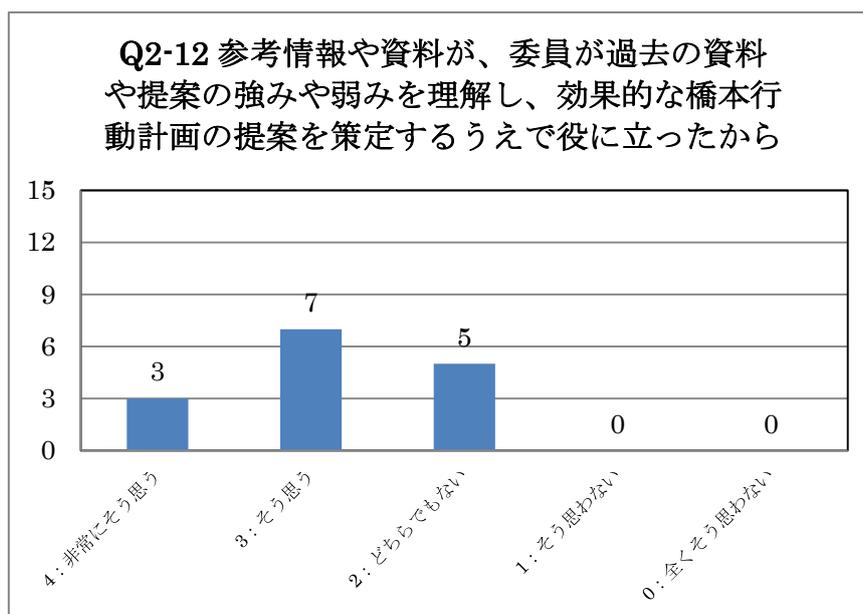


図 3.12 回答 2-12 評点別回答者数

3.3.4 議長・委員の名声と権威

国連水と衛生諮問委員会の特徴は、3.1 で述べたように提言作成だけでなくその実現にも責任を持って行動するところである。委員会の行動計画実現のための活動を分析することは、今後この種の形態のグループを国際社会で機能させるための基礎的知見を得る上で貴重であると考えられる。アンケートでは実行面で主体となる、委員会（議長、副議長及び委員）、事務局、外部のパートナー組織について質問している。

橋本行動計画実現の上で、有効だった委員会の属性及び特徴について、委員は次の順番に有効性が高かったと評価している：①議長、副議長、委員の知名度の高さ（図 3.13（Q2-8）：評点 3.44）；②高いレベルの委員会としての権威（図 3.15（Q2-5）：評点 3.33）、③国連事務総長の諮問委員会という正統性と権威（図 3.16（Q2-6）：評点 3.17）、④議長・委員の影響力（図 3.14（Q2-10）：評点 3.11） A 委員は「議長に皇室や元首相というハイレベルの人物を置いたこと、委員の構成が政治、世銀/IMF、学会教授、閣僚、企業家、NGO、労働組合と多岐にわたっていた事、水と衛生に関する事務総長の初めての諮問委員会であったこと」を挙げている。また B 委員はこれらが個別でなく相乗効果を発揮したと次のように述べている「確かに個々の名声はあったが、橋本行動計画への信頼は個別委員の名声、委員会としての名声、事務総長諮問機関の看板が相まって高められたと考えられる。」また、同委員はこれら委員会としての名声は最初から存在していたわけではないとして次のように述べている「最初の頃委員会は“国連事務総長の諮問委員会”という以外には名声を持っていたわけではない。委員会は活動するに連れ名声を獲得していったのである。」以上を総合すれば、委員会のもつ高度で多様性のある識見と影響力が、事務総長直轄の委員会という自体の位置づけと連動して次第に名を高め、橋本行動計画主要提言項目の実現に有効に働いたと考えられる。

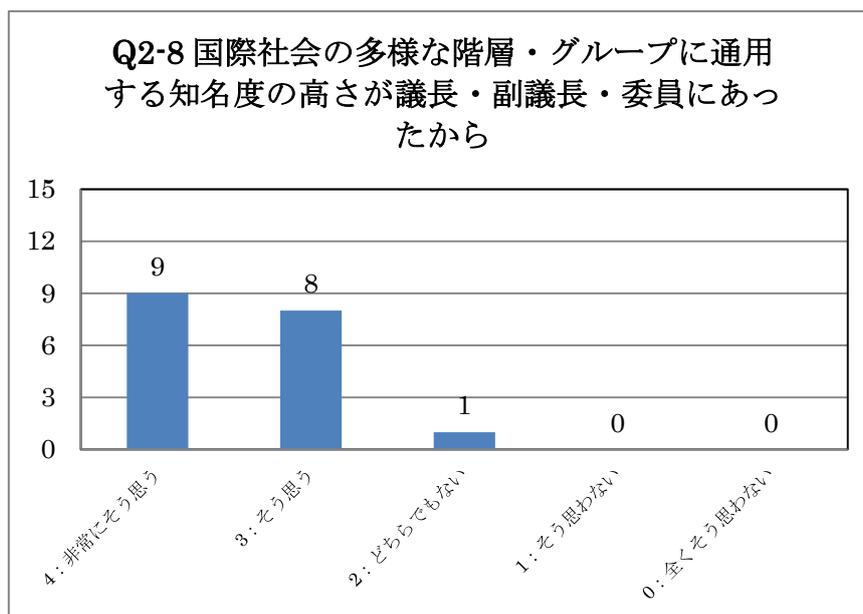


図 3.13 回答 2-8 評点別回答者数

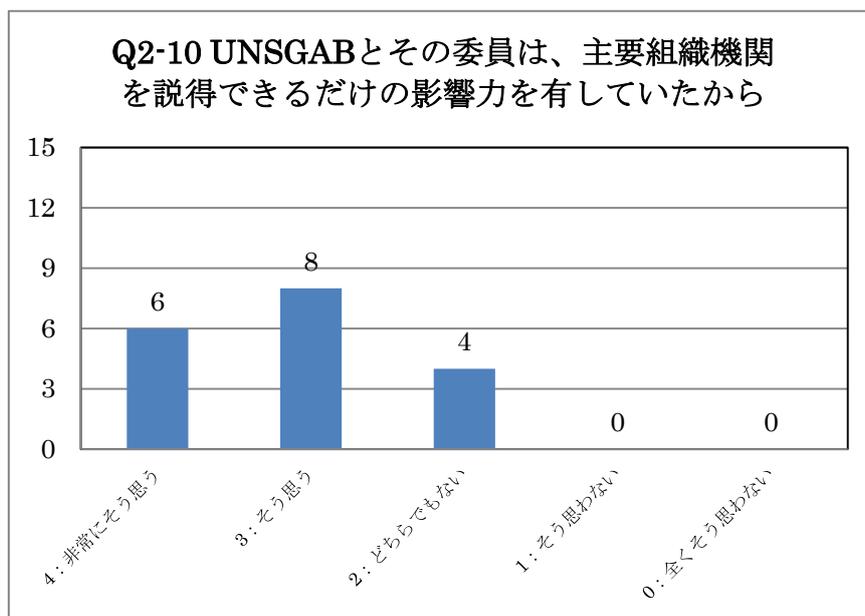


図 3.14 回答 2-10 評点別回答者数

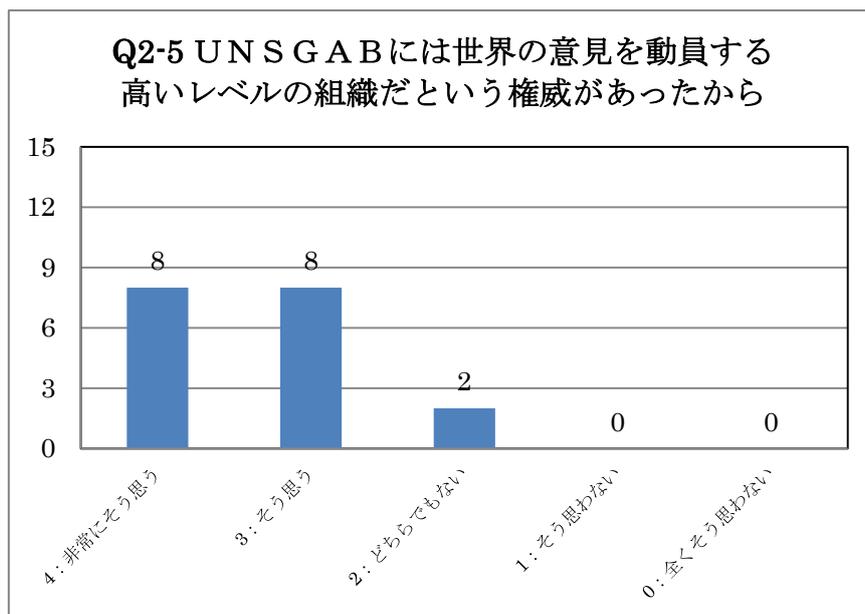


図 3.15 回答 2-5 評点別回答者数

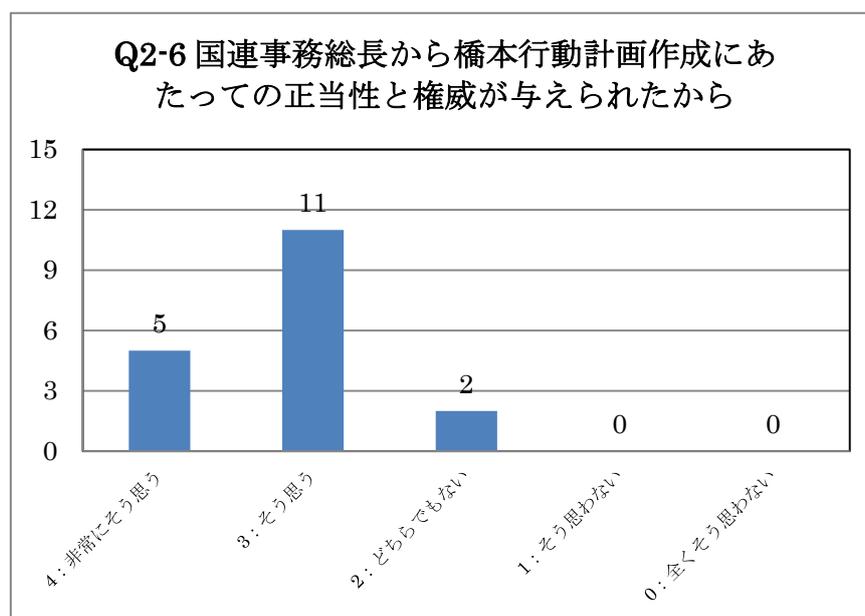


図 3.16 回答 2-6 評点別回答者数

3.3.5 事務局の能動性

地球規模水行動を実現する上で最も大きな成功要因として挙げられたのが事務局の能動性である。アンケートでは「事務局が極めて能動的に委員会をサポートし、パートナー組織と協働を行ったこと」(図 3.17 (Q2-16): 評点 3.83) に全ての成功要因の中で最も高い評点が与えられており、この設問に対しては全回答者の 85% が「強くそう思う」と回答している。また、「橋本行動計画の実現に向けて事務局と委員が緊密に協働した」(図 3.18 (Q2-17): 評点 3.60) にも全体中第 2 位に高い評点が与えられている。A 委員は「橋本行動計画主要提言項目の実現は事務局の経験と知識、コミットメントによるところが大きい」、B 委員は「橋本行動計画の実現フェーズでは事務局が委員会を引っ張るスタイルを取った。これなしには橋本行動計画の実現は難しかったであろう」と述べている。また、C 委員は「委員会と事務局の緊密な連携が無ければ、委員会の合意形成や起草が委員の重い負担となり、委員会は機能不全になっていたであろう」と述べている。このように、橋本行動計画の作成、実現過程で事務局が極めて重要な役割を演じている。一方、ここで重要なことは橋本行動計画実現の際に重要だったとされる委員の名声や影響力と、能動的な事務局の活動の関係や(例: いずれかが欠けていても橋本行動計画実現は可能だったか)、或いは橋本行動計画の実現過程で両者はどう相互作用していたのか、という点である。これについて、アンケートでは「政治トップレベルで意思決定者を説得しながら事務局が事務レベルでボトムアップのプロセスを行うことなど戦略を描いて行動した」(図 3.19 (Q2-18): 評点 3.00) ことが成功要因として肯定的な評点を得ている。このようにトップダウンとボトムアップの意思決定プロセスを同時並行してパートナー組織内で動かすといった戦略により、橋本行動計画の多くの項目の実現に至ったことが示唆される。これについては更に具体的な橋本行動計画提言項目の実現過程をケース分析することで追跡検証することとする。

なお、D委員は「市場原理主義は事務局が橋本行動計画の全ての提言項目を支持することを困難にした。問題は影響力の偏在であって少数のメンバーが議長・副議長・事務局へ有利なアクセスを持っていた」と述べており、委員会内部での委員間や委員－事務局関係が一様でないことを示唆している。

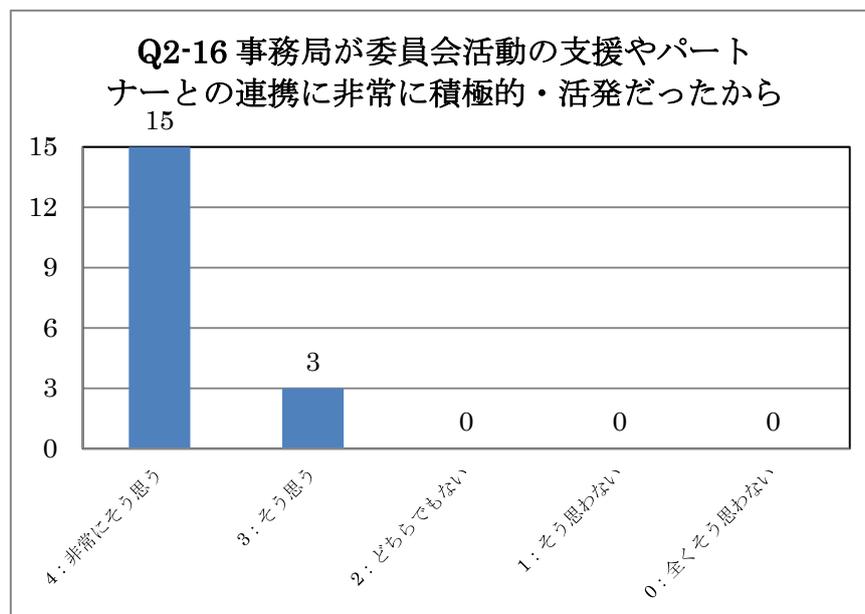


図 3.17 回答 2-16 評点別回答者数

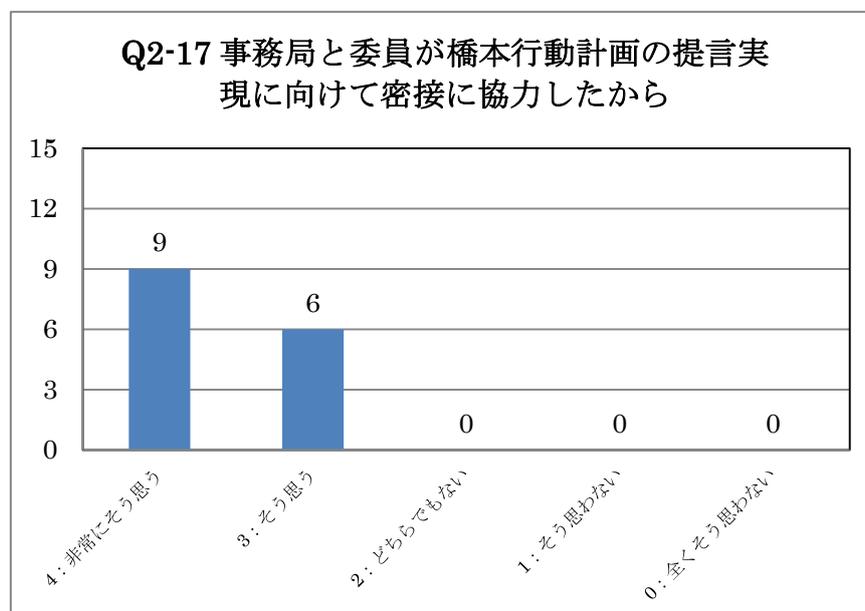


図 3.18 回答 2-17 評点別回答者数

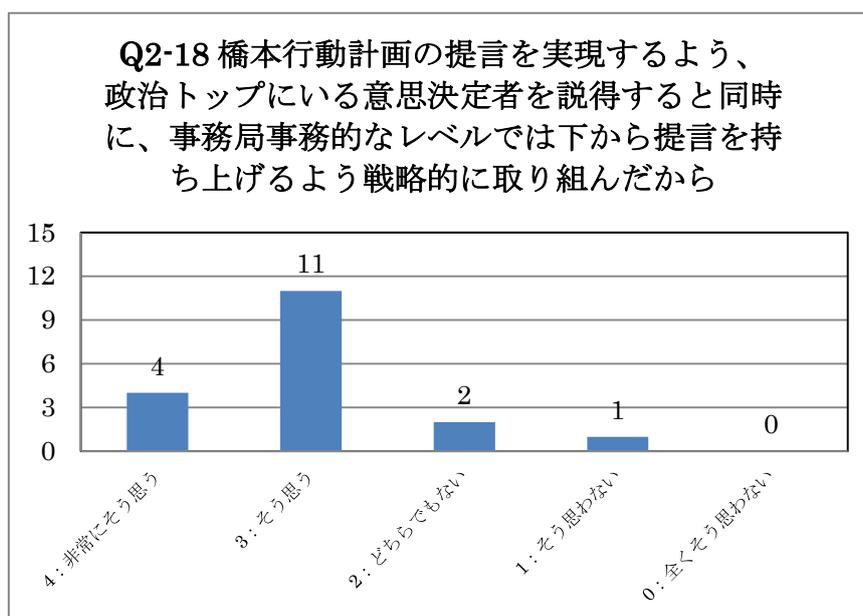


図 3.19 回答 2-18 評点別回答者数

3.3.6 パートナー組織の説得と協働

橋本行動計画実現の成功要因として 3 つ目に挙げられるのは、パートナー組織との協働である。アンケートでは「橋本行動計画の特定の提言項目を実現するため、強力でやる気のあるパートナー機関を同定し、アプローチすることに成功したこと」(図 3.20 (Q2-19) : 評点 3.39) に成功要因として肯定的評価が与えられている。また、これに関して「委員の広い人的ネットワークが鍵となるパートナー機関に有効にロビーすることを可能にした」(図 3.21 (Q2-9) : 評点 3.39 (再掲)) 「委員会と委員は鍵となるパートナー機関を説得するだけの影響力を持っていた」(図 3.22 (Q2-10) : 評点 3.11 (再掲)) と、パートナー機関の説得・合意形成に委員会と委員の影響力とネットワークが有効に働いたことを指摘している。A 委員は協働したパートナーとして「水道事業者、国連システム、労働組合、地域開発銀行」を挙げている。B 委員は「橋本行動計画実現の成功は、どのケースも鍵となるパートナー組織が橋本行動計画の提言に沿った行動を起こすよう説得に成功した場合である：国際衛生年、アフリカ水サミット、衛生への排水処理の取り込みなど」、更に「国際ネットワークに影響のある委員は橋本行動計画のメッセージを国際社会に浸透させることに貢献した」と述べている。C 委員は「委員会は統合水資源管理といった既存の活動によりハイライトを当てることで橋本行動計画の促進を図った。ただフィールドレベルでのパートナーには委員会の手が届かなかった」と述べている。このように橋本行動計画主要提言項目の実現のために、適切なパートナーの存在は提言実行上の手足を持たない委員会にとって不可欠のものであって、これらのパートナーの自発的活動を促すことが、委員会活動の基本であり、かつ委員会はそれに適した能力（委員会や委員の影響力とネットワーク、及び事務レベルでパートナー組織を動かす能動的な事務局）を備えていたことが地球規模水

行動である（ローカル行動ではない）橋本行動計画主要提言項目実現の成功要因であったと言える。

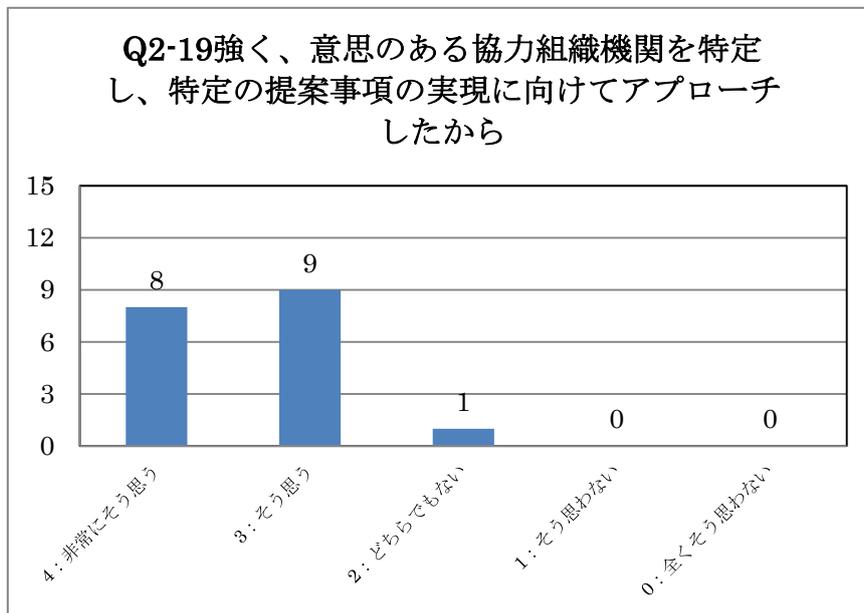


図 3.20 回答 2-19 評点別回答者数

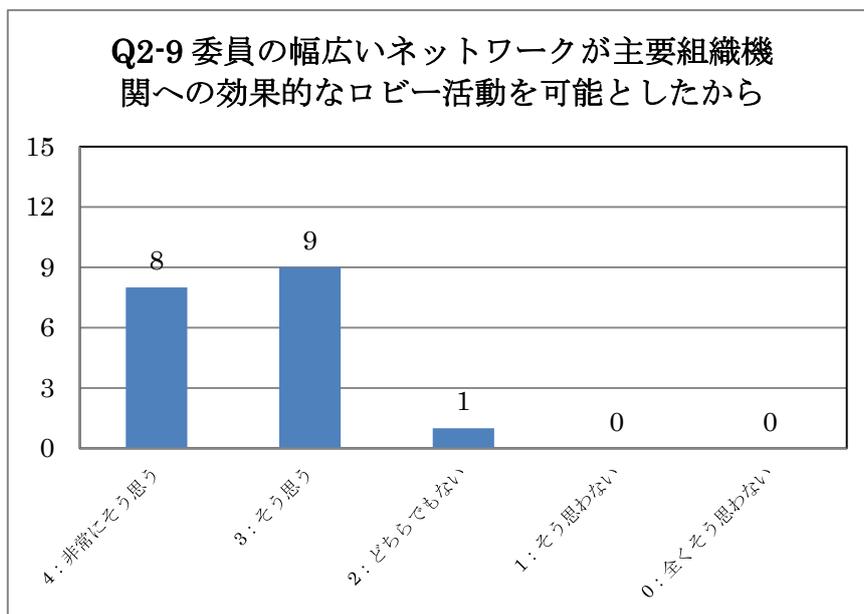


図 3.21 回答 2-9 評点別回答者数

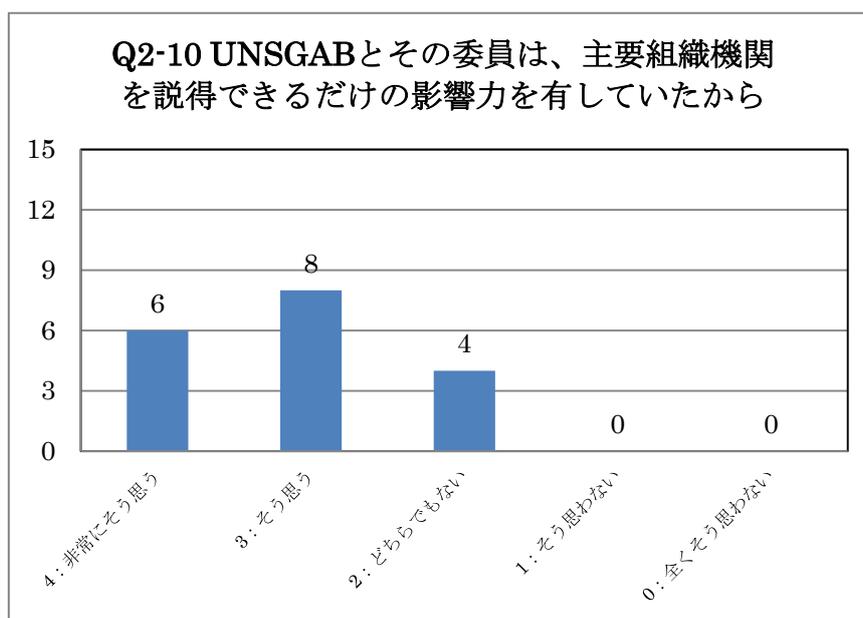


図 3.22 回答 2-10 評点別回答者数

3.3.7 資金・時間等の一般的外部要因

アンケートでは上記のような具体的な成功要因に加えて、一般的に想定される資金や時間要因についても同様の質問を行い、他の項目との差異を見ることにした。

まず、資金面では「橋本行動計画の実現促進活動に多くの資金を投入した」（図 3.23 (Q2-20) : 評点 1.59) は橋本行動計画主要提言項目実現のための要因全項目中最も低い評点を得ている。この項目については「そう思わない」、「全くそう思わない」が全回答中 50%をしめ、一方「強くそう思う」「そう思う」は全体の 1 割に過ぎない。実際、橋本行動計画の実現促進に使われたのは事務局の経常人件費と旅費であるので年間数十万ドル程度であり、効果（例えば国際衛生年に 1 年で約 5 億人が参加）と比べれば全く大きくないと委員の多くが考えることは妥当であろう。一方で、促進活動に大規模資金（例えば多量の宣伝費用）を投入しなくても、小規模ハイレベル集団という委員会の特性を理解した上で、良い戦略のもとで行動すれば十分な成果が得られるという知見は、国際社会での合意形成・水行動促進手段の選択肢が新たに加わるという点で貴重である。

次に「集中的な努力をせずとも時間の経過とともに橋本行動計画が実現できた」（図 3.24 (Q2-21) : 評点 2.18) とする項目には、成功要因としては資金に次いで 2 番目に低い評点が与えられた。A 委員は「どの実現項目を聞いているかによる。幾つかの項目については集中的な活動を行った結果比較的早期に橋本行動計画の実現に至った。」と述べている。B 委員は「利害関係者の意見聴取のための十分な時間はあった」C 委員は「もっと集中的に行ったほうが良い」と述べており、いずれも時間をおけば自然と提言が実現するとの仮定には否定的であった。また関連質問として「提言項目の実現のために締切を設定した」（図 3.25 (Q2-22) : 評点 2.50) については A 委員の意見にあるように「パートナー機関に締め切

りを設定するような権限を我々は持ち合わせていない」「委員自身は活動に締め切りを設けていたが、外部の組織に期限を設定したことはないと思う」、のように、締切を設定したようなケースが少なかったため評点としては肯定的でなく、「どちらともいえない」との回答が最も多くなったと考えられる。

上記を総合すると、橋本行動計画の主要提言項目実現について、一般的に想定されるような金と時間をかければ行動計画が実現するとは委員は考えておらず、実際にも多くの提言が委員と事務局の影響力とネットワークを集中的に働かせることによって実現に至っている。この点は今後国際社会での目標実現を図る戦略作りで大事な知見であろう。

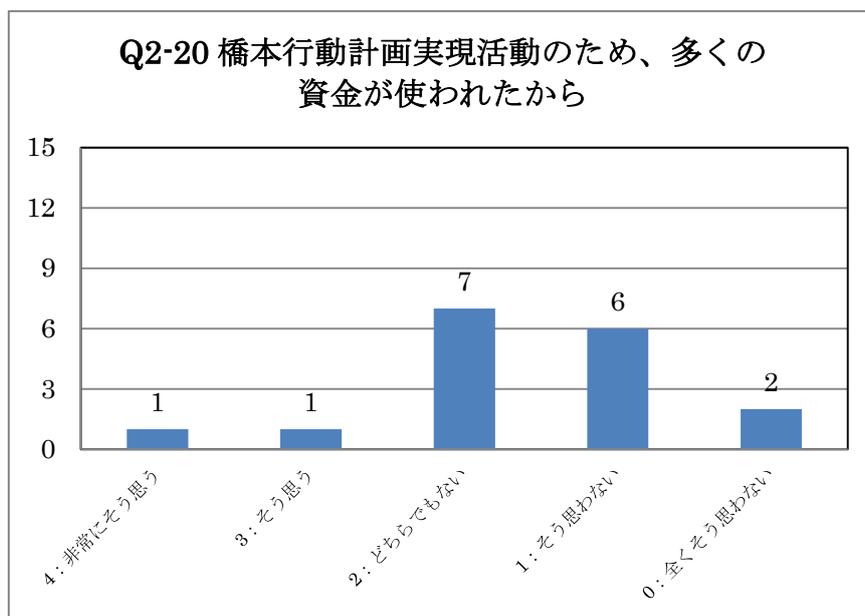


図 3.23 回答 2-20 評点別回答者数

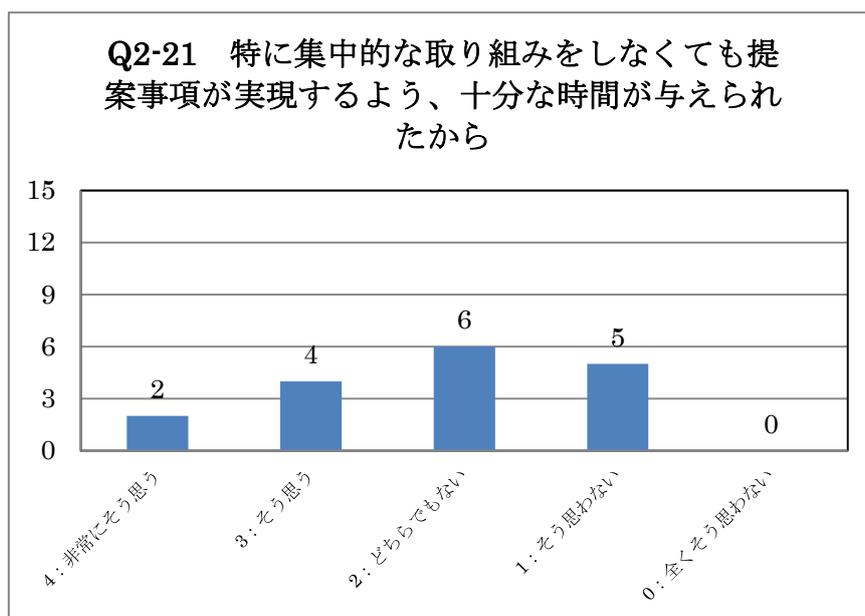


図 3.24 回答 2-21 評点別回答者数

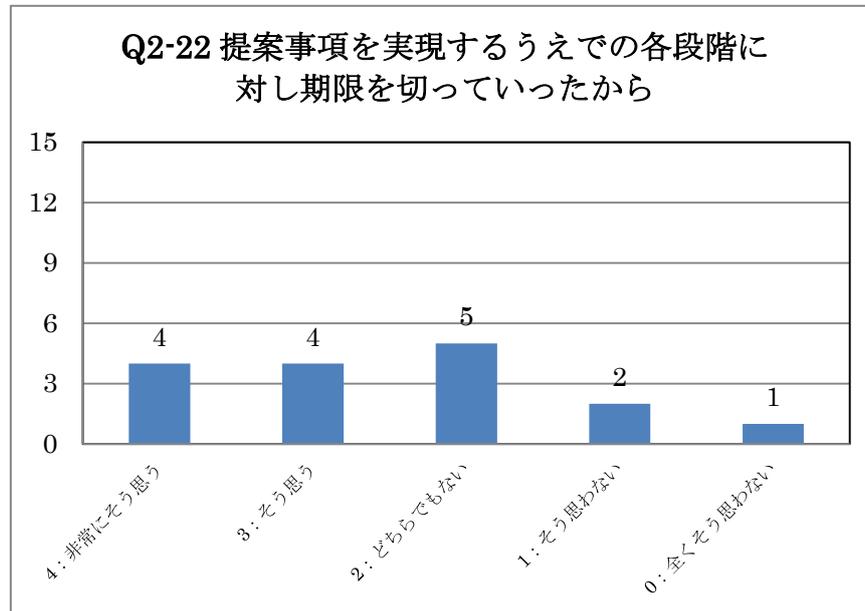


図 3.25 回答 2-22 評点別回答者数

3.3.8 アンケート調査のまとめ

以上で述べたように、アンケートより抽出された橋本行動計画実現の主要な成功要因は、計画の内容面では（１）明快な理由づけを伴う具体的な提言がなされていること、実現活動面では（２）①能動的な事務局活動（委員との緊密連携を含む）、②ハイレベルで多様性のある委員会の名声・影響力・ネットワーク、③強力でやる気のあるパートナーの開拓と説得の３つ、であると結論付けられる。また、成功要因として活動に費やす資金量や時間の経過によるところは大きくないと結論付けられる。

3.4 ケース・スタディ

以上のように、アンケート調査及びその分析によって、国連水と衛生諮問委員会（UNSGAB）が橋本行動計画主要提言項目を実現する上での主な成功要因が抽出された。この章では橋本行動計画の具体的実現項目の実際の実現経緯をケーススタディで追跡検証し、アンケートで抽出された成功要因が具体的事例に当てはまるか確認することにより、成功要因の具体的裏付けを行うとともに、事例を通じてそれらの要因がどのように相互作用したのかを明らかにする。対象になるケースは 3 章で副議長が列挙した主要提言項目全て、すなわち国際衛生年（2008 年に実現）、水事業体パートナーシップ（2007 年に実現）、アフリカ連合水サミット（2008 年に実現）、地域開発銀行との協力協定（2007 年～2008 年に実現）、水衛生共同監視プログラム（JMP）の改善（2006 年～2012 年に実現）、国連水賞（未

実現)の6つである。

3.4.1 アフリカ連合水サミットの開催

アフリカ連合 (AU) 水サミットは、橋本行動計画で提言し実現した「ハイレベルな水衛生会合」の中でも最もハイレベルで参加国が多かった会合であり、かつその宣言 (シャルムエルシェイク宣言) がアフリカ地域の水行動指針として用いられているため (African Union, 2008)、橋本行動計画で提言したハイレベル地域会合を代表してケーススタディの対象とした。

経過)

2006年7月のUNSGAB第6回会合 (パリ) においてアフリカ水閣僚評議会 (AMCOW) イトウア副議長より、「アフリカの水問題を解決に導くためには水閣僚による議論だけでは不十分。行政、財政、場合により立法を掌握しているアフリカ各国元首が水問題の国家発展における重要性を認識し、行動に移す決意を全アフリカで示すことが不可欠」との訴えを受け、橋本行動計画主要提言項目実現の一環としてアフリカ連合水サミットは構想された (UNSGAB, 2006b)。これを受け、国連水と衛生諮問委員会は2006年12月の第7回会合 (チュニス) でUNSGABアフリカ水閣僚対話を開催し、出席アフリカ水大臣との意見一致のもと、アフリカ全国家首脳によるアフリカ水サミット開催をUNSGABとして働きかけることを決定した (UNSGAB, 2006c)。このアフリカ連合サミット開催は世界の水状況に影響を与えた活動と委員は評価している (図 3.26 (Q7))

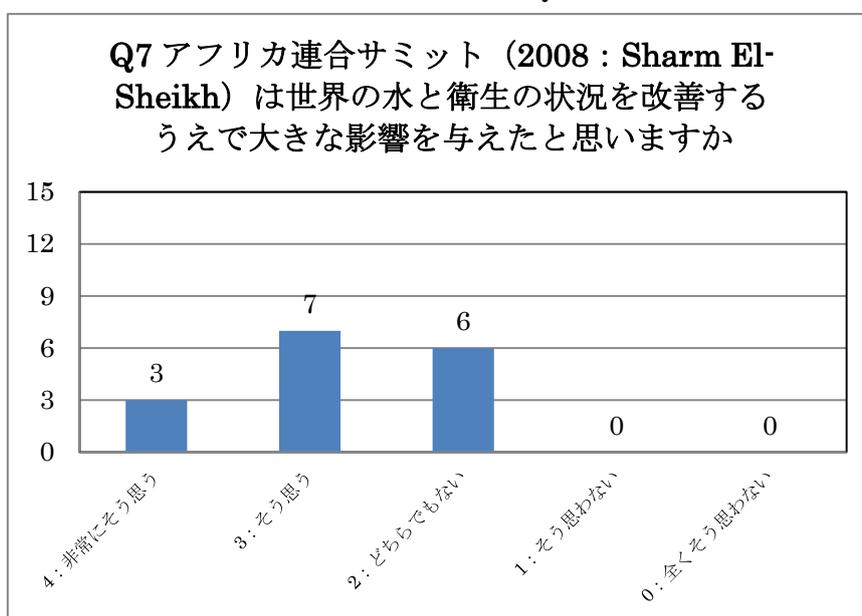


図 3.26 質問 7 評点別回答者数

(活動前半部分)

この際にUNSGABが合意した具体的行動としてはアフリカ53か国の全元首に対してア

フリカ連合水サミット開催を呼びかける書簡を UNSGAB 議長から発出することであった (UNSGAB, 2007c)。すなわち、UNSGAB が行った提言実現のための活動としては、前節の実現要因項目で言えば①国連事務総長の諮問委員会としての権威、②UNSGAB 議長によるハイレベルな書簡の発出、③全首脳への書簡発出によって水問題への意識高揚が時間の経過とともに図られる、の 3 点で AU 水サミットが開催されるであろうという想定をしたと言える。この際事務局の役割としては書簡のドラフトと発出であり、特に能動的な役割を果たしているわけではない。また、事務局と UNSGAB 委員による協調行動も行っていない (図 3.27)。

以上の行動がなされて 2007 年 6 月まで UNSGAB としては成果を待ったが、その間 2 回行われた AU 首脳会合で水サミットの件は決定されることもなく、議題にも上らなかった (African Union, 2007a; African Union, 2007b)。このため、議長、副議長、事務局の協議の結果、委員会の了承を経て、トップダウンとボトムアップを同時に働きかける活動を行うことで事態の打開を図ることとした (Eid 副議長聞き取りによる)。

アフリカ連合水サミットの働きかけ(前半)

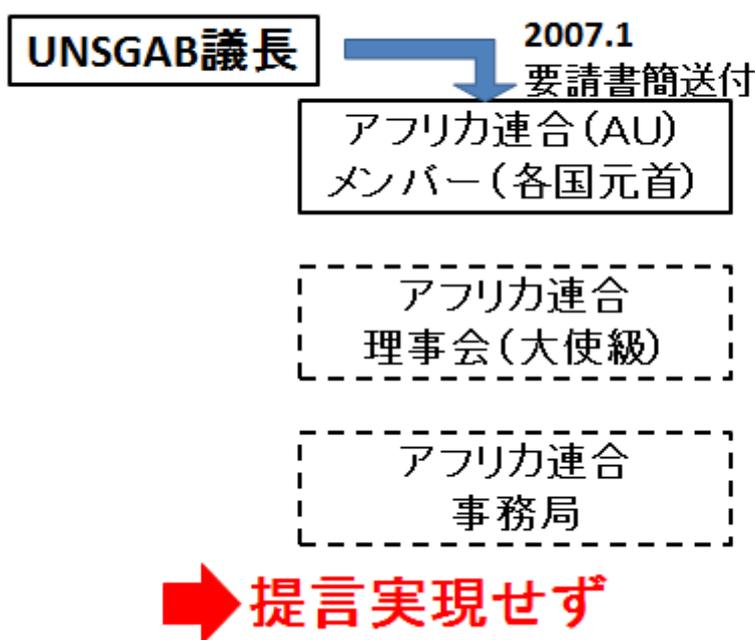


図 3.27 橋本行動計画主要提言項目「アフリカ連合水サミット」実現のための働きかけ活動模式図 (活動前半部分)

(活動後半部分)

具体的には 2007 年 6 月～9 月に UNSGAB 事務局長が AU 事務局を数次にわたり往訪、提言内容の説明を行い AU 水サミットの開催趣旨と意義を事務レベルで浸透させるとともに、合意形成に必要な内部資料を両事務局が共同作成した (UNSGAB Secretariat, 2007; UNSGAB 2007d)。次に AU 首脳会合のアジェンダ作成を議論する AU 代表部大使級との水

と衛生に関する対話会合を開催（2007年9月）、UNSGAB 副議長及び事務局長が出席し、AU 水サミット開催を首脳級協議の議事に盛り込むことにつき働きかけを行い、各国大使級代表の理解を得た(UNSGAB, 2008)。これに基き、AU 事務局は2008年1月 AU 首脳会合の議題に AU 水サミットの開催を上程、この直前に UNSGAB 議長が同首脳会合を往訪、AU 議長（ガーナ国大統領）と直接対談を行い、本会合での呼びかけを行った結果、AU 議長の提案による AU 水サミットの開催が満場一致で採択された(African Union, 2007b)。

この結果、2008年7月にアフリカ全53か国元首によるアフリカ連合水と衛生サミットがエジプト国シャルム・エル・シェイク市で開催され、アフリカ各国による水と衛生に関する協調行動を定めるシャルム・エル・シェイク宣言が採択された(African Union, 2008a)。このシャルム・エル・シェイク宣言は現在（2014年）に至るまでアフリカにおける水と衛生に関する各国協調行動のバイブル的に用いられている。また、同時に同宣言で合意された具体的行動項目をアフリカ水閣僚評議会(AMCOW)が毎年モニターし首脳会合に報告されることも盛り込まれた結果、アフリカ各国における水と衛生分野の優先度向上と継続的な首脳級での意識高揚が図られることになった(African Union, 2008b)。

（分析）

以上の行動経緯を UNSGAB アンケート結果と比較分析する。別表に示すように成果が伴わなかった活動前半部分では、アンケート行動項目のうち①事務総長を含めた権威の利用、②UNSGAB メンバーの名声を使ったトップダウンの行動は行われたが、一方でアンケート評価の中でトップの評点であった事務局の能動的な活動、及び UNSGAB 委員と事務局の協働はなされなかった。この理由としては UNSGAB に橋本行動計画実現のための効果的な活動方法について十分な議論と経験がなく、手探りでの活動開始であったこと、またアフリカ閣僚側からの提案の結果書簡の送付のみに合意していた事 (UNSGAB, 2006c) があげられるが、いずれにせよ調査結果で示されたような幾つかの効果的な方法が活動前半に採用されていなかったことが結果に影響していると考えられる。

一方活動の後半では前半部の反省をもとに能動的な行動パターンが採用されている。前半部分で既に活用した UNSGAB 議長・委員の名声とネットワークは活かしつつ、③能動的な事務局の活動、④事務局と委員の連携と協働に力点を置いた活動が採用された。後半部分の活動フローを図 3.28 に示す。この図のようにアンケート調査で有効性の高い行動が上下から連動して取られた結果、提案項目の実現（＝水と衛生に関するアフリカ首脳会合の開催）につながっている。すなわち、前半部で行った書簡の送付では一部の首脳の水と衛生に関する関心は高まったと推察されるものの、それが AU 水サミットの首脳間の相互対話・合意形成や AU 事務局に対する事務作業の指示に繋がることはなかった(UNSGAB, 2007a)。一方後半では AU 事務局がトップレベルでの働きかけがあることを認識しつつ、意思決定の上位階層に報告する準備作業を行い、いわゆる組織行動に「起動がかかった」状態となった(UNSGAB Secretariat, 2007)。次に十分な名声とネットワークを有する UNSGAB 委員（この場合は副議長）が首脳級の直下レベル（大使級）での働きかけと合意

形成工作在「水と衛生に関する各国代表との意見交換会」の形で行われた(UNSGAB, 2007a)。Eid 副議長聞き取りによれば、この際には事務局での事務作業も進んでおり、各国代表が首脳への提案を行う条件が整っていたこと（水と衛生サミット会合の大義への理解に加えて、外部者（UNSGAB 議長）による首脳級への働きかけの確証、事務作業の十分な進捗がなされていることの確認）が認識された。これらのプロセスの後にトップへの直接の働きかけ（=UNSGAB 議長による AU 議長のトップ会談と首脳会合での AU 水と衛生サミット開催呼びかけ）がなされて、「実現への合意形成の流れ」が形成されて、アフリカ連合首脳総会での承認がなされることとなった（African Union, 2008a）。

アフリカ連合水サミットの働きかけ(後半)

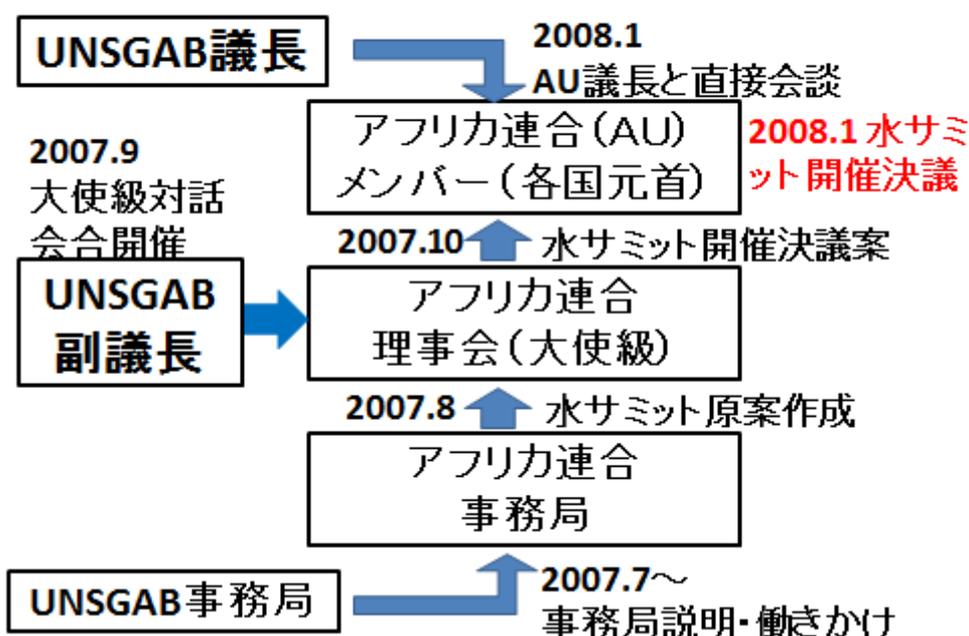


図 3.28 橋本行動計画主要提言項目「アフリカ連合水サミット」実現のための働きかけ活動模式図（活動後半部分）

なお、ここで附言するならば前半部の活動（=アフリカ全首脳への書簡の送付）は無駄や無効だったわけではなく、「UNSGAB 議長からアフリカ全首脳への書簡の送付の事実」を前提として UNSGAB 事務局や副議長が各国代表への働きかけや事務作業などの合意形成工作を行っていたところ(UNSGAB, 2007a)、当然ながら下部組織は上位での働きかけを認識しつつ事務作業や合意形成を行うので、下部組織が上位層の反応を過度に忖度して作業が途中で中断されることもなかったと考えられる。このように、最高意思決定者への働きかけ（=書簡送付）の事実を情報提供しつつボトムアップのプロセスを開始→意思決定直下層（=大使級会合）への行動圧力形成→意思決定組織内部での認識共有化→トップ（首脳）による最終意思決定というサイクルの完結によって最終目標の実現に至ったといえる。こ

これは図 3.28 のように組織の上下からサンドイッチを押しやるように働きかけを行ったことで上から下まで状況認識の共有化とそれぞれの階層組織が自らの行動に対する安心感を醸成し、それぞれの階層での意思決定と行動を促す圧力となって各階層での行動が進められていったと言える。

上記のように、①UNSGAB 議長・副議長・委員の名声（＝国際社会での認識と信頼）や②委員のネットワーク、③国連事務総長の諮問委員会という信用力に加えて、④能動的な事務局活動と、⑤積極的で緊密な委員と事務局の連携という、アンケート調査で上位となった活動項目がすべて満たされることで、橋本行動計画主要提言項目である「水と衛生に関するアフリカ首脳会合」が実現されたと言える。活動前半部と後半部の成果の差異から能動的な事務局のボトムアップ活動の有無が結果の差異に明確に表れていることから、アンケートによって有効と評価された組織活動が実際にも有効であることが事実（AU 首脳会合の実現）経過の追跡検証によって裏付けられたといえる。

3.4.2 国際衛生年(IYS2008)

国際衛生年はその成果を 5 章（表 5.2 他）でも詳述するが、橋本行動計画主要提言項目のうちでも国際社会へのインパクトが最も大きかった提言項目の一つである（図 3.29）。

[行動実現に至る経緯]

文献調査（内部資料を含む）及び聞き取り調査の結果からまとめた、国際衛生年実現に至る経緯は以下のとおりである。

2002 年の持続可能な開発に関するサミット（ヨハネスブルグサミット）において基本的な衛生にアクセスできない人の数を半減するとの目標が MDG に追加されたが、衛生分野に関する国際社会の関心は低く、殆ど進捗が見込まれない状況であった(UNICEF *et al.*; 2004)。

橋本行動計画に関する UNSGAB の内部議論においては、この衛生分野に対する各国指導者を含めた国際社会の関心を引き上げなければ問題の解決は望めないとの意見が大勢を占め、衛生を重点分野の一つに定めシンボリックな行動を主導すべきだという結論に達した(UNSGAB, 2005a)。こうした経緯を経て発案されたのが、「国際衛生年: International Year of Sanitation 2008 (IYS2008)」の実現であった。これは国連総会決議により 2008 年を国際衛生年と定め、それを起爆剤として衛生問題への国際社会の関心向上と各国政府による自主的な行動の促進を図ろうとするものであった(UNSGAB, 2006a)。橋本行動計画の発表は 2006 年 3 月であったが、国際年の実施には通例 1 年の準備期間を置くため、2008 年を国際衛生年とするためには 2006 年秋からの国連総会で決議されることが必要であり、期限を切って緊急に行動を興す必要があった(UNSGAB, 2006b)。

国連総会で決議を得るためには、通例決議の該当分野を所掌する委員会（衛生の場合は環境分野を所掌する第 2 委員会）が決議案を承認、(概ね 11 月初頭に)総会に提出する必要があるため(Permanent Mission of Switzerland to the UN, 2011) 合意形成の期限はさ

らに短くなり、実現までに与えられた期間は4か月余であった。UNSGAB第6回会合(2006年6月)の緊急行動に関する意思決定に基づき事務局が活動を開始した(UNSGAB, 2006b)。Eid副議長からの聞き取り結果によれば、この時期UNSGABは初代議長(橋本龍太郎氏)の急逝にともない議長が不在だったこともあり、事務局とアイト議長代理(副議長から暫定昇格)の戦略協議のもとで合意形成工作が行われた。具体的には①国連加盟国の中で核となる数か国に事務局が接触、国際衛生年の趣旨と提案内容を固める、②事務局がこれら中心国と協働し、関心国を増加させるための働きかけを行う、③ブリーフィング会合を数次にわたり開催し議長代理も出席、トップダウンで国際衛生年を支援する国の輪を広げるとともに関係国の意見を聴取してコンセンサスの形成を得られる決議案を形成する、④正式な提案国を募り第2委員会に上程、⑤第2委員会から議案を提出し国連総会の承認を得るという働きかけのプロセスである。

Eid副議長からの聞き取りによれば、2006年7月の活動開始当初、この国際衛生年のプロモーションに参加した国は一握り(5か国以下)であったが、上記の手順で会合の開催を重ね、副議長の参加を得たブリーフィング会合を開催するなどした結果、第2委員会での決議時には賛成国が大幅に増加し、56か国が共同提案国となった。最終的には、2006年12月21日、2008年を国際衛生年に定める決議案が満場一致により国連総会で採択された(United Nations General Assembly, 2006)。

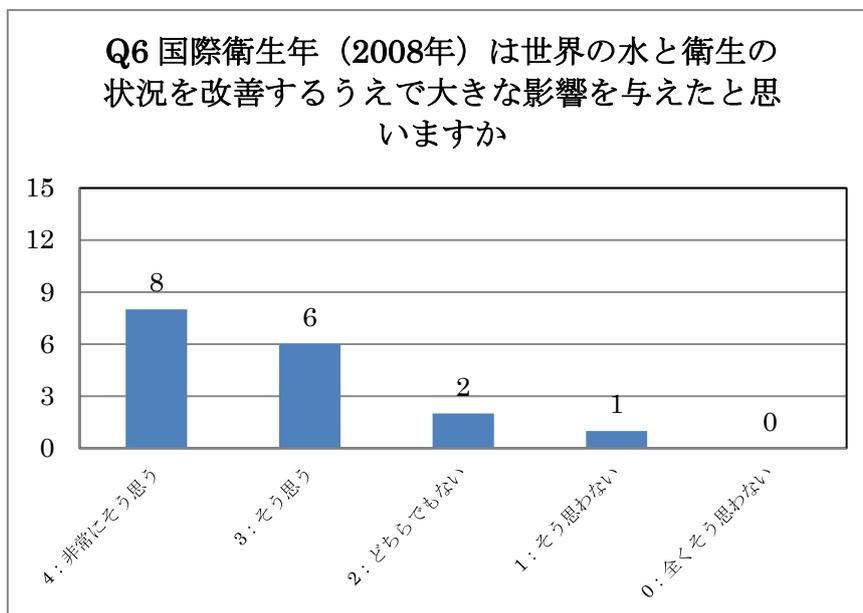


図 3.29 質問 6 評点別回答者数

分析)

上記にみられるように国際衛生年に関する国連総会決議の実現にあつては、事務局の能

動的な活動の実施が主な役割を果たした。Eid 副議長によれば活動にあたって事務局は議長代理のブリーフィング会合出席を要請するとともに各委員の出身国政府に対する働きかけを要請し、実際決議案の共同提出国 46 か国のうち 10 か国が UNSGAB 委員出身国（全委員出身国の 4 分の 3 に相当）である(United Nations General Assembly, 2006)。従ってこのケースにおいても調査で評点の高い活動項目（議長や委員の影響力とネットワークの活用、事務局の能動的な活動、委員と事務局の協働）の実施は満足されている。また、このケースに限り決議期限が明確に設定されているので、Q2-22 も該当する（但し他のケースでは期限設定がなされていないので全体の活動項目の中でこの評価項目に高い評点は与えられていない）。ここで注目しておくべきことは、政策実現のための対象組織（この場合は加盟国政府）に対する働きかけの構造が、本国政府とその出先である加盟国代表部に対してトップダウンとボトムアップの働きかけが同時に行われたことであって、その結果組織内の意思決定の流れが円滑になっている。

国連での決議等の合意形成過程にあつては、各国代表部が本国政府との意思疎通のもとに態度を定めていくことは言うまでもないが、その過程で G77+中国（＝発展途上国グループ）や EU、JASCANZ（米加豪 NZ 日）、ラテンアメリカといった地域や政策面でつながりの深いグループで協議を繰り返すことで政策調整を行い(Permanent Mission of Switzerland to the UN, 2011)、共同歩調をとって自国の立場や主張の強化や、議論の誘導が図られている。従ってこうしたグループに対して個別の説明や意見聴取を図り、障害となりそうな論点の調整を進めたり、グループ一括しての支持を取り付けていくことは重要になっている。Eid 副議長聞き取りによれば、「毎年多くの提案がなされる〇〇国際年や国連の日といった提案の無制限な増加に対しては、これを批判し、その数に制限を加えることを基本に考える国もあるので、こうした批判に対して粘り強い説得を行うことも必要」になってくる。国際衛生年の場合、その提案理由を橋本行動計画では、「①衛生は国連千年紀目標の中でも特に進捗が遅れている分野である、②この理由は政治的意思と能力の欠落である、③この改善のため世界各地で総合的な共同キャンペーンを実施する必要がある、④国際衛生年の設定がその第一歩である」(UNSGAB, 2006a)と明示し衛生を取り巻く現況と理由、直ちになすべきことを明確に示している。このように、あらかじめ橋本行動計画の中で明確でわかりやすい提案の根拠と主張が簡潔に明示されていたことが、こうした国際年に懐疑的なグループに対する説明と説得を容易にしていたと考えられる。実際、このケースでは「国際年の無制限な増加には反対だが、衛生問題の解決に国際衛生年の設定は有意義なので、グループとして提案を支持する」といった発言がいくつかのグループから示されていた(Eid 副議長聞き取りによる)。このように、橋本行動計画の内容の特徴(利点)と上記に示す UNSGAB の行動上の特色(利点)が一体となった結果、短期間の目標達成につながったことは明らかであり、アンケート調査結果で示された UNSGAB 型組織と活動形態の有効性が裏付けられている。

3.4.3 水事業体パートナーシップ

水事業体パートナーシップ: Water Operators Partnerships (WOPs)は、水事業体の民営化是非の問題を背景に UNSGAB において最も困難な議論の末に合意された提案である。この提案の成立そのものが UNSGAB でなければなされなかったと考えられる要素が多いため、提案に至るまでの議論の経緯を含めて経過を詳述し分析する。

[提言実現に至る経緯]

水セクターにおける公営事業の民営化問題は水という生命、生活に不可欠なサービスを営利団体に委ねるという点で政治性の高い問題に発展する。各国においてもインドネシアのケースにみられるように(茅根, 2013)、水事業の民営化に対しては多く議論対立の余地が残されている。一方、2010年7月の第65回国連総会で水サービスへのアクセスは基本的人権であると決議された(United Nations General Assembly, 2010)ように、発展途上国はじめとする各国における安定的な水供給は喫緊の課題になっている。この問題に対して、国連や世界水フォーラムにおける議論で民営化に賛否を唱える利害関係者が合意を形成した実績は無い。2003年の第3回世界水フォーラムでは水の民営化に対して賛成派と反対派が一つのテーブルについて公開討論を行う試みが行われたが両者合意による見解は出されるに至らず(第3回世界水フォーラム事務局, 2003)、その状況は直近の2012年第6回世界水フォーラム(於マルセイユ)に至るまで変わっていない。この事実は公式・非公式を問わず、いわゆる水に関する大型会議が会議の形態・形式として、賛否両論が激しく対立する問題に関して、議論に一定の方向を示すことに不向きでないのではないかという問題を提起する。

本稿冒頭で述べたように UNSGAB は規模や目的、運営形態を含めてこうした水に関する大型会議の対極にある組織であるが、一方で水問題に関する主要な利害関係者(水民営企業、公務員労連、NGOを含む)が一堂に会している点では他の会議と同様であり、水の民営化に関する議題において一方的な結論を得ることが困難であることに変わりはない。事実 UNSGAB 設立後の初年度(2004年)においてはこの水事業の民営化問題に置ける集中的な議論がなされたものの、意見対立が解消できるには至っていない(UNSGAB, 2004b; UNSGAB, 2004d)。

翌年(2005年)秋から開催された橋本行動計画起草作業にあたっては、各委員はこの問題を十分に意識していた(UNSGAB, 2005b)。この問題の解決策としてまず課題提示されたのは、水事業に関する現状認識であった。民営化がクローズアップされた現在においてすら、世界の水サービスの90%超が公営事業体によって運営されていること、世界70億人に水供給を行っている事業体は数十万あり、現在のペースの民営化が向こう数十年続いたとしても民営化率は10年で数%程度しか見込まれないことが共通認識された(UNSGAB, 2005b)。この前提で、世界(及び国連水と衛生諮問委員会)が示すべきは民営化の是非でなく、どれだけ多くの人々に安全な水を供給するかの道のりで、そのためには目の前にある95%の公営水事業体をどう改善するか提言の目標を置き換えることとなった

(UNSGAB, 2005b)。

この前提で、民営化以外に公営水企業を改善する仕組みを提示できるかという点が議論の焦点となった。UNSGAB 第 3 回会合終了時点（2005 年 11 月）で水民間企業出身委員、公務員労連委員を中心に意見を聴取し、事務局が具体的提案の調整を行うこととなった (UNSGAB, 2005b)。新たな提案の土台となったのは水を含む幾つかの分野で PPP（官民パートナーシップ）の対案として提案されていた PUP（官官パートナーシップ）である。一方でこの PUP は民間セクターの参入を排除する性格が強いものであるため、先の原則に立ち返り「公営水道事業体を改善するためには協力者が官営事業体か民間事業体であるかを問う必要はない、適切で有能な全ての事業体が、改善を必要としている受け入れ事業体（公営水企業）とパートナーシップを結ぶ仕組みを提案する」ことで全ての委員が合意し、これが水事業体パートナーシップ提案の基本思想となった (UNSGAB, 2006a)。

[提言に関する分析]

上記の経緯は WOPs における議論の経緯はアンケート調査結果で示される UNSGAB の特徴（強み）と良く符合している。アンケート調査結果では UNSGAB が橋本行動計画に関して Q2-2「橋本行動計画では焦点が絞られた明快な提案がなされた（評点 3.59）」Q2-3「橋本行動計画の表現は短く要点をついている（評点 3.40）」Q2-7「委員の多様な職業・意見背景が橋本行動計画での提案に説得力と納得感を与えた（評点 3.39）」Q2-11「委員が委員会の使命に関する共通理解のもとで集中議論を行ったため、違った、時には対立する意見を持ちながらも妥協することが出来た（評点 3.0）」などの点に高い評点が与えられているが、これらはいずれも上記の経過と符合する。UNSGAB の特徴である、多様な背景を要する委員構成、強い使命感と共通の目的意識、突っ込んだ議論の可能な委員数、能動的な事務局など、いずれもアンケートで高い評点を与えている UNSGAB の特徴が WOPs の提言を可能にしたと言える。

更に WOPs に関してアンケート調査の自由意見を抽出すると、A 委員が述べているように「橋本行動計画は無数にある既存の提案から最も重要なものを提案したとしているが、WOPs は PUP から発想はされたものの全くオリジナルな提案であって既存に提案されていたものではない」ことが指摘されている。B 委員は同様に「WOPs は既存の提言にあっただろうか、否」と述べている。従って UNSGAB の機能は当初想定された、「既存の提案の抽出、判定、判断する」域を超え「既存の提案群の過不足を見極め、不足の際には新たな提言を行う」領域に到達していたと言える。また事務局の役割について C 委員は Q2-16 に関して UNSGAB 事務局の能動性が行動計画実現に寄与したとした上で、「確かに事務局は橋本行動計画実現のために不可欠な役割を果たした、特に議論の準備をし、真っ向から意見の対立する委員間の接着剤となる役割を果たした（ことが大きい）」としており、事務局もまた単に議論をサポートする領域を一つ越えた活動をしていたと言える。なお C 委員は UNSGAB の議論が 20 数名での全体会合での議論では提言に十分な深みに達せず、「委員会

がより少数（10名以下）のワーキンググループになって初めて機能し始めた」と記しており、こうした UNSGAB のような活動を行う委員会の適正人数と枠組みに関して一つの示唆を与えている。

[WOPs 実現に関する経過とその分析]

WOPs の実施に当たっては運営主体が必要となるため、橋本行動計画発表後 UNSGAB 事務局による国連機関への接触が行われた(UNSGAB, 2006b)。複数の国連機関からホストの申し出があり、検討の結果、水サービスの供給先は都市が主体であることから国連居住計画をホスト組織とすることが概定した。Bert Diphhoorn 国連居住計画担当部長によれば、この後国連居住計画から、内部予算確保や組織設立のために事務方の協議だけでは意思決定出来ないことから、UNSGAB 議長から国連事務総長あてに WOPs を国連居住計画がホストすることを推奨した (UNSGAB, 2006d)、その結果国連事務総長から国連居住計画事務局長に対し書簡が発出され(United Nations Secretary General, 2006)、これを受けて正式に国連居住計画が WOPs をホストすることとなった(UNSGAB, 2007a)。また、WOPs は世界各地域で展開するため地域でも主体的にサポートを行う地域機関の協力が不可欠であるため、UNSGAB 事務局が各地を往訪して地域国際機関に接触した結果、アジア開発銀行等の主要開発援助機関による WOPs の世界展開が始まることとなった(UN-Habitat, 2008; GWOPA, 2011)。

WOPs の実現はボトムアップ型の事務局活動から始まったが、上記のように最終的にはトップからの働きかけで成立しており、実現のための上下からの働きかけという基本構造は他の事例と変わらない(図 3.29)。一方、当初から複数の機関からホストの申し出があったことから(Eid 副議長聞き取りより)、コンセプトそのものが現場のニーズに即していたと考えられる。これは上述のような徹底した議論とスタンスの違う委員の歩み寄りによって、実社会の需要に答えられる現実的な提案が形成された成果だと考えられる。

現時点で WOPs が地球規模での水衛生供給に貢献したかについてはアンケート評点 2.65 と主要施策の中では相対的に低い(図 3.30)。委員の自由意見で「(WOPs の影響については) まだわからない。詳細な調査が必要」「ポテンシャルは巨大だが現時点での貢献は微小である、今後数年の進展を待つ必要がある」との意見が見られるように、今後の経過を更に観察することが必要だとして UNSGAB として現時点でも定期的にホスト機関(国連居住計画)との意見交換を実施している。WOPs の現時点でのインパクトに否定的な A 委員は「WOPs によって活性化が図られた水事業体の数は、地球規模のインパクトを与えたというには少なすぎる。しかしながらこの提案によって UNSGAB が水事業体同士のパートナーシップに大きな後押しを与えたことは間違いがない。今や水事業体のパートナー協力を国連や政府が認識し後押しをするようになり、多数の WOPs が生まれ、現場レベルでは少なからぬ影響を与えることが期待されている。」と述べている。水民営化の議論の中で掻き消されてきた、今ある公共水道事業者をどう改善するかという議論に国際社会の注目を誘導したことなど、現場での実績に加えた国際社会での議論の進展へのインパクトを含め

て、今後の WOPs の地球規模での影響の継続評価が重要となろう。

水事業体パートナーシップの実現働きかけ過程

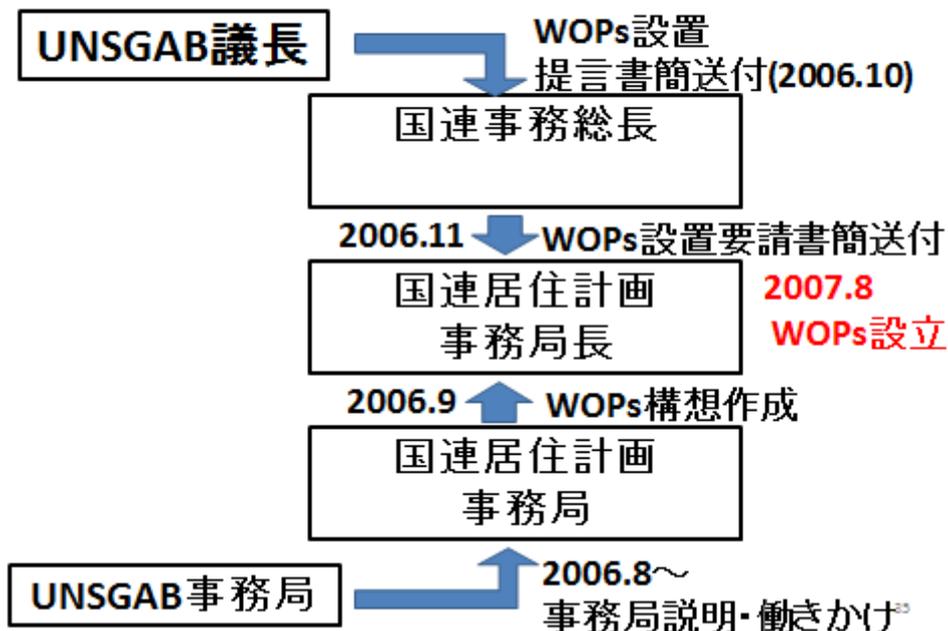


図 3.29 水事業体パートナーシップの実現働きかけ過程

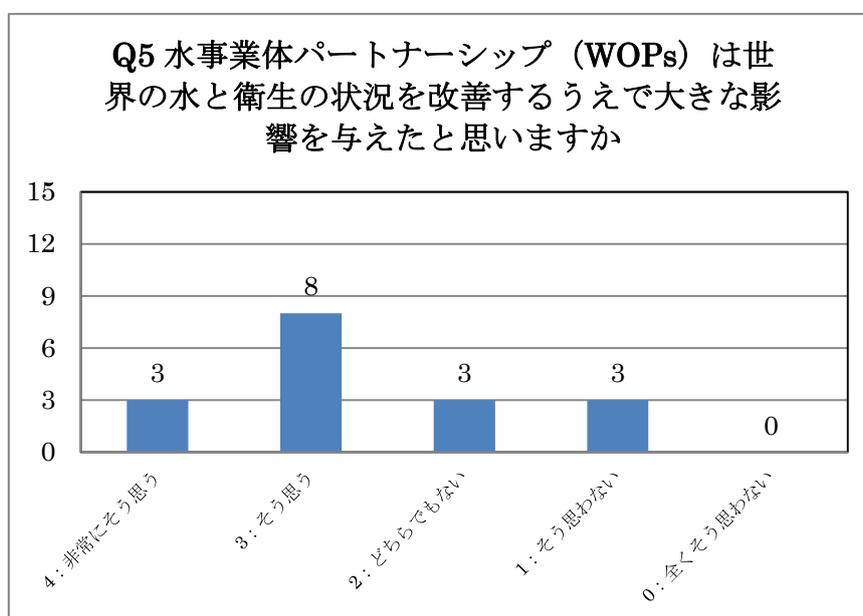


図 3.30 質問 5 評点別回答者数

3.4.4 地域開発銀行との協力書締結

国際水議論の中でも資金調達に関する議論は重要であり、橋本行動計画では開発途上国における水と衛生供給進展のためには、発展途上地域の開発セクターへの資金供給の中心的存在であるアジア開発銀行等の地域開発銀行が、経済社会開発における水・衛生セクターの重要性を認識し、資本投下すべき内容を吟味し、モニターと評価を行ってセクター全体を底上げする必要があるとしている（UNSGAB, 2006a）。この認識のもと UNSGAB として地域開発銀行と政策対話を行い、協力協定書を締結することを橋本行動計画で提言している（UNSGAB, 2006a）。

[提言実現に至る経緯]

この提言項目の実現にあたっては、議長からの書簡発出や関係の深い委員の働きかけと、UNSGAB 事務局と開発水衛生担当部局の協定作成作業を同時進行させている（UNSGAB, 2006b）。また UNSGAB 会合実施時にアジア、アフリカ等の当該地域の水衛生閣僚を招聘し地域開発銀行指導者も出席の上で地域水衛生閣僚対話を実施、各国水衛生部門指導者の意見を反映した協定となるように活動をデザインしている（UNSGAB, 2006c; UNSGAB, 2007a; UNSGAB, 2008）。これによって、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行、米州開発銀行との協定締結を段階的に完了すると同時にそれぞれの銀行の水・衛生部門投資資金量の大幅増がなされている。こうしたことから UNSGAB 委員もこの共同声明を地球規模の影響を与えた活動として評価している（図 3.31 (Q8)）

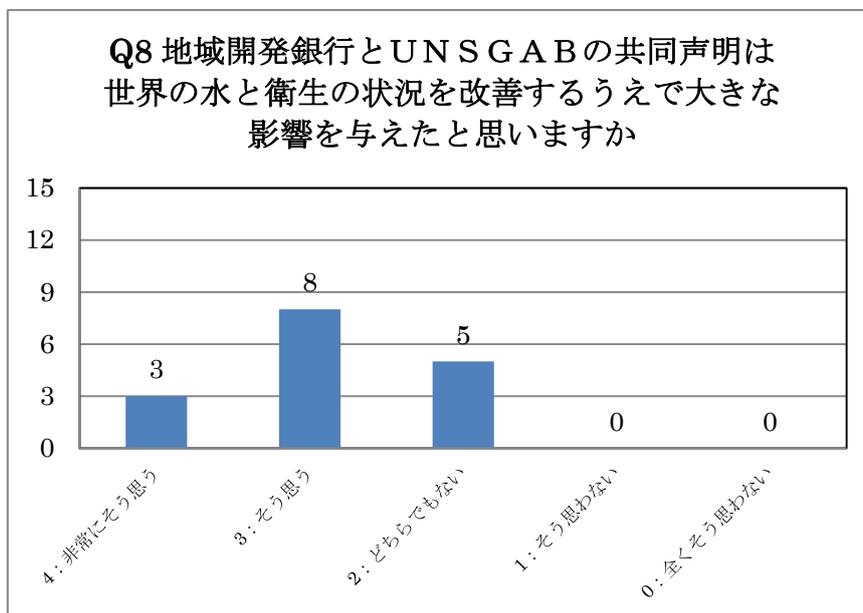


図 3.31 質問 8 評点別回答者数

分析)

地域開発銀行との協定そのものについては働きかけた 3 地域開発銀行とも協定が締結されているため、UNSGAB の働きかけは有効であったと言える。また、同時に地域開発銀行

がそれぞれの中期計画で水・衛生分野への投資を大幅に増加させたこと（アフリカ開発銀行で50%以上増(Water Aid,2007)、アジア開発銀行で3倍増(Asian Development Bank, 2013,)米州開発銀行で約3倍増(Inter-American Development Bank, 2007)は、この活動が地球規模の水衛生改善に好影響を及ぼしている。ただし、投資資金額の目覚ましい増にかかわらず国際衛生年やJMPに比べてUNSGAB委員の評価は高くない。自由意見を見ると「協定締結のタイミングが良かった。」「EU-アフリカ協力基金などがこの協定から生まれた」「地域開発銀行が水衛生分野への資金投資を増やすだけでなく、現地の人々への投資効果を測定するようになった。例えばアフリカでは資金投下が民間資金の誘導や裨益人数の変化に与えた効果を計測するようになった。」との肯定的意見がある一方で「開発銀行の政策に我々が影響を及ぼすに至っていない」「アジア、ラ米については好影響があったが、アフリカでは疑問」といった意見や「おそらく好影響を及ぼしただろうが、UNSGABの影響の程度がどれだけあったかはわからない」といった意見も見られる。この結果この実現項目自体の全体評点はそれほど肯定的ではない（評点2.88）。

経緯にも記述されているように、地域開発銀行との協定締結には議長・副議長・委員の影響力やネットワーク、委員と事務局の連携、事務局の能動的な活動などがフルに活用されて協定実現に至っている一方で、全てが委員会の実力というよりは、働きかけが（開発金融機関の水と衛生への関心のシフトと合致した）時節に丁度符合したとの見方や、あるいは協定の内容が必ずしも委員会の主張を全て取り入れたものではないとの見解が減殺要因となって、協定そのもののインパクトには慎重な評価が与えられていると考えられる。とはいえ、UNSGABとの詳細な合意内容は大幅な投資額増なしには成立しないため、結果として地域開発銀行との協定締結は地域の基幹開発投資機関の政策シフトに影響を与えたことは実態として間違いなく、UNSGAB型の組織が有効に機能する分野の一つを示唆していると言える。

3.4.5 水・衛生協働モニタリングプログラム（JMP）の改善

水・衛生協働モニタリングプログラム（Joint Monitoring Program (JMP)）はWHOとUNICEFが共同で行っている世界の水・衛生に対するアクセスの進捗状況の共同調査で、水と衛生に関する千年紀目標（Millennium Development Goal (MDG)=安全な飲料水と基本的な衛生にアクセスできない人の全人口に対する割合（非カバー率）を2015年までに半減させるという国連全体の目標）の進展を計測する基礎をなしている(UNICEF *et al.* 2004; UNICEF *et al.*, 2014)。千年紀目標そのものは国連において各国の指導者層が政治的に合意した目標であって、その定義や目標の設定理由、達成の見通しなどについて、個々の目標が科学的なデータや厳密な方法論に裏付けられものでは必ずしもない。水と衛生アクセスに関する目標もその例外ではなく、この目標の進捗をモニター・報告しているUNICEF/WHOが後に自ら整理、説明したように(UNICEF *et al.* 2014)、例えば「アクセス半減」の出発年である1990年における水アクセス率の基礎データが存在しない、調査の

方法が各国での個別のサンプル調査から全体を推定する方法であって標本数が不足しており、異なった方法でカバー率を推定する各国の政府の方法とも乖離があるなど、目標設定とそのモニタリング方式に基本的な問題点があった。このため、例えば出発年のカバー率を定めるために後年度のデータ（2年ごとのカバー率の伸率）から出発年のアクセス率を直線的に外挿・逆算して推定するなどの方法がとられ、この結果後年度のデータが蓄積するにつれて、外挿で逆算推定される出発年のアクセス率が変わるなどの問題があった（UNICEF *et al.* 2012）。こうした J M P の問題点及び重要性の認識に基づき（UNSGAB, 2005a）、J M P 改善が橋本行動計画の優先課題として位置付けられた（UNSGAB, 2006a）。

[提言作成に至る経緯]

橋本行動計画発表後、何人かの専門委員が J M P の基本的な問題を抽出し、その問題が全体に与える影響を委員全員で評価した。同時にこの問題を批判するだけでは M D G への批判と不信を増長させるだけで、その達成への貢献にはならないとの合意から、「問題点の批判」から「J M P への支持表明と改善点の提言」へ議論を発展させることとした（UNSGAB, 2006c）。何人かの専門委員が中心となって、J M P との技術的な意見交換を行った。Eid 副議長によればこの際には 10 名以内の委員が集中議論した後に全体会合で包括的論点と方向性を調整するワーキンググループ制度が良く機能した。議論の中心は地球規模でモニターする J M P のデータと各国政府がモニターするデータ間の乖離の是正、各国政府の J M P データに対する信頼の促進、都市域のデータ精度向上（UNSGAB, 2007a）などであった。また、J M P との意見交換による信頼関係の醸成、J M P ワークショップ参加などによる UNSGAB メンバーの J M P 理解の深化などが図られ、この結果 UNSGAB として J M P 評価書作成に参加することになった。これらをもとに J M P のデータセットや調査方法などが改善されることになった（UNICEF *et al.* 2014）。

これらの結果、国際社会からは J M P に対する信頼と評価が向上するとともに、J M P 自体の改善にもつながったと言える。また、これらの過程で委員会が提言した追加データの取得（例えば男女別の水・衛生アクセス率の調査）や方法論の改善（例えば水・衛生のアクセスの定義改善と人々への水衛生サービスの向上につながる詳細な分類）などを J M P が実施するなど（UNICEF *et al.* 2012）、千年紀目標達成に向けた J M P の質的改善と Post-M D G への議論の貢献が図られることになった。これらの成果を収めたことが U N S G A B 委員の同提言項目への高評価にもつながっていると考えられる（図 3.32(Q9)）

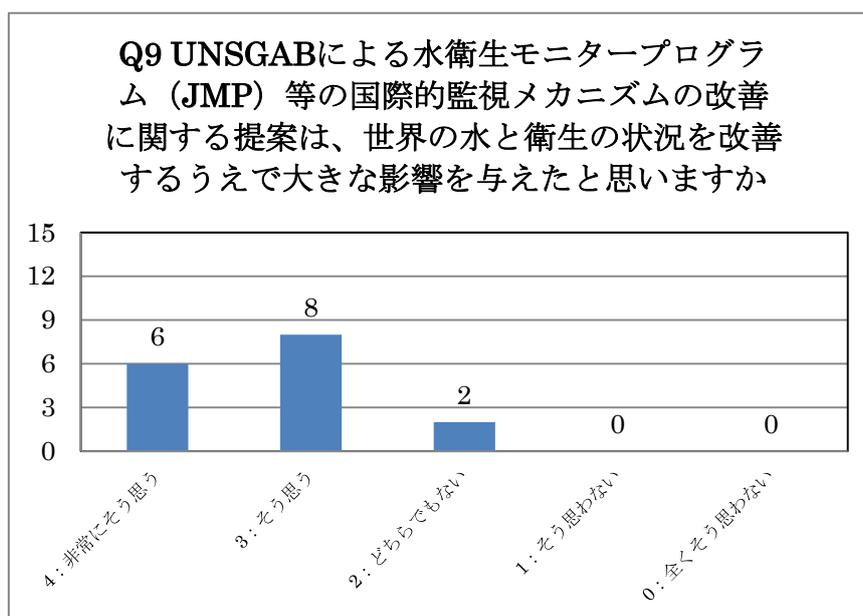


図 3.32 質問 9 評点別回答者数

分析)

上記の経緯にみられるとおり、JMP に関しては橋本行動計画の単なる実現だけではなく、それを通じた千年紀目標へのより深い関与と貢献が図られることになったと言える。これが JMP に対して、実現した地球規模水行動の中で最も高い評価（評点 3.25）が与えられることにつながったと考えられる。この活動を主導した委員の一人は自由意見欄でこう記載している「下記の点で JMP に委員会は多大なインパクトを及ぼしたと考えられる：2008 年までは JMP の統計に多くの政府から疑義が示されていたが、委員会の活動のお蔭で政府が JMP を信頼するようになった。委員会はモニタリングの機構強化を促すことが出来た。委員会は何十億人のより良い飲料水アクセスへのニーズとそのニーズに対する良く見られる過小評価を可視化した。委員会は排水の地球規模でのモニタリングの必要性を可視化した。委員会は水と衛生に関する大国の政府の無関心を可視化した。委員会が世界規模のモニター活動への資金支援を安定化させるのに貢献した」。この一方で他の委員からは次のような意見も寄せられている「JMP の創設そのものは良いアイデアであったがモニターに使っているパラメーターと標準には疑問がある。」「（この提言は地球規模で）極めてインパクトがあったとまでは言えない」こう見てみると委員会全体としては、千年紀目標の技術的な問題点に着目し、関係者と共に改善を達成したことは MDG 自体への信頼を支えるという意味では大きな意義があった一方で委員会に与えられた使命としては地球規模での水・衛生サービスの改善に大きな流れとして貢献することであるので、技術的細部にまで立ち入らざるを得なかったこの活動は、やや特殊である（委員会の本旨からは若干それている）との全体評価であったと考えられる。

この目標が実現に至った要因を、経緯と委員評価を併せて分析すると、事務局として活

動した内容は委員と JMP 事務局のコミュニケーションをサポートした程度であって、他の提言項目に比べて事務局は能動的に活動してはいない。一方で分科会独自の JMP 分析レポートを作成するなど、一部の委員が中心となり極めて精力的に活動・調整を行った結果、上記の成果に至り、結果橋本行動計画の実現にこぎつけている。いわば、分科会が事務局機能の一部代替を果たした形で活動の枠組みは他とほぼ同様、トップダウンとボトムアップの働きかけの同時進行となっている。その点では提言項目実現の仕組みは他の活動項目と同様と考えられる。

3.4.6 国連水賞

国連水賞は橋本行動計画で提言された主要提言項目が実現しなかった数少ない事例の一つである。この経緯を示すと以下の通りになる：

- 橋本行動計画で国連水賞の創設を提言(UNSGAB, 2006a)
- 事務局が水賞のスポンサー候補について調査(UNSGAB, 2006b)
- 事務局がシンガポールの基金をスポンサーとして同定、報告(UNSGAB Synthesis Report of the 6th Meeting, 2006b)
- 事務局が基金事務局と水賞の内容を協議、合意
- シンガポール基金理事会で水賞への拠出を協議、否決
- UNSGABとして国連水賞の創設を断念

上記の実施に当たり、民間基金との協議であることから、国連事務総長や議長の権威等を使ったトップダウンの働きかけは行われなかった。結果的にボトムアップのプロセスは順調に行われたが、基金内の最終決定の際に国連水賞を同基金が拠出することの意義等が議論となり、拠出承認に至らなかった(UNSGAB, 2006c)。なお、その後に国連「命の水 10年(2006-2015)」活動の中で水衛生賞が設置されている。

このケースはボトムアップのみの働きかけが行われトップダウンとボトムアップのプロセスが同時並行に行われなかったケースであり、ボトムアッププロセスを欠いたAU水サミットと結果的には同じく不成立となった(図 3.33)。このことはトップダウンとボトムアップの働きかけの並行実施が橋本行動計画実現の成功要因であることを裏付ける例証といえる。

なお、この提言は国連水賞としては実現しなかったが、これに代わるものとして幾つかの水に関する賞が創設され(例：国連命の水の10年水賞；リークワンユー水賞)、UNSGABとしては国連水賞としては実現していないものの他の賞が創設されたことで提言の趣旨は実現しており、UNSGABとしてはこれ以上の働きかけの必要はないという結論になったとしている(Eid 副議長)。

国連水賞:非実現

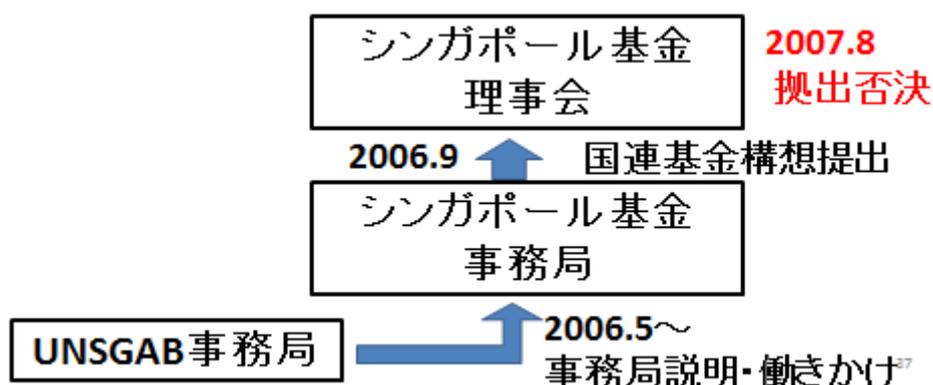


図 3.33 国連水賞実現のための働きかけ模式図

3.4.7 ケーススタディのまとめ

以上 3.4.1 から 3.4.6 で述べた橋本行動計画主要提言項目のケーススタディ結果から橋本行動計画各主要項目の実現活動における実施項目と提言項目実現の成否を取りまとめると表 3.5 のようになる。この表で示すように橋本行動計画実現のための活動においては、アンケート（図 3.2）でより高い評点を獲得した活動がより多く実施され、6 つの主要提言項目のうち 5 項目の実現に至っている。

この中で提言項目が実現されなかった AU 水サミット（前半）と国連水賞のみがトップダウンとボトムアップの同時並行活動を行っていない。前節までに述べたようにアンケート結果からは議長や委員によるトップダウンの働きかけと事務局によるボトムアップの働きかけの同時並行実施が橋本行動計画提言項目の実現に有効に機能しているかを示されたが、ケーススタディの結果このことが実際の活動実績と提言の成否の比較からも裏付けられたと言える。

表 3.5 橋本行動計画主要提言項目実現のための働きかけ活動項目及び実現成否総括表

実施した活動 内容	橋本行動計画中の提案項目							活動 実施 項目 数
	AU水サミット 前半	後半	国際 衛生 年	WOP s	地域 銀行 協定	JMP 改善	国連 水賞	
具体的提案作成	○	○	○	○	○	○	○	7
議長の働きかけ	○	○	○	○	○	○	×	6
事務局働きかけ	×	○	○	○	○	○	○	6
事務局委員連携	×	○	○	○	○	○	○	6
国際機関と連携	×	×	○	○	○	○	×	4
委員の活用	×	○	○	○	×	○	×	4
事務総長の権威	×	×	×	○	×	○	×	2
利害関係者合意	×	×	×	×	×	×	×	0
時間的余裕確保	×	×	×	×	×	×	×	0
大量資金投入	×	×	×	×	×	×	×	0
提案実現の成否	×	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	×	5

3.5 まとめ

地球規模の水問題の解決という目標を掲げて設置された小規模ハイレベル会議（賢人会議）「国連水と衛生に関する諮問委員会（UNSGAB）」について、その基調提言書「橋本行動計画」の主要提言項目実現の成否要因に焦点をあて、アンケート調査及びケーススタディを通じ分析した。この結果以下のことが明らかになった。

- ① 国連水と衛生諮問委員会は、国連事務総長の諮問委員会としての正統性、ハイレベルな委員の国際社会への影響力、委員の国際的な人的ネットワークを特徴（強み）として持っている。
- ② 国連水と衛生諮問委員会は、この特徴を生かして国連総会、国連機関や国際援助機関などのパートナー組織を説得、影響力を行使しパートナー機関が提言を実行することで主要提言項目を実現している。
- ③ 具体的にはまず、趣旨と提言内容を明確化した基調提言書である「橋本行動計画」を作成している。このため既にある多数の提言群の中から最も重要な提言を抽出するとともに過去の提言で不十分な部分は新提言で補い（例：水事業体パートナーシップ設立の提言）、その上で提言の内容、表現、記述を具体化・明瞭化させ、提言を実施すべき機関を指名した上でそれら機関へのアプローチをしている。
- ④ 上記の強みを背景に、地球規模水行動実現のためこの会議体に適したアプローチで地球規模水行動の実現（＝橋本行動計画主要提言項目の実現）を図っている。それは以

下のとおりである：

- 議長や委員のトップダウンによる国際社会の意思決定者への働きかけと事務局のパートナー組織事務方へのボトムアップでの働きかけを同時に行う。
 - このために議長や委員の名声、影響力、人的ネットワークをトップダウンで動員する。
 - 事務局は働きかけのタイミングや働きかけ先などを戦略化し、能動的にボトムアップの働きかけを行う。
 - この際資金や活動時間の大量投入というより、影響力とネットワークを集中的に働かせることによって水行動の実現を達成している。
- ⑤ こうしたアプローチの結果、橋本行動計画で提言された地球規模の水行動が実現されていることがケーススタディにより追跡検証された。

3.6 考察

以上のように、水・衛生問題のような多様で多数の利害関係者が関わる課題について、具体的で実行可能な解決策を提示しようとする場合、十分に多様でハイレベルな少人数の合議体による議論は、意見集約の容易さ、機動性などで有利であり、具体的で実効性のある提言作成を容易にし、場合により意見集約の困難な課題で妥協を可能にするなど、国際的アジェンダを進める上で有効なプロセスとなりうる。

こうした会議体において、利害関係者への広い意見聴取や既往の文献・会議成果の使用など、一般に会議体の提言の正当性や影響力を高め、権威づけるために必要となるプロセスは、提言の実現という観点からは、会議メンバーの地位・名声や会議の位置づけによる権威づけで代替しうる。

意見対立があり意見集約が困難な課題での解決策提言及び実現にあたっては、議論の参加者に利害関係者の代表が含まれており、対立課題を超えた大義への合意など、対立者の妥協を動機付ける過程が組み込まれていることが重要である。また、意見集約ができるだけの人数制限が考慮されていること。グループがその人数を超える場合はワーキンググループによる人数の絞り込みと議論の集約化が有効である。

こうした小規模な会議体に投入される資源（資金的・人的）の多寡は活動の成否に関し、少なくとも決定的に重要ではない。会議体構成員及び事務局の動機づけの大きさの方が投入される資源よりも、結果の成否にとって、より重要である。

国連水と衛生諮問委員会が橋本行動計画の提言を実現させた際の行動パターンは、①提言実現の主体となる基幹パートナー機関の同定、②パートナー機関の意思決定者に対する議長・副議長・委員のトップダウンによる働きかけ、③パートナー機関の事務組織へのボトムアップによる働きかけ、の同時進行であった。また、この行動のためには、委員会及び委員の（国際）社会的影響力と人的ネットワーク、事務局の能動的な働きかけ、委員と事務局の緊密な連携が必要であった。このパターンは少人数ハイレベルの会議体が提言を

実現する上での有効なツールとなり得る。

第3章引用文献

African Union. 2007a. Decisions and Declarations of the African Union Eighth Ordinary Session.

http://www.au.int/en/sites/default/files/ASSEMBLY_EN_29_30_JANUARY_2007_AUC_THE_AFRICAN_UNION_EIGHTH_ORDINARY_SESSION.pdf (参照 2014/02/01)

African Union. 2007b. Decisions and Declarations of the African Union Ninth Ordinary Session.

http://www.au.int/en/sites/default/files/ASSEMBLY_EN_01_JULY_03_JULY_2007_AUC_NINTH_ORDINARY_SESSION_DECISIONS_DECLARATIONS_0.pdf

(参照 2014/02/01)

African Union. 2008a. Decisions and Declarations of the African Union Tenth Ordinary Session.

http://www.au.int/en/sites/default/files/ASSEMBLY_EN_31_JANUARY_2_FEBRUARY_2008_AUC_TENTH_ORDINARY_SESS (参照 2014/02/01)

African Union. 2008b. Decisions and Declarations of the African Union Eleventh Ordinary Session.

http://www.au.int/en/sites/default/files/ASSEMBLY_EN_30_JUNE_1_JULY_2008_AUC_ELEVENTH_ORDINARY_SESSION_DECISIONS_DECLARATIONS_%20TRIBUTE_RESOLUTION (参照 2014/02/01)

Asian Development Bank. 2013. Water for All.

<http://www.adb.org/sectors/water/overview> (参照 2014/04/25). 1

第3回世界水フォーラム事務局. 2003. 第3回世界水フォーラム最終報告書. 第3回世界水フォーラム事務局. 271

GWOPA Secretariat. 2011. Report of the First Biannual Gloal WOPs Congress and GWOPA General Assembly. 20

http://www.gwopa.org/images/stories/wops_congress_2011_master_final.pdf (参照 2014/02/01)

Inter-American Development Bank. 2007. Water and Sanitation Initiative. 34
<http://idbdocs.iadb.org/wsdocs/getdocument.aspx?docnum=35738031> (参照 2014/04/25)

茅根由佳. 2013. インドネシアの首都ジャカルタ水道事業と民営化政策をめぐる攻防—ポスト・スハルト期の政治経済構造の継続と変容—東南アジア研究 51 巻 1 号. 139-161

Ministry of Foreign Affairs of New Zealand. 2013. United Nations Handbook 2013-2014. Ministry of Foreign Affairs of New Zealand. 427.

Permanent Mission of Switzerland to the United Nations. 2011. The PGA Handbook. Permanent Mission of Switzerland to the United Nations. 123

The United Nations. 2008. Charter of the United Nations. The United Nations Department of Public Information. 105p

UN-Habitat. 2008. Global Water Operators' Partnership Alliance Update for UNSGAB (内部資料) . 3

UNICEF; WHO. 2004. Meeting the MDG Drinking Water and Sanitation A Mid-Term Assessment of Progress. 33)

UNICEF;WHO, 2014. Progress on Drinking Water and Sanitation 2012 Update. 55
<http://www.unicef.org/media/files/JMPReport2012.pdf> (参照 2014/04/25)

United Nations General Assembly. 2006. United Nations General Assembly Resolution A/C.2/61/L.16/Rev.1. 2

United Nations General Assembly. 2010. United Nations General Assembly Resolution A/RES/64/292. 2010

UN Secretary-General. 2006. SG's letter to Habitat ED (内部資料) . 2

United Nations General Assembly. Permanent Mission of Switzerland to the United Nations.123p
http://www.unsgab.org/content/documents/HAP_en.pdf (参照 2012/02/01)

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2004a. Chair's Summary, the 1st Meeting of UNSGAB.3

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2004b. Memo of the 1st Meeting of UNSGAB (内部資料).32

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2004c. Chair's Summary, the 2nd Meeting of UNSGAB.3

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2004d. Memo of the 2nd Meeting of UNSGAB (内部資料) .3

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2005a. Chair's Summary, the 3rd Meeting of UNSGAB.3

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2005b. Memo of the 3rd Meeting of UNSGAB (内部資料) .58 .

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2006a Hashimoto Action Plan (HAP1). 12.

http://www.unsgab.org/content/documents/HAP_en.pdf (参照 2014/02/04)

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2006 b. Minutes of Meeting, the 6th Meeting of UNSGAB. 5

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2006c. Minutes of Meeting of the 7th Meeting of UNSGAB. 4

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2006d. UNSGAB Chair's letter to SG (内部資料) . 2

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2007a. Synthesis Report of the 8th Meeting of UNSGAB. 5

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2007b. Draft Proposal on African Union Summit on Water and Sanitation

(内部資料) .3

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2007c. Draft Chair's letter to Head of African Countries (内部資料) . 2.

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2007d. Draft Proposal on African Union Summit on Water and Sanitation. (内部資料)

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2008. Synthesis Report of the 9th Meeting of UNSGAB. 8

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2014. <http://www.unsgab.org/index.php?menu=233> (参照 2014/02/14)

UNSGAB Secretariat. 2007. Mission Report17/07/2007-(内部資料). 2

Water Aid. 2007. The African Development Bank and the water and sanitation sector. 32. <http://www.wateraid.org/~media/Publications/african-development-bank.pdf> (参照 2014/04/25)

Weis, Thomas G.; Daws, Sam. 2008. The Oxford Handbook on the United Nations. Oxford University Press. 806p

4. 国際会議プロセス「世界水フォーラム」の会議構造、それによる地球規模水行動実現へのアプローチ及びその成否に関する分析

地球規模の水問題の解決という目標を掲げて世界最大規模の会議となった「世界水フォーラム」について、その会議構造を分析するとともに、世界水フォーラムが地球規模水行動実現のためにどのようなアプローチを用いているか及びその成否（＝実際に地球規模行動が実現しているか）について主催者アンケート及び追跡検証により分析する。

4.1 世界水フォーラムの概要

4.1.1 世界水フォーラムとは

世界水フォーラムは 3 年に 1 回、水に関係する様々な利害関係者が一堂に会し、水に関する議論と行動を促進する世界最大規模の国際会議プロセスである。世界水フォーラムは国際 NGO である世界水評議会（1996 年設立）により提唱され、発足した（第 3 回世界水フォーラム, 2003）。今回調査対象とした第 2 回水フォーラム以降の世界水フォーラムは 1 回の参加者数が約 20,000 人超（第 2 回フォーラムのみ 6,000 人）である(HRH The Prince of Orange *et al.*, 2000; World Water Council, 2000; Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003a; Secretariat of the 4th World Water Forum, 2006a; Secretariat of the 4th World Water Forum, 2006b; Secretariat of the 5rd World Water Forum, 2009; Secretariat of the 6th World Water Forum, 2012)。最大のものは第 3 回世界水フォーラムで登録参加者数（本体フォーラム及び閣僚会合参加者の合計）24,000 人、水フェア参加者数 20 万人で合計 224,000 人が水フォーラムに参加している（第 3 回世界水フォーラム, 2003）。なお、第 1 回世界水フォーラムはいわゆる通常の水専門家による一般的会合であって、参加者総数も 500 名と中小規模であり(World Water Council, 2014)、今回調査が対象としている大規模国際会議の範疇からはずれるため調査対象から除外している。世界水フォーラムには毎回約 1 千名を超える報道機関が登録する、世界最大規模の水に関するメディアイベントでもある(Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003b)。

4.1.2 世界水フォーラムの構成

世界水フォーラムが大規模化した第 2 回フォーラムが「水フォーラム会合本体」、「閣僚会合」、「水フェア」の 3 本柱で構成されて以降(World Water Council, 2000)、全ての世界水フォーラムはこの基本構成を踏襲している(Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003a; Secretariat of the 4th World Water Forum, 2006; Secretariat of the 5rd World Water Forum, 2009; Secretariat of the 6th World Water Forum, 2012)。また、第 3 回フォーラムの基本理念「全ての人に開かれたフォーラム、全ての人々が参加するフォーラム、ビジョンから行動へ」で言及されたように（第 3 回世界水フォーラム, 2003）、世界水フォーラムは自由参加の原則によって組織運営されている。特に発展途上国からの参加の障害を取り除くために主催者は発展途上国からの登録費用低減に加えて、地域開発銀行や国際

機関の協力を得てこれら参加者の出張費用のファンドレイズに取り組んできている。(第3回世界水フォーラム, 2003)

4.1.3 世界水フォーラムの運営

歴代世界水フォーラムはホスト国とWWCが共同して開催運営している。資金面ではその殆どをホスト国が負担することから、運営上の実際は実態上ホスト国が握っている。運営の意思決定は国際運営委員会と国内運営委員会の2本立てでなされているが、実務上の計画運営はホスト国におかれる世界水フォーラム事務局が担っている(Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003a; Secretariat of the 4th World Water Forum, 2006; Secretariat of the 5th World Water Forum, 2009; Secretariat of the 6th World Water Forum, 2012)。

4.2 世界水フォーラムの会議構造、世界水フォーラムによる地球規模水行動実現へのアプローチ及びその成否に関するアンケート調査結果

4.1 で述べたように世界水フォーラムは水に関する議論を行う世界最大規模の会議プロシスであるが、他の会議プロセスと比べてどのような会議構造上の特徴を有しているだろうか。また、その特徴をもとにどのようにして地球規模水行動実現にアプローチしているだろうか。本節ではこれらについて主催者アンケート結果をもとに分析する。

4.2.1 主催者アンケート質問票

アンケートはフォーラムが大規模化した第2回から第6回までの世界水フォーラムを組織運営した最高責任者である歴代世界水フォーラム事務局長(ホスト国)に対して対面又は書面で行った(第5回フォーラムは副事務局長が実質指揮者だったため副事務局長)。アンケート対象を事務局長に絞った理由は、歴代水フォーラムの組織運営の権限が事務局長に集中しており、フォーラム運営の政策面、運営方針、他機関との調整などは事務局長が一義的に決定する立場にあるため(HRH The Prince of Orange, 2000; Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003a; Secretariat of the 4th World Water Forum, 2006; Secretariat of the 5th World Water Forum, 2009; Secretariat of the 6th World Water Forum, 2012)、本調査の狙いである水フォーラムの運営方針や構造設計、他の議論プロセスや組織間調整についての詳細を、背景を含めて把握・説明できる唯一者であることによる。なお、第6回フォーラムはWWCの本拠地(マルセイユ)で開催され実質的にもWWCと主催国との協働運営という形式を取ったため、全体の指導的立場にあったWWC会長(当時)及び準備活動に関わったWWC理事1名にアンケートを行った(評点については両者の平均点とした)。また、全体の参考意見としてWWC会長経験者(第4回フォーラム時)にもアンケートを行い、その自由意見を分析上の参考とした。

アンケート調査を表4.1に示す。質問項目は下記に分類される：

- 世界水フォーラムの特色及び優位性に関する主催者の認識
- 世界水フォーラム開催の狙いと優先順位
- 世界水フォーラムによる世界水行動促進のアプローチ
- 世界水フォーラムが国際水議論プロセスと水行動に与えたインパクト

表 4.1 世界水フォーラム主催責任者へのアンケート質問票

Questions on the previous Forums
The World Water Forum you mainly refer to below is WWF () (Put number 1-6 in ())
Q1 Do you think that WWF contributes to raising global awareness of water issues? If yes, are there any concrete examples?
Q2 Do you think that Forum is politically influential because they are continuous process (that happen every 3 years)?
Q3 Do you think that your Forum has affected water discussion after the Forum? If yes, are there any concrete examples?
Q4 How did the Forum organizer try to realize global/regional/national/community actions in your Forum in the following ways? (Strong emphasis: Score 5 through No emphasis: Score 1. Put your score in ())
➤ By urging governments and organizations to announce new commitment Your score ()
➤ By gathering and disseminating good practices by governments and stakeholders Your score ()
➤ By bringing in various stakeholders/age groups to highlight their roles in solving issues Your score ()
➤ By producing or high-quality paper/concept on specific topics Your score ()
➤ By making consensus to establish new initiatives and programs Your score ()
➤ By urging binding consensus/agreements among governments and/or stakeholders Your score ()
➤ By forging compromise/agreement among conflicting opinions/views on specific topics Your score ()
➤ By announcing assertive clear message on specific topics and/or to specific

organizations

Your score ()

➤ By doing the followings

Q5

What did your Forum do to promote global/regional/country actions? What were the results of those actions? Are there monitoring process?

Q6

Did you put priority in the following items in organizing your Forum (High priority: Score 5 ; Low priority: Score 1 ? What are the results? Put your score in ().

Number of participants: Priority()

Number of Ministers and high officials: Priority()

Number of concrete commitments: Priority()

Number of coverage by media: Priority()

Number of high quality papers: Priority()

Consensus of stakeholders/participants in specific water topics: Priority()

Consensus of governments on specific water topics: Priority()

Q7

Do you think that your Forum has contributed to specific global/regional actions on water issues? If yes, what are they?

Q8

What discussion process did you continue from the previous form?

Q9

What process did you newly start in your Forum? Why did you start them?

Q10

What are difference between WWF and UN water conferences? What are advantages of WWF? What are advantages of UN conferences?

Q11

Are there any regional/international process that started as follow-up of your Forum? What are they and how are they related to your Forum?

4.2.2 世界水フォーラムの国連会合との違いー開放性と拘束力の不在ー

世界水フォーラムの位置づけが議論されるときにしばしば参照されるのが国連の水関連会合である。アンケートではこの国連会合と世界水フォーラムの違いについて質問している：

質問10 (Q10) : 「世界水フォーラムと国連の水関連会合の違いは何か。」

この結果を表 4.2 に示す。なお、これ以降の表でWWFとある表記は世界水フォーラム(World Water Forum)を表す。例えばWWF 2は第2回世界水フォーラム主催者の意見であることを示す。

表 4.2 質問 1 「世界水フォーラムと国連の水関連会合の違いは何か」 回答

注：WWF とある表記は世界水フォーラム(World Water Forum)を表す。

回答者	回答
WWF2 2000 年	<p>国連のプロセスはあらかじめ定められた課題に関する合意文書を政府代表が交渉し合意文書とするフォーマットが定められており、それ以上でもそれ以下でもない。政府以外のその他利害関係者はサイドイベントで発表を行うだけで議論に参加しているとは言えない。これに対して世界水フォーラムはあらゆる利害関係者が参加して、何が今の課題か誰が議論に参加すべきかを自由に提言し、その結果地域や国際プロセスが始まるきっかけづくりとなるものである。例えば、第 2 回フォーラムではアフリカの水が議論の焦点となった結果、UNEP が推進役になるなどしてアフリカ連合の傘下にアフリカによるアフリカの水問題の解決をめざした常設機関であるアフリカ水閣僚評議会（AMCOW）が設置されることとなった。また、MDG/SDG など持続可能な開発や貧困撲滅といった水に密接に関連する議論を国連で行う場合、それに対して水関係者が様々な提案や意見表明を行い、影響を行使する戦略を行い、水セクター全体としての圧力形成を行う場として機能している。</p>
WWF3 2003 年	<p>国連会合は政府主体で行われるのに対し、世界水フォーラムはマルチステークホルダー主体で行われる。国連会合はその会合の結論（国連決議）が主要な成果物であって、それ自体で議論と成果が完結するのに対して、世界水フォーラムは新たな提言、課題の論点整理や成功・失敗経験が共有されることにより、又、次の論議プロセスが発議され新たな問題提起がなされることにより、フォーラム以降の関係会議に繋がることで初めて会議としての効果が発揮される。</p>
WWF4 2006 年	<p>世界水フォーラムは全ての水行動者のためのオープンスペースである。水フォーラムは水問題に関心を有する何千人もの関係者を集め、それぞれの分野において政府の意見と非政府の意見を対照する場でもある。水フォーラムで提供する場は融合的(inclusive) な議論を図るだけの十分な規模がある。水フォーラムはフィルムや音楽、劇場、ジェンダー、子供などが公式の会議と論議と共存する環境を提供することによって、専門家の識見が多くの人と共有されるパーティーである。水フォーラムの決議は強制力を持つことはない。</p> <p>国連の会議はより形式的である。その会合は政府代表からなり、非政府の参加は例外的である。会場は多数の人々が参加できるほど大きくはない。会議の参加条件は厳しく、人々に参加を躊躇させる。国連会議の重要性は決議に強制力がありうることである。</p>
WWF5 2009 年	<p>世界水フォーラムでは正反対の議論を戦わせることが推奨されるが、国連の会合は論点が狭い。世界水フォーラムには子供や若者のフォーラムが含まれる。</p>

WWF6 2012年	<p>国連会合に比べて世界水フォーラムは参加者を拒まない開かれた会議である。世界水フォーラムには普通の市民が参加できるのに対し、国連会議への参加は政府代表に限られる。</p> <p>世界水フォーラムの方がより強力に専門家と利害関係者の対話を促進している。また、より開放性が高い。技術側と政治側の対話改善により近づいている。国連プロセスの利点は公式な宣言を作成することのみである。</p>
---------------	---

この回答から共通する国連会合から比較した世界水フォーラムの特徴を抽出すると以下の通りとなる。

① 水フォーラムの開放性と多数の利害関係者の参加

アンケートに回答した世界水フォーラム主催者の殆どが、世界水フォーラムの特徴として多数の利害関係者の参加を挙げている。「国連会合は政府主体で行われるのに対し、世界水フォーラムはマルチステークホルダー主体で行われる。(WWF 3)」、「世界水フォーラムはあらゆる利害関係者が参加して、何が今の課題か、誰が議論に参加すべきかを自由に提言し、その結果地域や国際プロセスが始まるきっかけづくりとなるものである。(WWF 2)」、「国連の会議はより形式的である。その会合は政府代表からなり、非政府の参加は例外的である。会場は多数の人々が参加できるほど大きくはない。会議の参加条件は厳しく、人々に参加を躊躇させる。(WWF 4)」、「世界水フォーラムの方がより強力に専門家と利害関係者の対話を促進している。また、より開放性が高い。技術側と政治側の対話改善により近づいている。(WWF 5)」といったように、各主催者は会議の開放性と多数の利害関係者の参加を水フォーラムの特徴としている。更に第4回世界水フォーラム主催者はその特徴と機能を次のように述べている「世界水フォーラムは全ての水行動者のためのオープンスペースである。水フォーラムは水問題に関心を有する何千人もの関係者を集め、それぞれの分野において政府の意見と非政府の意見を対照する場でもある。水フォーラムで提供する場合は融合的(inclusive)な議論を図るだけの十分な規模がある。」このように全ての水フォーラム主催者がフォーラムの大規模性・開放性とそれに基づく多数の利害関係者の参加に水フォーラムの優位性を見出している。

② 水フォーラムにおける合意形成フォーマットと議決拘束力の不在

一方、水フォーラムには参加者が合意した、合意形成のためのルールが存在しないこと、それにも関連するが合意や議決に拘束力がない事をフォーラム主催者は共通して認めている。「国連のプロセスはあらかじめ定められた課題に関しての合意文書を政府代表が交渉し合意文書とするフォーマットが定められており、それ以上でもそれ以下でもない。(WWF 2)」、「国連プロセスの利点は公式な宣言を作成することのみである。(WWF 5)」、「国連会議の重要性は決議に強制力がありうることである。(WWF 4)」など、合意の形成という観点から国連関係会議の水フォーラムに対する優位性を認めている。

それでは、合意形成の前提が無い水フォーラムが他の議論プロセスや行動にどのような過程で影響を及ぼすのだろうか。「世界水フォーラムでは正反対の議論を戦わせることが推奨されるが、国連の会合は論点が狭い。(WWF 5)」、「国連会合はその会合の結論(国連決議)が主要な成果物であって、それ自体で議論と成果が完結するのに対して、世界水フォーラムは新たな提言、課題の論点整理や成功・失敗経験が共有されることにより、次の論議プロセスが発議され新たな問題提起がなされることにより、フォーラム以降の関係会議に繋がることで初めて会議としての効果が発揮される。(WWF 3)」など、利害関係者など多数の参加者から自由な提言がなされ、その後の議論に繋がっていくこと、フォーラ

ムと関連付けられた他の会議で具体的なフォローアップがなされていくこと、水以外の他の会議プロセスにも成果が波及し世論圧力をかけるといった、フォーラムへの注目度を背景に特定課題への賛否の議論や新しい提言、共有化された経験等がフォーラムに参加した他の行動主体やフォーラムと関連づけられたイニシアティブ・会議プロセスに継承され行動へつながっていくことで影響力を行使することによって、具体的な行動や成果につながっていくとしている。例えば、第 2 回世界水フォーラム主催者は具体的な事例として次のように述べている：「(国連会合では) 政府以外の利害関係者はサイドイベントで発表を行うだけで議論に参加しているとは言えない。これに対して例えば、第 2 回フォーラムではアフリカの水が議論の焦点となった結果、UNEP が推進役になるなどしてアフリカ連合の傘下にアフリカによるアフリカの水問題の解決をめざした常設機関であるアフリカ水閣僚評議会が設置されることとなった。また、MDG/SDG など持続可能な開発や貧困撲滅といった水に密接に関連する議論を国連で行う場合、それに対して水関係者が様々な提案や意見表明を行い、影響を行使する戦略を行い、水セクター全体としての圧力形成を行う場として機能している。(WWF 2)]、

このように世界水フォーラムは、特に国連関係会合と対比して会議の開放性と多数の利害関係者の参加に特徴があり、議決や合意の拘束性がないものの、その代償として自由な提言、他の議論プロセスや行動主体とのより自由な連携を期待でき、拘束力のある議決に代わる影響力行使の手段として、水フォーラムへの注目度を背景とした参加機関の自発的行動やフォーラムと関連付けられた議論プロセスとの自由な連携を通じて国際社会の世論形成と行動の促進を図っていると言える。

4.2.3 フォーラムの継続性と新規性

世界水フォーラムの特徴としてその大規模性と注目度の高さに加えて、開放性と決議・結論の非拘束性があり、そのことを主催者が同会議の強みとして十分認識していることを前節で示した。次に水フォーラムのもう一つの特徴である継続性について同様の検討を行った。アンケートでは下記の質問を行っている。この結果を表 4.3～4.5 に示す。

質問 2 (Q 2)： 世界水フォーラムは経年的に開催される会合であるがゆえに、政治的影響力のある議論プロセスになったと思うか (表 4.3)

質問 8 (Q 8)： どのような議論プロセスを前回フォーラムから継続したか (表 4.4)

質問 1 1 (Q 1 1)： フォーラムの開催後始まった地域・国際議論プロセスはあるか。ある場合それはどのように水フォーラムと関係しているか (表 4.5)

表 4.3 質問 2 「世界水フォーラムは経年的に開催される会合であるがゆえに政治的影響力のある議論になったと思うか」 回答

回答者	回答
WWF2 2000 年	はい：ジャーナリストフォーラムが開催されて大規模な水に関するメディアデータベースが作られ、それがWWF 3で活用された。「水の安全保障」がフォーラム閣僚宣言文で盛り込まれ、その後のフォーラムでの言及を経て国際水社会の共通のスローガンとなった。
WWF3 2003 年	はい：第 2 回フォーラムで発表された水ビジョンを受けて、ビジョンから行動へ議論の軸足を移すことが第 3 回フォーラムの課題となった。このため、第 3 回世界水フォーラムでは「全ての人に開かれたフォーラム」「全ての人に参加するフォーラム」「ビジョンから行動へ」をフォーラムの基本理念とした。この全員参加型で具体的な水行動を促す理念は、「バーチャルフォーラム」の創設、「水行動コンテスト」の開催、「世界水行動集」の編纂、「水の声」活動などで具体化され、その結果各国各地域での具体的な行動を促すことがその後の世界水フォーラムの継続的な目標（或いは水フォーラムの存在理由）となっていた。
WWF4 2006 年	はい：私（事務局長）自身の経験から言えば、人々は世界水フォーラムが終わった瞬間に次の世界水フォーラムに向けて活動を始める。これは世界水フォーラムには政府だけでなく多様な役割の人々が関わっているからである。世界水フォーラムは公式・非公式な演説で引用される。政府は世界水フォーラムを一つのフレームワークと見做し、そこで引き出された主要提言に沿って水のプログラムを構成しようとする。
WWF5 2009 年	はい：継続性は重要である。WWC（世界水会議）もこの点は良く理解をしており、各フォーラムでなされたコミットをフォローしなければいけないと考えている。
WWF6 2012 年	はい 世界水フォーラムの特徴の一つは水と環境に関する意思決定者を一堂に集める最大の会合だということである。世界水フォーラムはこの規模の会議としては唯一、全ての人に開かれた会議である。 世界水フォーラムには水問題の解決を前進させる全ての関係者が集合する。政策決定者（政府関係者、国会議員、地方・地域機関指導者）、国連機関、技術機関、民間・市民社会が、それぞれの自己表現ができる形式で意見交換を行う。彼らは利害関係の分野ごとにそれまでに必ずしも行われていなかった方法（例えば第 6 回世界水フォーラムでは政府、国会議員、地方首長の 3 者対話を行った）で議論する。他の国際会議ではこのようなことは不可能で

	<p>ある。</p> <p>更に、世界水フォーラムのコンセプトは回を追うごとに進歩している。世界水フォーラムの開催される1週間はそれ以前の2年間にわたり展開されたプロセスの集大成である。この新しいコンセプトはより政治的であり、より一般市民向けであり、より地域志向である。</p> <p>世界水フォーラムは回を追うごとに「水外交」に向けて進化し、政治代表の参加が増加してきている。</p> <p>世界水フォーラムでなされる約束は長期的プロセスの一部で具体性が無ければ意味がない。3年ごとの世界水フォーラムの開催はなされた約束が果たされるか監視することを可能にし、水問題の解決を政治的課題の中心に据え続けることを可能にする。</p>
--	--

表 4.4 質問 8 「どのような議論プロセスを前回世界水フォーラムから継続したか」 回答

回答者	回答
WWF2 2000年	第1回世界水フォーラムで提言された世界水ビジョンを作成し、第2回フォーラムで発表した。
WWF3 2003年	フォーラム会合、閣僚会合、水フェアという世界水フォーラムの3大要素は第2回フォーラムから踏襲した。CNNといった国際メディアの公的広報を通じて水と世界水フォーラムへの関心を高めるプロセスは前回フォーラムに倣った。
WWF4 2006年	第3回世界水フォーラムの議論の主要課題の殆どは第4回フォーラムに引き継がれた。第4回世界水フォーラムではローカルアクションに力点が置かれたものの、分野課題的には水と衛生、ガバナンス、資金調達などは第3回と同じように主要課題として存在した。
WWF5 2009年	越境水の問題は世界水フォーラム後も継続的に議論を行っている。
WWF6 2012年	<p>世界水フォーラムはもはや単独のイベントではない。準備プロセスやフォローアップは世界水フォーラムそのものの一部となった。イスタンブールやその前のフォーラムで始められた議論は自然と継続された。イスタンブール合意やメキシコフォーラムの水と人権宣言の進捗が分析された。全般的に言えば、第6回世界水フォーラムのテーマの主要部分はそれ以前のフォーラムからの継続であったと言える。第6回世界水フォーラムで選ばれたテーマの枠組みは下記のとおりであり、以前のフォーラムの路線に沿っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 全ての人の水へのアクセスの保障と水の人権 1.2 全ての人への改善された衛生へのアクセス 1.3 水と衛生を通じた衛生と保健の向上 1.4 水に関する脅威と危機の防止と対応 1.5 水を通じた協力と平和への貢献 2.1 統合管理による異なる水利用の調整 2.2 水の最適利用による食糧安全保障への貢献 2.3 水とエネルギーの調和 2.4 緑の成長と生態系の価値促進 3.1 水資源と生態系の質向上 3.2 人間活動の水に対する圧力と影響の調整 3.3 都市化する社会における気候及び地球規模変化への対応 CS1 良いガバナンス CS2 全ての人々への水供給のための資金調達 CS3 良い条件の形成

表 4.5 質問 11 「フォーラムの開催後始まった地域・国際議論プロセスはあるか。ある場合それはどのように水フォーラムと関係しているか。」 回答

回答者	回答
WWF2 2000年	世界水ビジョンの作成に併せて地域水ビジョンを作成した。この過程で水ビジョン作成のための地域会合を開催した。
WWF3 2003年	<p>第3回水フォーラムのフォローアップとして新たにアジア太平洋水フォーラム（APWF）が設立され、アジアの水問題に関する議論を政治レベルに高めることになった。</p> <p>また、第3回世界水フォーラム自体はフォーラム準備期間の3年間全体が世界水フォーラムの議論プロセスであるというコンセプトを新たに提示し、地域議論プロセスとして多くの地域会合を開催、連携した。世界水フォーラムの位置づけを単体の会議から経年的な議論プロセスに転換したという意味で大きな意味があった。この地域プロセスはその後の水フォーラムでも継続され世界水フォーラムの大きな特徴となっている。</p> <p>この副次効果として協力機関であった世界水パートナーシップ（GWP）の会員数・勢力が急成長することによって世界の水ネットワークが強化されることにもなった。地域活動がADB他の地域開発銀行などの多様な資金を使って行ったことでこうした開発援助機関などの組織内部の活性化・意識高揚にもつながった。</p>
WWF4 2006年	それぞれの世界水フォーラムは前回フォーラムから引き継いだ部分もあればオリジナリティーを発揮する部分もある。世界銀行にイスタンブールフォーラムの支援を要請されたが、確かに第4回フォーラムが第3回フォーラムに影響を受けたように第5回フォーラムが第4回フォーラムに影響を受けた部分はあった。
WWF5 2009年	イスタンブール水合意及び国会議員ヘルプデスク。それらはイスタンブール水フォーラム及び第6回、第7回水フォーラムでもフォローされている。
WWF6 2012年	世界水フォーラムを繋いで行われる活動例として、OECDによって始められた水カバナンスイニシアティブが挙げられる。

質問2の回答結果(表4.3)によれば、全ての世界水フォーラム主催者が世界水フォーラムは経年的に開催される会合であるがゆえに政治的に影響力のある議論プロセスになったと考えている。これについて第4回水フォーラム主催者は:「私(事務局長)自身の経験から言えば、人々は世界水フォーラムが終わった瞬間に次の世界水フォーラムに向けて活動を始める。これは世界水フォーラムには政府だけでなく多様な役割の人々が関わっているからである。世界水フォーラムは公式・非公式な演説で引用される。政府は世界水フォーラムを一つのフレームワークと見做し、そこで引き出された主要提言に沿って水のプログラムを構成しようとする。」と述べ、世界水フォーラムが多くの水に関する国際活動のメルクマールとなっていることを指摘している。同様に第3回世界水フォーラム主催者は、「第3回世界水フォーラムはフォーラム準備期間の3年間全体が世界水フォーラムの議論プロセスであるというコンセプトを新たに提示し、地域議論プロセスとして多くの地域会合を開催、関係者と連携した。世界水フォーラムの位置づけを単体の会議から経年的な議論プロセスに転換したという意味で大きな意味があった。この地域プロセスはその後の世界水フォーラムでも継続され世界水フォーラムの大きな特徴となっている。」と述べ、世界水フォーラム開催間に継続的に実施される地域プロセスにより議論の通年化が図られ、結果世界水フォーラムが国際水議論の継続発展を担保していると指摘している。

質問8の回答によれば、各世界水フォーラム主催者は理念だけでなく具体的なプログラムが前回水フォーラムから継続して実施されていると指摘している。4.1でのべたように歴代フォーラムが継続的に水フォーラム本体会合、閣僚会合、水フェアの3本柱で継続的に構成されているが、アンケート結果からはその他に歴代水フォーラムを通じて継続されている具体的なプログラムとして「ジャーナリストフォーラム」「国際メディアを使った広報」「国会議員ヘルプデスク」などを挙げている。第3回水フォーラム主催者は具体的なプログラムの実施を通じこうしたフォーラムのプログラムが切れ目なしに実施されることにより、「各国各地域での具体的な行動を促すことがその後の世界水フォーラムの継続的な目標(或いは水フォーラムの存在理由)となっていく。」と述べ、プログラムの継続実施が世界水フォーラム理念の継承にもつながったと指摘している。

更に世界水フォーラムのフォローアップとしてアジア太平洋水フォーラム(APWF)やイスタンブール水フォーラムが設立され、地域の水問題に関する政治レベルの議論の高揚につながったことも「議論の継続性の地域への伝播」として指摘されており、更に「世界水フォーラムの協力機関であった世界水パートナーシップ(GWP)の会員数・勢力が急成長することによって世界の水ネットワークが強化されることにもなり、地域活動がアジア開発銀行他の地域開発銀行などの多様な資金を使って行われたことでこうした開発援助機関などの組織自身内部の活性化・意識高揚にもつながった。」など世界水フォーラムの成果が地域レベルの政治意識高揚や世界の水ネットワーク強化にも波及していったとの指摘がなされている。

このように主催者は、世界水フォーラムは3年に1回の開催という会議開催形式を通じ、

参加者に対し継続的で大規模な議論の場とプログラムを提供することにより、地域での議論を含む国際議論に政治的影響力を行行使してきていると認識しており、またその例証として具体的な多数の例示がなされていることから、世界水フォーラムの継続性はその影響力の地球規模での確保に寄与していると考えられる。

次に世界水フォーラムの議論プロセスにおける新規性についてアンケートで次の質問をしている。この結果を表 4.6～4.7 に示す。

質問 9 (Q 9) : 其々の世界水フォーラムでどのような議論プロセスを新しく始めたか (表 4.6)

質問 5 (Q 5) : 各世界水フォーラムで世界・地域・国レベルの行動を促すために何がなされたか。それらの行動の結果は何か。それらのモニタリングプロセスはあったか (表 4.7)

表 4.6 質問 9 「其々の世界水フォーラムでどのような議論プロセスを新しく始めたか」 回答

回答者	回答
WWF2 2000 年	第 1 回のフォーラム会合本体に加えて新たに閣僚会合と水フェアをフォーラム行事に加えた。これにより水フォーラムの政治的影響力、参加者数、メディアの関心が飛躍的に高まることになった。
WWF3 2003 年	<p>フォーラムを琵琶湖淀川水系の 3 都市（京都、大阪、滋賀）で開催するという試みは、水問題は水系で考えるべきであるというメッセージを発信するための新しい仕掛けであった。</p> <p>閣僚会合とマルチステークホルダーの対話を新たに運営した。これは閣僚（数十人）と専門家・民間・NGO等様々な水関係者がブレインストーミングを行うものである。この対話は水政策トップの閣僚と利害関係者が平場で会話をする初めての試みであった。この中では地方の言語しか話せない地元の人が閣僚と英語と共通国語と地元言語間で 2 人の通訳を介して閣僚と直接対話するなど、参加者が率直に自己表現し、目の前の問題と解決策を共有化することに大きな意味があった。この会議はフォーラムの対話形式を拓けるとともに、コンセンサス作りに向けたアプローチの選択肢を増やすという意味で成果があった。</p>
WWF4 2006 年	<p>第 4 回水フォーラムでは、様々な課題の文書作成のために著名な専門家が招かれた。この『灯台』（Beacon）と呼ばれる専門家たちは第 4 回水フォーラムで重要な役割を果たした。フォーラム事務局はこの Beacon の活動にそれほどの負担を払うことはなく、専ら専門家自身の時間及び労力負担によって課題文書の作成がなされていった。また、フォーラム初期においては課題文書だけでなく地域文書の作成にも莫大な努力が払われた。フォーラムの主要活動の結果はフォーラムの最終報告書の基礎として使われた。こうした様々な文書はフォーラム最終報告とは別に編纂された。参加者の全てのローカルアクションを集めたデータベースも作成された。</p> <p>こうした多様な文書が作成された理由は、多くの人々が当時 IT 情報へのアクセスが出来ない状況であったため、参加者の豊富な経験を文書記録として保存する意味合いがあった。</p>
WWF5 2009 年	イスタンブール水合意及び国会議員ヘルプデスク。
WWF6 2012 年	解決の時間ともいえるべき第 6 回世界水フォーラムは議論を越え、実際的で複製可能な解決策を提示することを目指した。良い事例の交換の場である解決プラットフォームは第 6 回世界水フォーラムでの大きな成功を収めた活動の一つで、1,400 以上の解決策を収めている。次回フォーラムでもこれを継続するため、WWC がこれを引き続き管理している。

もう一つの新しい試みは解決村で、解決策が展示され実際に活動している場所である。WWCはこれについても将来のフォーラムで継続するよう希望している。

先に述べたルーツと市民も新しい試みで、第6回世界水フォーラムプロセスを通じて市民社会のアプローチが政策とプロジェクトに活かされ、市民社会のフォーラムへの参加と貢献が保証されるよう図る場である。

表 4.7 質問 5 「各世界水フォーラムで世界・地域・国レベルの行動を促すために何がなされたか。それらの行動の結果は何か。それらのモニタリングプロセスはあったか」 回答

回答者	回答
WWF2 2000年	世界水ビジョンが発表されるとともに、アジア、アフリカ等の地域水ビジョンが作成された。
WWF3 2003年	水行動コンテストの開催、「水の声」プロジェクトの実施、バーチャルフォーラムの開催など。こうしたプロジェクトを通じて前回プロジェクトをフォローし、次の水フォーラム開催までの期間、フォーラム開催国が主体的に水に関する国際意識の高揚、地域における水議論の継続と意見集約を行う「世界水フォーラムによる国際水議論の通年化」が図られるようになった。
WWF4 2006年	メキシコの場合、水フォーラムの開催時が当時の政権の末期にあたったため、政権最高レベル（＝大統領）でフォーラムの取りまとめを行った。その（政治性の）ため新政権がフォーラムの成果への興味を公式表明するまでの数か月は何もフォローアップとして動かなかったものの、一旦フォーラムの再評価が新政権によりなされると、政府は水の安全保障に関心を示しWWC理事の座を求めようになった。その間水フォーラムに参加したNGO（水衛生企業体連合会）がWWCの活動に参加し墨水資源公団総裁が占めていたWWC理事の座も維持した。メキシコのフォーラム関係グループはラテンアメリカのグループと共に気候変動と水に関するイニシアティブに着手し、2010年にメキシコで開催されたCOP16で発表を行った。フォーラム後、水・衛生問題の解決にとり、ローカルな活動が重要と認識され始め、貧困地域における水と衛生問題の解決、更にはそれら地域での飢餓の撲滅が重要なローカル活動として重要視された。
WWF5 2009年	第5回水フォーラムは強力な地域議論プロセスを有していた。この時に活動した地域グループとは（フォーラム後に設立された）国際イスタンブール水フォーラムでも継続的に連絡を取り合っている。フォーラムの成果物出版の際にもこのグループに参加してもらった。
WWF6 2012年	イスタンブールプロセスなどの事例がある。フォーラムとして全般的にはモニタリングプロセスは弱い。 地域議論プロセスは世界水フォーラムの回を追うごとに進展し、第6回世界水フォーラムではアフリカ、アジア太平洋、南北アメリカ、欧州、地中海、アラブ諸国の6つの地域プロセスと大陸間プロセス、及び特別セッションが開催された。地域においても地域によって選ばれたターゲットに関する大臣、国会議員、首長の3者対話が開かれた。 その成果に関する一例としてはアフリカの地方部における水衛生の供給に関する特別会合がある。33のアフリカの水大臣及び財務大臣、アフリカ連合、ア

	<p>ジア開発銀行、国連アフリカ経済社会委員会、アフリカ水閣僚会議の高級官僚、アフリカ各国政府代表及び市民代表が参加した。また、欧州の地域プロセスでは国際協力及び流域管理について大きな進展が見られた。</p>
--	--

質問9、質問5の回答（表4.6、表4.7）によれば、歴代の世界水フォーラムごとに新議論形式の試行（WWF3）や専任専門家の指名（WWF4）などの新しい試みも採用されている。この中には地域議論プロセスなど世界水フォーラムプログラムの柱として継続に採用されたものもあるが、何らかの理由でその後の水フォーラムでは採用されなかった試みもある。例えば質問9の回答のうち水系内3都市でのフォーラム同時開催（WWF3）や閣僚会合とのマルチステークホルダーの対話（WWF3）などは一定の評価を得たもののロジスティクスの困難性などから第4回以降の水フォーラムでは採用されていない。

以上のように世界水フォーラムは3年ごとの継続開催という周期性を背景に、歴代フォーラムごとに新しい議論の試みがなされ、このうち成功を収めたものが次回以降のフォーラムでも継続され、新たな水フォーラムの魅力や強みになるという過程を繰り返している。この継続性と新規性のコンビネーションは開放性と並ぶ世界水フォーラムの特色であることはアンケート結果からも見られるように全ての水フォーラム主催者が強く意識しており、また具体的な成果も生みだして来ていると言える。

4.2.4 世界水フォーラム開催において主催者が重視する項目

4.2.2.で示したように世界水フォーラムには大規模性・知名度の高さに加えて開放性、継続性と新規性のコンビネーションが特徴としてあり、これらによって世界水フォーラムは任意会議でありながら水の国際社会に具体的な影響を及ぼしていると会議主催者は強く認識している。

では、このような特徴を持つ世界水フォーラムの開催運営にあたって主催者はどのような点（目標その他）に優先度を置いているのだろうか。アンケート調査では下記の通り、主催者に対し会議開催にあたって優先度を置いた項目について聞いている。この結果を図4.1～4.3に示す。図4.1は評点の絶対評価、図4.2は項目ごとの平均点から全項目の平均点を差し引いた相対評価、図4.3は各回の世界水フォーラムごとの評点をから全項目の平均点を差し引いた各回世界水フォーラムごとの相対評価である。

質問6（Q6）：世界フォーラムの開催に当たり次の項目に優先順位を置いたか。項目ごとに優先順位が高いものを5点、低いものを1点として評点せよ。

- 6-1 参加者数
- 6-2 閣僚及び政府高官の参加者数
- 6-3 具体的なコミットメントの数
- 6-4 メディアによる報道数
- 6-5 高品質の論文の数
- 6-6 特定の課題に関する利害関係者/参加者の合意形成
- 6-7 特定の課題に関する政府の合意形成

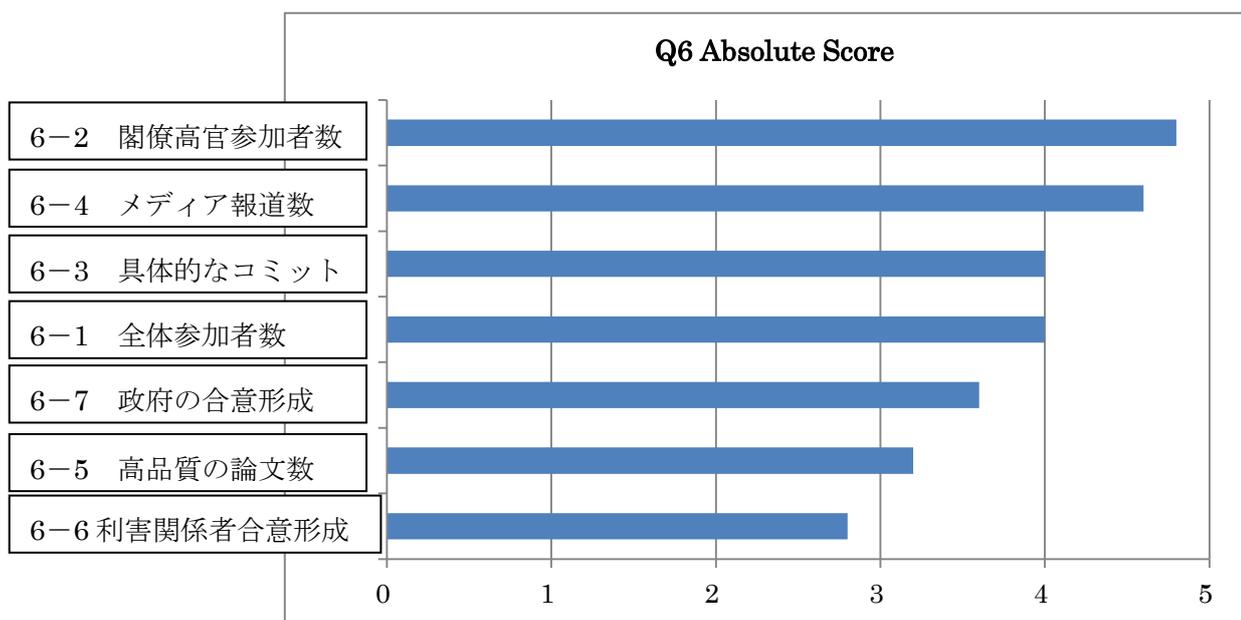


図 4.1 質問 6「世界フォーラムの開催に優先順位を置いた項目」回答者評点の平均点（優先順位が高いものを 5 点、低いものを 1 点として評点）」

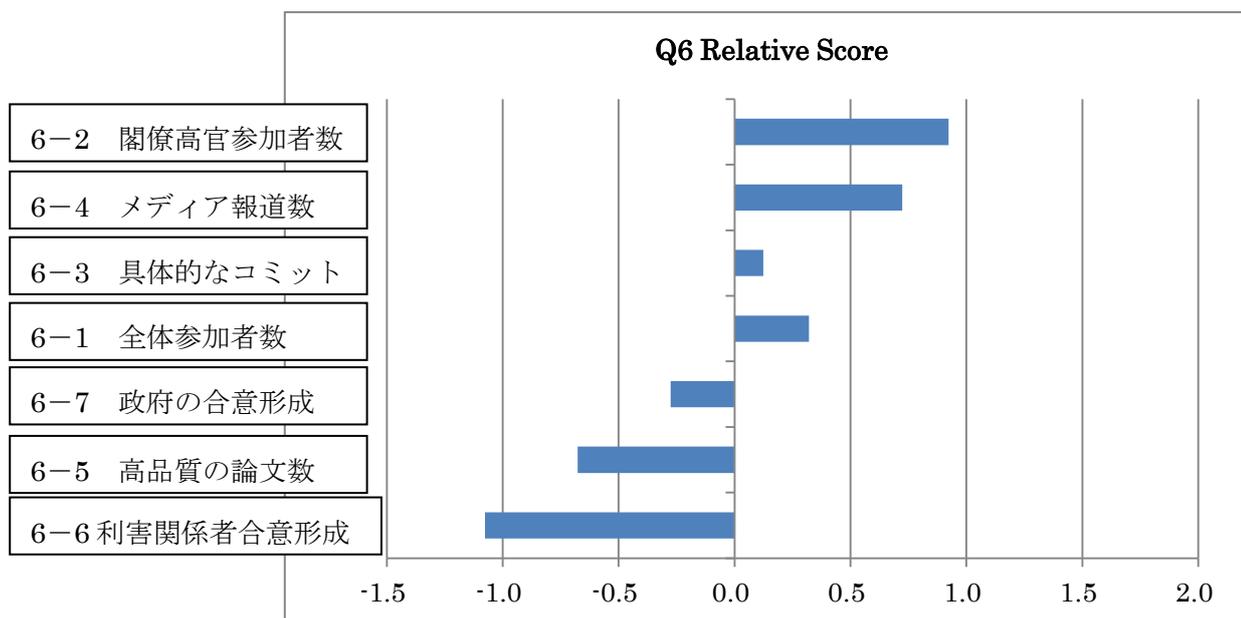


図 4.2 質問 6「世界フォーラムの開催に優先順位を置いた項目」回答者評点の平均点相対評価（優先順位が高いものを 5 点、低いものを 1 点として評点、全体の平均点からの差を表示）」

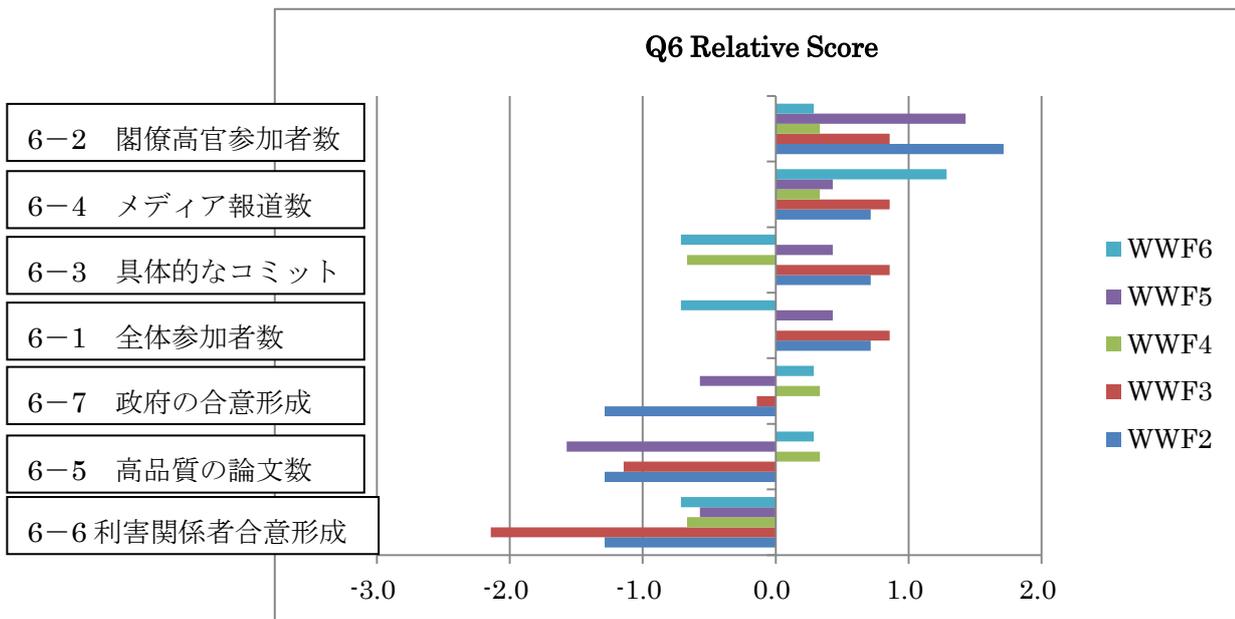


図 4.3 質問 6「世界フォーラムの開催に優先順位を置いた項目」回答者評点の相対評価 (優先順位が高いものを 5 点、低いものを 1 点として評点、全体の平均点からの差を表示)

この回答の中で、優先度が最も高かった項目は閣僚及び高官の参加者数であり(4.8 点)、メディアのカバー (4.6 点)、参加者数(4.0 点)、水フォーラム中になされたコミットメントの数 (4.0 点) がこれに続く。一方、特定の項目に関する政府の合意 (3.6 点)、高品質の論文数の優先度 (3.2 点) はそれほど高くなく、特定の課題に関する参加者の合意 (2.8 点) は質問項目中最低であった。水フォーラムの組織運営上、国連や政府系国際会議で絶対的に重視される政府間合意や学術会議で力点を置かれる論文の数と質は相対的に重視されていないことは、世界水フォーラムの特徴を良く表していると言える。

上記に示すように主催者から見た世界水フォーラムの開催で重視されるのは、水に関する意思決定者の数であり、メディアの関心であり、更にはステークホルダーの数である。端的に言うならば世界水フォーラム自体の規模やレベル、注目度にまず主催者の優先順位が置かれている。一方でそうした様々なレベルの参加者が一定の方向で意見を揃えたり、合意することに重きは置いていない。寧ろ参加者が自発的に行う新たな提言やコミットメントによって水フォーラムその後の水議論の方向性に影響を与えることを期待している。この点は拘束性のある決議合意に労力・資源を集中する国連や政府系国際会議、また具体的な提言とその実現に力点を置く賢人会議などとは目標の達成過程が大きく異なっているといえる。

国際議論プロセスは会議の規模、参加者の数、会議頻度などが様々に異なっているが、それらによってその後の議論に影響を及ぼす過程が異なっていることは重要な点である。従って同じ目標 (例えばより多くの人への水・衛生供給の達成) を目指す会議であっても、その目標に至る過程は違っており、また多くの場合過程相互に関連している。従って、目

標達成に向かう過程の異なる会議体を単純に比較することはあまり意味をなさない。それぞれの会議プロセスが目標を達成しようとしている過程をまず明確にし、その過程が目標に照らして十分有効であるか、またそのアプローチが限界となるファクターがどこに存在するかを明らかにしておくことが、効果的な会議プロセスを設計する上で重要と考えられる。

次に優先度（評点）の推移を時系列的に見た結果を図 4.5～図 4.10 に示す。これによれば、意思決定者の参加数とメディアの関心は各フォーラムを通じて常に高い優先度を維持している（図 4.4 (Q6-2)、図 4.5 (Q6-4)）。一方で参加者数の数に関する優先度の高さはそれよりは相対的に低く、経年的に横ばいで推移してきている（図 4.6(Q6-1)）。これは近年のフォーラムの参加者数がほぼ同水準に推移してきていることに加えて、主催者として参加者の数からステークホルダーの種類等の質に力点がシフトしてきていることが関係してきていると考えられる。また、コミットメントへの優先度がやや減少から横ばいで推移してきているが（図 4.7(Q6-3)）、第 6 回世界水フォーラム主催者が Q 5 自由回答で指摘しているように、水フォーラムでなされたコミットメントをモニターするプロセスが弱いため、なされたコミットメントの有効性に関して十分な確認が取れないことが水フォーラムとしてコミットメントへの優先度を下げる方向に向かっていることが理由として考えられる。過去の研究でも水フォーラムは国際社会の水への意識高揚に対して一定の影響力を持つ一方で、実際の行動面ではどの程度影響力が担保されているかの証座について問題提起されている(Biswas, 2004)が、この点は主催者自身が同様の問題意識を有していることを示している。

上記の 4 項目に比べて、「具体的なコミットの数」(図 4.7)、「質の高い論文数」(図 4.8)、「特別な課題に関する利害関係者の合意形成」(図 4.9)、「特定の課題に関する合意形成」(図 4.10) の優先度は低い。また、優先度に波があり、それぞれの世界水フォーラムの事情を反映していると考えられる。

図 4.11 に「世界水フォーラム全体参加者数」と「参加者の合意形成」の優先度推移の比較図を示す。図 4.12 に「閣僚参加者数」と「閣僚の合意形成」の優先度推移比較図を示す。いずれの場合も主催者は参加者数に合意形成よりも同等かそれ以上の重きを置いている。特に閣僚数と閣僚合意の優先度比較（図 4.11）では、第 2 回以降全ての水フォーラムで閣僚会合が開催され、閣僚宣言が採択されているにもかかわらず、主催者として閣僚の参加者数の方が政府間の合意形成よりも同等かそれ以上に大事だと考えている。これは前出質問 1 の自由回答（表 4.2）で国連系会合と水フォーラムの比較において複数の回答者が、合意に至る定められた手続きと合意の拘束力を持った国連の会合が、水フォーラムに比較して政府間合意形成においては優位だと認めていることとも符合する。世界水フォーラム主催者はその会議の性格上、閣僚の出席を、具体的な合意形成というより世界水フォーラムの視認性向上、政府コミットメントの発表、水に関する意識高揚等、合意形成以外の世界水フォーラムの目的のために重要と位置付けていると言える。

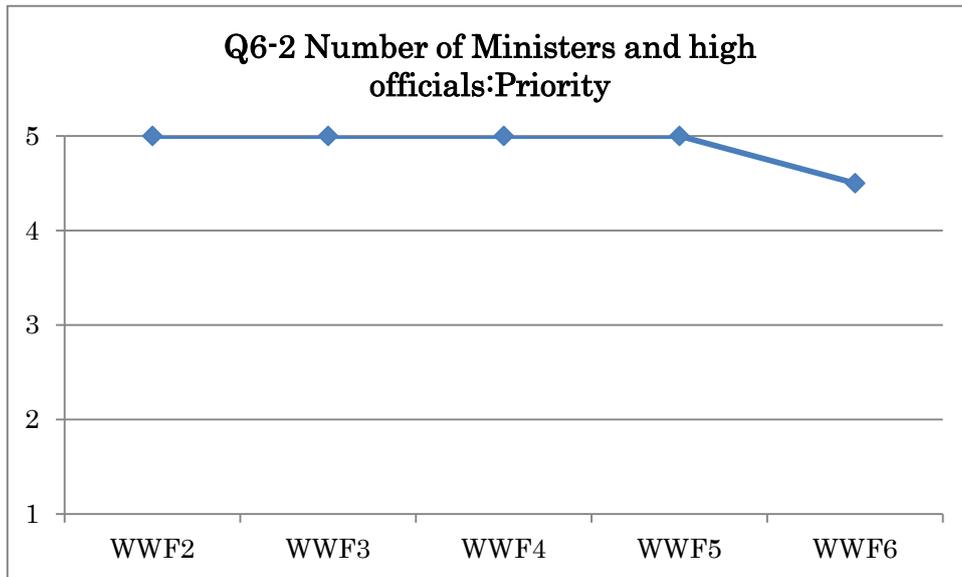


図 4.4 「参加閣僚及び政府高官数」の優先度推移

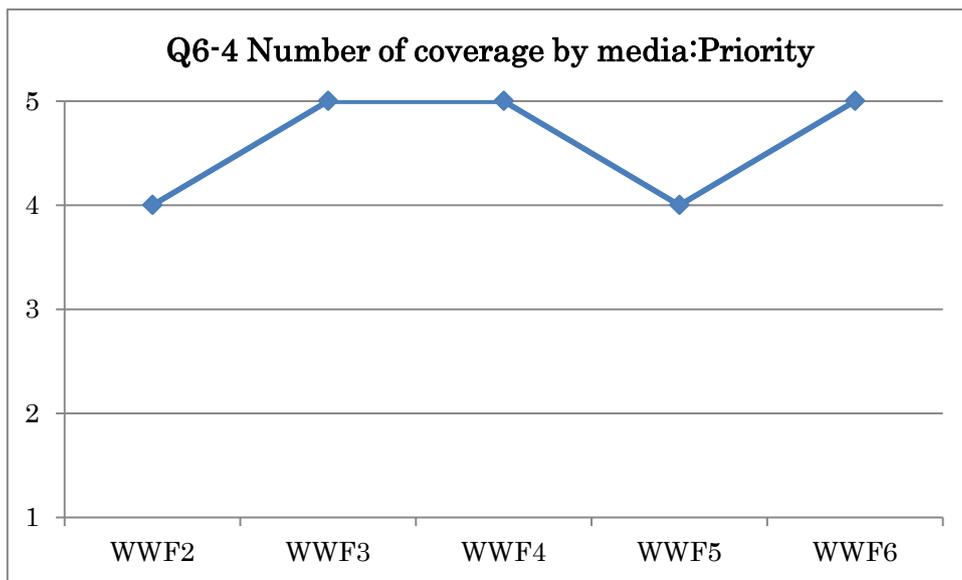


図 4.5 「メディア報道」の優先度推移

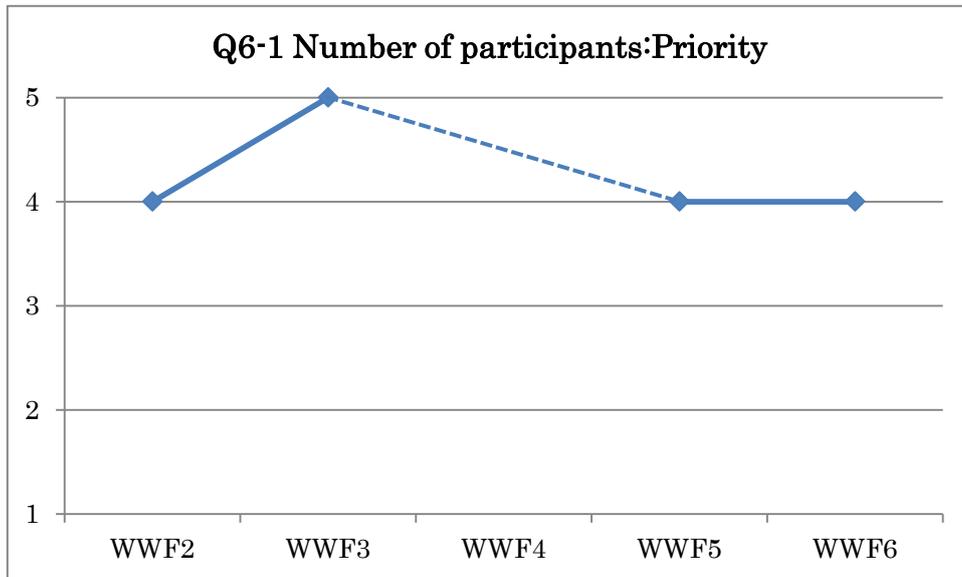


図 4.6 「全体参加者数」の優先度推移
(WWF4はこの項目無回答のため前後を点線をつないだ)

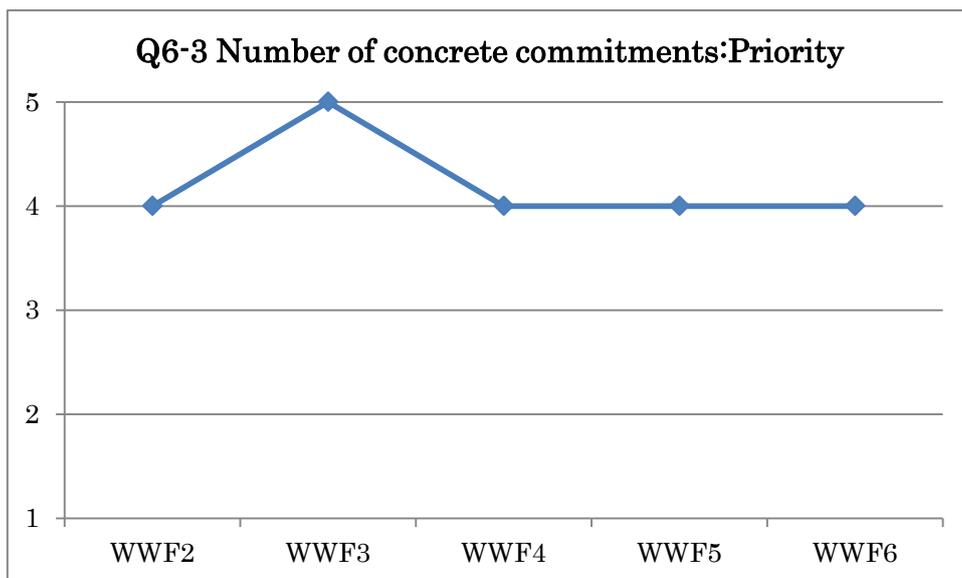


図 4.7 「具体的なコミットの数」の優先度推移

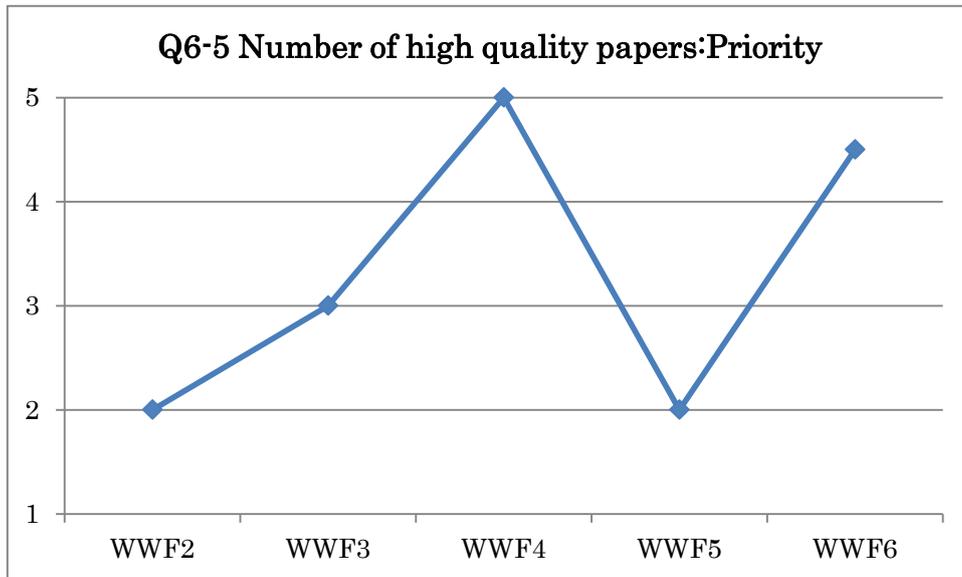


図 4.8 「質の高い論文数」の優先度推移

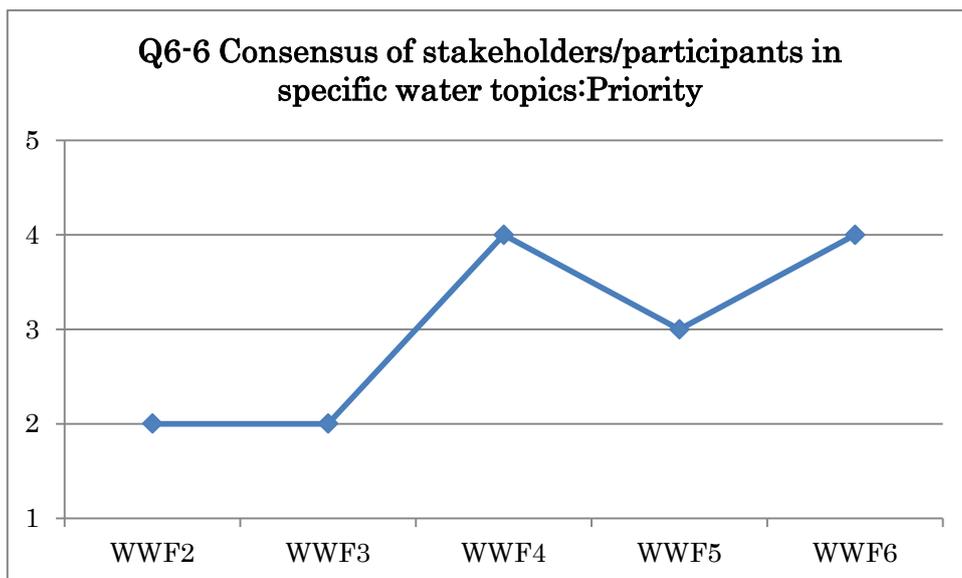


図 4.9 「特別な課題に関する利害関係者の合意形成」の優先度推移

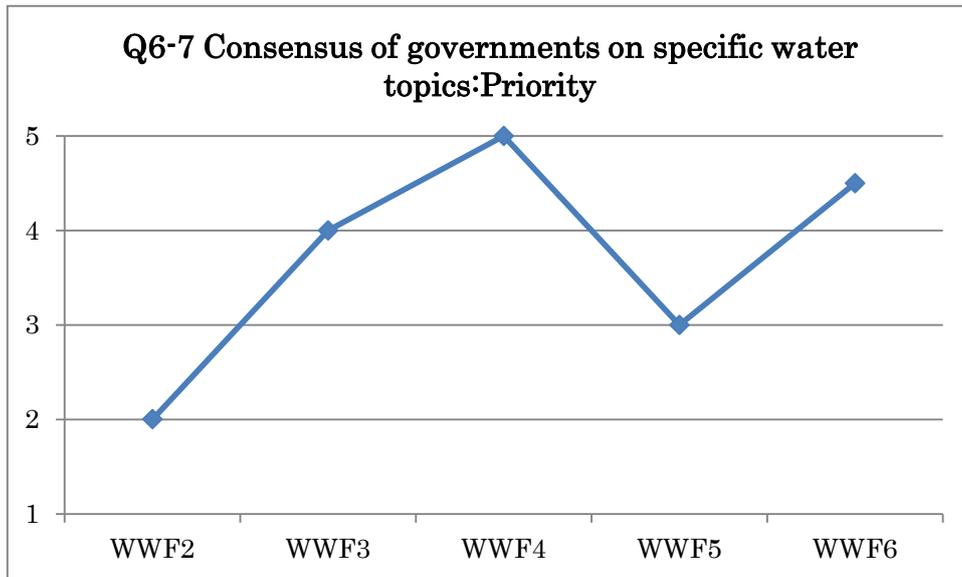


図 4.10 「特定の課題に関する政府の合意形成」の優先度推移

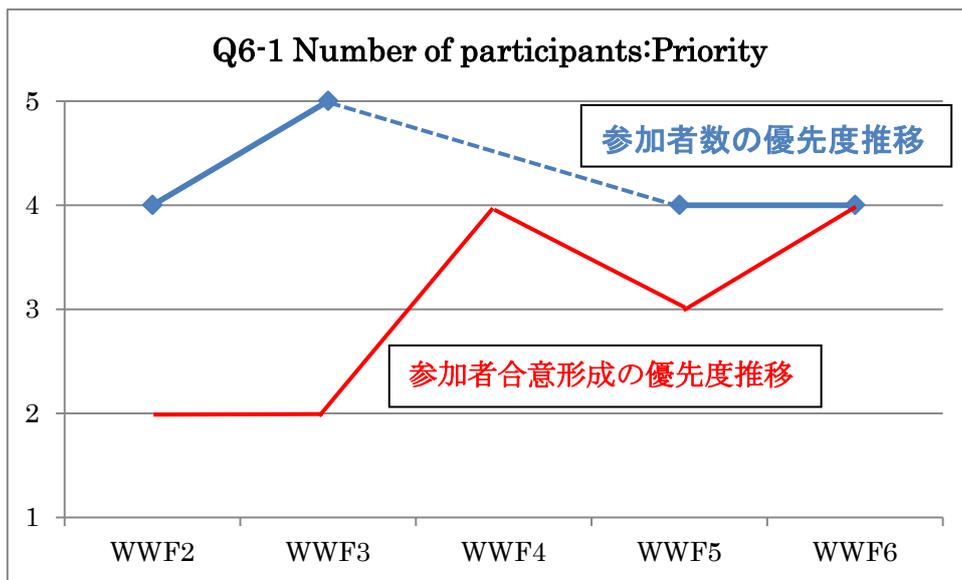


図 4.11 「参加者数」と「参加者合意形成」の優先度推移比較

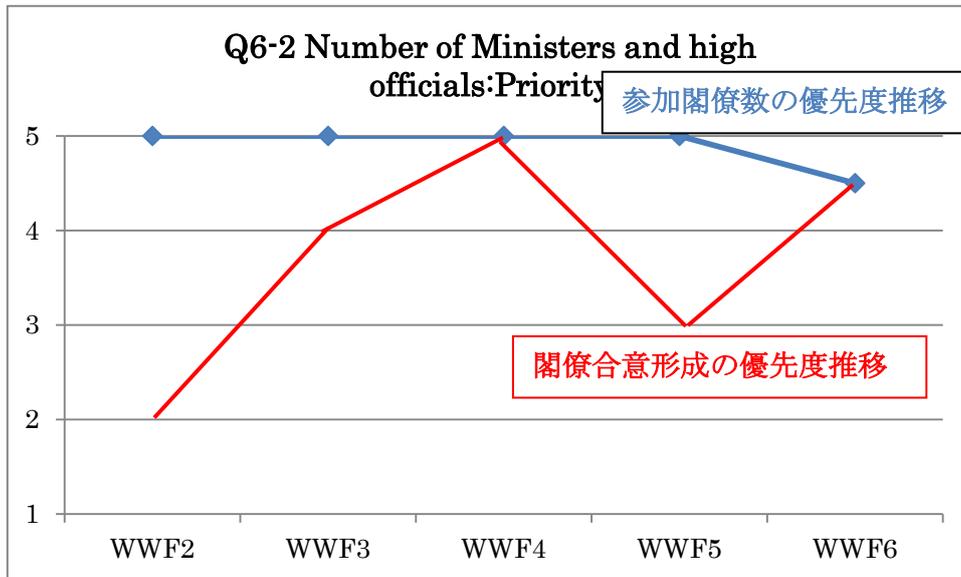


図 4.12 「参加関係数」と「閣僚合意形成」の優先度推移比較

4.2.5 世界水フォーラムによる地球規模水行動実現へのアプローチ

前節で世界水フォーラムが会議開催にあたって主催者は高官の参加者数、メディアの報道、参加者のレベル、参加者数を重視しており、相対的に政府の合意、論文数、特定の課題に関する参加者の合意に重きをおいていないことを示した。端的にいうならば世界水フォーラムの力の源泉はその規模とレベル、そして注目度だと主催者は理解しているといえる。

それでは、こうした言わば「数の力」を背景に世界水フォーラムはどのような過程で国際社会の議論や世界の水行動に影響を及ぼそうとしているのだろうか。この世界水フォーラムによる地球規模水行動実現へのアプローチについて、Q 4で主催者に次の質問をしている。

質問 4 (Q 4) : 主催者として次の過程に重点をおいて世界地域国地方レベルの行動を実現しようとしたか。重点を置いたものを 5、置かなかったものを 1 として評点せよ。

- 4-1 政府・組織が新しいコミットを発表することによって
- 4-2 政府や利害関係者の良い事例を集め、配ることによって
- 4-3 多様な利害関係者を参加させ、それらが問題解決に果たす役割をハイライトすることによって
- 4-4 質の高い論文を作成することによって
- 4-5 新しいイニシアチブやプログラムに関する合意を形成することによって
- 4-6 政府や利害会見者を拘束する合意の形成を促すことによって
- 4-7 特定の課題に関し対立する意見や見解の妥協や合意を形成することによって

4-8 特定の課題に関して特定の団体に対し明確なメッセージを発出することによって

4-9 その他

この結果を評点の高い者から順に並べた棒グラフを図 4.11 に示す。また、各項目の得点から回答者毎の前回等の平均点を差し引き、回答者ごとの相対的な評点を棒グラフにしたものを図 4.12～図 4.13 に示す。図 4.12 は全フォーラムの平均点、図 4.13 は各回の世界水フォーラムごとの評点をグラフ化している。

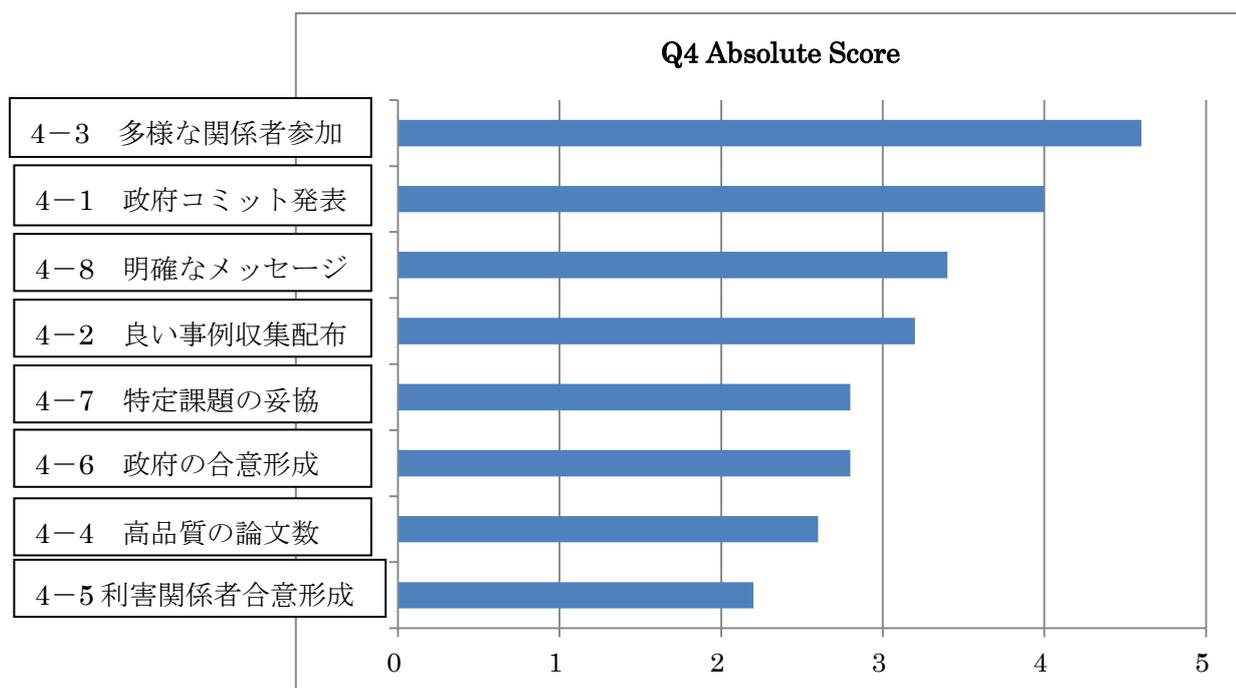


図 4.11 重点を置いた行動実現の方法(絶対値評価)
(重点を置いたものを5、置かなかったものを1として評点)

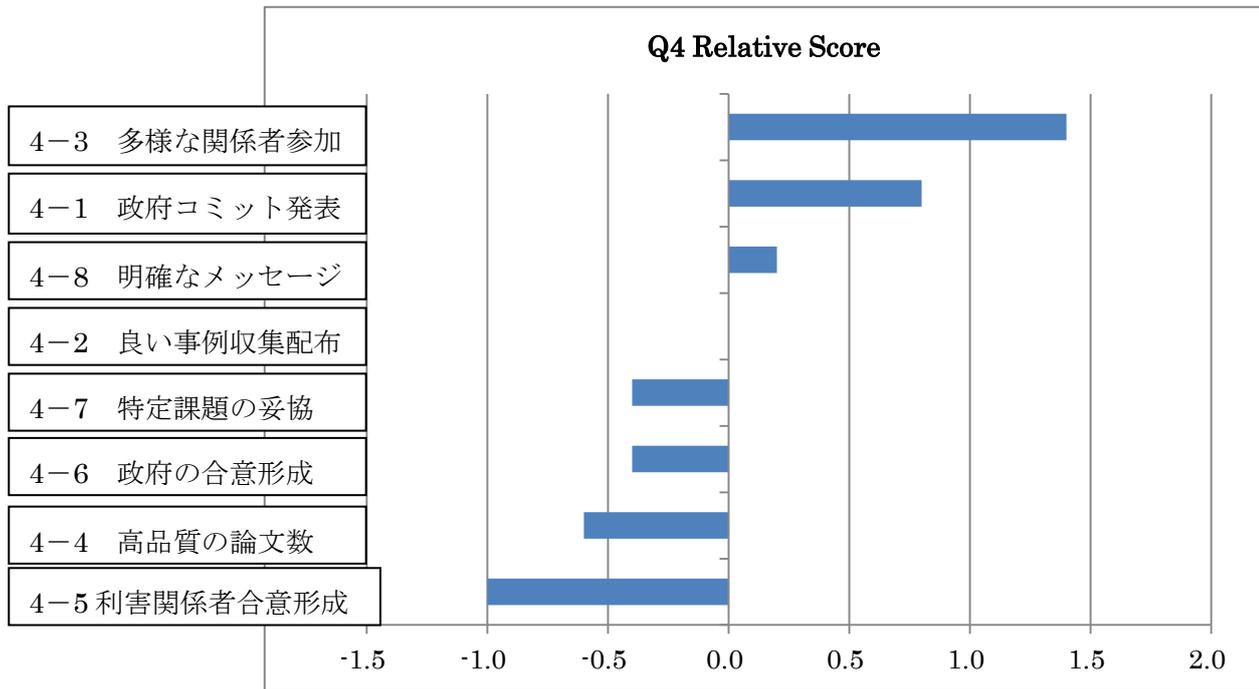


図 4.12 重点を置いた行動実現の方法(相対値評価)
 (重点を置いたものを5、置かなかったものを1として評点、全体平均との差を表示)

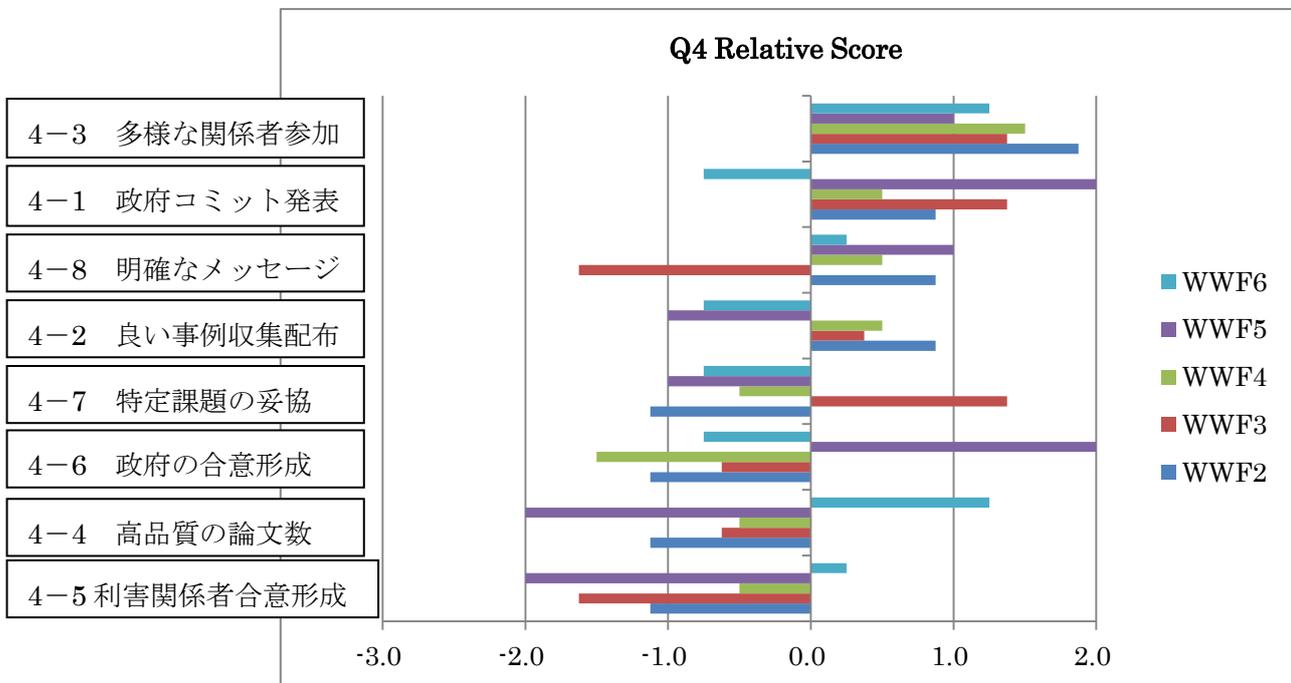


図 4.13 フォーラムごとに重点を置いた行動実現の方法(相対値評価)
 (重点を置いたものを5、置かなかったものを1として評点、全体平均との差を表示)

これによれば、多様な利害関係者の参加とその水問題解決における役割のハイライト（評点 4.6）が最も高く、政府と組織に新たなコミットメントを促す（評点 4.0）、特定の課題に関し明確なメッセージを発出する（評点 3.4）が続いている。評点が低いものとしては新しいイニシアチブやプログラムに関する合意を形成する（評点 2.0）が最低であり、質の高い論文の作成（評点 2.6）、政府や利害関係者に拘束力のある合意形成を促す（評点 2.8）、特定の課題に関する対立する意見/観点の妥協や合意を形成する（評点 3.1）がそれに続いている。4章で世界水フォーラムの特徴として、会議の開放性、拘束力のある決議の欠如があげられているが、世界水フォーラムで主催者が水行動促進を目指すアプローチは、この世界水フォーラムの特徴に沿ったものと言える。

図 4.13 で興味深いのは以下の特定の水フォーラムの回答で他のフォーラムと違う得点傾向がある項目があることである：Q4-8 の WWF3 回答、Q4-7 の WWF3 回答、Q4-6 の WWF5 回答、Q4-4 の WWF6 回答。これらを当該水フォーラムの他の質問項目の回答から抽出される、そのフォーラムで試された新しい試みと比較する（表 4.8）とそれらのフォーラムの回答が他のフォーラムの回答と違う理由が理解できる。すなわち、評点が他と著しく違った回の世界水フォーラムはその回フォーラムで質問項目に関連する新しい試みを行っている。

ケーススタディで詳述するが、これらの新しい試みは次回以降のフォーラムで労力に見合って効果的な成果を出していると次回主催者が判断した場合は継続され、そうでない場合は継続されることなく 1 回限りの試みとして終了している。このことから、世界水フォーラムでは水行動促進のために繰り返し新しい試みが試行されていること、またそうした新しい試みを行った場合を除いては上記でのべたような歴代世界水フォーラム主催者の意図（項目の優先度）はより明確に一様であるということが言えると考えられる。

表 4.8 他と評点が異なるフォーラムとそのフォーラムでの試み

回答項目	他と評点が大きく異なるフォーラム	評点が大きく異なるフォーラムで行った新しい試み
4-7 特定の課題に関し対立する意見や見解の妥協や合意を形成する	WWF 3のみ高い評点	WWF 3ではダムセッションや水民営化セッションなど意見が対立する特定の課題についてセッションを設置し利害関係の妥協を促した(Secretariat of the 3 rd World Water Forum, 2003a)
4-6 政府や利害会見者を拘束する合意の形成を促す	WWF 5のみ高い評点	WWF 5では地方自治体が水に関して一定の行動を約束するイスタンブール合意への署名を促した。(Secretariat of the 5 th World Water Forum, 2009)
4-4 質の高い論文を作成する	WWF 6のみ高い評点	WWF 6では水政策ジャーナルが刊行された(Secretariat of the 6 th World Water Forum, 2012)
4-8 特定の課題に関して特定の団体に対し明確なメッセージを発出する	WWF 3のみ低い評点	WWF 3では「全てが参加するフォーラム」を基本理念とした。(Secretariat of the 3 rd World Water Forum, 2003a)

次に各世界水フォーラムでの優先順位が回を追うごとにどのように変化したかを見てみると、Q4-3「多様な利害関係者を参加させ、それらが問題解決に果たす役割をハイライトすることによって」(図 4.14)には全フォーラムを通じ最も高い優先度が置かれている。また、Q4-1「政府・組織が新しいコミットを発表することによって」(図 4.15)も全フォーラムを通じて高い優先度が与えられている。Q4-8「特定の課題に関して特定の団体に対し明確なメッセージを発出することによって」(図 4.16)も高い優先度であり、上述のように第3回世界水フォーラムのみ“全員参加、全員で創るフォーラム”を強調した特別な事情があることを考慮すれば、水フォーラムのメッセージ性には世界水フォーラムとして高い優先度が置かれていると考えられる。なお、Q4.2「政府や利害関係者の良い事例を集め、配

ることによって」は中位の優先度であるが、直近の世界水フォーラムでは優先度がやや下がってきている。

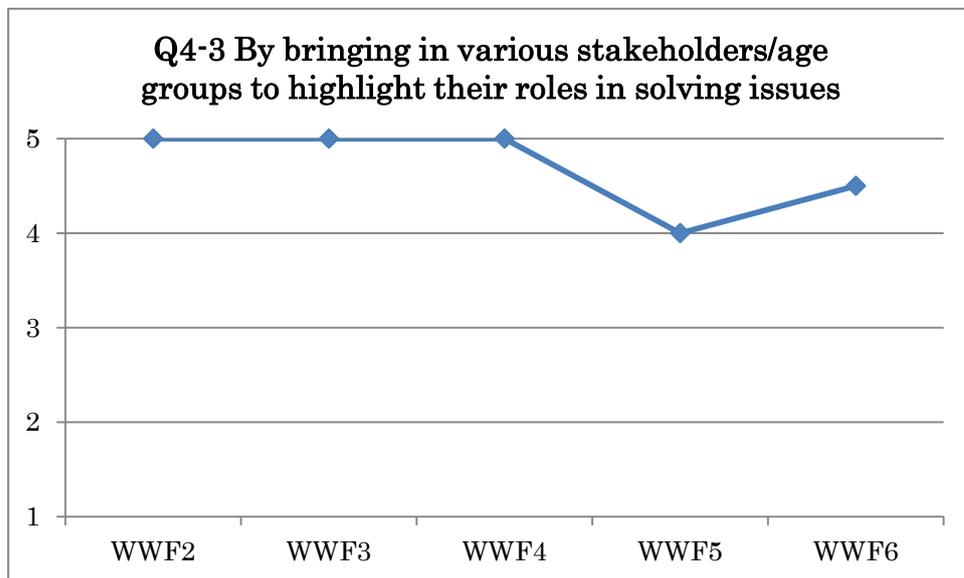


図 4.14 「多様な利害関係者を参加させ、それらが問題解決に果たす役割をハイライトすることによって」の優先度推移

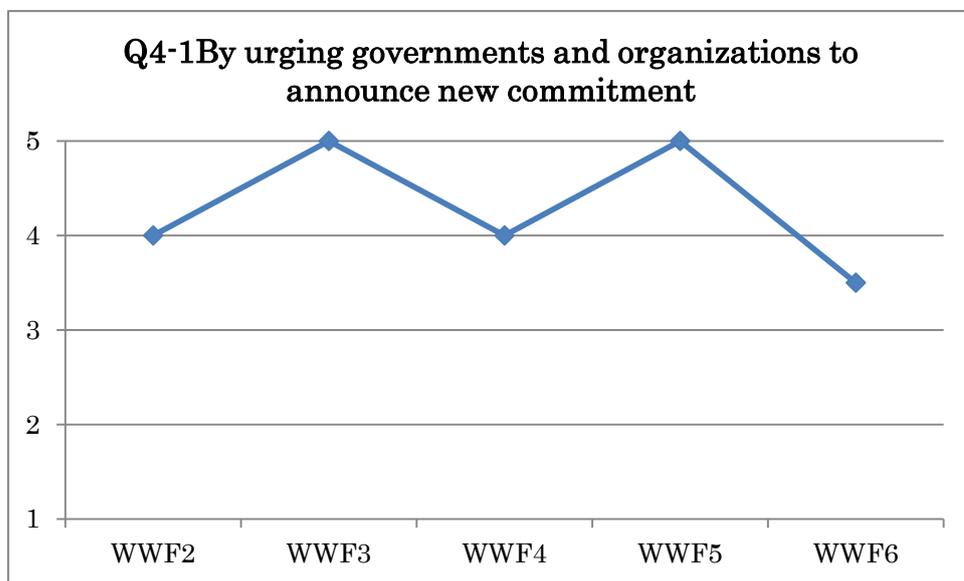


図 4.15 「政府・組織が新しいコミットを発表することによって」の優先度推移

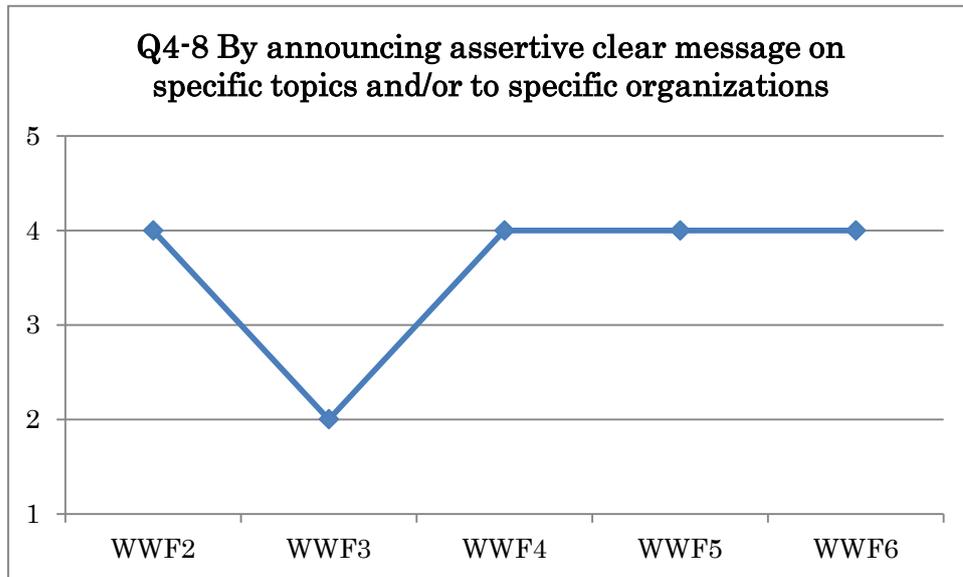


図 4.16 「特定の課題に関して特定の団体に対し明確なメッセージを発出することによって」の優先度推移

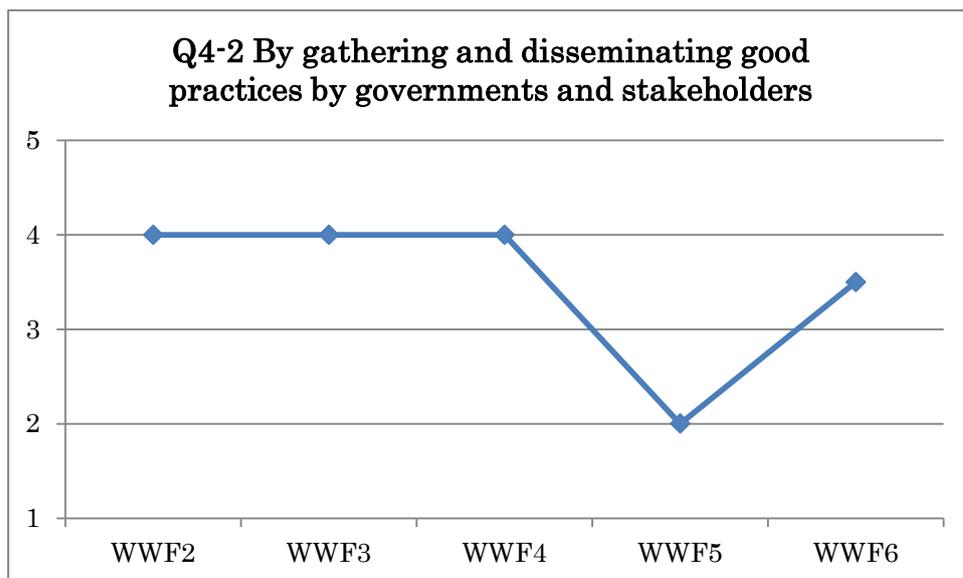


図 4.17 「政府や利害関係者の良い事例を集め、配ることによって」の優先度推移

一方で、Q4-4「質の高い論文を作成することによって」（図 4.18）Q4-7「特定の課題に関し対立する意見や見解の妥協や合意を形成することによって」（図 4.19）Q4-5「新しいイニシアチブやプログラムに関する合意を形成することによって」（図 4.20）の優先度は全3項目に比べて相対的に低い。特に図 4.13 に関連して述べたようにそれぞれの世界水フォーラムでの特別な事情（Q4-4 での WWF6 の高得点（WWF6 では水政策ジャーナルを創刊した）、Q4-7 での WWF3 の高得点（WWF3 ではダム問題、水民営化問題について相対する

意見をもつ団体の代表による討論を実施した) ことを考慮すれば、これらの優先度は歴代世界水フォーラムを通じて相対的に低いということが出来る。

この中で Q4-6「政府や利害関係者を拘束する合意の形成を促すことによって」は全体的に右肩上がりの得点を得てきている(図 4.21)。これは前項でも述べ、また図 4.13 に関して触れたように第5回世界水フォーラムで「イスタンブール水合意」という、あらかじめ合意文書を作り、これに賛同するもの(この場合は主として自治体)が後から署名をするという試みを行っていることによると考えられる(第6回フォーラムでも継続)。これは厳密にはコンセンサス形成とは言えない(利害関係者全員の合意を得るものではないため)が、合意形成の困難な世界水フォーラムの中で生まれた「合意の輪を広げる」という新しい試みとして注目される。

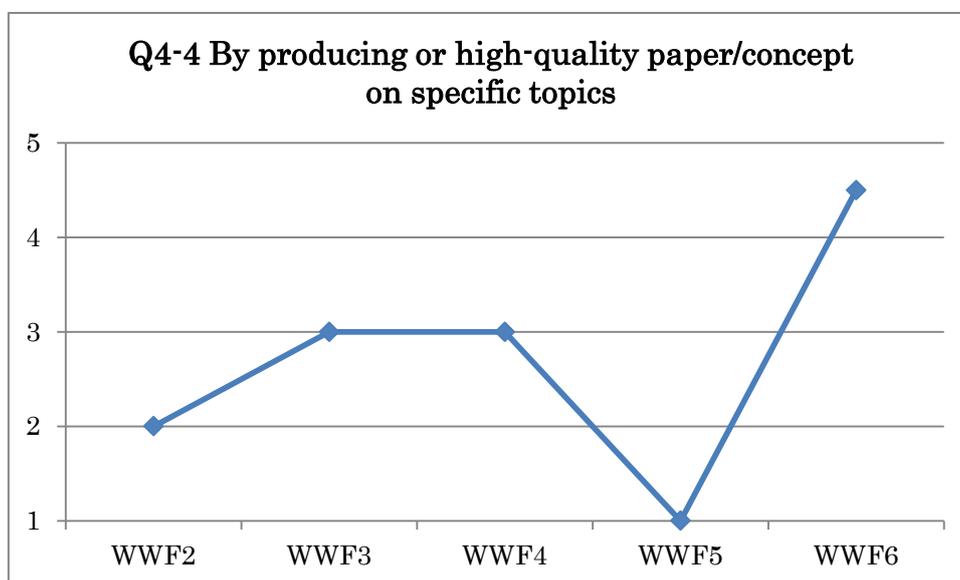


図 4.18 Q4-4「質の高い論文を作成することによって」優先度推移

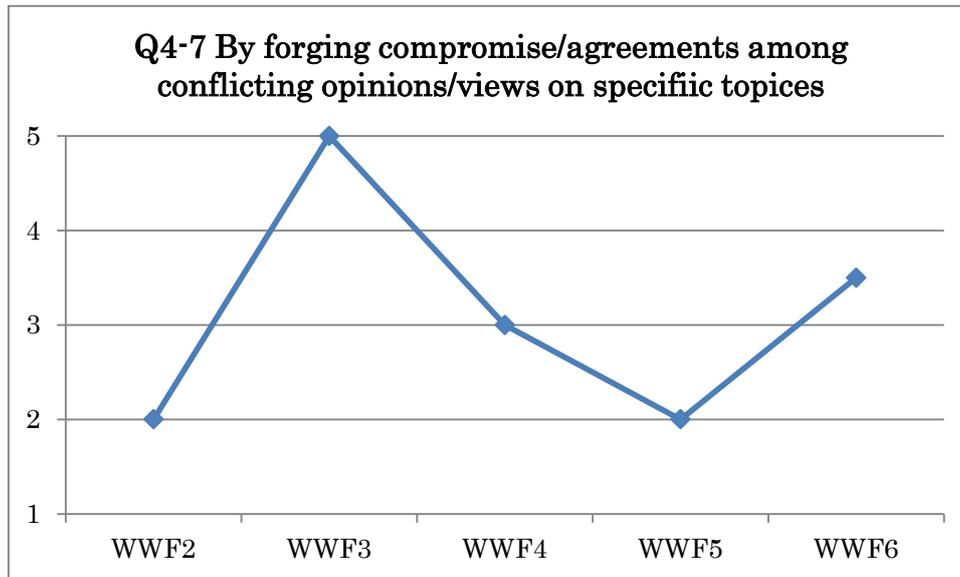


図 4.19 Q4-7「特定の課題に関し対立する意見や見解の妥協や合意を形成することによって」の優先度推移

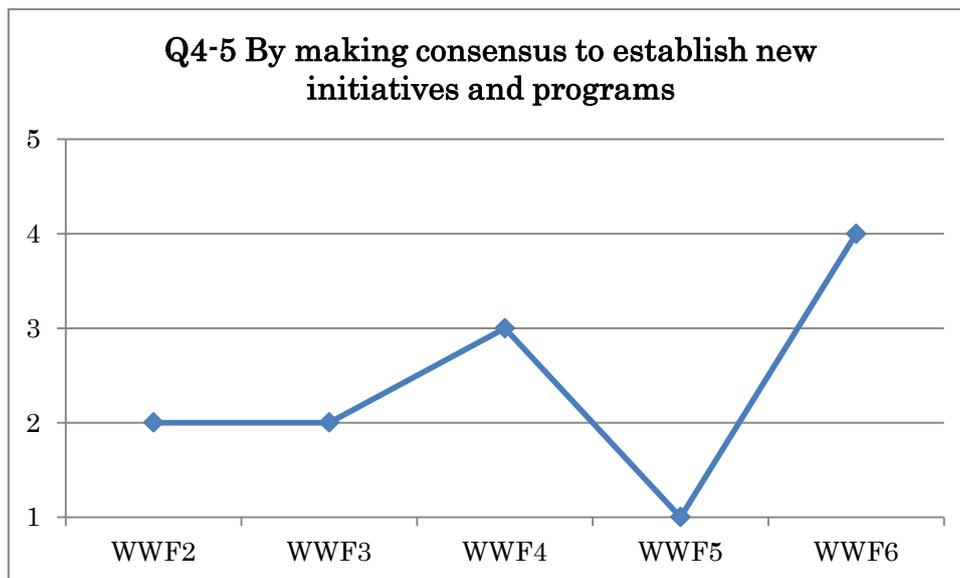


図 4.20 Q4-5「新しいイニシアチブやプログラムに関する合意を形成することによって」の優先度推移

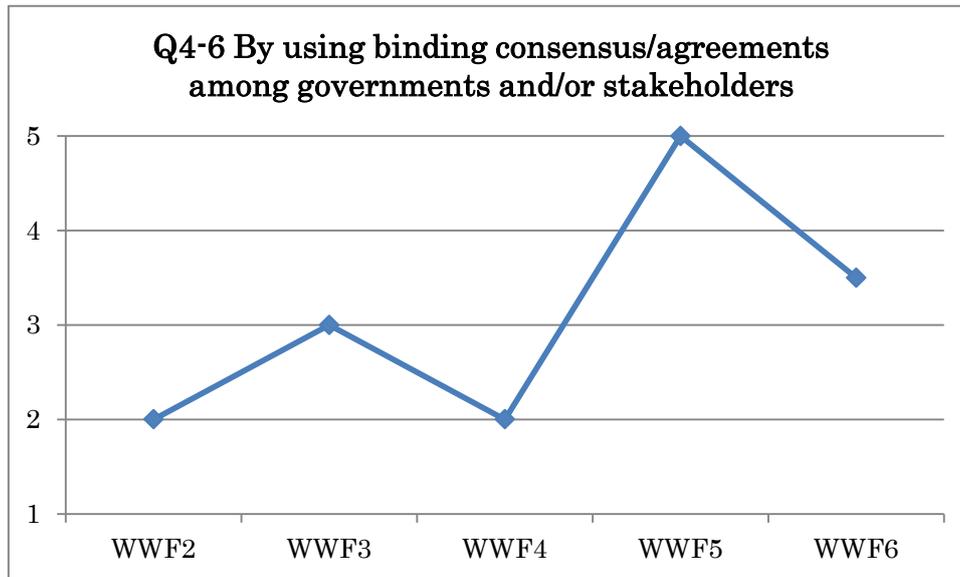


図 4.21 Q4-6 「政府や利害会見者を拘束する合意の形成を促すことによって」の優先度推移

以上のアンケート回答分析結果を総括すると、歴代水フォーラムで主催者が目指す行動促進のアプローチはほぼ一様であり、それは以下のようなになる。

- 政府・組織が新しいコミットを発表する（＝関係者の自発的約束・活動を促す）
- 多様な利害関係者を参加させ、それらが問題解決に果たす役割をハイライトする（＝水問題に取り組む行動者の数と種類を増やす）
- 特定の課題に関して特定の団体に対し明確なメッセージを発出する（＝行動の方向性を示す）

このように見ると世界最大規模会議としての注目度を活かし多数の政府・組織・利害関係者による自発的活動や約束の発射台として水行動を活発化させることが、世界水フォーラムの水行動促進機能として最も適しており、その機能が最大限発揮できるように歴代フォーラム主催者が効果的なプログラムを試行し、良いものが継承されることで世界水フォーラムが「水行動の連続発射台」として機能していると言える。

4.3 世界水フォーラムによる地球規模水行動実現成否の追跡検証

今までに示したように、世界水フォーラムはその規模と参加者の数、会議に対する注目度を影響力の源泉として、より多くの種類の利害関係者の参加とその自発的な行動・約束により世界の水行動を促進することで国際会議プロセスとしての機能を果たしており、主催者はその機能を最大限に活かして地球規模水行動の実現及び促進というこの国際会議プロセスの目的達成を図ろうとしてきたと言える。

それでは、実際に世界水フォーラムはこうしたアプローチに沿って地球規模水行動の実

現に至っているだろうか。この点について本件ではアンケートで主催者に対して世界水フォーラムが地球規模水行動実現に至ったと考える事例を挙げてもらい、その地球規模水行動実現と世界水フォーラムの関係を追跡することで、世界水フォーラムのアプローチによる地球規模水行動実現成否の検証を図った。

アンケートでは、まず地球規模水意識高揚と地球規模国際議論の促進の観点から、世界水フォーラムが地球規模水行動に与えた影響について次の質問を行った。この結果を表 4.9～4.10 に示す。

質問 1 (Q 1) : 「世界水フォーラムは水に関する世界的な意識高揚に貢献したと思うか。具体的な事例を挙げよ。」 (表 4.9)

質問 3 (Q 3) : 「世界水フォーラムは国際議論プロセスに影響を及ぼしたと思うか。具体的な事例を挙げよ。」 (表 4.10)

表 4.9 質問 1 (Q 1) : 世界水フォーラムは水に関する世界的な意識高揚に貢献したと思うか。具体的な例はあるか。

回答者	回答
WWF2 2000 年	はい：世界水ビジョンの発表。アフリカ水ビジョン等地域水ビジョンの発表、国連水調整会合 (UN-Water) の創設、「全ての人のための水資金調達」(カムデス・レポート) の発表、地域開発銀行による自治体向け水融資プログラムの創設
WWF3 2003 年	はい：第 3 回世界水フォーラムの成功が国連の注目を集めた結果、国連事務総長から「国連水と衛生諮問委員会」の創設が提言され、第 3 回フォーラム会長である橋本龍太郎氏が同委員会の議長に就任することになった。
WWF4 2006 年	はい：水問題は色々な次元がある（気候変動は地球規模課題だが、干ばつは地球規模課題でると同時にローカルな課題でもあるなど）。第 4 回フォーラムは特に地方及び貧困地域といったローカルな次元にフォーラム運営の基礎をおいた。その意味で、第 4 回フォーラムは地球規模課題についても分析しているものの、主として課題解決へのアプローチ及びローカルな課題解決事例の集積（の改善）に寄与している。）意識高揚の分野で例を挙げれば、(メキシコ及びラテンアメリカで見られるように) 天水利用や水管理のローカル組織を活用した貧困地域の水問題解決に地方政府の関心が向くように仕掛けている。
WWF5 2009 年	はい：イスタンブール合意がこれにあたる。1000 以上の自治体がこの合意書に署名した。
WWF6 2012 年	はい：国連水発展アセスメント計画、カムデス報告、水と災害ハイレベルパネル、水に関する国際的関心の高まり、地方自治体に関するプロセスとイスタンブール合意、RIO+20 への参画、水政策ジャーナル創刊とその学術界での反響。 はい、勿論。世界水フォーラムが回を追うごとに、ハイレベルの参加者、参加者の多様性、議論の質が向上していることがそれを証明している。世界水フォーラムの政治的な成果により、水（とその関連課題）が国際的問題を扱っているイベントで取り上げられるようになってきている。2012年4月韓国での安全保障サミットにおいて、韓国大統領は水の安全保障を議論にとりい

れるよう提案した。

2012年6月にリオ+20において国連事務総長とブラジル政府はこの会合で水を10の主要課題の一つに取り上げることを決定した。世界水評議会(WWC)はブラジル水機構と共に水フォーラムの中間期間にこの準備会合を取り仕切った。

2012年7月11日と12日に国連総会は史上初めて水と災害に焦点を置いた水に特化した議論を行った。更に2012年3月6日国連事務総長出席のもと、国連本部で水と災害特別会合が開催された。

2012年末ドーハ及びその準備会合において水は議事に含まれていた。その中でWWCは気候とエネルギーを水とエネルギーに置き換えるよう提案した。

2013年10月国連とWWCによって開催されたブダペストサミットの場合に置いて水はポスト2015年の主要課題に置かれた。

表 4.10 質問 3 (Q3) : 世界水フォーラムは開催後の国際議論プロセスに影響を及ぼした
 と思うか。具体的な事例を挙げよ。

回答者	回答
WWF2 2000年	はい：第2回フォーラムからヨハネスブルグ持続可能な開発サミットでの水ドーム開催、ボン淡水会議を経て衛生MDGの合意に至った。
WWF3 2003年	はい：フォーラムの成果としてアジア太平洋水フォーラムが設立され、その後アジア太平洋水サミットが経年開催されるようになった。
WWF4 2006年	はい：水フォーラムだけから（オリジナルに）導かれたアイデアを見つけ出すのは難しいものの、水フォーラムを含む複数の会議によって、共通の（水）言語が生み出されてきている。OECD、世界銀行、ECLADなどの場合、プロポーザルの多くは水フォーラムで議論されてきた基本原則に準じている。例えばOECDが作成したメキシコの水管理に関する文書は、フォーラムの文書に含まれるガバナンスの概念に極めて近い。
WWF5 2009年	はい：Rio+20が事例として挙げられる。水はエネルギー分野の小さな一部ではあるが。
WWF6 2012年	Q1での回答の通り。世銀やADB等地域開発銀行内での議論の進展、アジア太平洋水フォーラム。 第6回世界水フォーラム後に開催された国際会議やイベントで「水へのアクセス」という課題が重要視されたことは、水フォーラムが全ての人々の水へのアクセスという目標及びそれに関する議論を前進させたことを証明している。

上記の回答から水フォーラム主催者に対して水フォーラムが地球規模水行動に貢献した具体的な事例としては下記の事例が抽出される：

- 世界水ビジョンの発表、アフリカ水ビジョン等地域水ビジョンの発表（第 2 回水フォーラムでビジョンを発表）
- 衛生MDG
- 国連水と衛生諮問委員会の創設（第 4 回世界水フォーラムで橋本行動計画を発表）
- イスタンブール水合意（第 5 回世界水フォーラムで発表）
- 国際水発展アセスメント計画
- アフリカ水閣僚評議会
- カムデスパネル報告
- グリアパネル報告
- 水政策ジャーナル刊行
- 水と災害ハイパネル行動計画

これらの事例について、世界水フォーラムとの具体的事実関係を追跡した結果を表 4.11 に示す。

表 4.11 アンケートでフォーラムの成果として示された地球規模水行動と水フォーラムとの事実関係

国際行動項目	世界水フォーラムとの関連
世界水ビジョンの発表、アフリカ水ビジョン等地域水ビジョンの発表(2000 年)	第 2 回水フォーラムで各ビジョンを発表(Cosgrove <i>et al.</i> 2003: HRH The Prince of Orange, 2000)
ボン淡水会議（2001）を経て衛生MDGの合意（2002 年）	第 2 世界水フォーラム閣僚宣言で水に関する国際ターゲットのレビューがボン淡水会合及び国連リオ+10 会合（=ヨハネスブルグサミット）でなされるよう呼びかけがされ(World Water Council, 2000)、ボン淡水会合は国連プロセスと水フォーラムプロセスの「交差点」と位置付けられていた(The Federal Government of Germany, 2001)。ボン淡水会議の提案（=基本衛生に未アクセスな人口を半減する目標の設定）はヨハネスブルグサミットで衛生MDGとして合意された(The United Nations, 2002)
アフリカ水閣僚評議会（2002 年）	第 2 回フォーラムアフリカ水ビジョンの中で提案され(Cosgrove, 2000)、2002 年に設立(AMCOW, 2007)。(その後 2008 年にアフリカ連合の専門会合として正式承認(African Union, 2008))

国連水発展報告書 (2003 年)	第 2 回フォーラム閣僚宣言で国連水発展報告書の作成が呼び掛けられ、第 3 回フォーラムで第 1 号報告書を発表 (UNESCO, 2003; 今村, 2008)。それ以降、各フォーラムで定期報告 (UNESCO, 2006; UNESCO, 2009; UNESCO 2012)
カムデスパネル報告 (2003 年)	第 2 回フォーラムで設立提案、第 3 回フォーラムで報告書発表 (World Panel on Financing Infrastructure, 2003)
国連水と衛生諮問委員会 (2004 年)	第 3 回フォーラムを契機に同フォーラム会長 (橋本龍太郎元首相) に対し国連水と衛生諮問委員会議長に就任するよう国連事務総長が要請し設立、第 4 回世界水フォーラムで橋本行動計画を発表 (Secretariat of the 4 th World Water Forum, 2006; UNSGAB, 2006)
アジア太平洋水フォーラム (2004 年)	第 3 回フォーラムで提言され、2004 年に設立 (Asia Pacific Water Forum Secretariat, 2007; IISD, 2013)
グリアパネル報告 (2006 年)	第 4 回フォーラムで最初の報告書 (Van Hofwegen, 2006)。以降第 6 回フォーラムまで報告書発表 (Akmouch, 2012)
水と災害ハイパネル (2006 年)	第 4 回フォーラムで行動計画発表 (High Level Panel on Water and Disaster (HLEP/UNSGAB), 2006)
イスタンブール水合意 (2009 年)	第 5 回フォーラムで発表 (Secretariat of the 5 th World Water Forum, 2009)
イスタンブール水フォーラム (2009 年)	第 5 回フォーラムを契機に設立 (Secretariat of the Istanbul International Water Forum, 2011)

上記のように、主催者アンケート回答で挙げられた多くの国際プロセスは「政府・組織が新しいコミットを発表することによって関係者の自発的約束・活動を促す」・「特定の課題に関し特定の団体に対するメッセージの発出 (行動呼びかけ)」というアプローチに従い、実際に世界水フォーラムをきっかけに設立され、或いはその活動が水フォーラムと関連付けられて実施されている。

次に、アンケートでは世界水フォーラムが特定の地球規模水行動に貢献することになったか次の質問を行い、表 4.12 の回答を得ている。

質問 7 Q7 「世界水フォーラムは水課題に関する特定の世界/地域規模の行動に貢献することになったか。」

表 4.12 質問 7 (Q7) : 世界水フォーラムは水課題に関する特定の世界/地域規模の行動に貢献することになったか。

回答者	回答
WWF2 2000 年	はい：水に関心を有する大企業の CEO による CEO パネルが創設され、水問題 取り組みへの民間企業の重要性がハイライトされ、この結果水問題解決におけ る民間の役割がクローズアップされていった。
WWF3 2003 年	はい：また、第 3 回フォーラムでは水の不足から過剰な水の問題（洪水問題な ど）が主要課題として初めて取り上げられ。これを受け水と災害問題が UNSGAB の 6 つの主要課題のうちの一つとして取り上げられることにより「水 と災害ハイレベルパネルの創設」や国連として初めての水と災害特別会合の開 催に繋がっていった。これにより水・衛生の供給や水配分の問題など『西欧的 視点』に偏った水問題の議論が水の多寡や地域的偏在を包括的に議論する「全 球規模的視点」の議論に是正されていった。
WWF4 2006 年	はい：全くその通り。域内での水ガバナンス、水文気象分野での協力や国レベ ルでの協力グループの組織化（政府系及び非政府系）が非常に活発となった。
WWF5 2009 年	はい：第 5 回水フォーラムによりトルコ及び周辺国における水意識の高揚を 図ることが出来たと考えている。第 5 回水フォーラム開催の結果フォーラム事務 局の後継としてトルコ水フォーラムが創設された。
WWF6 2012 年	はい：米国との南北国境における水への関心が関係州政府及び国際機関の間で 高まっている。 地域セッションで掲げられた議論の成果やメッセージがその一例である。

4.2.5 で述べたように、主催者アンケートによれば「多様な利害関係者を参加させ、それらが問題解決に果たす役割をハイライトする（＝水問題に取り組む行動者を増やす）」ことも水行動の実現に繋がったとされている。これについて追跡確認を行うと、表 4.12 中に示されるように、第 2 回世界水フォーラムでは水に関連し或いは興味を示した大企業トップによる CEO パネルが設立されて水に関する民間セクターの役割がクローズアップされ(HRH The Prince of Orange)、それ以降の水フォーラム、他の会議も含めて民間の役割が強調されてきている(Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003a; Secretariat of the 4th World Water Forum, 2006; Secretariat of the 5rd World Water Forum, 2009; Secretariat of the 6th World Water Forum, 2012)。(シンガポール世界水週間は民間セクターに特化した水の世界会議として設立されている(Singapore Water Week Secretariat 2012; Singapore Water Week Secretariat 2014; BOP ビジネス実行委員会事務局, 2012)。)また、第 2 回水フォーラムで「川と水委員会」としてはじめられた洪水問題を水問題の主要課題として取り上げる動きは、第 3 回世界水フォーラムで水と洪水が水に関する国際会議の主要課題として取り上げられて以降(第 3 回世界水フォーラム事務局, 2003)、水と洪水に関するハイレベルパネルの設立(High Level Experts Panel on Water and Disasters, 2006)を経てSDGにおいて水と災害に関する数値目標が 5 つの目標の一つとして提言されるに至り(UN Open Working Group of the General Assembly on Sustainable Development Goals, 2014) (但し最終的な帰趨はまだ定かではない)、水問題の主要課題としての地位を占めるようになった。このように、世界水フォーラムによって特定の利害関係者や課題がハイライトされ、その後の地球規模水行動に繋がった例が確認された。

更に、主催者アンケート回答で挙げられた事例以外にも歴代世界水フォーラムで多様な利害関係者を参加させ、それらが問題解決に果たす役割をハイライトする（＝水問題に取り組む行動者を増やす）ことで水行動の実現に繋がった事例が他に無いか追加の追跡検証を行った。

国連持続可能な開発サミットの成果文書「アジェンダ 21」の定義による主要利害関係者グループは「女性」、「若者と子供」、「ビジネスと産業」「地方政府」「科学技術」「労働者と労働組合」「少数民族」「農民」「NGO」の 9 グループである(United Nations, 1992)。このうち世界水フォーラムでは NGO 及び科学技術については関係者が歴代フォーラムの本体セッションにセッション主催者として多数参加していることは歴代水フォーラムのプログラムから明らかである。また、ビジネスの役割ハイライトとしては CEO パネルを、自治体の役割のハイライトとしてはイスタンブールコンセンサスの事例をこれまでに説明した。更に「女性」、「若者と子供」「少数民族」について、歴代世界水フォーラムで開催された主要利害関係者グループに関するフォーラムプログラムとその成果（各回世界水フォーラム最終報告書より抽出）に関する一覧を表に示す。これによれば女性、若者、子供について歴代世界水フォーラムを通じて特別な大型セッションが開催されており、主催者アンケートの回答の通り利害関係者の参加と役割のハイライトが図られている。

表 4.13 主要利害関係者グループ「女性」、「若者」「子供」「少数民族」について、歴代世界水フォーラムで開催されたフォーラムプログラムとその成果一覧

	女性（ジェンダー）	若者	子供	少数民族
WWF2 2000年	「ジェンダーの日」開催	ユースフォーラム開催	特定活動無し	水と少数民族セッション開催
WWF3 2003年	ジェンダーパネル開催	第1回ユース世界水フォーラム開催	第1回子供世界水フォーラム開催	フォーラム参加者代表と閣僚との対話開催
WWF4 2006年	女性の国際連帯グループ結成 女性コーカス宣言発表	第2回ユース世界水フォーラム開催 ユース水フォーラム宣言発表	第2回子供世界水フォーラム開催 子供水フォーラム宣言発表	少数民族水フォーラム宣言発表
WWF5 2009年	女性とジェンダー連合と WWF5 主催者のフォーラム参加取り決め締結とそれに基く参加	世界水ユースフォーラム結成 ユース水フォーラム宣言発表	第3回子供世界水フォーラム開催 子供水フォーラム宣言発表	特定活動無し
WWF6 2012年	国際水と女性の日提案	水ユースムーブメント開催 水に関するユースビジョン発表	「子供の解決」開催	特定活動なし

一方これらの活動によって実際に地球規模水行動が促進されたかどうかについては、「地方自治体」についてはイスタンブール水コンセンサスに 1,000 を超える自治体が署名を行っていることから、実際に地球規模水行動が実現したと認められる。「女性と水」及び「若者と水」について世界水フォーラムでそれらの役割にハイライトした世界組織の結成が行われている。このうち水と女性については、Hamdy らは「The cost effectiveness and positive impacts of a gender approach in the water sector have been amply demonstrated. Furthermore, the need for mainstreaming gender in Integrated Water Resources Management (IWRM) has been validated from around the world. This has been highlighted and stressed by several issued statements (Inter-Ministerial Conference on Freshwater, Bonn, Germany, 2001; The World Summit of Sustainable Development (WSSD), Johannesburg, 2002; The 2nd World Water Forum, The Hague, 2000) and recently, in the 3rd World Water Forum, Kyoto, Japan, 2003」と述べ、水問題に関する女性の役割と意見の尊重に関する地球規模水行動(統合水資源管理の推進(国連ヨハネスブルグ持続可能な開発サミットで決定))に果たした水フォーラムの役割を認めてい

る(Hamdy *et al.*, 2004)。また、水と若者については世界水コースフォーラムが結成されるなどしているがメンバー数十名程度の組織であるので、地球規模水行動のレベルには達していない。一方水と子供については歴代世界水フォーラムで子供水フォーラムが開催されているものの世界的組織の設置などは行われていない。また少数民族については近年特定のハイライト活動自体が行われていない。このように見ると、「政府・組織が新しいコミットを発表することによって関係者の自発的約束・活動を促す」・「特定の課題に関し特定の団体に対するメッセージの発出（行動呼びかけ）」による効果ほどではないものの、「利害関係者の役割をハイライトする活動」によりその一部が地球規模水行動の実現に繋がったことが確認された。

以上に示したように、世界水フォーラム主催者がアンケートで回答した通り、世界水フォーラムの特徴に適したアプローチにより、世界水フォーラムと具体的に関連付けされた形で多くの地球規模水行動が開始され、又その行動が水フォーラムと関連づけられて継続的に進められていることが追跡調査により確認された。

これらのプロセスは全てが水フォーラムのみによって設立・設置されたものではなく、また水フォーラム以外の様々な議論プロセスとも関連付けられている。これに関連してWC会長経験者はアンケートで次のように述べている：「世界水フォーラムは水資源管理の重要性についての世界の意識高揚に確かに貢献している。水フォーラムのインパクトを同じ（水に関する国際意識の高揚という）目的を持つ他のイニシアティブのインパクトと分けて捉えるのは難しい。おそらく水フォーラムの重要性を指し示す指標は、国連システムを含む実施中の全ての組織のイニシアティブが彼らのメッセージを世界に伝えるために世界水フォーラムという場に参加しているという事実だろう。こうした他のイニシアティブのメディアによる報道は水フォーラム時に頂点に達している」他のアンケート回答も異口同音であり、この見解は世界水フォーラムの国際水社会における位置づけを端的に表していると言える。

このように、世界水フォーラムはその会議の特徴に沿ったアプローチ「多数の参加者による自発的な行動の約束と行動実施」「特定の課題に関し特定の団体に対するメッセージの発出（呼びかけ）」「多様な利害関係者の参加及びその役割のハイライト」により、任意会議でありながら地球規模水行動実現を達成していると考えることが出来る。

4.4 まとめ

以上のように、本研究は任意会議でありながら世界最大規模の水会議である世界水フォーラムの会議としての特徴、会議開催における主催者の優先順位、水行動を実現するための優先的なアプローチ、このアプローチに沿って世界水フォーラムが促進した地球規模水行動実現の追跡検証について、主催者アンケートと具体的事例の追跡検証により検討を行った。この結果をまとめると以下の通りとなる。

① 世界水フォーラムは、その開放性、決議の非拘束性、水フォーラムの定期開催の中で

新しい議論形式の試行・取捨選択と効果的プログラムの継続（＝新規性と継続性のコンビネーション）、を会議の特徴としている。

- ② 世界水フォーラム主催者は上記の特徴を強く認識しており、これをテコに世界水フォーラムの主目的の一つである地球規模水行動の促進を達成しようとしている。
- ③ 具体的にはまず、世界水フォーラムの影響力の源泉である、会議規模（参加者数）の確保、参加の多様性の確保、注目度の確保（ハイレベル参加者による権威づけを含む）を会議開催の優先項目としている。
- ④ 上記の強みを背景に、主催者はこの会議に適したアプローチで地球規模水行動の実現を図っている。それらは以下のとおりである：
 - 政府・組織が新しいコミットを発表することによって関係者の自発的約束・活動を促す
 - 多様な利害関係者を参加させ、それらが問題解決に果たす役割をハイライトする（＝水問題に取り組む行動者を増やす）ことでそれらの活動を活性化させる。
 - 特定の課題に関して特定の団体に対し明確なメッセージを発出する（行動の方向性を示す）
- ⑤ このアプローチの結果、実際に近年の有力な地球規模水行動の多くが世界水フォーラムにより、或いはそれに関連付けられる形で実現していることが追跡検証された。

4.5 考察

以上述べたように世界水フォーラムは大規模な任意会議というジャンルの中で国際議論プロセスとしての目的である「世界の水行動の促進」のため、その特徴に適したアプローチを用いてきているといえる。これは、国連会合のように会議そのものに必ずしも正統性（legitimacy）が無くとも国際社会に影響を与える水に関する国際会議プロセスは形成できるという点で意味がある。

一方、このような国際会議プロセスが成立するためには、会議の規模やレベル、参加者の多様性、メディアの注目度の高さなど、一定の条件を会議が満たす（＝社会心理学で言う専門影響力、参照影響力、情報影響力の確保）ことが必要となり、そのために主催者が毎回相当程度の工夫と努力を行っていることには留意する必要がある。

国際議論プロセスには大小さまざまなものがあり、その位置づけも国連、多国間会議、任意会議など多様である。また、それぞれには長期・短期の達成目標や参加者数・会議頻度などの制約条件も多様である。例えば「地球規模の水行動の促進」という目標に絞っても国連会合から、世界水フォーラムのような任意大規模会議、専門家会合やアドバイザー会議など多くの会議形態が存在する。これらの議論プロセスを単純に比較することには大きな意味はなく、まず目的を揃えたうえでそれらの会議が会議の特徴に即した目的実現のアプローチを議論プロセスとして採用しているかが重要であろう。例えばこの観点から言えば、参加者の自発的な行動コミットが主たる目的達成の過程である世界水フォーラム

においては、閣僚会合で拘束性のある議決を図ることが適切なアプローチであるかには疑義が生ずる。むしろフォーラム全体として影響力を保持するために閣僚会合の規模・参加形式と会議の注目度向上の工夫を図ったほうが世界水フォーラムの閣僚会合としては目的に見合う効力があることになるだろう。

新たな国際議論プロセスをデザインする際に会議規模のみならず、参加レベルや議論形式、制約条件などをあらかじめ検討し、その議論プロセスの目的達成のために最も適したアプローチのできる会議形態を検討することは重要である。本章では世界水フォーラムという一つの国際議論プロセスに着目してその特徴からアプローチまでを検討したが、幾つかの会議形式・形態について同様の検討がなされれば新たに会議をデザインするための事前の分析材料となり、より良い会議のデザイン（＝事前設計）に向けた方法論作成の基礎となると考えられる。

国際議論プロセスは独立して存在するというよりも、常に他のプロセスと連動し影響し合って機能している。これらをプロセス間の対立構造や、どちらが優れているかで捉えるというよりも、お互いのプロセス、特徴をかんがえて連携しながらより効果的に共通目標の達成を図ることを検討すべきと考えられる。こうした議論プロセス同士の連携やシナジー醸成は極めて有効であり、より良い連携のために例えば「大規模国際会議、小規模賢人会議、国連会合」など、有力で特徴的な議論プロセスを効果的に連携させる方法論を次章以降で検討していく。

第4章 引用文献

African Union. 2008. Decisions and Declarations of the African Union Eleventh Ordinary Session.

http://www.au.int/en/sites/default/files/ASSEMBLY_EN_30_JUNE_1_JULY_2008_AUC_ELEVENTH_ORDINARY_SESSION_DECISIONS_DECLARATIONS_%20TRIBUTE_RESOLUTION（参照 2014/02/01）

AMCOW. 2007. AMCOW Handbook for Decision Makers. 42.

<http://www.amcow-online.org/docs/Handbook/AMCOW%20Handbook.pdf>（参照 2014/02/03）

Asia Pacific Water Summit Secretariat. 2007. Policy Brief of the 1st Asia Pacific Water Summit. 20.

http://www.apwf.org/archive/documents/summit/Policy_Brief_2007_080124.pdf（参照 2014/02/01）

- Aziza Akhmouch. 2012 CG CS1 Good Governance EN. 56.
http://www.oecd.org/gov/regional-policy/Report_CG_CS1_Good_Governance_EN.pdf (参照 2014/02/02)
- Biswas, Asit; Tortjada, Cecullia. 2005. Impacts of Global Mega-Conferences on the Water Sector. Asian Water. 276
- BOP ビジネス実行委員会事務局. 2012. シンガポール国際水週間におけるBOP水ビジネスセミナーの開催について. <http://www.waterforum.jp/twj/wscj/2011/doc/s-7.pdf> (参照 2014/02/02)
- Cosgrove William J. 2000. World Water Vision. Earthscan Publishing Ltd. 108
第3回世界水フォーラム事務局. 2003. 第3回世界水フォーラム最終報告書. 第3回世界水フォーラム. 280
- Hamdy Atef; R. Quagliariello. 2004. GENDER MAINSTREAMING IN WATER MANAGEMENT: A CHALLENGE TO SUSTAINABLE DEVELOPMENT. 3rd Arab Water Regional Conference Research Advancement in Managing Monitoring and Evaluation Limited Water Resources
http://www.gewamed.net/share/img_documents/44_hamdy_and_quagliariello.pdf (参照 2014/02/05)
- High Level Experts Panel on Water and Disaster. 2009. Action Plan of HLEP/UNSGAB. 24. http://www.preventionweb.net/files/8609_WaterandDisaster.pdf (参照 2014/02/05)
- HRH The Prince of Orange; Frank J. Rijsberman. 2000. Summary Report of the 2nd World Water Forum. Water Policy (2000) 387-395
- IISD. 2013. Summary of the 2nd Asia Pacific Water Summit. 10.
<http://www.iisd.ca/download/pdf/sd/crsvol211num1e.pdf> (参照 2014/02/02)
- 今村能之. 2008. 世界の水問題解決に向けての国連世界アセスメント計画(WWAP)の役割. 水文水資源学会誌 Vol21 No2. 140-157
- 小林正博 2003. 第3回世界水フォーラムと国際協力. 国際協力研究. Vol119 No1. 49-57

Ministry of Land Infrastructure and Transport. 2003. Final Report of the Ministerial Conference, the 3rd World Water Forum. 188.

<http://www.mlit.go.jp/tochimizushigen/mizsei/wwf3/FinalReport-Web.pdf>

尾田栄章; 遠山正人. 2000. 世界水フォーラムと世界水ビジョン. 機関紙建設業界. 1.

http://www.nikkenren.com/archives/doboku/ce/kikanshi0010/tokusyuu_04.htm

大原淳子. 2003. 第3回世界水フォーラムの成果. 最新開発援助動向レポート7.

http://www.fasid.or.jp/_files/library/report/report7.pdf (参照 2014/02/02)

Secretariat of the 3rd World Water Forum. 2003a. Final Report of the 3rd World Water Forum. 273.

http://www.waterforum.jp/worldwaterforum3/en/finalreport_pdf/FinalReport.pdf (参照 2014/02/02)

Secretariat of the 3rd World Water Forum. 2003b. Media Analysis of the 3rd World Water Forum. 12.

<http://www.hoffmanpr.com/wp-content/uploads/Media-Analysis-3rd-World-Water-Forum.pdf> (参照 2014/02/02)

Secretariat of the 4th World Water Forum. 2006a. Final Report of the 4th World Water Forum. 262. <http://www.worldwaterforum4.org.mx/files/report/FinalReport.pdf> (参照 2014/02/02)

Secretariat of the 4th World Water Forum. 2006b. Concept Paper of the 4th World Water Forum <http://www.unep.or.jp/ietc/kms/data/2321.pdf> 15. (参照 2014/02/04)

Secretariat of the 5th World Water Forum. 2009. Final Report of the 5th World Water Forum. 192. http://www.preventionweb.net/files/11456_WWF5FinalReport.pdf

Secretariat of the 6th World Water Forum. 2009. Final Report of the 5th World Water Forum. 192.

Secretariat of the Istanbul Water Forum. 2011. 2nd Announcement of 2nd Istanbul Water Forum. 20. http://2.iusf.org.tr/arkakapi/cache/2IIWF_Second_Announcement.pdf (参照 2014/02/02)

Singapore Water Week Secretariat, 2012 Singapore International Water Week. 12.
http://www.waterforum.jp/jpn/2011/10th_GC/doc/10a.pdf (参照 2014/02/03)

Singapore Water Week Secretariat. 2014. Singapore Water Week Website.
<http://www.siww.com.sg/about-siww> (参照 2014/04/01)

The Federal Government of Germany. 2001. Conference Report of International Conference on Freshwater . 123.
<http://www.un.org/esa/sustdev/sdissues/water/BonnConferenceReport.pdf> (参照 2014/02/02)

The United Nations. 2002. Report of the World Summit for Sustainable Development. 167.
http://www.un.org/jsummit/html/documents/summit_docs/131302_wssd_report_reissue_d.pdf (参照 2014/02/02)

UN Open Working Group of the General Assembly on Sustainable Development Goals. 2014. Progress report of the Open Working Group of the General Assembly on Sustainable Development Goals 30.
<http://sustainabledevelopment.un.org/content/documents/3238summaryallowg.pdf> (参照 2014/04/01)

UNESCO. 2003. The United Nations World Water Development Report 1. UNESCO Publishing. 576

UNESCO. 2006. The United Nations World Water Development Report 2. UNESCO Publishing. 600

UNESCO. 2009. The United Nations World Water Development Report 3. UNESCO Publishing. 430

UNESCO. 2012. The United Nations World Water Development Report 4. UNESCO Publishing. 904

United Nations. 1992. United Nations Conference on Environment & Development Rio de Janeiro, Brazil, 3 to 14 June 1992 AGENDA 21 United Nations Division for

Sustainable Development. 351

World Panel on Financing Water Infrastructure. 2003. Report of the World Panel on Financing Water Infrastructure “Financing Water for All”. 54

http://www.worldwatercouncil.org/fileadmin/world_water_council/documents_old/Library/Publications_and_reports/CamdessusReport.pdf (参照 2014/02/02)

UNSGAB. 2006. Hashimoto Action Plan.

http://www.unsgab.org/content/documents/HAP_en.pdf (参照 2014/02/01)

VAN HOFWEGEN, Paul. 2006. Report of Task Force on Financing Water For All Chaired by Angel Gurría. 61.

http://www.financingwaterforall.org/fileadmin/Financing_water_for_all/Reports/Financing_FinalText_Cover.pdf (参照 2014/02/02)

World Water Council. 2000. Final Report of the 2nd World Water Forum. 22

<http://portal.worldwaterforum5.org/wwf5/en-us/ForumKnowledgeBase/3rd%20World%20Water%20Forum/Communication/Announcements/Final%20Report%202nd%20World%20Water%20Forum.pdf> (参照 2012/02/04)

World Water Council. 2003. Analysis of the 3rd World Water Forum. 42.

http://www.worldwatercouncil.org/fileadmin/world_water_council/documents/world_water_forum_3/3d_World_Water_Forum_analysis.pdf (参照 2014/02/02)

World Water Council. 2009. Istanbul Water Consensus. 8.

http://www.worldwatercouncil.org/fileadmin/wwc/World_Water_Forum/WWF5/Istanbul_Water_Consensus_Eng_Final.pdf (参照 2014/02/02)

World Water Council, 2014. Website of World Water Council.

<http://www.worldwatercouncil.org/forum/marrakesh-1997/> (参照 2014/02/02)

5. 比較のための国連会議プロセスの整理

これまでに水に関する国際会議プロセスのうち、小規模ハイレベル会議である国連水と衛生諮問委員会(UNSGAB)、及び大規模任意会議である世界フォーラムの会議構造とその影響力の源泉、それに伴う地球規模水行動の実現の仕組み、会議プロセスとしての強み・弱みなどについて論じてきた。

第 1 章で論じたように国際会議プロセスをその規模と正統性で分類すると、性格の類似した会議プロセス群にまとめることが出来るが、この中で第 I 群に属する国連会議を同様に整理しておくことは、世界水フォーラムと国連水と衛生諮問委員会との比較を行い、更にそれら会議の連携モデルを検討する上で重要である。一方国連の会議はその会議構造や議題設定、具体的な行動に至る過程などが既に憲章や規則によって明文化され、また既往の文献によって整理されているのでこれらの結果を用いて前章に準じた整理を行うこととし、新たなアンケート調査・ケーススタディは行わない。

5.1 国連システム

国連は主権国家を主たる構成員とした現在の国際社会の意思決定機構の中核をなす国際組織体であり、国連憲章に署名した 194 の各国政府（2014 年現在）が加盟している。国連組織は総会、安全保障理事会、社会経済理事会、信託統治理事会、国際司法裁判所、事務局の 5 つの組織体が並立する形でおかれ（一般組織のような総会を最上位としたピラミッド構造にはなっていない）、その下に権能別に分かれた委員会、上位機関の決定を支え実行する補助機関、専門分野別に具体的活動を行う専門機関や計画（プログラム）機関などがそれぞれ設置され活動している。これらの組織を総称して国連システムと呼称しており、各組織の機能及び上位組織との関係は組織ごとの定款などによって定められている（図 5.1）。



図 5.1 国際連合組織図
(国際連合広報センターウェブサイトより抜粋)

5.2 国連総会

国連システム内の各組織の機構（統治機構含む）や構造、意思決定の方法や具体的行動に至るメカニズムはそれぞれの成立の歴史や発展過程を反映して様々であるが、本研究では国際議論プロセスとしての国連会合を分析の対象としているので、国連システムの中で安全保障理事会と並んで国際社会の意思決定と行動の中心的存在である国連総会を取り上げる。なお、安全保障理事会については国際政治学、国際関係論の中で多くの検討や分析がなされている。また、経済社会理事会においても水に関する議論が取り扱われることはその所掌上あり得るが、プロセスや構造は総会と類似しているため本研究では国連総会の構造整理で代表させる。

5.2.1 国連総会の構成

国連総会は国連加盟国すべてを構成員とする国際議論プロセスである。加盟国が合意・署名した国連憲章の趣旨に則り議論と総会としての意思決定を行う。その意思決定に至るまでの議論の過程は総会規則に詳細に定められている。国連総会は 9 月後半に始まる通年会合だが、主たる議論と議決は総会開会日よりその年の 12 月までに通例行われ、その後は

テーマや分野ごとの個別会合（主として議決を伴わない）が開催される（Permanent Mission of Switzerland to the United Nations, 2011）。

国連総会は総会とその下に軍縮、経済、環境、財政など分野ごとに審議を所掌する 6 つの主要委員会が常設され、さらにその下に個別の小委員会、評議会、パネル、ワーキンググループなどが設置されている（図 5.2）。総会には選挙によって毎年選出される国連総会議長と 21 人の副議長がおり、議案の調整と議事の進行を行う。国連総会の活動は国連事務局の一部である国連総会及び会議管理局による支援されている（Permanent Mission of Switzerland to the United Nations, 2011）。

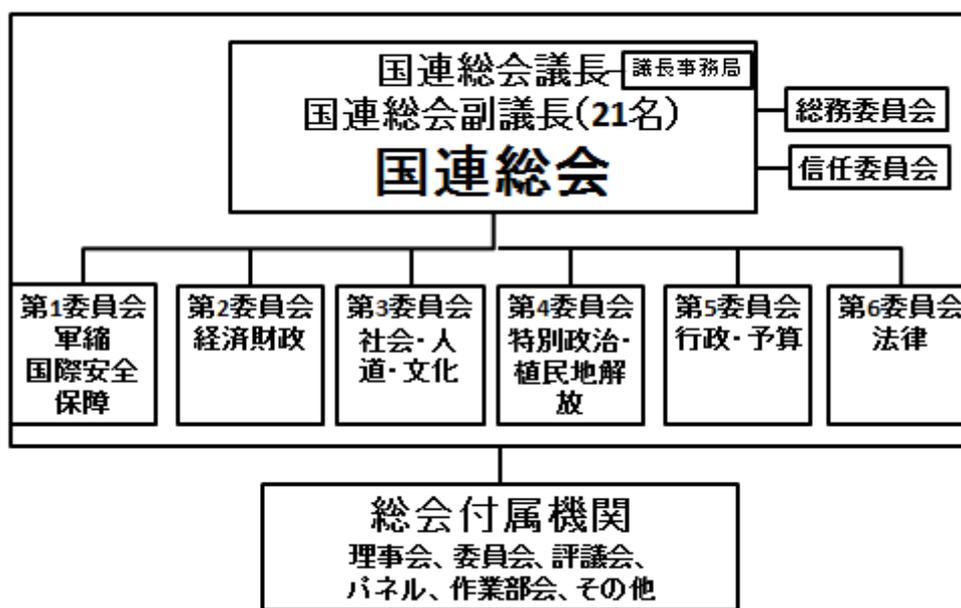


図 5.2 国連総会組織図
 (国連憲章その他をもとに作成)

5.2.2 国連総会の合意形成過程

- ① 国連総会の議論サイクルは図に示す通りで、対象課題についての一般討議が行われた後、具体的な議決の検討に入る。国連総会決議案の提出者は総会構成員である国連加盟国政府に限定される（Permanent Mission of Switzerland to the United Nations, 2011）。水に関する国連決議は通例、環境関係の議題の事前審議を所掌する第 2 委員会に提出され審議される(タジキスタン国連代表部 Aslov 大使より聞き取り)。環境関係の決議案は先進国と発展途上国の共同提案の形を取ることが慣例となっており、かつあらかじめ G77+China と称される発展途上国グループによる議論と合意を得た決議案のみが提出されることが慣例化している(タジキスタン国連代表部 Aslov 大使より聞き取り)。これ

ら一連のプロセスは総会規則及び慣例によって定型化されている (Permanent Mission of Switzerland to the United Nations, 2011)。

この規則と慣例で厳密に定められた手続きを通過し、関係国の合意を取り付け、議案の提出から最終合意に至る道のりは簡単ではない。第4章では国際衛生年の国連総会決議のために国連衛生諮問委員会が戦略的に多くのステップを経て国連決議に至った経緯を紹介した。「2013年の第68次国連総会に、“水と災害を国連総会で定期協議する議決案”をG77に諮ったが、多くの意見や異論が出され提出に至らなかった。国連で具体的な提案を含む議決を通過させることは容易ではない」(タジキスタン国連代表部 Aslov 大使) という意見のように、具体的な課題を国連決議として成立させるためには規則と慣例に則った多くの手続きと議論の積み重ねが必要となるため、国連決議の成立は簡単ではない。

5.2.3 国連総会議決の拘束力

国連憲章の定めるところに従い、国連総会の決議及び決定は総会の予算など特定の項目に関わる決議を除き拘束力を持たず、国連総会の決議・決定の実行は加盟国の自発的行動に委ねられる (Permanent Mission of Switzerland to the United Nations, 2011)。従って形式上、国際会議プロセスとしての国連総会決議と加盟国政府の関係は、任意会議プロセスに参加した政府の立場との関係と変わるところが無い。一方で国連憲章は「全ての加盟国は憲章に従って追っている義務を誠実に履行しなければならない」と規定しており (The United Nations, 2008)、国連会議での議論と議決は加盟国に対し、国連憲章に署名し加盟した政府としての立場、国連総会議決の持つ国際世論の重みと道徳的権威 (国連広報センター, 2014) (=道徳的拘束性)、定型化された手続きを通過した議決という手続き上の疑義の不在、議決の定めるところにより国連事務総長や専門機関によって実施されるモニタリングと総会への報告プロセスによる監視 (例えば国際衛生年の場合国連総会議決により国連事務総長が国際衛生年の結果について国連総会に対する報告義務を負っている (The United Nations General Assembly 2006)) によって加盟国の行動に影響力を行使していると言える。国際社会の外縁を構成する任意会議や提言と異なり、世界の殆ど全ての主権国家が認知した唯一の合議機関である国連 (The United Nations, 2008) はその決議や提言が各国政府の行動に直結しているところが他の会議プロセスとは大きく異なる。

5.2.4 国連総会議決のモニター・報告

国連総会の議決は国連事務総長に対する結果モニター・報告の要請を含んでいることが多い。この場合は事務総長、或いはその要請を受けた国連専門機関により、各国・各地におけるモニターが行われ、場合によってはこれら専門機関等による直接行動が実施される。実態上これら専門機関が各国政府と連携し、或いは専門的知識の提供によって各国のイニ

シアティブを支援することによって、あらかじめ専門機関が想定（或いは期待）した総会議決に至り、その結果専門機関の具体的行動に移行する例も見られる。

5.2.5 水に関する国連総会議決の効果例

実際の国連総会議決がなされた水に関する政府行動を見てみると、例えば事務総長報告（The United Nations General Assembly, 2009）をもとに国連水衛生年決議に基づいて行われた活動のうち主なものを取りまとめたものを表 5.2 に示す。これによれば、国際衛生年の活動内容は世界規模、地域規模から国家単位、地方単位に広がっており、国際年への参加者数は2億人の子供たちをはじめ、地球規模に広がっている。これらはいずれも各国の自発的行動によるものであるが活動内容も多岐にわたっている。この総括として国連事務総長は国際衛生年に関する活動報告書の中で、「国際衛生年は衛生問題にスポットライトを当てただけでなく、国際社会が衛生に関してより効率的に協調して行動と思考を行うための機会を提供した...この動きは国際年を越えて続くことが期待され、衛生が大事であり重要な開発課題であるというメッセージを伝えていくであろう...国際衛生年の活動は様々な意味で期待を上回るものであった。」と述べている（The United Nations General Assembly, 2009）。

表 5.2 国際衛生年(2008)に実施された主な活動（事務総長報告書より整理）

活動規模	国際衛生年（或いはそれを契機）に実施された活動
世界規模	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界手洗いの日を設立し、85か国で2億人の子供たちが参加。 ● 世界水監視の日を設置し、70か国が参加。 ● G8 サミットに衛生問題への協力を呼びかけ、百万人の署名を提出。 ● 世界のメディアに向けた情報提供機構「衛生アップデート」設立 ● 世界トイレット連合設立。 ● 国際衛生の5年(2011-2015)設立 ● 国連トイレの日設立
地域規模	<ul style="list-style-type: none"> ● アフリカ各国首脳参加によるアフリカ連合水衛生サミット開催、シャルムエルシェルク宣言を採択。 ● アフリカ衛生閣僚会議を開催、エテクウィニ宣言を採択。 ● ラテンアメリカ衛生閣僚会合を開催、カリ宣言を採択。 ● 南アジア衛生閣僚会合を開催、デリー宣言を採択。 ● 東南アジア衛生閣僚会合を開催、別府宣言を採択。 ● 中東西アジア衛生閣僚会合を開催。
国家規模	<ul style="list-style-type: none"> ● 各国が国内衛生会合を開催。ネパールでは約600人の国会議員参加による衛生会合で同国憲法に衛生へのアクセスを人権とする条項を憲法に記載することを合意。 ● アフガニスタン、アンゴラ、象牙海岸、インドネシア、ジブチ、マラウイ、ガイアナ、チェコ等で初めて衛生を国家開発計画に位置付け。 ● ボリビア、モーリタニア、タンザニア等で衛生関係閣僚調整会合を設置。 ● カンボジア、コンゴ、ジブチ、パキスタン、グアテマラ等で衛生に関する政府・利害関係者連携組織を設置。 ● 中国、ケニア、イラク、ベトナム、ナイジェリア、ジブチなどで国家衛生予算を増加。タンザニアでは衛生予算を前年比10倍増。アフガニスタンで初めて衛生分野を予算化。 ● ガンビアで衛生予算追跡システムを設置。 ● モザンビークで1年間に公衆トイレ数を8,000から25,000に増加。 ● 日本、豪、英等で衛生に関する政府援助支出増加を決定。豪では衛生関係援助額を5倍増。日本は650万人に新たに衛生サービスを提供するため300億円を拠出。 ● エチオピアで手洗いキャンペーン、民間企業が10万本の石鹸を寄贈。 ● 日本の民間企業が東チモールに1千戸のトイレ設置キャンペーン実施。 ● 約40か国で国内衛生メディアワークショップを開催 ● ミャンマー映画協会が12の衛生キャンペーンフィルムを作成。

5.3 まとめ

第 2 章で分類した水に関する国際会議プロセスのうち、I 群の代表例である国連総会について既存の資料整理を通じて分析した。その結果は以下のとおりである。

- ① 国連総会は国連憲章及び厳密な会議規則及び慣例により発生する道徳的拘束力及びその結果としての構成員（＝各国政府）の行動実施への影響力、並びに事務総長・国連機関による監視プロセスの存在を特徴としている。これらの特徴は他のグループにない、このグループに特有なものである。
- ② 上記拘束力を背景に、各国政府は自発的に行動を実施する。
- ③ 具体的には国連で定められた会議手順により、構成員（国連加盟国）より発議された提言は、テーマ別討議、所掌委員会決議を経て国連総会決議がなされ、これに基づき各国行動が開始される。なお、この過程は構成員である主権国家の利害調整と合意形成過程であるため、長期間を要し、具体的な合意が困難であることも多い。
- ④ 国連会議プロセスでは国際社会としての意思決定を行うことが出来、法律的な意味合いの拘束力はないものの、その合意内容次第では政府を中心とした関係者の多様な行動を広範囲かつ大規模に実行させることが可能である。一方で具体的な課題を国連決議として成立させるためには規則と慣例に則った多くの手続きと議論の積み重ねが必要となるため、決議の成立は簡単ではない。
- ⑤ このアプローチの結果成立した国際衛生年の主な活動を整理し、広範囲かつ大規模な活動が実現されていることを示した。

このような状況下で地球規模水行動に関して国際社会の合意を取り付けるためには他の国際会議プロセスと連携したプロセスを設計し実施していく必要があり、これについて次章以降で分析を進めて行くこととする。

引用文献

国際連合広報センター. 2014. 国際連合広報センターウェブサイト
http://www.unic.or.jp/info/un/un_organization/ (参照 2014/02/02)

Permanent Mission of Switzerland to the United Nations. 2011. The PGA Handbook.
Permanent Mission of Switzerland to the United Nations. 123

The Ministry of Foreign Affairs and Trade of New Zealand. United Nations Handbook.
The Ministry of Foreign Affairs and Trade. 427

The United Nations. 2008. Charter of the United Nations. The United Nations

Department of Public Information. 105p

The United Nations General Assembly. 2006. United Nations General Assembly Resolution A/C.2/61/L.16/Rev.1. 2

The United Nations General Assembly. 2009. United Nations General Assembly A/64/169 International Year of Sanitation Report of Secretary General (内部資料) 19

6. 国連水と衛生諮問委員会と世界水フォーラムの比較分析と国際会議プロセス連携モデルの提示

6.1 UNSGAB、世界水フォーラム、国連会合の比較

これまで大規模任意会議である世界水フォーラムと小規模ハイレベル会議である国連水と衛生諮問委員会 (UNSGAB) について、水に関する国際会議プロセスの類型とその特徴、特に会議プロセスとしての合意や提言形成過程とその実現のメカニズム、会議としての強みと弱みを分析してきた。その結果世界水フォーラムにおいてはハイレベル参加を中心とした会議のレベル・規模やメディアの注目度などを影響力の源泉として、多種多様な提案・提言が会議に持ち込まれ、その提案者が自発的に提言・提案の実現を図ることで具体的な地球規模水行動の促進を図っていること、UNSGABにおいては国連事務局長の諮問委員会という権威及び構成員（メンバー）の知名度や人的ネットワークを影響力の源泉として構成員によるトップレベルの政治意思決定者への働きかけ（トップダウン）と同じ提案を事務局からボトムアップで事務的に持ち上げることにより、国連や有力な国際組織（パートナー機関）の意思決定を促し、その結果地球規模水行動の促進を図っていることが明らかになった。

こうした会議の基本構造は、水に関する国際会議プロセスにおける合意形成と実行面に直接の影響を及ぼす。今までの分析結果をもとに国連会合を含めてこれらをまとめて比較した結果を表 6.1 に示す。これによれば、合意形成のプロセスについてはどの会議も会議構成員の提案によって合意形成プロセスが開始されていることに変わりはないが、国連は国連憲章・会議規則・慣例に基づき、UNSGAB では構成員全員の合意に基づくという了解により、合意形成の過程が定型化しているのに対し、大規模任意会合である世界水フォーラムでは合意形成プロセスが定型化しておらず、そのために会合全体として合意した具体的水行動の提言や提案の形成が困難である。合意の実行（実現）プロセスについては国連会合が道徳的拘束力のある決議に基づき構成員（加盟国）が実行するのに対し、決議や合意に拘束力を持たない世界水フォーラムではその実行・実現は構成員の自由意思に委ねられており、またUNSGABにおいては合意そのものに（UNSGAB委員に対して）拘束力はあるもののその実現・実行を構成員ではなくパートナー機関に委ねているため、合意形成がそのまま合意実行には至らない構造となっている。

表 6.1 水に関する国際会議プロセスにおける合意形成と実行面の比較

会議名 (会議分類)	国連総会 (国連会合)	世界水フォーラム (大規模任意会合)	UNSGAB (小規模ハイレベル会 合)
合意の提案 者	会議構成員(参加国政府) が提案	会議構成員(会議開催 者)が提案	会議構成員(メンバー) が提案
合意形成の プロセス	合意形成に至るプロセス が定型化している	合意形成のプロセスが 非定型(プロセスの正 当性に疑義が生じる)	会合のTORによりプ ロセスが定型化 構成員の全員賛成を基 本として合意形成
合意実行に 用いる会合 影響力の源 泉	国連憲章等に基づく道徳 的拘束力 メディアの注目度	参加者のレベル、規模 と種類 メディアの注目度	会合メンバー自身の知 名度・影響力、参加者 の人的ネットワーク、 メディアの注目度
合意の実行 プロセス	拘束力のある決議に基づ き構成員(参加政府)が 実行	合意事項に賛意を示す 参加者が任意に行動	合意に基づき会合メン バーが働きかけ 働きかけの相手先(パ ートナー機関)が実行
合意形成・実 行における 強み	一旦合意(決議)がなされ れば一定の(道徳的) 拘束力が発生する 合意をモニターする国連 専門機関が存在 国際社会で国連に与えら れた地位と影響力を活用	政府・非政府や賛同者 の規模を問わず、合意 を実行できる 合意内容や実行形式に 自由度が高い	合意形成が比較的短時 間で可能 利害関係者の同意を必 要としない
合意形成・実 行上の弱み	合意形成に時間がかかる コンセンサスを基本とす るため、合意内容に具体 性が欠ける場合が多い	合意に拘束力がなく、 モニターのメカニズム が不在 合意のプロセスが不透 明で、正当性に欠ける	会合構成員が合意を実 行するわけではなく、合 意自体の実行は協力組 織に委ねられる
合意形成・実 行力強化の ための工夫	本会合(国連総会)に加 えて地域会合、専門会合 等を開催し合意形成を 図る	過去の会議経験を通じ て会議形式、合意形 成・実行形式を改善	会合のトップダウンと 事務局のボトムアップ 構造を活用

前章までの分析で示されたように、これらの合意形成・実行のメカニズムの違いによってそれぞれの国際会議プロセスの合意形成、地球規模水行動の実現を図る能力と過程に差異が生ずる。国連会合においては国連総会などで一旦合意（決議）が成立すればその内容や文言によって構成員に対する道徳的拘束力が発生する。また合意により国連事務総長や国連専門機関がモニター者として指名された場合、それらが合意の実行をモニターし、報告することも担保される。合意の実現にあたっては構成員である各国政府が努力すると共に国際社会で国連に与えられた地位と権威を通じて民間や非政府組織に対して一定の社会的影響力を行使して合意内容の実現を図ることもある程度可能である。一方で道徳的拘束力の発生する合意であること、基本的に参加国（国連加盟 194 か国）全体による議論と合意形成が必要であることから特に各国政府の予算や資源の使用を伴う合意形成（例えば温室ガスの削減目標設定）には多大の時間と繰り返しの議論を要し、或いは手続き論により合意形成の内容が左右され(国際平和研究所, 2011)、合意形成そのものが困難である場合も多い。また、関係者の合意形成の過程で合意内容が曖昧化し、具体性が損なわれていく。このため実効性のある合意が極めて図りづらい（合意しても実際に効力が発生しない(平和・安全保障研究所, 2011)）という弱みも存在する。

世界水フォーラムにおいては上記のように合意に拘束力がなく、モニターのプロセスも不在であるか、会議主催者が提案者の協力を得て不定期に行う形が殆どであり合意形成プロセスとして弱い。また例えば世界水フォーラム決議といった全体合意を標榜する結論もその形成プロセスが不透明であり、多くは主催者の一方的な宣言に過ぎないといった会議プロセスとしての弱みがある。一方で、任意の大規模会議という会議構造の特徴を生かし世界水フォーラムにおいて任意提出、関係者間で合意された合意は、その構成者が政府・非政府であるかを問わず合意を実行でき、合意内容や実行形式の自由度が高い。

小規模ハイレベル会合（賢人会議）であるUNSGABでは、様々なバックグラウンドの委員で会議が構成されているため時として激しい議論の応酬が展開されるものの、構成員の人数が少ない事と例えばMDGの達成という共通の目標を共有していることから、WOPsの例でみられるように妥協は可能であり、具体的で有効性のある合意形成が可能である。一方賢人会議という会議プロセスの性格上会議構成員が合意を実行するわけではなく、パートナー組織に合意事項（橋本行動計画）の実行が委ねられ、合意者と実行者が異なっているという弱みがある。

前章までのアンケート結果などを通じて見てきたとおり、会議関係者は（明文化していないにせよ）こうした会議プロセスの強み、弱みを意識し、合意形成やその実行が極力円滑に行われるよう工夫してきている。国連会合の場合は既に知られているように本会議での合意形成という目標に向かって地域会合や専門家会合を併催し、グループごとに意見集約を図るとともにアドバイザーグループを設けるなどして論点整理や優先付けを図り、合意形成の促進を図るようにしている。世界水フォーラムでは過去の世界水フォーラム会議で会議として様々な試みと後続世界水フォーラム主催者による取捨選択を通じて、影響

力の向上、多様な提案創出、関係者による部分的合意の形成が図られるようになって来ている。又UNSGABにおいては委員のトップダウンの説得と事務局のボトムダウンによる提言の内部浸透の過程を経て、パートナー機関の説得と合意を図るメカニズムを確立させてきている。このようにそれぞれの国際会議プロセスには水行動を実現する上で、プロセス特有の強み、弱みがある。但し、これらの強みや弱みは比較分析によって明瞭化されていくのであって、現状でそれぞれの会議主催者はいわば試行錯誤でそれぞれの会議プロセスの改善を独自に行ってきたため、より明確で効率的なプロセス改善のためには、比較分析によって得られたそれぞれの会議プロセスの相対的な位置づけと長所短所の認識に基づいたシステムティックな改善が必要である。

6.2 国際会議プロセス間の相互関係と補完

今までの国連水と衛生諮問委員会（UNSGAB）、世界水フォーラム、国連総会の構造上の特徴、地球規模水行動実現へのアプローチ及びその成否要因に関する分析で明らかになったことをまとめると以下の通りになる。

- 水に関する国際会議プロセスはその規模や正統性による類型化が可能である。
- それぞれの国際会議プロセスにはその構造由来の強みと弱みがある
- それぞれの国際会議プロセスには会議構造・構成（構成員を含む）に関係した異なる影響力の源泉がある
- それぞれの国際会議プロセスには会議構造に対応した合意形成の過程とその実現過程がある
- それぞれの会議プロセスで合意形成とその実現過程に改善の余地がある

前節では水行動実現のため、世界水フォーラム、UNSGABそれぞれがその強みを活かし、弱みを克服するための改善努力の方向性について触れたが、こうした強み・弱みは会議プロセスの構造由来のものでもあり、改善にも限界がある。一方で世界には水に関するものだけでも無数と言えるほどの会議が毎日のように開催され、それぞれの課題に関して合意・実現を図ろうとしている。これらの会議の多くが世界の水問題の解決という共通の目標を持っているとすれば、それぞれの会議プロセスを単独で改善するだけでなく、その強み・弱みを認識した上で会議プロセス間の補完関係を知り、その上でこれらの会議プロセスが共通の目標に向かって連携・協働するようにデザインしていくことが極めて有効である。このため、次節以降では今まで分析してきた世界水フォーラムと国連水と衛生諮問委員会(UNSGAB)及び国連会合を中心に、それらの協働・補完関係を分析し、こうした異なる種類の国際会議プロセスが連携・協働しうる会議プロセスのデザインについて検討する。

6.3 主要地球規模水行動における世界水フォーラム、UNSGAB、国連・政府間会合の関係

第 3 章で取り上げた UNSGAB の主要地球規模水行動について、それぞれが世界水フォーラム及び国連・政府間会合とどのように関連しているかの経緯を分析した結果を図 6.1 に示す。これについて水行動毎に世界水フォーラム、UNSGAB、国連等国際会合の国際会議プロセスが具体的にどのように関係してきたかを説明する。

地球規模水行動実現に関する世界水フォーラム、UNSGAB、国連・政府間会合の連携過程



図 6.1 地球規模水行動実現に関する世界水フォーラム、UNSGAB、国連・政府間会合の連携過程

① 国際衛生年(IYS2008)

衛生については第 3 回世界水フォーラムにおいてカムデス報告書が発表され衛生問題を政治課題化し世界規模の問題として取り上げるよう提言がなされた(World Panel on Financing Water Infrastructure, 2003)。このカムデス報告書をもとに UNSGAB では衛生問題を政治課題化するための具体的な行動が討議され(UNSGAB, 2005a; UNSGAB 2005b)、2008 年を国連衛生年とすることを働きかけることが決定された(UNSGAB, 2006b)。これに基づく国連加盟国・関係機関への働きかけの結果、2006 年の第 61 次国連総会において同衛生年を決定する旨の決議がなされた(United Nations General Assembly, 2006)。

② 水事業体パートナーシップ

第 2 回水フォーラムで水の民営化に反対する市民団体がこれに抗議するために第 2 回世界水フォーラムの開会式で過激な抗議活動を行い、水民営化がメディアの関心を集める大きな課題となった(World Water Council, 2000; HRH the Prince of Orange *et al.*, 2000)。これを受け、第 3 回世界水フォーラムでは水民営化問題の解決に向けて、民営化賛成者と

反対者が同じテーブルに着く水民営化パネルを開催したが、結論に達しなかった (Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003a)。これらが背景となり UNSGAB 発足時点では水民営化問題は避けて通れない問題として認識され、UNSGAB 委員構成にも水民間企業出資委員と国際公務員労連出身委員が任命されるなど会議構造にこの問題が反映された。委員会会合では第 1 回会合より水民営化問題に関する数次にわたる討論が行われ、この問題解決のための具体的行動として「水事業体パートナーシップ」を提言した (UNSGAB, 2005a; UNSGAB 2005b; UNSGAB, 2006a)。この提言発表後には、同提言について国連事務総長の実現要請書が国連居住計画事務局長あて発出され (UN Secretary-General, 2006)、国連居住計画がホストとなって地球規模水事業体パートナーシップ連合が 2007 年に発足した (GWOPA, 2011)。

③ アフリカ水会合

多くの低開発地域を抱えるアフリカ地域は水衛生サービス供給の観点からも最も遅れた地域であった。第 2 回水フォーラムの世界水ビジョンでもこの問題が指摘され (Cosgrove, 2000)、アフリカ水閣僚会合創設のきっかけとなった。第 3 回水フォーラムにおいては地域の水対話プロセスが初めて開始され、特にアフリカ地域の水問題は地域水問題解決の焦点の一つとして取り扱われた (Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003)。UNSGAB はこの第 3 回世界水フォーラム会長の橋本龍太郎元首相が議長であり、第 3 回世界水フォーラムでアフリカ水衛生供給イニシアティブを提唱したカムデス報告のカムデス氏が UNSGAB 委員を務めるなどの人的なつながりや、カムデスパネル報告が UNSGAB 会合で議論されるなどの議論の連続性があり、このため橋本行動計画発表直後の UNSGAB 第 6 回会合でアフリカ水閣僚評議会議長を会合に招き、この問題の地域解決には政治トップの意識高揚と決断が不可欠との結論に達することになった (UNSGAB, 2006b)。この結果アフリカ連合によるアフリカ 53 元首による水サミット「AU 水サミット」開催が提言された。これに基づき UNSGAB で AU 首脳等に働きかけた結果アフリカ連合総会において同サミットを開催することを決議 (African Union, 2008a)、2008 年 7 月にアフリカ連合水サミットが開催された (African Union, 2008b)。

④ 地域開発銀行との協定

第 3 回世界水フォーラムでは水への資金調達及び投資が主要課題の一つとなり、その声明文は次のように取りまとめられている。

「国際機関ならびに二国間援助機関は、支援の配分に当たっては、すべての水関連セクターについて水問題を統合・調整するための戦略の策定を進めており、適切な計画立案に基づいて投資の増大を図っている諸国を優先する。各国政府及び援助国は投資戦略において貧困者に裨益し手頃な費用で利用しうる適切な技術及びアプローチに特に注意を払う。各国政府、援助国及び民間セクターは手頃な費用で貧困者に水を供給するインフラストラクチャを開発・管理する上で地元の水管理者が利用することが出来る各種公的金融商品を開

発するものとする。」「各国政府は水管理およびサービスの提供において良いガバナンスを確保する。援助コミュニティはより良い水ガバナンスシステムの確立のために供与する資金の割合を増大させるべきである。」

UNSGAB 橋本行動計画では上記を含め主要な宣言や呼びかけを精査し、資金調達について下記の様に上記宣言文と符合する提言を行った。

「能力開発に関係する地域機関は、水サービスにおけるよりよいガバナンスと透明性を築き上げるために、持続的なプログラムを設定すべき。 地域の金融機関と世界銀行は、新たな資金源に関する地方の事業者の知識と意識を向上させる（その逆の関係も同様）ための継続的なプログラムを創設すべきです。資金関係機関は、地方の資金市場を開発するプログラムを設定すべき。 援助機関は、これらの分野に資金を提供すべき。」この類似は上記第3回世界水フォーラム宣言の提案主要部分が橋本行動計画に取り上げられたためである。これを受け橋本行動計画実現のために UNSGAB は地域開発銀行と協議を重ね上記橋本行動計画の実現に関する合意書締結を行った。

⑤ Joint Monitoring Program

第3回世界水フォーラムの準備プロセスにより設立され、第3回世界水フォーラム時に発表されたカムデス報告によって「現在の水衛生モニターシステムの改善及びコントロールタワーの設置」が提案された(World Panel on Financing Infrastructure, 2003)。UNSGAB ではこの提案が取り上げられ、橋本行動計画の優先事項として位置付けられた(UNSGAB, 2006a)。橋本行動計画の実現のため、UNSGAB は WHO/UNICEF と継続的に協議を実施し、これら国連機関により JMP の改善が図られた。

⑥ 水と災害問題

それまで水問題として取り上げられていなかった水災害の問題を初めて取り上げたのは、第2回世界水フォーラムにおける川と水委員会によるセッションであった(Cosgrove, 2000)。この成功を受け第3回世界水フォーラムでは水と災害問題が水に関する大規模な国際会議として初めて主要課題に取り上げられた(Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003)。この流れを受けて UNSGAB では水と災害ハイレベルパネルの創設を提言(UNSGAB, 2005; UNSGAB, 2006a)、関係主要国の支持を得て同パネルが2006年末に創設された(High Level Expert Panel on Water and Disaster, 2009)。更に2010年には橋本行動計画2において国連における水と災害に関するハイレベル協議を提言(UNSGAB, 2010)、この提言は国連議長、国連事務総長などの支持を受け2013年3月に国連水と災害特別会合が開催された(UN Department of Public Information, 2013)。

[分析]

上記追跡調査で述べたように、UNSGAB で橋本行動計画により取り上げられ、実現した

地球規模水行動は全てが世界水フォーラムで提言されたか、問題提起されたものであることが確認された。当然ながら世界水フォーラムではこの他にも多くの提言がなされており、またそれぞれの課題に関して多様な意見表明もなされている。前節で示したように大規模任意会議である世界水フォーラムの機能は地域やテーマ別におこなわれる会合の結果を共有し、行動の選択肢の提案と意識高揚、関係者の拡大を図ることであり、一方でUNSGABの機能はそれら多様な意見を吸い上げ取捨選択し、実行可能な提言に置き換えたうえで国際社会への働きかけを行うことであると言える。こうした提言の中で特に地球規模の行動は国際社会として合意され、政府等によって実現される必要があるが、前節で述べたように、合意形成の定型プロセスが無く参加者資格に条件が無い大規模任意会合や構成員が行動主体でない賢人会合がこうした機能を果たすことは、会議体の構造上困難である。一方国連や政府間会合の主たる機能は構成員たる政府の合意形成と行動促進であるので、UNSGABは3章で述べたように国連やアフリカ連合等政府間会合に働きかけることにより自力だけでは困難な提言の実現を図っている。

このように、分析した全ての地球規模水行動（橋本行動計画主要提言）はその実現過程において、①世界水フォーラムに課題と意見、提案が持ち込まれ発表され、②UNSGABで多くの意見・提言を取捨選択、その中で提言として具体化し、③国連・政府間会合・国際機関で意思決定し、実行する、という国際会議プロセス間の連携が成立している。この一連の流れの中で、世界水フォーラムのような大規模任意会合の主たる機能は水意識の高揚、利害関係者の参加拡大とそこから発生してくる多くの行動選択肢の発表と多様な意見の表明である。UNSGABのような小規模ハイレベル会議の機能はこうした多様な行動選択肢（複数の大規模任意会議からの選択肢吸い上げも含めて）から優先分野や具体的行動を選択し提言することである。これらの具体的行動提言には、多様な意見や選択肢に基づいて新奇な具体的行動を創出することも含まれる（例：WOPs）。また、これらから優先度の高い課題を取り上げ国際社会に対する明確なメッセージの発信を行うことも小規模ハイレベル会議の重要な役割となる。国連会合・政府間会合・国際機関の主要な機能は国際社会の意識共有と会合構成員である政府行動の決定と実行、更にはモニターである。このように国際議論プロセスから地球規模水行動が提言され実現したケースでは、それぞれのプロセスがその特徴・機能に応じて役割分担し、連携して具体的行動の実現に至っていることがわかる。

このように橋本行動計画の主要提言として提示された地球規模水行動の実現においては、世界水フォーラム、UNSGAB、国連会合（政府間会合）間には高い相互補完関係があり、それらの一連の活動が繋がって地球規模水行動の実現が達成されている。前出の図6.1ではその関係を具体事例に即して時系列的に示した。

一方、それぞれの国際会議プロセス相互の関係は一方的なものではなく、相互に働きかけ、フィードバックを行い、影響を及ぼしあっている。これを関係図として図示すると図6.2のようになる。

地球規模水行動の合意形成・実施における 三者の役割と相互関係

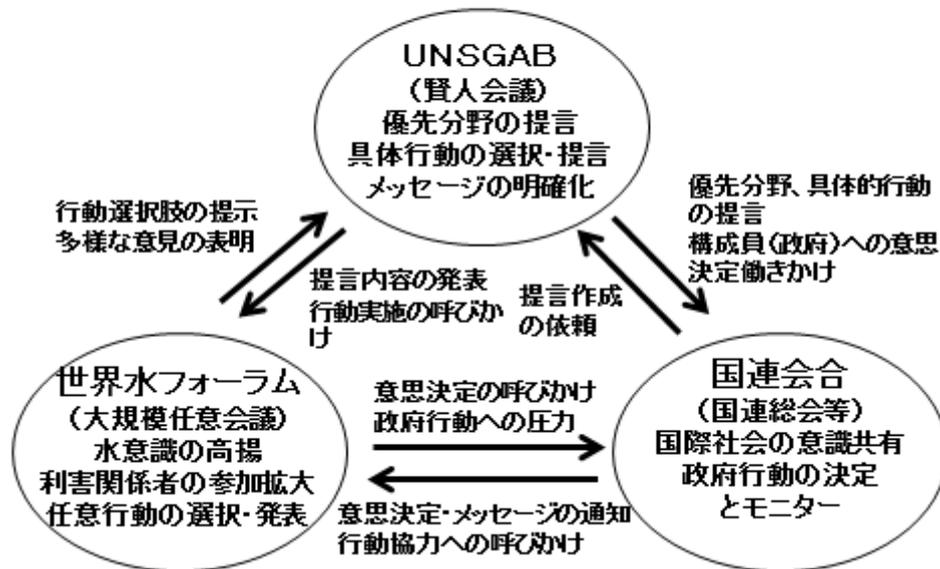


図 6.2 地球規模水行動の合意形成・実施における三者の役割と相互関係

すなわち、世界水フォーラムからUNSGABに対する働きかけとしては、多様な行動選択肢の提示や意見の表明があり、UNSGABはこれらを活用することにより具体的な提言の作成が可能になっている。言い換えれば、こうした多様な意見の表明や議論、アイデアの提出が無ければ小規模ハイレベル会議（賢人会議）自身の創案した提言の立ち位置や国際社会の反応が推論できず、国連等国際社会に対して十分な確信を持って提言を行うことは難しい。一方UNSGABから世界水フォーラムに対する働きかけは作られた提言の発表（橋本行動計画自体も世界水フォーラムで発表されている）や、世界水フォーラムの参加者に対する提案実施の呼びかけなどが行われている。

UNSGAB から国連会合に対する働きかけとしては、優先分野や明快なメッセージ、具体的提言を提供するもので、これによって国連会合は速やかで効率的な合意形成を期待できる。また UNSGAB 自らが国連等に働きかけることによって合意形成が円滑するメリットもある。一方、国連会合からは UNSGAB のロビー機能やハイレベルなネットワークの活用が期待されており、実際国連加盟国や国連専門機関から UNSGAB に対し、国際衛生年の準備会合開催や世界規模WOPs (GWOPA)への参加、国連水と災害会合共催などの要請がなされている(Water and Sanitation Plan, 2007; GWOPA, 2011)。なお、橋本行動計画の作成そのものも国連事務総長からの要請に応えたものである(UNSGAB, 2006a)。

世界水フォーラムから国連会合に対する働きかけとしては、世界水フォーラムでの提言事項に関する呼びかけや政府の行動への促進呼びかけがなされている。但し、世界水フォ

ーラム内で開催される閣僚会議が国連会合の構成員と類似していることから、世界水フォーラム閣僚会合が国連会合の機能を代替しうるような誤解が生じがちである。前述のように世界水フォーラムには定型の合意プロセスが欠けていることや、構成員が会議体に付与している権限（国連憲章への署名や国連総会規約への合意など）の不在など、構成員は同様でも任意大規模会合である世界水フォーラムの会議体としての構造は全く異なっている。世界水フォーラムは水意識の世界的高揚や、多数の利害関係者の参加、多様な意見の表明と議論の提供など、国連会合では果たせない機能を有しており、これらが国連会合の効果的な合意形成に有効に作用するよう協働関係を構築することが有効であると考えられる。なお、国連会合にとって世界水フォーラムは国連会合の意思決定内容の選定やメッセージの伝達にとっても有効な場である。

上記のように大規模任意会議である世界水フォーラム、小規模ハイレベル会議である UNSGAB、国連会合は地球規模水行動の実現の観点から、それぞれの機能に応じた役割分担と高い相互補完関係があり、これらを強化することにより、地球規模水行動の合意形成・実施に関してより効果的な協働を行う可能性がある。

6.4 水に関する国際会議プロセス連携による地球規模水行動実現モデル

6.4.1 国際会議プロセス連携の概念化

第 3 章、第 4 章において小規模ハイレベル会合である UNSGAB 及び大規模任意会合である世界水フォーラムが国際議論プロセスとして、それぞれ特徴（強み、弱み）があり、地球規模水行動の実現を図る際にはそうした特徴に適したアプローチで効果的な行動実現を図っていることを示した。また第 5 章では国連会合にも同様の特徴（強み、弱み）があることを示した。6.1 ではこれら 3 つの国際会議プロセスの特徴を比較し、比較表に示した。6.2 においてはこの三つの国際会議プロセスには連携・相互補完関係があり、橋本行動計画の主要行動計画実現の過程においては全てのケースに共通して①大規模任意会合である世界水フォーラムで全体的な意識高揚と共に具体的行動の選択肢の多様な提案と利害関係者の拡大を図り、次に②UNSGAB が多様な分野と提案の中で取捨選択と提言の具体化を図りその実現をパートナーに働きかける、③国連会合、政府間会合や国際機関が意思決定を行い地球規模水行動を実現する、という役割分担を通じて地球規模水行動実現に至っていることを示した。

以上の知見をもとに、地球規模水行動の実現における大規模任意会合、小規模ハイレベル会合、大規模ハイレベル会合（国連会合）の連携関係の概念化を図ると、図 6.3 のようになる。

国際会議プロセス連携の概念化

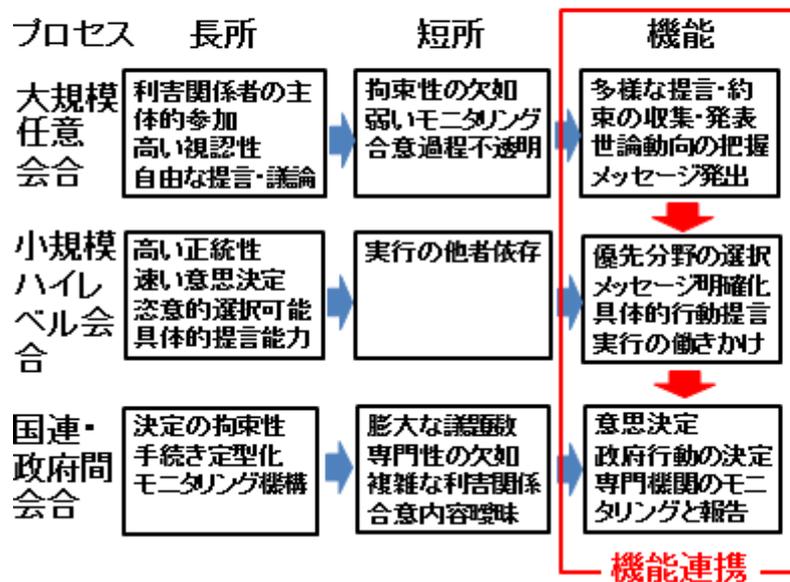


図 6.3 国際会議プロセス連携の概念化

すなわち、世界水フォーラムの様な大規模任意会合にはその構造上、強みとして利害関係者の主体的参加、会議プロセスの高い視認性、自由な提言・約束があり、弱みとして決定の拘束性の欠如、弱いモニタリング機能、不透明な合意形成過程がある。またこの強み、弱みは多く表裏一体であり、例えば多数による自由提言・意見の表明と迅速で拘束力のある具体的意思決定の同時達成は極めて困難である。この特徴に即して水全般の意識高揚を図りつつ多様な提言の収集や発表、水世論の動向把握、水に関するメッセージの発出などの役割を大規模任意会合が担う。一方で大規模任意会合単独では多くの提案の乱立し、混乱や資源の分散を招き、提言としての具体化がなされないなどにより、効率的な地球規模水行動実現を図ることは難しい。小規模ハイレベル会合はその構造上、提言の迅速な取捨選択、提言の明瞭化・具体化、関係者への効果的な働きかけなどを強みとしており、大規模任意会合の多数の提言の中から優先度の高い分野提案を取捨選択して提言として具体化し、意思決定者や実行者に働きかけを行う役割を担う。一方でこのプロセスは実行を他者に依存するので、これだけでは行動実現に至らない。次のステップ、すなわち意思決定と実行が必要である。次のステップであり国連・政府間会合では決定に道徳的拘束といった一定程度以上の拘束力が期待でき実行者も特定されている。このプロセスでは構造上の弱みとして（特に国連会合の場合）処理すべき膨大な課題（議題）数や、専門性の欠如、複雑な利害関係、曖昧な合意内容などが構造上の弱みとして存在するが、小規模ハイレベル会合と連携すればその前のステップで提言の具体化、明瞭化が図られた上、意思決定メン

バー（国連加盟国など）への働きかけも行われるので、合意形成の困難性は大幅に減じられる。その点で議論の初めから終わりまで国連会合だけで行う場合に比べて相当に効率は良いと考えられる。

以上のように前節までのケースで共通する知見から、国際議論プロセス連携の概念化が図られたことになる。

6.4.2 国際会議プロセス連携による地球規模水行動実現モデルの提示

前節で大規模任意会議である世界水フォーラム、小規模ハイレベル会議であるUNSG A B及び大規模ハイレベル会合である国連会合の分析結果をもとに、地球規模課題実現のための国際会議プロセス連携を概念化した。次にこの連携概念を用いて、水に関する国際議論プロセス連携による地球規模水行動実現モデルを提示する。

この水に関する国際議論プロセス連携による地球規模水行動実現モデルを図 6.4 に示す。

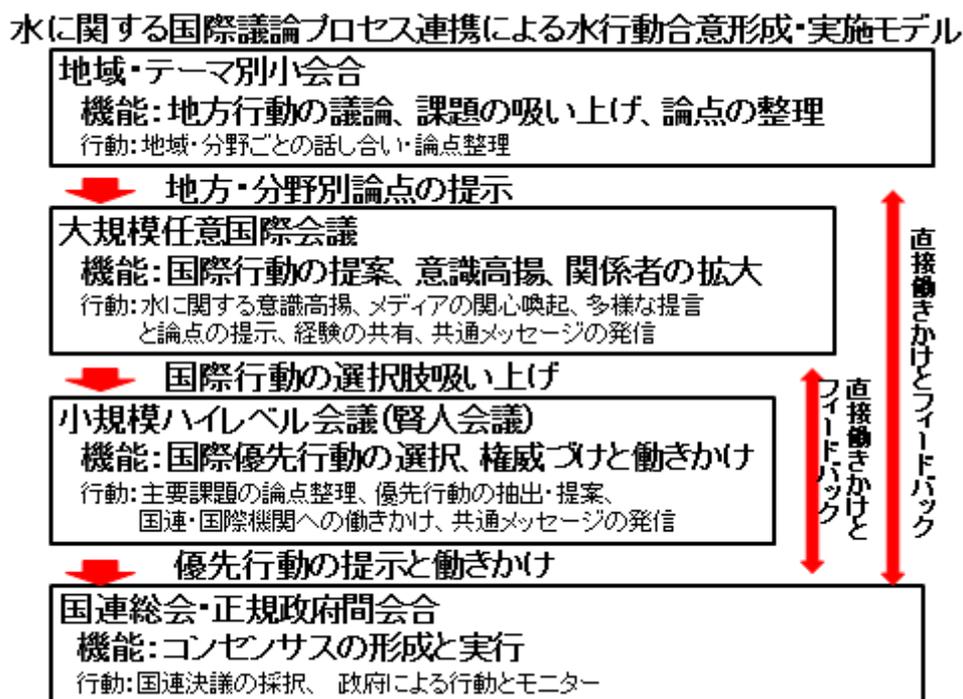


図 6.3 水に関する国際議論プロセス連携による水行動合意形成・実施モデル

まずこのモデルで最初のプロセスは地方や分野ごとの議論から始まる。水に関しては地方の地理社会条件等によって様々な問題が発生しており、これらについては流域など一定の単位で解決策について話し合いがなされている。また、水供給、衛生、水環境、水災害などの専門分野ごとに会議や情報提供が行われ、経験や技術共有がなされている。こうした地方単位、専門分野単位の議論は地球規模の議論、意思決定と行動の重要な基礎になるものである。現場での経験や課題の実態に根差した、「地に足の着いた」地球規模水行動が

構想・提案されるためには地方や専門分野単位での中小会合での論議と経験共有が必須であり、実際各地では地方の問題解決のためにこうした個別の会合が多数開催されている。こうした既存の会合・会議を世界規模の会合と連結し、地方の経験や意見を国際的に共有し、地方・分野別の論点を提示していくことが水行動の原点として必要となる。

一方、これらの議論は地方色や専門色が強いため、これらに共通する問題や解決策を抽出し、アジアモンスーンや半乾燥地域などの地域単位での議論に統一して適応性を議論するなど、議論と解決策の共通化を図る必要が生ずる。このためにはまず、地方単位、専門単位の議論を集約し、相互比較し、共同議論するための場が必要となる。大規模任意国際会議はそうした議論や経験共有のための場として必要であり、前節で示したようにここから多種の国際行動の提案がなされ、併せて利害関係者の拡大と多様な意見の提出、さらにメディアの関心喚起や水意識の全般的な効用、共通メッセージの考案と発信が図られる。また同時に参加者の水問題解決貢献への意欲が高まり、自発的な水行動の開始も併せて発生する。

このように大規模任意会合では、多様な利害関係者の参加、共通の問題集約と解決策の提案、自発的な水行動の発生がなされるが、前節で述べたようにその論点や意見、提案はいわゆる玉石混交であり優先順位もはっきりしない。小規模ハイレベル会議（賢人会議）がこうした多種多様な意見の論点を整理し、具体的行動に再構築し、権威づけを与えて行動主体に働きかけることは地球規模水行動実現にとり有効に働くことを3章で確認した。ここでは主要課題の論点整理、優先行動の抽出・提案がなされるとともに政府ハイレベル等への働きかけが行われ、いわゆる国際合意形成と行動のための環境整備が行われる。

上記でまとめられ具体案として提案された行動を国際社会が合意し実行するためには、国連（国連総会等）や政府間会合は不可欠である。ここでの主たる機能は合意形成と政府等による行動実施、モニターである。地方・専門単位でなされた議論が大規模任意国際会議で共有化・整理され、さらに賢人会議で優先付け、具体的提言として再構築されたものを国連に提示するため、合意形成の論点整理や意見調整が既になされていることで、国際社会での意思決定は格段に容易となる。また、提言の認知度が利害関係者間で上がっていることで意思決定後の利害関係者による協力も得られやすい。なお、国連会合に対する意見提出は全て賢人会議を経由するものではなく、大規模任意国際会議や地方・分野別会合から直接提出・働きかけることも十分にあり得るし、そのフィードバックも可能である。

このようなモデルによって地方レベルの水問題を地球規模レベルに集約し、その解決策を地球規模の水行動に具体化し、その上で政府や利害関係者によって国や地方レベルの行動に還元していくことが可能となる。このモデルの長所は既に実施されている国際議論プロセスを段階的に連携させることで、地方から地球規模の水議論が連結され具体化されることにある。なお、水に限らず分野や課題によっては、上記に述べたような地方・専門分野の議論から国際合意形成に至るまでの全てのプロセスを国連の傘の中で一括して行う事例（例えば気候変動分野において）も見られる。しかしながらこうしたプロセスは膨大な

資源や時間を要することや、政府のみで意思決定をする会合という国連会議の性格上利害関係者の参加が限定的であることなどから、提示したモデルの方がより効率的であると言える。

6.4.3 要素となる国際会議プロセスの成立条件

本研究第 1 章冒頭に述べたように世界では水に関する大小さまざまな会議が開催されている。今まで数多くの水に関する提案やアピールが掛け声倒れに終わり、たなごらしになり、合意にすら至らず消滅してきた現状から見れば、任意の会議をランダムにつなげれば地球規模水行動が実現されるわけではない。上記に述べたような、意識高揚や水世論の形成のもとでの多様な提言の発表、優先分野の選択と提言の具体化と働きかけ、意思決定と実行・モニターの基本ステップが一貫して踏まれるとの前提でもなお、それぞれの国際会議プロセスが一定の要件を満たすことが地球規模水行動実現連携モデルの成立条件になると考えられる。

この節では先に提示した連携モデルにおいて、それぞれの過程を構成する国際会議プロセスが機能するために満たすべき条件（必要条件）を、今までの分析から得られた知見をもとに考察・提示する。

連携モデル各プロセスの機能とその機能が確保されるために国際議論プロセスが満たすべき成立条件を図 6.4 に示す。

連携モデル各プロセスの機能とその成立条件

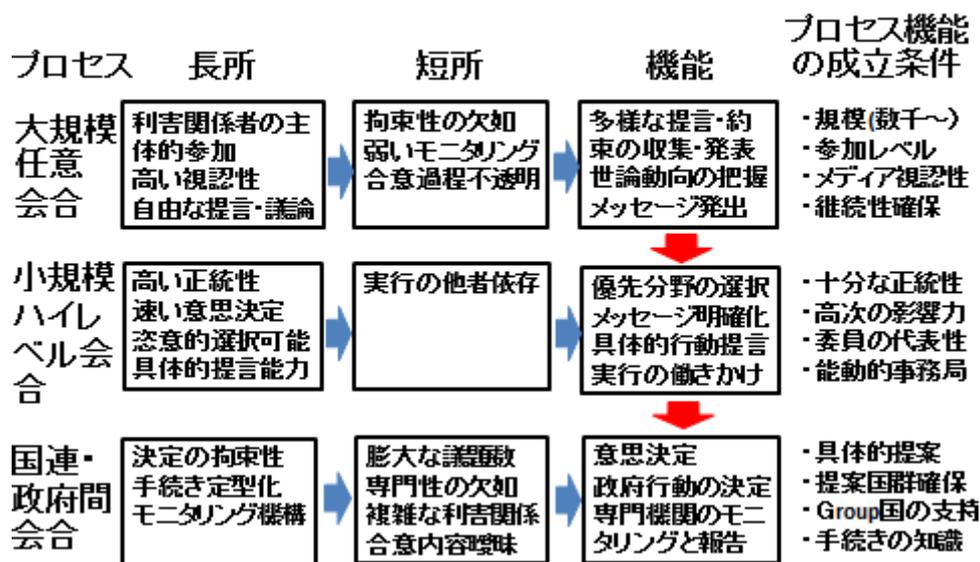


図 6.4 連携モデル各プロセスの機能とその成立条件

それぞれのプロセス毎に必要な成立条件を以下に述べる。

[大規模任意会合]

連携モデルの対象となり得る大規模任意会合が満たすべき第1の必要条件是、3章で世界水フォーラムの主催者が一様に力点を置いた、まず会議としての規模とレベル＝視認性(visibility)の確保となろう。大規模任意会合は政府や組織、様々な利害関係者が自らの約束と提案を自発的に持ち込む場となるので、会議自体が参加者にそのような動機づけを与えるのに十分な視認性を持っている必要がある。第4章の世界水フォーラムの分析から言えば会議規模とハイレベルの参加者数が十分に確保されていることが第1に必要な条件であり、次に参加者が持ち込む約束や提案を発表する場が広く多様に確保されていることが必要になる。規模について言えば分析した世界水フォーラムは世界最大級の水会議であるので、それより小さい規模の会議がどれだけの視認性を持ち得るかは分析しづらいが、第2回世界水フォーラムは参加者数が6千人程度であったが多くの提案が持ち込まれ、又水専門家が会議の影響度も十分有すると評価した調査結果もあることから(Vardy, 2005)、1万人に満たない規模でも十分な視認性を持つ会議となり得ると考えられる。一方、ハイレベル(例えば閣僚級)の参加者数が全ての世界水フォーラムで主催者が最重要と考えていることから、このハイレベル参加の規模確保を考慮することは特に大規模任意会合にとっては重要と考えられる。これについても歴代の世界水フォーラムのうち最小は第2回世界水フォーラムであったがそれでも80人超の閣僚級参加を得ている。これを最低レベルと考えると閣僚が一堂に会するような会合(セッション)の併設は必須ということになる。

ここで、2001年開催のボンの国際淡水会議(独政府主催)の事例を見ると登録参加者数は約1,300名程度であってかつ参加閣僚数は46名と世界水フォーラムより相当程度少ない。ボン会議は基本が政府・国際組織への招待ベースである開放性の低い会合であって、セッションの開催も基本は主催者により運営されていた。一方その成果はヨハネスブルグサミットでの衛生非アクセス人口半減の目標設定追加合意に繋がったという意味では、元来ヨハネスブルグサミットの準備会合と位置付けられていた事を考慮しても極めて効率的に目標を達成した会合と言える(なお、この衛生目標に関する提言は閣僚宣言では明示されておらず、主催者提言となっているところも世界水フォーラム宣言と閣僚宣言の関係に類似している)。利害関係者セッションや閣僚会合を併設している点で世界水フォーラムとは類似点はあるものの規模は数段小さく、その分、論点をシングルイシュー化した上で閣僚会合の併設で視認性を向上、衛生非アクセス人口半減を発射台に据えた巧みな会議設定と運営がなされたという点で、今回提示したモデルとは異なる国際会議プロセスモデルとして発展する可能性がある。

世界水フォーラムのメディアの注目度については、世界水フォーラムの主催者は高い優先度をおいておりその結果500名(World Water Council, 2000)から1000名超(Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003b)まで多数のメディア関係者が世界水フォーラムを取材している。当然ながらその報道内容は肯定的なものから否定的なものまで多様であるが

(第3回世界水フォーラム, 2003) 視認性向上のためにはメディア露出は不可欠な会議要素である。例えば第3回世界水フォーラムでは準備期間の3年間を通じ CNN International の公共広告枠や BBC のドキュメンタリーシリーズを媒体としたメディアキャンペーンを実施しており (Secretariat of the World Water Forum, 2003b)、メディア露出の点からは本報報道よりそちらの準備活動の方が大きい。連携モデルの大規模任意国際会議の設計を考えるとうえではメディア戦略を同時に設計することが必須であろう。

一方、大規模任意会合の弱みとしては閣僚会合などのハイレベル会合を含めて会議の決議に拘束性が無い事、モニタリングのメカニズムが不在或いは弱くなりがちである事、合意のプロセスが不透明で正統性に欠けることなどである。前章で示したように、大規模任意会合はその特徴から構造的に具体的な合意形成に不向きな会議プロセスであるので、意思決定の最終段階に大規模任意会合を位置付けるのは不適であり、寧ろ良い提言や約束の発射地点或いは加速地点と位置付けることが適切である (図 6.3)。このため、連携モデルでは大規模任意会合を地球規模行動実現プロセスの最初の段階に位置付けている。前に述べたようにこの連携プロセスでは大規模任意会合の視認性を高め、任意会合の低正統性を補完するために閣僚会合の併催が重要になっているが、一方で主催者は閣僚会合のアウトプットには相対的に期待していない。このため、このモデルでは大規模任意会合において一つの成果 (例えば閣僚宣言) を出すために国連会合並みの厳密な議論過程を課したりすることは不効率で、寧ろ異なる分野の閣僚 (財政・経済閣僚だけでなく保健や農業、エネルギー、危機管理担当相等) の参加や水閣僚と利害関係者との水対話 (WWF3 での事例がある (Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003a)) による相互理解の深化や意思決定者の動機付け向上、相互啓発による新たな見解の創出を期待することが適切であると考えられる。

モニタリング機構の不足についても、大規模任意会合が同じ主催者によって開催され、かつそれが地球規模でモニタリングを行う能力 (資源とネットワーク) がない限り、国連システムに代わるような機能は発揮が難しい。但し、本来大規模任意会合として自発的な約束と提案を地球規模行動実現の機能としている以上何らかの手段でモニタリング機構は担保される必要がある。世界水フォーラムの例で言えば、WWC と世界水フォーラム主催国が、世界ネットワークを持つ他の組織 (Global Water Partnership(GWP)、国連システムなど) と連携して約束と提言のモニタリングメカニズムを早期に構築することが適切であると考えられる。特に水に関する国際組織の現状から言えば世界 170 ヶ国に約 3,000 の加盟組織を持つ GWP や協力分野は特化されるが世界の上下水道事業者が会員となり各国組織も確立している IWA(International Water Association) などの世界ネットワーク組織、或いは国連水連携調整機能を持つ UN-WATER と連携を図りモニタリングをシステム化することが極めて重要となろう。

連携モデルではこのような大規模会議の組織構造を設定した上で、会議に持ち込まれる大小様々な約束や提案を会議主催者として会議成果に編成、発表していくことになるが、

世界水フォーラムの例で言えば、会議主催者は純粋に自発的な約束や提案を待つだけでなく様々なプログラムを使ってより多くの、効果のある約束や提案が提出されるよう働きかけている。この手段としては世界水フォーラムで新規約束を発表する組織へのセッションなどの場の優先的提供(或いは条件化)(Secretariat of the 6th World Water Forum, 2012)、コンテストの開催(Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003a)、水行動(約束)集の編纂(Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003a; Secretariat of the 4th World Water Forum, 2006; Secretariat of the 5th World Water Forum, 2009)、事例収集へのボランティアの活用(Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003a)など様々である。また、世界水フォーラムでは主催者自ら地球規模行動の提案プロセスを創設や支援することも行われている(Secretariat of the 3rd World Water Forum, 2003a; Secretariat of the 4th World Water Forum, 2006; Secretariat of the 5th World Water Forum, 2009; Secretariat of the 6th World Water Forum, 2012)。大規模会議の主催者は常に「費用に見合った効果を上げているのか」、「会議を開催してもしなくても世界の水問題は変わらないのではないか」という潜在的或いは顕在的批判にさらされている。「世界水フォーラムとその費用はしばしば批判される。多くの人々が世界水フォーラムは規模を縮小すべきだという意見に同意する一方で、第3回フォーラムの開放性は非常に前向きだったという意見にも同意する」(World Water Council, 2003)といった二律背反の中で、多くの有効な提言を発掘・促進・フィードバックするためのシステムを試行とデータに基づく分析を繰り返しつつ作り上げていくことが任意大規模会合にとり最善なシステム形成の近道になると考えられる。

[小規模ハイレベル会議]

上記で示したように、連携モデルにおいてプロセス第1段階の大規模任意会合には多くの提言や約束を収集し、発表させる機能はあるが、それらに優先順位をつけたり、取捨選択をしたり、或いは特定の提言の実現を働きかける機能は無い。これらの機能は世界水フォーラムの事例で示したように会議プロセスの構造上大規模任意会合が弱みとしているところである。一方で第3段階の国連や正規政府間会合には意思決定を行い、それをモニターする機能はあるが、具体的な作成を提言し、取捨選択をし、速やかな意思決定を行うことは不得手である。このために連携モデルでは、この両者の弱みを補完し、集積された提案群を的確に把握し、取捨選択を行い、具体的提言に翻訳し、意思決定を働きかける機能を担う国際会議プロセスが必要になる。連携モデルにおいての小規模ハイレベル会合はこうした役割を期待される。すなわち第1段階を通じて集積された多くの提言や良い事例の中から、現状で行動を加速すべき優先分野と最も効果がある効率的な地球規模水行動を抽出し、具体的な提言に翻訳し、それが実現するよう国際社会に働きかけることが求められる。

このためには第3章の UNSGAB 分析で示されたように専門知識が高く、現状の水分野の利害関係代表となるようなメンバー構成に配慮することが第一に重要となろう。また、

UNSGAB の場合議長には首相経験者や王族が就いて来た経緯があるが、第 3 章で示したように地球規模水行動実現のアプローチにおいてはトップダウンでの働きかけが重要であるため国際社会の指導者に容易にアクセスが出来る議長の存在は（少なくとも賢人会合としての実績のない立ち上げ初期の段階においては）極めて重要となる。

連携モデルにおいて小規模ハイレベル会議は正統性を既に有していることが前提となっている。UNSGAB の場合、国連事務総長の委嘱と諮問を受けているという正統性があり、特に国連加盟国に働きかけるときには、それらが耳を傾けるという意味でこの位置付けは重要であったと考えられる。一方第 3 章のアンケート調査で委員がコメントしたように「UNSGAB においては事務総長の委員会という位置付けがあるからとって最初から十分な影響力を有していたというよりは、活動が続けた（実績を示し続けた）こと」で影響力を高めていったと考えられる。どのような賢人会議でも活動する中で影響力が上がりも下がりもするという事は変わらない。

小規模ハイレベル会議による水行動実現においては、その会議プロセスが働きかける相手に認められている必要があるので会議プロセスが持つ正統性は必須であり、地球規模水行動においては現状の国際社会で最も主要な意思決定メカニズムである国連総会など国連での位置づけは重要で、UNSGAB は一つのモデルとなる。一方で正統性を獲得するためには国連事務総長の指名が唯一の手段ではなく、国連総会の議決を経て賢人会合を設立したり、既設のグループが国連総会や理事会、事務総長の認知を後で得ると言ったバリエーションもあり得る。一方地域プロセスにこのモデルを適用する場合には、その地域の意思決定組織（例えばアフリカにおけるアフリカ連合、東南アジアにおける ASEAN、先進国においては G8 や G20 など）の指名や認知を受ければ十分機能する場合もあり得る。すなわち連携モデルの第 3 段階にある意思決定者（提示したモデルでは国連・正規政府間会合）が耳を傾けるだけの十分な正統性を有することが重要である。その意味で小規模賢人会議を組織する場合にあらかじめ、その会議体を作るであろう提言の種類と働きかける相手先を想定し、それに適した議長や委員を考えることは戦略的に重要であろう。

小規模ハイレベル会議が果たすべき機能の一つは、現在焦点を置くべき優先分野と数ある提言の中から最も効果のある提言項目を選択し（これに欠ける場合には新たな提案を創出することを含む）、簡潔で明瞭なメッセージと提案に置き換え、発信することである。このことと多くの利害関係者の同意やコンセンサスを得ることとは相容れない場合がある。第 3 章のアンケート調査では UNSGAB 委員は簡潔で明瞭なメッセージと提案の発信により優先度を置き、利害関係者の同意には相対的に優先度をおいていない。勿論有力な利害関係者が強く不同意するような提案を行う場合にはそれら利害関係者の反対を前提としても提言が実現する勝算を持って提言がなされている必要があるが、少なくとも意思決定者が議論をためらうような提言でも賢人会合が行い得ることがその強みであるという認識は重要である。UNSGAB の橋本行動計画において国連決議で良く使われる動詞”invite, confirm, endorse, welcome”など加盟国や関係者の反対を弱め、同意を得るための婉曲な表

現の動詞がほとんど使われず、“should, must, urge”などの断定的で意味の強い表現が多く使われている(UNSGAB, 2006a)ことには注目しておくべきであろう。

また、「賢人会議」というと新奇で独創的な提言を多く産出するグループのようなイメージがあるが、水のように古くからある分野で多くの議論や数百の提言が既になされた状態で一から新奇な提言のみを発表して行こうとすることは却って混乱を招き、不効率であると考えられる。UNSGAB の橋本行動計画作成段階の初期に **Modus Operandi** として合意された、「数ある既存の提案を抽出し提言として具体化する」方針(UNSGAB 2005b)が成功したことは、本研究で提示した連携モデルの重要な提案根拠になっている。

第 3 章のアンケート調査並びに追跡調査では、良い提言を作成し有効な働きかけを行う上で、能動的な事務局の重要性がハイライトされている。これは小規模ハイレベル会合が地球規模水行動を実現する上で、自らは直接の行動実施者ではなくパートナー機関（各国政府・国連・国際機関など）にその実施を頼らざるを得ない弱みとも関係している。第 3 章のアフリカ連合水衛生サミットの実現における追跡調査では、良い提言であってもそれを実施する組織全体の理解と意思が無ければ、行動は発生しづらいことが確認された。UNSGAB の場合、地球規模水行動実現のために事務局がパートナー組織に対する働きかけの戦略を作り、委員のネットワークを使うなどして情報を集め、トップダウンの行動をサポートし、自らもボトムアップの働きかけを行った結果、その主要提言（地球規模水行動）の多くが実現したことが確かめられた。第 3 章の自由回答及び追跡調査で指摘・抽出された事務局行動からこの「能動的」な事務局の機能をサブ機能に分解すると、「戦略の作成機能」、「議長へのサブロジ支援機能」、「委員間の意見調整など内部の調整機能」、「パートナー機関との連絡調整機能」、「関係者への説得機能」、「委員会運営等のロジ運営機能」などがある。連携モデルを構築する場合、設立する事務局がこうしたサブ機能を満たしうるかチェックシートなどで確認しておくことは有用であろう。又、ここで大事なことは事務局が委員会からの支持や要請を待つことなく自発的・自律的に行動をおこしていたことが好結果につながったと考えられることから、事務局員構成や動機づけの仕組みなど事務局の高い能動性を生み出し、維持する仕組みを設計、導入することが重要となろう。

[国連・正規政府会合]

連携プロセスの第 3 段階は意思決定及び実行プロセスである。地球規模水行動に関して意思決定プロセスとなり得るのはまず国連、正規政府間会合(G8 や G20 を含む)であるが、場合によっては地球規模にネットワークを持つ国際組織（国連専門機関を含む）も行動内容によってはその範疇に入り得る。

このうち後者については、第 3 章で述べた JMP の実行者である UNICEF/WMO、WOPs のホストである国連居住計画(UN-Habitat)等の国連専門機関、地域開発銀行との協定の当事者たる地域開発銀行(Asian Development Bank など)や世界銀行等の国際金融機関の事例がこれにあたる。これらの組織は組織の活動目的に準じて組織内の意思決定が図られ

ば、同一組織が実行とモニターを同時に行うことが期待できる。従って大規模任意会合で発表された良い提案をこうした組織が直接採用することもあれば(図 6.3 の直接働きかけに該当)、これらの組織に小規模ハイレベル会合が働きかけることもある。いずれの場合にも実行組織が自らの組織の利益に照らして提言に十分な意義を見出せば、連携モデルのフローが成立する。その際のメリットは第 3 章の事例にもあるように前の 2 段階で創出された良い水行動提案をそれぞれの組織が自らの組織活動のために活用できる点である。

前者(国連や正規政府間会合)の場合は、第 3 章の国連国際衛生年の事例のように、任意大規模会合の提案やメッセージを小規模ハイレベル会合が取り上げ、具体的提言として国連加盟国(群)に働きかけ水行動として実現させるステップである。これには次のような大きなメリットがある。

例えば国際社会の意思決定の主要な部分を担う国連総会は加盟国の議決(意思決定)機構は有しているが(Permanent Mission of Switzerland to the United Nations, 2011)、シンクタンク機能が無い。シンクタンク機能は国連専門機関にあるが、加盟国主権の前提に基いた国連憲章のもとでは加盟国にのみ議事の提案権(及び議決権)が与えられていることから(The United Nations Department of Public Information, 2008)、国連専門機関には国連総会に対する提案権が与えられていない。国連総会のもとで特定課題(専門性のある課題を含む)について議論を行うことは可能であるが、それについても加盟国の提案及び国連総会としての決定が必要である(Permanent Mission of Switzerland to the United Nations, 2011)。従って加盟国政府以外が考案した良い地球規模水行動の提案があったとして、それを国連総会で意思決定を行うためには、現状では国連システム(=国連専門機関を含む)の外にいる誰かが加盟国に提案し、これに同意する国連加盟国が国連総会に提案しなければならない。この構造は国連以外の正規政府間会合でも同じである。第 4 章の WWF 4 主催者のアンケート回答(表 4.2)にもあるように、「国連の会議はより形式的である。その会合は政府代表からなり、非政府の参加は例外的である。会場は多数の人々が参加できるほど大きくはない。会議の参加条件は厳しく、人々に参加を躊躇させる。国連会議の重要性は決議に強制力がありうることである。」ので、国連会合において利害関係者はサイドイベントなどで意見を表明する場は与えられるが、意思決定に参加することはない。このように様々な利害関係者が提案した良い地球規模水行動の提案があっても、現状ではどこかの加盟国がこれを拾い上げ、自ら提言し、働きかけ、議決を獲得しなければならない。

これに対して連携モデルを用いれば、様々な利害関係者が提案した広い範囲のアイデアを吟味し、取捨選択し、具体化した上で、加盟国(群)に提案、働きかけを行い国際社会としての意思決定を図ることが出来、具体的な効果のある地球規模水行動を効率よく実現しうる。その効果は第 5 章の国際衛生年の事例で示したように地球規模で大きなインパクトになり得る。現状で国際社会の唯一意思決定メカニズムである国連には毎年多くの議題や提案が持ち込まれる。世界で起こるあらゆる問題を取り扱う国連自体が有効な提言の考

案や、優先順位付け、提言の具体化、速やかな意思決定、実行の担保などの機能を all in one で実施することは不可能ではないが困難であり、この連携モデルで専門性があり現場のニーズに即した提案する過程を他の国際会議プロセスが担い、その上で国際社会に働きかけるメリットは極めて大きいと考えられる。

6.5 国際議論プロセスの水平連携

世界水フォーラム、UNSGAB、国連会合の分析に基づき、水に関する国際議論プロセス連携による地球規模水行動実現モデルを前節で提示したが、世界には多くの大規模任意会議を含む水に関する多数の水関係会合があり、このモデルを有効に機能させるためにはこうした多数の会合の議論や結論をモデルを使いながらどう連携するかを考える必要がある。こうした水平連携は今後の連携モデルの発展にとり重要と考えられるので本節でモデルの発展形として取り上げ、連携の具体的方策について考察を加えることとする。

第4章では世界水フォーラムが発達した経過の中で、世界フォーラムの準備段階で地域会合が組織され地域の意見を吸い上げる形になってきていることに触れた。その意味で現在世界水フォーラムのプロセスでは地方と世界レベルの議論の一部連結が既になされている状態だと言える。また、世界水フォーラムが直接地方の水に関する意見を収集しようとする「水の声」などの事例もある（第3回世界水フォーラム事務局, 2003）。ここでの課題は地方でなされる多数の会合の結果を十分に世界水フォーラムの地方プロセスに繋がられているかという点である。また、このような会議プロセスの他の同種同レベルとの会議との連結による水平連携は地方レベルだけでなく世界レベルでも必要である。すなわち、現在水に関して多くの大規模任意国際会議が行われており、これらの議論や結論、提案やメッセージが会議同士で調整・プロセスとして連結されること効果的な意見集約にとって不可欠であると考えられる。

前項で示した水に関する国際議論プロセス連携による水行動合意形成・実施モデルを基本に、それぞれのレベルで他の会議プロセスとどのように水平連携するかを示したモデル図を図6.5に示す。この図の通り、其々の会議プロセスが同レベルの会議と連携し（＝水平連携）、それらの会議の論点、結論、約束した行動などを共有化し、互いの会議プロセスに活用することが基本となっている。連携の方法としては地方・分野別会合のレベルでは、他の会議の予定、主要論点、結論、約束した行動、宣言などを共有するためのデータベースを構築、共有したり、主たる会議プロセス（例えば世界水フォーラムの地域準備会合）に他の主要地域会合主催者を招請し、議論の相互乗り入れや宣言文の協調を図ることが例として考えられる。国際（世界）レベルでは既存あるいは新規に立ち上げる国際議論プロセスと共有するデータベースを構築し、具体的行動をはじめ宣言や国際社会への働きかけ内容、提言を協調・共有し、世界共通の目標を設定して相互協力しながら努力することが有効となる。

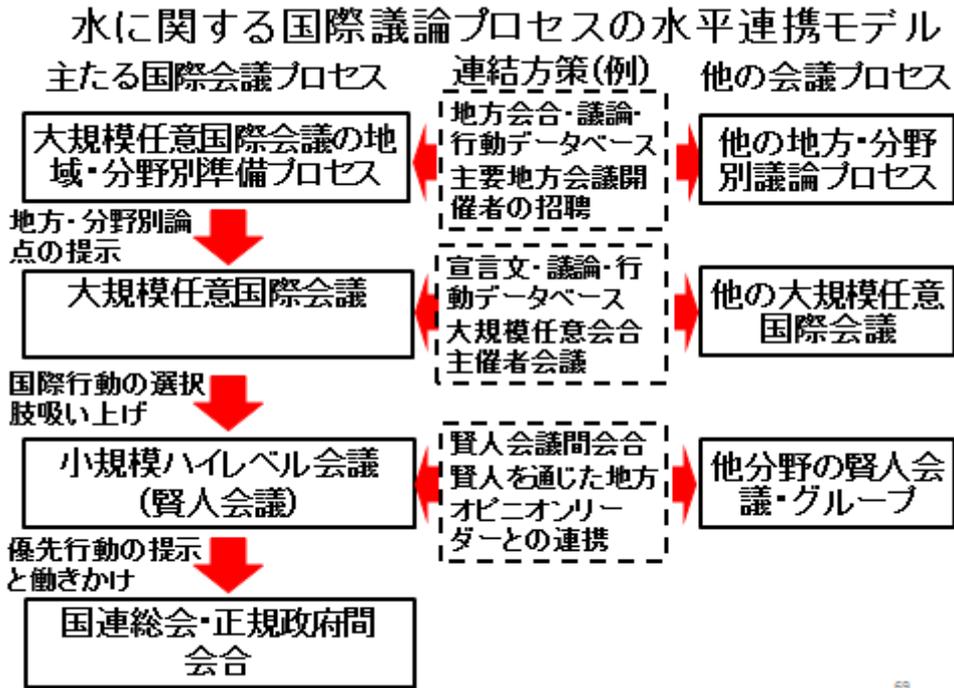


図 6.5 水に関する国際議論プロセスの水平連携モデル

現時点では、こうした国際議論プロセスの連携は十分になされている状態とは言えない。例えば任意大規模会議の主催者は他の大規模会議を参加者獲得上のいわばライバルと見做しがちであり、内容の差別化には意を尽くすが共通課題の連携や役割分担をシステムティックに行っているとは言い難い状況にある。しかしながら、これら大規模会議が近年おしなべて参加者を増やし、内容を充実することが出来ているのは水に関する国際世論の高まりを受けての事であり、いわば個々の任意会議の努力が相乗効果を発揮している状態と言える。このような状況を明確に認識し世界の水問題改善という共通の目標にベクトルを揃えて会議主催者が連携することが望まれる。

近年そうした連携の動きも一部には見られる。例えば、ストックホルムで毎年開催される「世界水週間」の設定テーマは近年、国連水調整委員会(UN-Water)が設定する国連水の日々のテーマと同じものを採用してきており、これにより国連機関が実施する各種会合と世界水週間の議論が連携しやすくなってきている。こうした個別の連携をアジア、アフリカといった地域会合にも広げていくことは有意義であろう。一方、世界水フォーラムのような、あらゆる水の議論を活発化させることが目的の会議では特定の水分野に開催目的を絞り込むことは困難で、かつ適当とは言えないが、前回世界水フォーラム(=3年前)から水国際社会で議論されてきた優先課題事項をレビュー、総括することは有意義であろう。同時にアジア太平洋水フォーラムやアフリカ水週間などの広い範囲の水問題を扱う大規模水地域会議をと連携し、それらの地域議論を世界水フォーラムの場で共有することは意義が

ある。

小規模ハイレベル会合については、前章で国際水議論と地球規模水行動実現の過程における位置づけと有効性について明らかにしたが、こうした会合がエネルギーや農業といった他の分野の賢人会合などと連携することは極めて有効であると考えられる。水と関係する分野（エネルギー、農業、気候変動等）はそれ自体複雑多岐にわたる課題を抱えており、例えば大規模任意会合でこれらの分野連携を扱う場合には議論の発散、興味分野のミスマッチ、参加者数やレベルの不均衡により焦点をあてた議論を行うことに（不可能ではないが）多大の努力を要し、更に共通の行動に合意し特に実現を図ることは相当な困難を伴う。この点、小規模ハイレベル会合は少人数で意思決定が早く、議論集約が比較的容易であるので分野間連携の議論、提言、実現行動を行うのに適している。小規模ハイレベル会合が他の分野のカウンターパートと連携し共同歩調を取って共通提言の実現に取り組むことは極めて有効と考えられる。一方でこうした連携が可能となる条件として、他の分野にカウンターパートとなる同様の小規模ハイレベル会合が存在することが有効な連携の必要条件となるので、水分野に限らない国際社会全体でこうした小規模ハイレベル会合の有効性と（前章で論じた）成立条件を認識し、その設置に取り組む必要がある。まずは、「水・エネルギー・農業連携軸」といった国際社会が最重要と認識した連携分野におけるカウンターパートの同定と連携プロセスの設計から始めることが有効となろう。

国連総会に代表される国連の会議プロセスについては、国際社会での唯一性や全政府の参加、道徳的拘束力の存在など、「国際社会の意思を決定し、実行する」という役割が比較的明瞭に与えられており、水平連携という意味ではカウンターパートとなる機関が存在しない。一方国連システムそのものが巨大で複雑化したメカニズムであるので、国連システム内部の水平連携が重要である。国連水調整委員会（UN-Water）はその前身組織である国連行政調整委員会水資源分科会（UN Administrative Committee on Coordination Subcommittee on Water Resources）に比べて比較的活発で良く機能しているが、にもかかわらず水問題という多くの関連分野が相互に関連する分野では、更なる密接な調整連携が必要となっている。UN-Water といったシステム内関係機能の強化拡充がこのレベルでの連携上の課題であると言える。

6.6 連携モデルの水以外の分野への適用可能性

今まで述べたような国際会議プロセスの役割分担と連携は、図 6.4 で概念化した連携モデルの過程と条件に基づけば、水以外の分野でも適用可能性があると考えられる。例えば気候変動分野を見ると、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)が設置されたことにより気候変動に関する国際社会の認識と知見の共有化は格段に進んだと言えるが、一方で気候変動に関する枠組み条約(UNFCCC)に基づく締約国会議(COP 又は COP-UNFCCC)の国際会議プロセスの経緯と現状を見ると、COP 参加者は現状で 10,000 人超に増大している。その参加者の内訳を見ると COP18 の例では約 40%が政府関係者、その他は NGO 等のオブザー

パーになっている（国立環境研究所，2012）。この参加者数は、前章までで示した任意大規模会合の規模に膨れあがっており、本稿第 3 章で述べた「重要な問題に関して一定の方向性を示すのに不向きな」会議規模になっていると言える。一方で参加者の増大により NGO の参加には既に割当数の提示により参加が制限される状況になっており（国立環境研究所，2012）、任意大規模会合の強みである自由な参加と意見表明が制限される状況にもなっている。このように、COP-UNFCCC 会合は国際会議プロセスとして国連会合、任意大規模会合両方の「弱み」を抱える状況になっていると言える。本章前節までに述べたように、国際会議プロセスにはその正統性や規模に応じて連携と役割分担を行うことが効率的である。裏返して言えば、利害関係者から政府に至るまでの多様な議論を国連内で all in one に集約し議論を完結することは効率的なプロセスと言えない。従って COP-UNFCCC について言えば、現状の国連会議フォーマットを見直し、気候変動に関する既存の大規模任意会合を活用するなどして、国連内会合では多くの制約がかかる利害関係者の自由で透明な討論、気候変動適応等に関する新奇の提案や自発的な活動をそれら会合にゆだねることが有効である。更に気候変動の政策面等に目的を絞った賢人会合（小規模ハイレベル会議プロセス）を設置し、中核的で有効な政策提案を具体化するとともに賢人会合自体がその実現を促す。これにより ICPP は気候変動の科学技術面に的を絞った議論と知見を進展させる一方で政策賢人会合では有効な政策提案により COP における政府間の意思決定の促進支援を図る。他方 COP では関連国際会議プロセスとの役割分担と相互補完を強化し、ICPP の技術的知見や政策賢人会合の提言など関連国際会議プロセスの意見や提案を活用しつつ、意思決定と行動実現に努力を集中することで、より迅速ないし決定と、有効な地球規模行動に結び付けることが可能となると考えられる。

このように、本章で提示した国際会議プロセスの連携モデルは、水分野だけでなく気候変動や交通、都市問題など他の分野への応用も可能であり、それらの分野での分析や試行が期待される。分野により取り扱う課題数や議論の進捗度なども異なるが、アンケート調査や追跡検証など、本研究で行ったような調査分析フローを踏襲することで、既存の会議プロセスの強み、弱み分析や連携すべき会議プロセスの具備条件などを提示することが可能になると考えられ、これにより、より広い分野でのモデル適用が期待されよう。

6.7 まとめ

今まで述べたように、この章で提示した連携モデルを構築、活用すれば今まで困難であった地球規模水行動の実現を継続的に達成しうる可能性があり、またそれまでバラバラだった地球規模水行動実現の活動を効率よく連携させ得るという点で意味がある。前章で示した世界水フォーラム、UNSGAB、国連システムや国際機関の連携を（例えばこれらの関係者による戦略デザイン会合の開催により）より意識的に進めたり、他の大規模任意会合や賢人会合をこの連携モデルに取り込むことで、より広い範囲で有効な地球規模水行動の実現を図ることが可能になると考えられる。Varady は大型水国際会議に関する水専門家への

アンケート調査の結論として「...アンケート回答者の大勢は大規模水国際会議が重複し過ぎで、水の組織も増えすぎていると考えている。しかし驚いたことには、同じ調査の中の回答でわかったことは、それと同じ回答者がこれら競合する会議や組織を廃止したり統合することを示唆していないことである。それとは逆に回答者はこれらの存在を認め、その多様性を評価し、それらがより効率的に貢献する方法を示唆している点である。」と述べている(Varady, 2005)が、多くの水に関する国際会議プロセスを、知見とデータに基づいたモデル化を通じて連携させ、その結果を分析するサイクルを重ねることが、より効率的な国際会議プロセスの実施と有効な地球規模水行動の実現に繋がると考えられる。

第6章引用文献

African Union. 2008a. Decisions and Declarations of the African Union Tenth Ordinary Session.

http://www.au.int/en/sites/default/files/ASSEMBLY_EN_31_JANUARY_2_FEBRUARY_2008_AUC_TENTH_ORDINARY_SESS (参照 2014/02/01)

African Union. 2008b. Decisions and Declarations of the African Union Eleventh Ordinary Session.

http://www.au.int/en/sites/default/files/ASSEMBLY_EN_30_JUNE_1_JULY_2008_AUC_ELEVENTH_ORDINARY_SESSION_DECISIONS_DECLARATIONS_%20TRIBUTE_RESOLUTION (参照 2014/02/01)

第3回世界水フォーラム事務局. 2003. 第3回世界水フォーラム最終報告書. 第3回世界水フォーラム. 280

Cosgrove William; Frank Rijsberman. 2000. World Water Vision. Earthscan Publications Ltd. 27

GWOPA Secretariat. 2011. Report of the First Biannual Gloal WOPs Congress and GWOPA General Assembly. 20

http://www.gwopa.org/images/stories/wops_congress_2011_master_final.pdf (参照 2014/02/01)

平和・安全保障研究所. 2011 国連総会手続き規則の事例調査. 193.
http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jp_un/pdfs/itaku_h2201.pdf (参照 2014/02/04)

High Level Expert Panel on Water and Sanitation. 2009. Action Plan of HELP/UNSGAB. 24.

http://www.preventionweb.net/files/8609_WaterandDisaster.pdf

HRH The Prince of Orange; Frank J. Rijsberman. 2000. Summary Report of the 2nd World Water Forum. Water Policy (2000) 387-395

国立環境研究所. 2012 COP への参加とは.

<https://www.nies.go.jp/event/cop/cop18/20121201.html> (参照 2014/07/25)

Permanent Mission of Switzerland to the United Nations. 2011. The PGA Handbook. Permanent Mission of Switzerland to the United Nations. 123

Secretariat of the 3rd World Water Forum. 2003a. Final Report of the 3rd World Water Forum. 273.

Secretariat of the 3rd World Water Forum. 2003a. Final Report of the 3rd World Water Forum. 273.

http://www.waterforum.jp/worldwaterforum3/en/finalreport_pdf/FinalReport.pdf (参照 2014/02/02)

Secretariat of the 3rd World Water Forum. 2003a. Final Report of the 3rd World Water Forum. 273.

http://www.waterforum.jp/worldwaterforum3/en/finalreport_pdf/FinalReport.pdf (参照 2014/02/02)

Secretariat of the 3rd World Water Forum. 2003b. Media Analysis of the 3rd World Water Forum. 12.

<http://www.hoffmanpr.com/wp-content/uploads/Media-Analysis-3rd-World-Water-Forum.pdf> (参照 2014/02/02)

Secretariat of the 4th World Water Forum. 2009. Final Report of the 4th World Water Forum. 262. <http://www.worldwaterforum4.org.mx/files/report/FinalReport.pdf> (参照 2014/02/02)

Secretariat of the 5th World Water Forum. 2009. Final Report of the 5th World Water Forum. 192. http://www.preventionweb.net/files/11456_WWF5FinalReport.pdf

Secretariat of the 6th World Water Forum. 2009. Final Report of the 5th World Water Forum. 192.

The Federal Government of Germany. 2001. Conference Report of International Conference on Freshwater. The Federal Government of Germany. 2001
<http://www.un.org/esa/sustdev/sdissues/water/BonnConferenceReport.pdf> (参照 2014/02/03)

The United Nations Department of Public Information. 2008. Charter of the United Nations. The United Nations Department of Public Information. 105p

UN Department of Public Information. 2013. Secretary General SG/SM/14850 GA/11343 DEV/2977 Remarks at General Assembly Session on Water and Disasters
<http://www.un.org/News/Press/docs/2013/sgsm14850.doc.htm> (参照 2014/02/03)

UN Secretary-General. 2006. SG's letter to Habitat ED (内部資料) . 2

United Nations General Assembly. 2006. United Nations General Assembly Resolution A/C.2/61/L.16/Rev.1. 2

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2005a. Chair's Summary, the 3rd Meeting of UNSGAB .3

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2005b. Memo of the 3rd Meeting of UNSGAB (内部資料) .58 .

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2006a Hashimoto Action Plan (HAP1).
http://www.unsgab.org/content/documents/HAP_en.pdf (参照 2012/02/01)

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2006 b. Minutes of Meeting, the 6th Meeting of UNSGAB. 5

UNSGAB (United Nations Secretary-General's Advisory Board on Water and Sanitation). 2006c Chair's letter to SG (内部文書) . 2

UNSGAB. 2010. Hashimoto Action Plan II. 18

http://www.unsgab.org/content/documents/HAP-II_en.pdf (参照 2014/02/03)

Varady, Robert G.; Iles-Shih, Mathew. 2005. Global Water Initiatives: What Do the Experts Think? Report on a Survey of Leading Figures in the World of Water. Sasakaa Piece Foundation USA Discussion Paper 7 from Impact of Mega-Conferences and Global Water Management

<http://udallcenter.arizona.edu/gwi/pdfs/Varady-Iles%20Biswas%20chapter%20final%20page%20proof.pdf> (参照 2014/02/04)

Water and Sanitation Plan (WSP). 2007. Water and Sanitation Program (WSP) Action Plan to Support the International Year of Sanitation (IYS) Objectives. 21

http://www.wsp.org/sites/wsp.org/files/1025200740840_WSP_Action_Plan_for_IYS.pdf
(参照 2014/02/03)

World Panel on Financing Water Infrastructure. 2003. Report of the World Panel on Financing Water Infrastructure “Financing Water for All”. 54

World Water Council. 2000. Final Report of the 2nd World Water Forum. 22.

<http://portal.worldwaterforum5.org/wwf5/en-us/ForumKnowledgeBase/3rd%20World%20Water%20Forum/Communication/Announcements/Final%20Report%202nd%20World%20Water%20Forum.pdf> (参照 2014/02/05)

World Water Council. 2003. Analysis of the 3rd World Water Forum. WWC. 41.

http://www.worldwatercouncil.org/fileadmin/world_water_council/documents/world_water_forum_3/3d_World_Water_Forum_analysis.pdf (参照 2014/02/04)

7. 総まとめ

地球規模の水問題の解決という目標を掲げて設置された小規模ハイレベル国際会議プロセス「国連水と衛生に関する諮問委員会（UNSGAB）」と会議構造上その対極にある大規模任意会議である「世界水フォーラム」について、これらの会議が地球規模水行動実現に与えたインパクトをアンケート調査及びケーススタディにより分析し、水の国際会議プロセスによる地球規模水行動実現の成否を握る要因（会議形式とメンバー構成、動機づけ、課題設定・議論プロセス、起草、発表、フォローアッププロセス等）とそのメカニズムを明らかにし、それに基づき「行動に結び付く」有効な水国際会議プロセスに必要な要因を提示し、モデル化した。

まず、水に関する国際会議プロセスを規模と国際会議としての正統性（＝国際社会の認知と受容）で分類することにより、同様の特徴を持つ会議プロセスとして4つのグループ分けをすることが出来ることを示した。このグループはⅠ．大規模国連会議、Ⅱ．中小規模ハイレベル会議、Ⅲ．大規模任意会議、Ⅳ中小規模任意会議の4つである。

次に上記Ⅱ群に属する代表例である「国連水と衛生諮問委員会」について、アンケート調査及びケーススタディを通じ分析した。この結果以下のことが明らかになった。

- ① 国連水と衛生諮問委員会は、国連事務総長の諮問委員会としての正統性、ハイレベルな委員の国際社会への影響力、委員の国際的な人的ネットワークを特徴（強み）として持っている。
- ② 国連水と衛生諮問委員会は、この特徴を生かして国連総会、国連機関や国際援助機関などのパートナー組織を説得、影響力を行使することによってそれらパートナー機関が提言を実行することで地球規模水行動を実現している。
- ③ 具体的にはまず、主要提言書である橋本行動計画を作成し、その提言内容を実現する行動をおこしている。このために既にある多数の提言群の中から最も重要な提言を抽出するとともに過去の提言で不十分な部分は新提言で補い（例：WOPs）、その上で提言の内容、表現、記述を具体化・明瞭化させ、提言を実施すべき機関を指名した上でそれら機関へのアプローチをしている。
- ④ 上記の強みを背景に、世界の水行動実現のためこの会議体に適したアプローチで目的達成（＝橋本行動計画の実現）を図っている。それは以下のとおりである：
 - 議長や委員のトップダウンによる国際社会の意思決定者への働きかけと事務局のパートナー組織事務方へのボトムアップでの働きかけを同時に行う。
 - このために議長や委員の名声、影響力、人的ネットワークを動員する。
 - 事務局は働きかけのタイミングやアプローチ先などを戦略化し、能動的にボトムアップのアプローチを行う。
 - この際資金や活動時間の大量投入というより、影響力とネットワークを集中的に働かせることによって水行動の実現を達成している。

- ⑤ こうしたアプローチの結果、橋本行動計画の主要提言（地球規模水行動）が実現されていることが追跡検証された。

次に、上記Ⅲ群に属する代表例である「世界水フォーラム」についてアンケート調査及びケーススタディを通じ分析した。この結果以下のことが明らかになった。

- ① 世界水フォーラムは、その開放性、決議の非拘束性、水フォーラムの定期開催の中で新しい議論形式の試行・取捨選択と効果的プログラムの継続（＝新規性と継続性のコンビネーション）、を会議の特徴（＝強み）としている。
- ② 世界水フォーラム主催者は上記の特徴を強く認識しており、これをテコに参加者の自主的なコミットメントと自発的活動を促すことなどにより、世界水フォーラムの目的である地球規模水行動を実現している。
- ③ 具体的にはまず、世界水フォーラムの影響力の源泉である、ハイレベル参加者と会議規模（参加者数）の確保、参加の多様性の確保、会議としての視認性の確保を会議開催の優先項目としている。
- ④ 上記の強みを背景に目的である世界の水行動実現のため、主催者はこの会議に適したアプローチで目的達成を図っている。それらは以下のとおりである：
 - 多様な利害関係者を参加させ、それらが問題解決に果たす役割をハイライトする（＝水問題に取り組む行動者を増やす）
 - 政府・組織が新しいコミットを发表することによって関係者の自発的約束・活動を促す
 - 特定の課題に関して特定の団体に対し明確なメッセージを发出する（行動の方向性を示す）
- ⑤ このアプローチの結果、実際に近年の有力な地球規模水行動の多くが世界水フォーラムにより、或いは関連付けられる形で実現していることが追跡検証された。

次に上記Ⅰ群の代表例である国連総会について既存の資料整理を通じてアンケート調査及びケーススタディを通じ分析した。

- ① 国連総会は国連憲章及び厳密な会議プロセスの規則より発生する道徳的拘束力及びその結果としての構成員（＝各国政府）の行動実施への影響力及び事務総長・国連機関による監視プロセスの存在を特徴としている。
- ② 上記道徳的拘束力を背景に、決議に基づき各国政府は自発的に行動を実施する。
- ③ 具体的には国連で定められた会議手順により、構成員より発議された提言は、テーマ別討議、所掌委員会決議を経て、国連総会決議を経て、各国行動が開始される。このプロセスは構成員である主権国家の利害調整と合意形成過程であるため、長期間を要し、具体的な合意が困難であることも多い。
- ④ 国連会議プロセスでは国際社会としての意思決定を行うことが出来、法律的な意味合い

の拘束力はないものの道徳的拘束力があり、その合意内容次第では政府を中心とした関係者の多様な行動を広範囲かつ大規模に実行させることが可能である。一方で具体的な課題を国連決議として成立させるためには規則と慣例に則った多くの手続きと議論の積み重ねが必要となるため、決議の成立は簡単ではない。

- ⑤ このアプローチの結果成立した国際衛生年の主な活動を整理し、広範囲かつ大規模な活動が実現されていることを示した。

上記を踏まえ、これらの会議プロセスにおける合意形成と実行面を比較した。これらによって以下の結論を得た。

- それぞれの国際会議プロセスにはその会議構造由来の強み（決議の拘束力・影響力など）と弱み（合意過程の不透明性や実行主体の不在など）がある
- それぞれの国際会議プロセスにはその強み、弱みに適した水行動の実現過程がある
- それぞれの会議プロセスで合意形成とその実現過程などに改善の余地がある

更に、世界水フォーラム、国連水と衛生諮問委員会、国連総会等国連会合が具体的な事例に即してどのように連携しているかを分析した。これによりそれら会議プロセスはそれぞれの機能に応じた役割分担関係と相互補完関係があり、これらを強化することにより、地球規模水行動の合意形成・実施に関してより効果的な協働を行う可能性があることを示した。この分析事例を基に、水に関する国際議論プロセス連携による水行動合意形成・実施モデルを提示した。またそれとともに、同種の会議プロセスを水平連携させる方策についてモデル提示を行った。

このようなモデルによって地方レベルの水問題を地球規模レベルに集約し、具体的行動に再構築し、政府や利害関係者によって国や地方レベルの行動に還元していくことが可能となる。このモデルの長所は既に実施されている国際議論プロセスを段階的に連携させることで、地方から地球規模の議論が連結され具体化されることにある。なお、水に限らず分野や課題によっては、上記に述べたような地方・専門分野の議論から国際合意形成に至るまでの全てのプロセスを例えば国連の傘の中で行う事例も見られる。しかしながらこうしたプロセスは膨大な資源や時間を要することや、政府のみで意思決定をする会合という国連会議の性格上利害関係者の参加が限定的であることなどから、提示したモデルの方がより効率的であると言える。

8. おわりに

本稿では国連水と衛生諮問委員会という小規模ハイレベル会議プロセス、世界水フォーラムという大規模任意会議プロセス、国連会議プロセスのそれぞれが、大規模国際社会の水セクターでの意識高揚と行動促進という目的に対し、有効に機能する得意分野とアプローチの仕方があることを示し、かつそれらを連携させることにより地球規模水行動に有効な一連の国際会議プロセスを作り得ることを示した。このことが水分野において、様々な

規模・レベル・様式の国際会議プロセスが互いに競合するのではなく、互いのプロセスの強み・弱みを知り戦略的な連携・協働を図ることで、より効率的で有効な国際社会の議論集約と行動促進を図るための国際会議プロセス実施と、そのための更なる分析研究の第一歩となることを願ってやまない。

9. 謝辞

本分析研究に関し、東京大学新領域創成科学研究科中山幹康教授には種々のご指導、ご助言を頂いた。相良純子さんにはデータ整理にご協力いただいた。厚く御礼を申し上げます。

參考資料

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

strongly agree=4
 agree=3
 neutral=2
 disagree=1
 strongly disagree=0

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	Total Average	Standard deviation
Q1 Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?	3.00	3.00	2.00	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	3.00	4.00	4.00	4.00	3.00	3.00	4.00	3.00	3.39	0.59
Reason why UNSGAB was successful in realizing HAP																				
Q2 Do you agree with the following statements as reasons why UNSGAB was successful in realizing major recommendation items in HAP? (Characteristics of the recommendations)	4.00	3.00	2.00	4.00	3.00	2.00	3.00	4.00	4.00	2.00	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	3.00	3.22	0.92
Q2-1 The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize recommendations and turning them into double forms (rather than creating additional new recommendations)																				
Q2-2 Focused and clear recommendations were proposed in HAP	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00	3.00	4.00	4.00	4.00	3.00	4.00	3.00	4.00	4.00	3.00	-	4.00	4.00	3.59	0.95
Q2-3 Wording and expression in HAP were short, straight and to the point	4.00	3.00	3.00	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00	4.00	3.00	4.00	3.00	4.00	4.00	3.00	-	-	-	3.40	1.34
Q2-4 Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders	3.00	3.00	3.00	3.00	2.00	2.00	4.00	3.00	2.00	3.00	4.00	2.00	4.00	1.00	3.00	4.00	4.00	3.00	2.94	0.85
Q2-5 Characteristics of the Board and its members	4.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	4.00	4.00	2.00	3.00	4.00	3.00	4.00	2.00	4.00	4.00	4.00	3.00	3.33	0.67
Q2-6 There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions	4.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	4.00	4.00	2.00	3.00	4.00	3.00	4.00	2.00	4.00	4.00	4.00	3.00	3.33	0.67
Q2-6 Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG	3.00	3.00	3.00	3.00	2.00	3.00	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00	3.00	3.00	3.00	3.00	4.00	4.00	2.00	3.17	0.60
Q2-7 Broad perspectives of the members with various background helps to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones	4.00	3.00	3.00	4.00	3.00	3.00	4.00	3.00	4.00	3.00	4.00	3.00	4.00	3.00	4.00	3.00	3.00	3.00	3.39	0.49
Q2-8 There were high profile of chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups	4.00	3.00	3.00	3.00	2.00	4.00	4.00	3.00	3.00	3.00	4.00	3.00	4.00	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	3.44	0.60
Q2-9 Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners	4.00	3.00	3.00	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00	3.00	2.00	4.00	3.00	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00	3.00	3.39	0.59
Q2-10 UNSGAB and its members were influential enough in convincing key partners	3.00	3.00	3.00	3.00	2.00	3.00	3.00	4.00	2.00	3.00	4.00	2.00	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00	2.00	3.11	0.74
Q2-11 Focused discussion under the member's based understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even conflicting, views and perspectives	2.00	3.00	2.00	3.00	3.00	2.00	3.00	3.00	4.00	4.00	3.00	3.00	2.00	4.00	4.00	3.00	3.00	3.00	3.00	0.67
Q2-12 Reference sources and materials, which were used for creating HAP helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/recommendations, leading to creation of effective HAP	3.00	3.00	2.00	3.00	4.00	2.00	3.00	3.00	2.00	4.00	4.00	2.00	2.00	3.00	3.00	-	-	-	2.87	1.25
Q2-13 The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP gave authority and trustworthiness to HAP	4.00	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00	1.00	3.00	3.00	3.00	4.00	2.00	2.00	1.00	3.00	1.00	3.00	2.00	2.39	0.89
Q2-14 The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items	4.00	3.00	2.00	4.00	1.00	2.00	4.00	4.00	4.00	2.00	4.00	3.00	2.00	1.00	3.00	4.00	4.00	2.00	2.94	1.08
Q2-15 A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus	3.00	3.00	1.00	2.00	3.00	2.00	2.00	3.00	1.00	3.00	4.00	2.00	2.00	-	4.00	0.00	3.00	3.00	2.41	1.15
Q2-16 (Secretariat)	4.00	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	3.83	0.37
Q2-17 Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP (Promotion strategy and process)	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	3.00	3.00	4.00	3.00	4.00	3.00	4.00	-	-	-	3.60	1.41
Q2-18 Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at (V convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administrative levels	3.00	3.00	2.00	3.00	1.00	4.00	3.00	3.00	3.00	3.00	4.00	2.00	4.00	3.00	3.00	3.00	4.00	3.00	3.00	0.75
Q2-19 Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific	4.00	3.00	2.00	3.00	3.00	3.00	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00	3.00	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00	4.00	3.39	0.59
Q2-20 A large amount of financial resources were spent for promotional activities	2.00	2.00	2.00	1.00	2.00	2.00	3.00	4.00	0.00	2.00	-	1.00	1.00	1.00	2.00	0.00	1.00	1.00	1.59	1.04
Q2-21 Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts	2.00	3.00	-	1.00	1.00	2.00	2.00	4.00	1.00	1.00	4.00	2.00	3.00	2.00	3.00	2.00	1.00	3.00	2.18	1.08
Q2-22 Deadline was given to help to realize the recommendation	3.00	2.00	-	2.00	1.00	2.00	3.00	4.00	1.00	2.00	4.00	2.00	3.00	-	4.00	0.00	4.00	3.00	2.39	1.29
Q2-23 Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders	3.00	1.00	2.00	3.00	3.00	3.00	3.00	4.00	1.00	3.00	3.00	2.00	3.00	-	4.00	3.00	4.00	3.00	2.82	1.11
Q3 Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on the global water and sanitation situation at global scale?	3.00	1.00	-	3.00	2.00	3.00	3.00	4.00	2.00	3.00	4.00	2.00	-	1.00	3.00	-	-	-	2.82	1.41
Q4 Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?	3.00	3.00	3.00	3.00	2.00	2.00	1.00	3.00	4.00	3.00	4.00	2.00	-	4.00	3.00	-	-	-	3.14	1.37
Q5 Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?	4.00	3.00	3.00	3.00	2.00	2.00	1.00	3.00	4.00	3.00	4.00	1.00	-	1.00	2.00	3.00	3.00	3.00	2.85	1.14
Q6 Do you think that IFC2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?	3.00	3.00	3.00	3.00	2.00	2.00	2.00	4.00	3.00	4.00	4.00	1.00	-	4.00	3.00	4.00	4.00	4.00	3.24	1.17
Q7 Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?	3.00	2.00	3.00	2.00	3.00	2.00	4.00	3.00	3.00	3.00	4.00	2.00	-	3.00	3.00	4.00	2.00	2.81	1.09	
Q8 Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?	3.00	2.00	2.00	4.00	3.00	3.00	2.00	4.00	3.00	3.00	4.00	2.00	-	2.00	3.00	4.00	3.00	3.00	2.88	0.68
Q9 Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on the global water and sanitation situation at global scale?	3.00	2.00	2.00	3.00	3.00	3.00	4.00	3.00	4.00	3.00	4.00	2.00	-	4.00	4.00	3.00	-	-	3.25	1.03
Average	3.32	2.71	2.54	3.06	2.59	2.77	3.10	3.65	2.88	3.03	3.97	2.42	3.29	2.85	3.26	3.00	3.52	2.92	3.02	

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements **as reasons why UNSGAB** (Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Broad perspectives of the members with variousbackgroundhelped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Discussion process leading to the recommendations)

- Focused discussion underthe members'shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even

conflicting, views and perspectives

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and collaborating with Partners

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Promotion strategy and process)

- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- A large amount of financial resources were spent for promotional activities
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Deadline was given to steps to realize the recommendation
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Others)

- Others (please describe)

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has given substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

strongly agree x agree neutral disagree strongly disagree

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements **as reasons why UNSGAB was successful** in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)

strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP

strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point

strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders

strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions

strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG
strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree
- Broad perspectives of the members with various background helped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones
strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree
- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups
strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree
- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners
strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree
- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners
strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

(Discussion process leading to the recommendations)

- Focused discussion under the members' shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even conflicting, views and perspectives
strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree
- Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations
strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree
- The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP

strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

- The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items

strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus

strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and collaborating with Partners

strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations

strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

(Promotion strategy and process)

- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels

strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

- Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation

strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

- A large amount of financial resources were spent for promotional activities

strongly agree agree neutral xdisagree strongly disagree

- Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts

strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

- Deadline was given to steps to realize the recommendation
strongly agree agree neutral xdisagree strongly disagree
- Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders
strongly agree agree neutral xdisagree strongly disagree

(Others)

- Others (please describe)

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

- strongly agree agree neutral xdisagree strongly disagree

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

- strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

- strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

- strongly agree xagree neutral disagree strongly disagree

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

- strongly agree agree xneutral disagree strongly disagree

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has given substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

only to a certain degree, as we have no implementing power, so it is suasion...

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements **as reasons why UNSGAB was successful** in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)

agree neutral disagree strongly disagree

Well, WOPs was a new recommendation, no?

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP

agree neutral disagree strongly disagree

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point

agree neutral disagree strongly disagree

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders

agree neutral disagree strongly disagree

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions
x agree neutral disagree strongly disagree
- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG
x agree neutral disagree strongly disagree
- Broad perspectives of the members with various background helped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones
x agree neutral disagree strongly disagree
- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups
x agree neutral disagree strongly disagree
- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners
x agree neutral disagree strongly disagree
- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners
x agree neutral disagree strongly disagree
depends on how you define key partners... would need to seriously qualify the answer if we include public operators, civil society, labour

(Discussion process leading to the recommendations)

- Focused discussion under the members' shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even conflicting, views and perspectives
X neutral disagree strongly disagree
UNSGAB mission was from outside the UN system, was very unclear at the beginning. There lacked transparency and clarity in many of the discussions, even after unsgab was finally composed
- Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past

materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations

X neutral disagree strongly disagree

- The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP

X neutral disagree strongly disagree

- The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items

X neutral disagree strongly disagree

Lots of behind-the-scenes politics from advocates of various positions. Difficulty of the entrenched pro-market majority on unsgab has remained a major problem throughout.

- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus

X disagree strongly disagree

Lack of clarity on lobbying made unclear such assertions.

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and collaborating with Partners

xstrongly agree agree neutral

- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations

X agree neutral disagree strongly disagree

Again, pro-market orientation made quite difficult for secretariat to support all HAP initiatives appropriately. As well, problems with the imbalance of influence, where a couple of members clearly had better access and more influence on chair, vice-chair, secretariat.

(Promotion strategy and process)

- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at

convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels

X neutral disagree strongly disagree

Some initiatives were already in shape, so better prepared... much of the HAP work missed the key actors, the water operators themselves

- Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation

X neutral disagree strongly disagree

To the extent that unsgab gave more prominence to existing initiatives, such as IWM. Problem remains that unsgab has trouble reaching ground level.

- A large amount of financial resources were spent for promotional activities

x neutral disagree strongly disagree

don't remember, but doubt that we ever had so much money

- Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Don't understand the question

- Deadline was given to steps to realize the recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders

x neutral disagree strongly disagree

(Others)

- Others (please describe)

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

agree neutral disagree strongly disagree

At the level of global policy, yes... difficult to find out how much has changed on the ground

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

agree neutral disagree strongly disagree

Hard to tell, we have not had sufficient studies on impact

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

agree neutral disagree strongly disagree

This may be one of the few areas where we really added new push

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

agree neutral disagree strongly disagree

Doubt it, but wasn't there, so can't really tell. Concern that so much resources spent on big meetings, especially AMCOW, when money and work is needed in cities, towns, villages (a level that unsgab doesn't reach).

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

neutral disagree strongly disagree

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has given substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

X neutral disagree strongly disagree

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

X strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements **as reasons why UNSGAB was successful** in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)

X strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP

X strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point

X strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders
 strongly agree X agree neutral disagree strongly disagree

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions
 strongly agree X agree neutral disagree strongly disagree
- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG
 strongly agree X agree neutral disagree strongly disagree
- Broad perspectives of the members with various background helped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones
X strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups
 strongly agree X agree neutral disagree strongly disagree
- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners
X strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Discussion process leading to the recommendations)

- Focused discussion under the members' shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even conflicting, views and perspectives
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and collaborating with Partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Promotion strategy and process)

- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- A large amount of financial resources were spent for promotional activities
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

disagree

- Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Deadline was given to steps to realize the recommendation
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Others)

- Others (please describe)

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree X agree neutral disagree strongly disagree

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree X agree neutral disagree strongly disagree

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree X agree neutral disagree strongly disagree

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree X neutral disagree strongly disagree

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

X strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has givens substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree X agree neutral disagree strongly disagree

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements **as reasons why UNSGAB was successful** in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Broad perspectives of the members with various background helped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Discussion process leading to the recommendations)

- Focused discussion under the members' shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even conflicting, views and perspectives
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and collaborating with Partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Promotion strategy and process)

- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- A large amount of financial resources were spent for promotional activities
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

disagree

- Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Deadline was given to steps to realize the recommendation
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Others)

- Others (please describe)

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree x agree neutral disagree strongly disagree

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree x neutral disagree strongly disagree

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree x neutral disagree strongly disagree

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree x agree neutral disagree strongly disagree

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree x agree neutral disagree strongly disagree

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has givens substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree x agree neutral disagree strongly disagree

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004–2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements **as reasons why UNSGAB was successful** in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Broad perspectives of the members with various background helped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Discussion process leading to the recommendations)

● Focused discussion under the members' shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even conflicting, views and perspectives

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

● Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

● The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

● The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and collaborating with Partners

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Promotion strategy and process)

- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

● Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

● A large amount of financial resources were spent for promotional activities

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

● Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

● Deadline was given to steps to realize the recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

● Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Others)

- Others (please describe)

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has given substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

2012/11/6 Kenzo Hiroki <hiroki@pwri.go.jp>

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements **as reasons why UNSGAB was successful** in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Exception was WOPs – original PUPs idea came from me in Rome meeting; there was no “existing recommendation” related either to PUPs or WOPs)

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(sometimes too short... Gave room to different interpretations)

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Broad perspectives of the members with various background helped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
 (a few key partners were not approached)

(Discussion process leading to the recommendations)

- Focused discussion under the members' shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even conflicting, views and perspectives
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
(there were compromises most times, but there were also a few plain defeats imposed by majority)
- Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
(I don't think it was relevant to results)
- The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
(I don't recall whether or not it was relevant to consensus)

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and

collaborating with Partners

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Promotion strategy and process)

- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(again, some key partners were not approached)

- A large amount of financial resources were spent for promotional activities

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(maybe – just maybe -- we should be more intensive...)

- Deadline was given to steps to realize the recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Others)

- Others (please describe)

None

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Had SG assumed personally the recommendations, the results would be better)

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(potential is huge, but results in global scale are so far very tiny – to be seen the results within the next few years)

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(I don't think those impacts were substantial, for the banks' actual policies)

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has given substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(not "substantial")

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

X strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

IYS2008 was highly accepted globally; IYS2015-5 Year drive was also strongly accepted with ECOSAN, SACOSAN, LATINOSAN, etc; IWRM Guidelines Brochures, DVDs launching during 5th World Water Forum in Turkey and is now being used globally and retrofit for local uses; JMP Monitoring with UNICEF/WHO; MOAs with Financial Institutions like Asian Dev Bank, African Dev Bank, Latin American Bank, World Bank, etc expanding their financing support for water & sanitation; higher priority of agendas/programs for water & sanitation for governments globally

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements **as reasons why UNSGAB was successful** in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)

X strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Broad perspectives of the members with various background helped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

disagree

- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Discussion process leading to the recommendations)

- Focused discussion under the members' shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even conflicting, views and perspectives
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and collaborating with Partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Promotion strategy and process)

- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- A large amount of financial resources were spent for promotional activities

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Deadline was given to steps to realize the recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Others)

- Others (please describe)

UNSGAB has been asked to be keynote speakers or at least participate in numerous water & sanitation global forums/ conferences/ meetings which implied or at least demonstrated that UNSGAB has been globally accepted in the water & sanitation communities...by UNESCAP/UNESCO/UNEP to name a few...

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation

at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has given substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

xx strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements **as reasons why UNSGAB was successful** in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)

strongly agree agree xx neutral disagree strongly disagree

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP

strongly agree xx agree neutral disagree strongly disagree

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point

strongly agree xx agree neutral disagree strongly disagree

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Broad perspectives of the members with various background helped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Discussion process leading to the recommendations)

- Focused discussion under the members' shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even conflicting, views and perspectives
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and collaborating with Partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Promotion strategy and process)

- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- A large amount of financial resources were spent for promotional activities
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

disagree

- Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Deadline was given to steps to realize the recommendation
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Others)

- Others (please describe)

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has givens substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

10

Mr. Hideaki Oda
岡田 英明

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

- strongly agree
- agree
- neutral
- disagree
- strongly disagree

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements as reasons why UNSGAB was successful in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)
 - strongly agree
 - agree
 - neutral
 - disagree
 - strongly disagree

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP
 - strongly agree
 - agree
 - neutral
 - disagree
 - strongly disagree

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point
 - strongly agree
 - agree
 - neutral
 - disagree
 - strongly disagree

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders
 - strongly agree
 - agree
 - neutral
 - disagree
 - strongly disagree

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Broad perspectives of the members with various background helped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Discussion process leading to the recommendations)

- Focused discussion under the members'shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even

conflicting, views and perspectives

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(as a first stage)

- Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and collaborating with Partners

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

after Secretary's arrival & his engagement. Such leady style was special.

- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

European say he should provide for only revenue.

(Promotion strategy and process)

- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- A large amount of financial resources were spent for promotional activities

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Deadline was given to steps to realize the recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Others)

- Others (please describe)

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

10

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has given substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

- strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: For the 1st time General Assembly addressed sanitation as part of water resource management.

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements **as reasons why UNSGAB was successful** in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: The board clearly defined its action and their action for implementation of HAP I plan.

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: The Hap Focus was water for all (Universal coverage).

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: For example, water is life and sanitation is human dignity.

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: They called for doable action and specified the role of various actors of government, ODA, NGO etc.

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: Members of UNSGAB highly respected in society e.g. PM Hashimoto, HRH etc.

- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: This is the first SG advisory board on MDGs for water and sanitation (high level panel)

- Broad perspectives of the members with variousbackgroundhelped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: Range from PM, WB/IMF, Professors, Ministers, Industrialists, Women leaders.etc.

- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: P.M Hashimoto, IMF Director, GWP Director Labour Unions, Privet Sector, Bankers etc.

- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: Board members used their constituencies and influence e.g. labour, water utilities, Bankers etc.

- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key

partners

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: People in public life and wide knowledge of society in general including developing countries.

(Discussion process leading to the recommendations)

- Focused discussion under the members' shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even conflicting, views and perspectives

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: Government, Labour union, municipalities, ODA, private and public sectors, Academics.

- Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: MDG goals were examined and the reasons for not meeting the goals analyzed for action.

- The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: They range from countries, utilities, private sector, labour Unions, Academics, NGO etc.

- The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: It was easy to reach a consensus and members respected experience/expertise of each other.

- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure

consensus among them as nothing will happen without consensus

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: UN system, private sector, public sector, municipalities, Labour unions, NGOs etc.

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and collaborating with Partners

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: Credit goes to experience/expertise and commitment of Kenzo-san and his staff.

- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: This was because water and sanitation are too important to fail-water is life and sanitation is human dignity.

(Promotion strategy and process)

- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: Organizing regional dialogues and general assembly to promote water and sanitation.

- Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: Water utilities, UN system, Labour unions, and regional development banks.

- A large amount of financial resources were spent for promotional activities

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: Regional meetings, website, dialogues etc

- Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: Time was allocated enough for consultations amongst various stakeholders.

- Deadline was given to steps to realize the recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: MDGs had regular reporting mechanisms and we adopted the same for HAP I plan.

- Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: Planning of HAP I was proceeded with much consultations and dialogue with various stakeholders.

(Others)

- Others (please describe)

Answer: Hardworking chair and secretariat contributed to the success of HAPI planning and execution. As scientist and water expert, the interface between science and policy is still non-existent to say the least

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: General Assembly dedicated a year of sanitation.

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on

improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: RIO +20 Agenda focused on universal coverage of water supply and sanitation for all.

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: Creation of WOP was an excellent idea, but it is a briefcase organization without focus.

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: Tremendous boost, government are now talking openly about sanitation, it's not a taboo anymore.

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: The first time heads of state discussed water and sanitation and not regional policies as usual.

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: EU-Africa water facility was created as a result of joint statement with regional banks e.g AFDB etc.

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has given substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Answer: JMP creation is a good idea, but monitoring parameters and standards are still questionable, for example, statement of SG and UNEP recently.

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

strongly agree YES agree neutral disagree strongly disagree

Clearly not successful in all ways but major progress re WOPs, improvements in monitoring, including strengthening of JMP, pushing UN Water to be more active, raising awareness of sanitation and generally drawing greater political attention to water.

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements **as reasons why UNSGAB was successful** in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)

YES strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP

strongly agree YES agree neutral disagree strongly disagree

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point
strongly agree YES agree neutral disagree strongly disagree

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders
strongly agree agree YES neutral disagree strongly disagree
 Recommendations were a compromise amongst the stakeholders within UNSGAB but didn't go far enough for some stakeholder groups. For example were many who wanted recommendations to reform the UN system and to create a strong water focused agency while others wanted us to recommend getting the private sector out of water supply provision.

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions
strongly agree YES agree neutral disagree strongly disagree

- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG
strongly agree YES agree neutral disagree strongly disagree

- Broad perspectives of the members with various background helped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones
strongly agree YES agree neutral disagree strongly disagree

- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to

international community at various levels/groups

strongly agree YES agree neutral disagree strongly disagree

Some members well known within water circles but it was important that people from “out of the water box” and from outside the UN system were involved.

- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners

strongly agree YES agree neutral disagree strongly disagree

- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners

strongly agree agree YES neutral disagree strongly disagree

To some extent the answer is clearly yes- members such as Gurria were able to have an enormous influence through his OECD position and OECD work on water related issues has in turn had a much wider influence. In other cases key partners may appear convinced but such convictions have not necessarily been translated into real actions and policy change.

(Discussion process leading to the recommendations)

- Focused discussion under the members’ shared understanding of the board’s mission enabled compromise of members with different, even conflicting, views and perspectives

strongly agree YES agree neutral disagree strongly disagree

- Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past

materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations

strongly agree agree YES neutral disagree strongly disagree

I personally think that it was the discussion plus the meeting papers rather than reference materials which had the most influence. I doubt whether some members read the background material at all

- The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP

strongly agree agree YES neutral disagree strongly disagree

Not sure they made any difference.

- The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items

strongly agree YES agree neutral disagree strongly disagree

Same group facilitated compromise which was also crucial, eg over the private- public debate

- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus

strongly agree agree YES neutral disagree strongly disagree

There was some wider stakeholder consultation and individual members may have consulted more widely. But I think the key was to have on UNSGAB people with a known diversity of views who knew that in the end compromise was necessary even if it was then difficult for them to carry their constituencies.

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and

collaborating with Partners

strongly agree YES agree neutral disagree strongly disagree

- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations

strongly agree YES agree neutral disagree strongly disagree

(Promotion strategy and process)

- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels

strongly agree agree YES.neutral disagree strongly disagree

Agree with first part but not very clear to me how bottom-up the process ever was.

- Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation

strongly agree YES agree neutral disagree strongly disagree

Not sure how willing some of them actually were but many felt some “moral” obligation to take actions.

- A large amount of financial resources were spent for promotional activities

strongly agree agree neutral YES disagree strongly disagree

Quite honestly UNSGAB never had a large amount of financial resources. If you compare the spend with many other campaigns it was actually minor.

- Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts
 strongly agree agree YES neutral disagree strongly disagree

Depends which recommendations you are talking about. For some of them was quite an intensive push and relatively speedy outcomes

- Deadline was given to steps to realize the recommendation
 strongly agree agree YESneutral disagree strongly disagree

Not sure of the effect

- Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders
 strongly agree agree Yes neutral disagree strongly disagree

Was consultation but the emphasis on consensus probably over-played, a lot of the consultation was actually pushing people to take actions.

(Others)

- Others (please describe)

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

- strongly agree agree YES neutral disagree strongly disagree

Announcement in itself may have helped raise profile

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree YES neutral disagree strongly disagree

Contents helped of course but it was I think the way UNSGAB, with SG's agreement, worked to push others with executive powers plus governments to help implement the HAP which were more important.

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral YES disagree strongly disagree

I doubt it- not all that many actually in force but the increased use of benchmarking may have been helpful

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral YESdisagree strongly disagree

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree YES neutral disagree strongly disagree

I simply do not know

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation

at global scale?

strongly agree agree YES neutral disagree strongly disagree

As above

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has given substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree YES agree neutral disagree strongly disagree

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements **as reasons why UNSGAB was successful** in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Broad perspectives of the members with various background helped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Discussion process leading to the recommendations)

- Focused discussion under the members' shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even

conflicting, views and perspectives

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and collaborating with Partners

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Promotion strategy and process)

- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- A large amount of financial resources were spent for promotional activities
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Deadline was given to steps to realize the recommendation
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Others)

- Others (please describe)

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has given substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements **as reasons why UNSGAB was successful** in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

This is how we presented HAP but that was untrue. Several recommendations were innovations in the global debate (reporting financial leverage and impact of ODA, sanitation thrust, improving monitoring, facilitating access of utilities to finance, etc)

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Yes, most of the wording was straight to the point

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

I disagree. The areas in which we had the most influence are those where we surprised the community and some which initially existed but with very weak advocates

Why is there no question on our failures?

We have not convinced on some recommendations (probably because they were not agreeable to some influent stakeholders). Ex: report on the leverage and impact of ODA for Water.

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
 Yes and no. Initially, we had no prestige except the authority given by the SG. We increased our prestige year after year
- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
 Yes, our legitimacy came both from the SG and the high-level and independent format given to the Board
- Broad perspectives of the members with various background helped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
 I agree but this is not what gave credibility to HAP. This credibility came from the above elements that are collective not individual: SG appointment, High-level, independence, diversity of members

- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
 I agree that members who are influential in international networks or in governments contributed more than the others to disseminating HAP messages.
- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
 Certainly, most of our successes are all of the same following kind: we succeeded to convince key organisations to take their own initiatives in line with our recommendations. Ex: IYS, Sharm-el-Sheikh, wastewater in Sanitation drive then Rio, etc

(Discussion process leading to the recommendations)

- Focused discussion under the members' shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even conflicting, views and perspectives
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trustworthiness to HAP
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

No, these materials were useful to feed the thoughts of UNSGAB

members but the authority of HAP came from the consensus that could be built (after 2 years of debate!) between goodwilling people.

- The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

If the number of members had been really small, i.e. inferior to 10, discussion would have been focused and the mindset of members would have been better oriented towards joint responsibility and real action. With 20+ individuals, it has never been easy to keep the discussion focused. It worked anyway because of a structuration of the Board into smaller Working Groups.

- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

I am not sure that I understand the exact meaning of the question.

- If it relates to the consensus that could be built within UNSGAB, I fully agree that consulting stakeholders and partners has been key elements for building this consensus.
- If it relates to a consensus between stakeholders and partners, I strongly disagree. Our consultations did not build consensus between them. They helped them individually to understand our recommendations. In several cases this helped building a broad consensus in other circles like UN Member States but this did not happen during the meetings that we organized.

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and collaborating with Partners

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Yes, the Secretariat played an essential role, in particular to prepare discussions and also through being the glue between very diverse members

- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP

recommendations

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Certainly. If this close collaboration had not existed, building a consensus and putting it in writing would have required even more working time from individual members and that would not have been possible.

(Promotion strategy and process)

- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- A large amount of financial resources were spent for promotional activities

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Our activities were never promoted significantly. The HAP document is the only one that can be perceived as a promotional paper. However, it is far more on recommendations. I have no idea about the cost of our website which is the other element of UNSGAB promotion.

- Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

I have the feeling that we put deadlines on UNSGAB action. However, I do not remember that we fixed any timeframe in our recommendations to others (but I may have forgotten)

- Deadline was given to steps to realize the recommendation

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Don't know. See above

- Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

This is true for some topics like disasters, WOPs or basic sanitation (IYS2008, 5-year drive).

This is not true for other important successes where the UNSGAB achievements have been to open eyes on gaps or needs, which did not result in consensus of stakeholders but in stimulating action by some of them. That was the case when we disclosed the needs for:

1. Improving monitoring of access to water and sanitation
2. Filling the gap about wastewater that did not exist in the global agenda
3. Creating global monitoring of wastewater
4. stopping underestimating the needs for billions of people to gain better access to drinking water
5. donors to disclose impact and financial leverage of ODA
6. governments to ensure that water utilities can access to finance
7. etc

On many of those topics we have been able to generate action by some but not action by all (action has started on items 3, 4, 5, 6 but not yet any consensus)

(Others)

- Others (please describe)

(Impact of HAP)

General comment on questions Q3 to Q9

All these questions are worded similarly. They ask if an UNSGAB specific action has had a “substantial impact on improving situation in the field”. It is clear to me that UNSGAB acts as an inspirational body that impacts global debate and policy, which in turn impacts national policies, which in turn may impact action in the field. In most cases, several years are needed

before action in the field can be impacted significantly. In some areas UNSGAB has been very successful although results in the field will need a decade or more to be perceived in the field. This is why, I answer to the questions while differentiating a) substantial impact on decision-makers that is likely to indirectly impact action in the field; b) substantial impact on action in the field

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

No, the “announcement” of HAP was unnoticed by many. The impact of HAP resulted from the continuous promotion of its content by UNSGAB and UNSGAB members

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

a) *substantial impact on decision-makers* ?Yes,

- HAP has revigorated many people towards better management of water and sanitation

- HAP has stimulated and even ignited policies for improving sanitation. Before HAP, sanitation was not even understood and recognized as an essential challenge by the majority of the international community.

- HAP has open eyes of many on important needs for action

b) *substantial impact on action in the field*?

Yes, huge potential impact

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

I disagree because the number of WOPs that could be stimulated is not enough to have a visible impact at global scale. However, UNSGAB impacted

substantially partnerships between water operators (WOPs): they are now recognized and supported by governments and the UN, which has lead to Un-Habitat ownership and many useful WOPs being implemented, which hopefully led to substantial impact at local scale.

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

I agree totally for sanitation. Before IYS2008, sanitation was ignored by most members of the international community and of governments. IYS2008 allowed sanitation to become a challenge in itself. Sanitation policies were created. Ministers are now able to talk and make decisions on toilets and human excreta. Many more water and sanitation budgets are split between water and sanitation (as well as ODA reporting).

For water, I would disagree. I do not see an impact on water resources or water supply. However, this was not the purpose of IYS2008.

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Sorry, the impact is minimal at global scale. Let me answer to the question at the African regional scale:

a) *substantial impact on decision-makers?* Yes, this has helped significantly the Ministries for Water in Africa, revigorating AMCOW as well as giving legitimacy and blessing to their policies

b) *substantial impact on action in the field?*

Probably over a decade or more, but it will have to be checked and, if significant progress is measured, it will not be the result of this AU resolution. This is only one positive element out of many others.

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

a) *substantial impact on decision-makers?*

Yes, this has helped significantly each Bank to decide to allocate more financial means and to measure impact of their action on people. The most-recent example is AfDB that reported to UNSGAB in Nairobi the amount of funds that they could attract (financial leverage) to fund water projects and the number of people that benefited from their action

b) *substantial impact on action in the field?*

Yes, probably, although it is difficult to know what RDBs would have done in the absence of stimulation by UNSGAB and also difficult to know the real impact of their action in the field.

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has given substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Yes, in many respects:

- UNSGAB contributed to secure more funding to global monitoring activities
- UNSGAB helped JMP statistics to be respected by governments (before 2008, they were challenged by many of them)
- UNSGAB successfully stimulated strengthening of monitoring mechanisms
- UNSGAB made the needs of billions of people for better access to drinking water and the common underestimate of these needs visible
- UNSGAB made the need for global monitoring of wastewater visible
- UNSGAB made the ignorance of most country expenditures for water and sanitation visible.

November, 2012

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP1)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Please describe specific reason and examples in margin below answers if you have any.

Questions

(Realizing HAP)

Q1. Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Due to the high level of concentrated expertise in various fields of both political and scientific knowledge and management, the AB could relatively easily formulate a set of objectives and to reveal its natural partners in achieving the main goals of its existence.

(Reasons why UNSGAB was successful in realizing HAP)

Q2. Do you agree with the following statements as reasons why UNSGAB was successful in realizing major recommendation items in HAP?

(Characteristics of the recommendations)

- The Board established the recommendation policy of HAP that its mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than creating additional new recommendations)

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Focused and clear recommendations were proposed in HAP

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Wording and expression in HAP were short, straight and to the point

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Recommendations in HAP were agreeable to majority of stakeholders

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

It's was a result of consultations in wide circles of the UN system and governments

(Characteristics of the Board and its members)

- There was UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Legitimacy and authority for creating HAP was given by UN-SG
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Broad perspectives of the members with various background helped to shape arguments in HAP into more convincing and agreeable ones
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- There were high profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community at various levels/groups
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Extensive network of the members enabled effectively lobbying key partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- UNSGAB and its members was influential enough in convincing key partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Discussion process leading to the recommendations)

- Focused discussion under the members' shared understanding of the board's mission enabled compromise of members with different, even conflicting, views and perspectives
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Reference sources and materials, which were used for creating HAP, helped members understand strengths and weaknesses of the past materials/ recommendations, leading to creation of effective HAP recommendations
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- The large number of reference sources and materials, which were used for creating HAP, gave authority and trust worthiness to HAP
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- The small number of members enabled focused discussion and consensus in deciding recommendation items
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- A large number of stakeholders and partners were consulted to ensure consensus among them as nothing will happen without consensus
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

(Secretariat)

- Secretariat was very active in supporting activities of Board and collaborating with Partners

- strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Secretariat and Members closely collaborated towards realization of HAP recommendations
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- (Promotion strategy and process)
- Strategies were carefully designed towards HAP realization, aiming at convincing decision makers at top political levels while working on bottom-up process at secretariat and administration levels
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
 - Strong, willing partners were identified and approached in realizing specific recommendation
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
 - A large amount of financial resources were spent for promotional activities
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- No clear picture in order to make a judgement**
- Ample time was given to let the recommendation happen without intensive efforts
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
 - Deadline was given to steps to realize the recommendation
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
 - Step-by-step consultation process was taken to obtain consensus of stakeholders
 strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- (Others)
- Others (please describe)

(Impact of HAP)

Q3. Do you think that the announcement of HAP, in itself, has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q4. Do you think that contents of HAP have given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Mostly at regional level and thus - on a global one. Examples: Africa, Latinos, Asia+Pacific

Q5. Do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q6. Do you think that IYS2008 has given a substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q7. Do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q8. Do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Q9. Do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has given substantial impact on improving water and sanitation situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

are Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP)

Below are questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

- strongly agree
- agree
- neutral
- disagree
- strongly disagree

General reason why UNSGAB was successful in realizing major recommendation items in HAP

Do you agree that the following item are the reason why UNSGAB was successful in realizing major recommendation items in HAP?

1. Characteristics of the recommendations

- Recommendation policy of the board manifested in HAP that its Mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than adding additional new recommendations) *or REPORTS / RECOMMENDATION* *YES*
 - strongly agree
 - agree
 - neutral
 - disagree
 - strongly disagree
- *Focused + clear* Clear-cut target of the recommendations proposed in HAP
 - strongly agree
 - agree
 - neutral
 - disagree
 - strongly disagree
- Recommendations agreeable to majority of stakeholders HAP
 - strongly agree
 - agree
 - neutral
 - disagree
 - strongly disagree
- Legitimacy and authorization process in creating HAP *NO - Real Press Announcement*
 - strongly agree
 - agree
 - neutral
 - disagree
 - strongly disagree

S.G. only a little interest in UNSGAB work
- Others (please describe) *Calibre*

USE S.G. authority

Characteristics of the Board members

- UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions
 - strongly agree
 - agree
 - neutral
 - disagree
 - strongly disagree

VERY mixed

- Broad perspectives of the members with varying backgrounds
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- High profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Network of Members in lobbying to realize recommendations
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- *Formal + clear* Sharp and clear-cut wording of HAP in describing and justifying HAP
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Influence of the body and its members in convincing key partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Discussion process leading up to the recommendations

- Discussion process when creating HAP enabling compromise of members with different views and perspectives
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree *especially WOPs - disasters*
- Number and levels of stakeholders and partners which are consulted and contacted when creating HAP *none*
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Broadness of reference sources and materials used when creating HAP
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- The small number of members enabling focused discussion and consensus in deciding recommendation items
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Secretariat

- Activeness of Secretariat supporting activities of Board and collaborating with Partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

swv

Promotion strategy and process

- Carefully ^{focused efforts} designed strategy aiming at convincing decision makers at top levels while working on secretariat and administration bodies
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Existence of strong partners in realizing the recommendation
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Amount of financial resources spent for promotional activities
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Ample time given to realize the recommendation
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Deadline given to steps to realize the recommendation *— no power to do that implementers would bring their own mandates*
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Careful, step-wise consultation process to obtain consensus of stakeholders
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
Sometimes — WOPs — simulation — WOP plans

The reason why UNSGAB was successful in realizing establishment of WOPs:

Judging from current perspectives (in 2012), do you think that WOPs has given as substantial impact on improving water and sanitationsituation at global scale?

- strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

The reason why UNSGAB was successful in realizing International Year of Sanitation 2008:

Judging from current perspectives (in 2012), do you think that IYS2008 has given as substantial impact on improving water and sanitationsituation at global scale?

- strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

The reason why UNSGAB was successful in realizing AU Water Summit:

Judging from current perspectives (in 2012), do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and

sanitationsituation at global scale?

- strongly agree
- agree
- neutral
- disagree
- strongly disagree

The reason why UNSGAB was successful in realizing commitment by Regional Development Banks through their Joint Statement with UNSGAB:

Judging from current perspectives (in 2012), do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and sanitationsituation at global scale?

- strongly agree
- agree
- neutral
- disagree
- strongly disagree

Timing good → ADB 1ADB yes. ADB ???

IBRD - y

The reason why UNSGAB was successful to help improving JMP and other global monitoring mechanisms on global water and sanitation

Judging from current perspectives (in 2012), do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has gives substantial impact on improving water and sanitationsituation at global scale?

- strongly agree
- agree
- neutral
- disagree
- strongly disagree

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP)

Below is questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). Here UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

- strongly agree
- agree
- neutral
- disagree
- strongly disagree

General reason why UNSGAB was successful in realizing major recommendation items in HAP

Do you agree that the following item are the reason why UNSGAB was successful in realizing major recommendation items in HAP?

Category 1.Characteristics of the recommendations

- Recommendation policy of the board manifested in HAP that its Mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than adding additional new recommendations)

- strongly agree
- agree
- neutral
- disagree
- strongly disagree

- Clear-cut target of the recommendations proposed in HAP

- strongly agree
- agree
- neutral
- disagree
- strongly disagree

- Recommendations agreeable to majority of stakeholders HAP

- strongly agree
- agree
- neutral
- disagree
- strongly disagree

- Legitimacy and authorization process in creating HAP

- strongly agree
- agree
- neutral
- disagree
- strongly disagree

- Others (please describe)

Characteristics of the Board members

- UNSGAB's prestige as a high body to mobilize global opinions

- strongly agree
- agree
- neutral
- disagree
- strongly disagree

although we gained prestige during the process

- Broad perspectives of the members with varying backgrounds
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- High profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Network of Members in lobbying to realize recommendations
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Sharp and clear-cut wording of HAP in describing and justifying HAP
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
covered already
- Influence of the ^{board} body and its members in convincing key partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Discussion process leading up to the recommendations

- Discussion process when creating HAP enabling compromise of members with different views and perspectives
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Number and levels of stakeholders and partners which are consulted and contacted when creating HAP
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Broadness of reference sources and materials used when creating HAP
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- The small number of members enabling focused discussion and consensus in deciding recommendation items
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Secretariat

- Activeness of Secretariat supporting activities of Board and collaborating with Partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Promotion strategy and process

- Carefully designed strategy aiming at convincing decision makers at top levels while working on secretariat and administration bodies
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Existence of ^{dedicated} strong partners in realizing the recommendation
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Amount of financial resources spent for promotional activities
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Ample time given to realize the recommendation
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Deadline given to steps to realize the recommendation ^{realistic time frame, give}
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Careful, step-wise consultation process to obtain consensus of stakeholders
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

The reason why UNSGAB was successful in realizing establishment of WOPs:

- ✓ Judging from current perspectives (in 2012), do you think that WOPs has given a substantial impact on improving water and ^{sanitation} disaster situation at global scale?
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

The reason why UNSGAB was successful in realizing International Year of Sanitation 2008:

- Judging from current perspectives (in 2012), do you think that IYS2008 has given as substantial impact on improving water and disaster situation at global scale?
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

The reason why UNSGAB was successful in realizing AU Water Summit:

- Judging from current perspectives (in 2012), do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and

regional
disaster situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

The reason why UNSGAB was successful in realizing commitment by Regional Development Banks through their Joint Statement with UNSGAB:

Judging from current perspectives (in 2012), do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and disaster situation at global scale?

→ because only 2 out of 3 did something serious
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

The reason why UNSGAB was successful to help improving JMP and other global monitoring mechanisms on global water and sanitation

Judging from current perspectives (in 2012), do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has given substantial impact on improving water and disaster situation at global scale?

strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

18

伊藤

Questionnaire on UNSGAB and Hashimoto Action Plan (HAP)

Below is questions on UNSGAB activities and Hashimoto Action Plan (HAP1). Here UNSGAB activities asked here are those conducted at its early periods (mainly in 2004-2008) as judged from current perspectives (2012).

Do you think that UNSGAB was successful in realizing major recommendations proposed in Hashimoto Action Plan (HAP1)?

- strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

General reason why UNSGAB was successful in realizing major recommendation items in HAP

Do you agree that the following item are the reason why UNSGAB was successful in realizing major recommendation items in HAP?

Category 1.Characteristics of the recommendations

- Recommendation policy of the board manifested in HAP that its Mission is to prioritize existing recommendations and turning them into doable forms (rather than adding additional new recommendations)
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Clear-cut target of the recommendations proposed in HAP
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Recommendations agreeable to majority of stakeholders HAP
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Legitimacy and authorization process in creating HAP
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Others (please describe)

Characteristics of the Board members

- UNSGAB's prestige as a high-body to mobilize global opinions
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Broad perspectives of the members with varying backgrounds
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- High profile of Chair, Vice-Chair and Members known to international community
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Network of Members in lobbying to realize recommendations
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Sharp and clear-cut wording of HAP in describing and justifying HAP
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

- Influence of the body and its members in convincing key partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Discussion process leading up to the recommendations

- Discussion process when creating HAP enabling compromise of members with different views and perspectives
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Number and levels of stakeholders and partners which are consulted and contacted when creating HAP
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Broadness of reference sources and materials used when creating HAP
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- The small number of members enabling focused discussion and consensus in deciding recommendation items
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Secretariat

- Activeness of Secretariat supporting activities of Board and collaborating with Partners
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

Promotion strategy and process

- Carefully designed strategy aiming at convincing decision makers at top levels while working on secretariat and administration bodies
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Existence of strong partners in realizing the recommendation
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Amount of financial resources spent for promotional activities
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Ample time given to realize the recommendation
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Deadline given to steps to realize the recommendation
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree
- Careful, step-wise consultation process to obtain consensus of stakeholders
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

The reason why UNSGAB was successful in realizing establishment of WOPs:
 Judging from current perspectives (in 2012), do you think that WOPs has given as substantial impact on improving water and disaster situation at global scale?
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

The reason why UNSGAB was successful in realizing International Year of Sanitation 2008:
 Judging from current perspectives (in 2012), do you think that IYS2008 has given as substantial impact on improving water and disaster situation at global scale?
strongly agree agree neutral disagree strongly disagree

The reason why UNSGAB was successful in realizing AU Water Summit:
 Judging from current perspectives (in 2012), do you think that AU Water Summit in 2008 (at Sharm El-Sheikh) has given as substantial impact on improving water and

~~disaster~~ situation at global scale?

- strongly agree
- agree
- neutral
- disagree
- strongly disagree

The reason why UNSGAB was successful in realizing commitment by Regional Development Banks through their Joint Statement with UNSGAB:

Judging from current perspectives (in 2012), do you think that Joint Statement with Regional Development Banks has given as substantial impact on improving water and ~~disaster~~ situation at global scale?

- strongly agree
- agree
- neutral
- disagree
- strongly disagree

The reason why UNSGAB was successful to help improving JMP and other global monitoring mechanisms on global water and sanitation

Judging from current perspectives (in 2012), do you think that UNSGAB recommendation to improve JMP and other global monitoring mechanisms has givens substantial impact on improving water and ~~disaster~~ situation at global scale?

- strongly agree
- agree
- neutral
- disagree
- strongly disagree

	WWF2	WWF3	WWF4	WWF5	WWF6	WWF-WWG	WWF/rate	Average	WWF2	WWF3	WWF4	WWF5	WWF6
Q4 Did the Forum organizer try to realize global/regional/national/community actions in your Forum in the following ways?													
Q4-1 Q4-1 By urging governments and organizations to announce new commitment	4.00	5.00	4.00	5.00	3.50	2.00	5.00	4.30	0.88	1.38	0.50	2.00	-0.38
Q4-2 Q4-2 By gathering and disseminating good practices by governments and stakeholders	4.00	4.00	4.00	2.00	3.50	2.00	5.00	3.50	0.88	0.38	0.50	-1.00	-0.38
Q4-3 Q4-3 By bringing in various stakeholders/age groups to highlight their roles in solving issues	5.00	5.00	5.00	4.00	4.50	4.00	5.00	4.70	1.88	1.38	1.50	1.00	0.63
Q4-4 Q4-4 By producing or high-quality paper/concept on specific topics	2.00	3.00	3.00	1.00	4.50	4.00	5.00	2.70	-1.13	-0.63	-0.50	-2.00	0.63
Q4-5 Q4-5 By making consensus to establish new initiatives and programs	2.00	2.00	3.00	1.00	4.00	3.00	5.00	2.40	-1.13	-1.63	-0.50	-2.00	0.13
Q4-6 Q4-6 By using binding consensus/agreements among governments and/or stakeholders	2.00	3.00	2.00	5.00	3.50	2.00	5.00	3.10	-1.13	-0.63	-1.50	2.00	-0.38
Q4-7 Q4-7 By forging compromise/agreements among conflicting opinions/views on specific topics	2.00	5.00	3.00	2.00	3.50	2.00	5.00	3.10	-1.13	1.38	-0.50	-1.00	-0.38
Q4-8 Q4-8 By announcing assertive clear message on specific topics and/or to specific organizations	4.00	2.00	4.00	4.00	4.00	3.00	5.00	3.80	0.88	-1.63	0.50	1.00	0.13
Q4-9 Q4-9 By doing the followings													
Q4-10 Q4-10 By encouraging regional preparations and participation	-	-	-	-	-	-							
Q6 Did you put priority in the following items in organizing your Forum													
Q6-1 Q6-1 Number of participants:Priority	4.00	5.00		4.00	4.00	3.00	5.00	4.25	0.71	0.86		0.43	-0.36
Q6-2 Q6-2 Number of Ministers and high officials:Priority	5.00	5.00	5.00	5.00	4.50	4.00	5.00	4.90	1.71	0.86	0.33	1.43	0.14
Q6-3 Q6-3 Number of concrete commitments:Priority	4.00	5.00	4.00	4.00	4.00	3.00	5.00	4.20	0.71	0.86	-0.67	0.43	-0.36
Q6-4 Q6-4 Number of coverage by media:Priority	4.00	5.00	5.00	4.00	5.00	5.00	5.00	4.80	0.71	0.86	0.33	0.43	0.64
Q6-5 Q6-5 Number of high quality papers:Priority	2.00	3.00	5.00	2.00	4.50	4.00	5.00	3.30	-1.29	-1.14	0.33	-1.57	0.14
Q6-6 Q6-6 Consensus of stakeholders/participants in specific water topics:Priority	2.00	2.00	4.00	3.00	4.00	3.00	5.00	3.00	-1.29	-2.14	-0.67	-0.57	-0.36
Q6-7 Q6-7 Consensus of governments on specific water topics:Priority	2.00	4.00	5.00	3.00	4.50	4.00	5.00	3.70	-1.29	-0.14	0.33	-0.57	0.14
average(Q4-1 – Q4-8)	3.13	3.63	3.50	3.00	3.88	2.75	5.00						
average(Q6-1 – Q6-7)	3.29	4.14	4.67	3.57	4.36	3.71	5.00						

世界水フォーラムアンケート聞き取り結果 (WWF 2)

2013年5月14日(水) (韓国大邱市)

Q1 : 世界水フォーラムは水に関する世界的な意識高揚に貢献したと思うか。具体的な例はあるか。

はい : 世界水ビジョンの発表。アフリカ水ビジョンとうちいき水ビジョンの発表、国連水調整会合 (UN-Water) の創設、「全ての人のための水資金調達」(カムデス・レポート) の発表、地域開発銀行による自治体向け水融資プログラムの創設

Q2 : 世界水フォーラムは経年的に開催される会合であるがゆえに、政治的影響力のある議論プロセスになったと思うか。

WWF 2 : はい : ジャーナリストフォーラムが開催されて大規模な水に関するメディアデータベースが作られ、それがWWF 3で活用された。「水の安全保障」がフォーラム閣僚宣言文で盛り込まれ、その後のフォーラムでの言及を経て国際水社会の共通のスローガンとなった。

Q3 : 世界水フォーラムは開催後の国際議論プロセスに影響を及ぼしたと思うか。具体的な事例を挙げよ。

はい : 第2回フォーラムからヨハネスブルグ持続可能な開発サミットでの水ドーム開催、ボン淡水会議を経て衛生MDGの合意に至った。

Q5 : 各世界水フォーラムで世界・地域・国レベルの行動を促すために何がなされたか。それらの行動の結果は何か。それらのモニタリングプロセスはあったか。

世界水ビジョンが発表されるとともに、アジア、アフリカ等の地域水ビジョンが作成された。

Q7 : 世界水フォーラムは水課題に関する特定の世界/地域規模の行動に貢献することになったか。

はい : 水に関心を有する大企業のCEOによるCEOパネルが創設され、水問題取り組みへの民間企業の重要性がハイライトされ、この結果水問題解決における民間の役割がクローズアップされていった。

Q8 : どのような議論プロセスを前回フォーラムから継続したか

第1回フォーラムで提言された世界水ビジョンを作成し、第2回フォーラムで発表した。

Q9 : 其々のフォーラムでどのような議論プロセスを新しく始めたか

第1回のフォーラム会合本体に加えて新たに関係会合と水フェアをフォーラム行事に加えた。これにより水フォーラムの政治的影響力、参加者数、メディアの関心が飛躍的に高まることになった。

Q10：世界水フォーラムと国連の水関連会合の違いは何か。

国連のプロセスはあらかじめ定められた課題についての合意文書を政府代表が交渉し合意文書とするフォーマットが定められており、それ以上でもそれ以下でもない。政府以外のその他利害関係者はサイドイベントで発表を行うだけで議論に参加しているとは言えない。これに対して世界水フォーラムはあらゆる利害関係者が参加して、何が今の課題か誰が議論に参加すべきかを自由に提言し、その結果地域や国際プロセスが始まるきっかけづくりとなるものである。例えば、第2回フォーラムではアフリカの水が議論の焦点となった結果、UNEPが推進役になるなどしてアフリカ連合の傘下にアフリカによるアフリカの水問題の解決をめざした常設機関であるアフリカ水関係評議会が設置されることとなった。また、MDG/SDGなど持続可能な開発や貧困撲滅といった水に密接に関連する議論を国連で行う場合、それに対して水関係者が様々な提案や意見表明を行い、影響を行使する戦略を行い、水セクター全体としての圧力形成を行う場として機能している。

Q11：フォーラムの開催後始まった地域・国際議論プロセスはあるか。ある場合それはどのように水フォーラムと関係しているか。

世界水ビジョンの作成に併せて地域水美人を作成した。この過程で水ビジョン作成のための地域会合を開催した。

[Signature]
 BEAT DIPLOOM Beth.

Questions on the previous Forums

Q1
 Do you think that WWF contributes to raising global awareness of water issues? If yes, are there any concrete examples? *Ca*

*Aff Water Vision, Water & Gender is writing → UN-Women
 Can disseminate Report. "Facing the World" → Bako man
 Sub-saharyan life*

Q2
 Do you think that Forum is politically influential because they are continuous process (that happen every 3 years)? *Journalist. Forum → Big data-base.*

*Yes. Water Security → Ministera De Justicia
 "Tom" DG → used in WWF
 WWC*

Q3
 Do you think that your Forum has affected water discussion after the Forum? If yes, are there any concrete examples?

*Discrete Climate Change Bill. Water
 Mexico → AfDD / Regional Paperwork
 Address
 → Water Dome
 Af Water trial
 AM LOW Water.
 installed by
 AUGSM*

Q4
 How did the Forum organizer try to realize global/regional/national/community actions in your Forum in the following ways? (Strong emphasis: Score 5 through No emphasis: score 1)

- > By urging governments and organizations to announce new commitment
 Your score (4)
- > By gathering and disseminating good practices by governments and stakeholders
 Your score (4)
- > By bringing in various stakeholders/age groups to highlight their roles in solving issues
 Your score (5)
- > By producing or high-quality paper/concept on specific topics
 Your score (2)
- > By making consensus to establish new initiatives and programs

Your score (2)

- > By urging binding consensus/agreements among governments and/or stakeholders

Your score (2)

- > By forging compromise/agreement among conflicting opinions/views on specific topics

Your score (2)

- > By announcing assertive clear message on specific topics and/or to specific organizations

Your score (5)

- > By doing the followings

World Water Vision ✓

Q5

What did your Forum do to promote global/regional/country actions? What were the results of those actions? Are there monitoring process?

Regional Visions → Identical = A + DB

China Research Institute
Contributions Meeting

Q6

Did you put priority in the following items in organizing your Forum (High priority: 5 points lowest priority? What are the results?

Number of participants: Priority (5)

Number of Ministers and high officials: Priority (5)

Number of concrete commitments: Priority (5)

Number of coverage by media: Priority (5) Strip

Number of high quality papers: Priority (2)

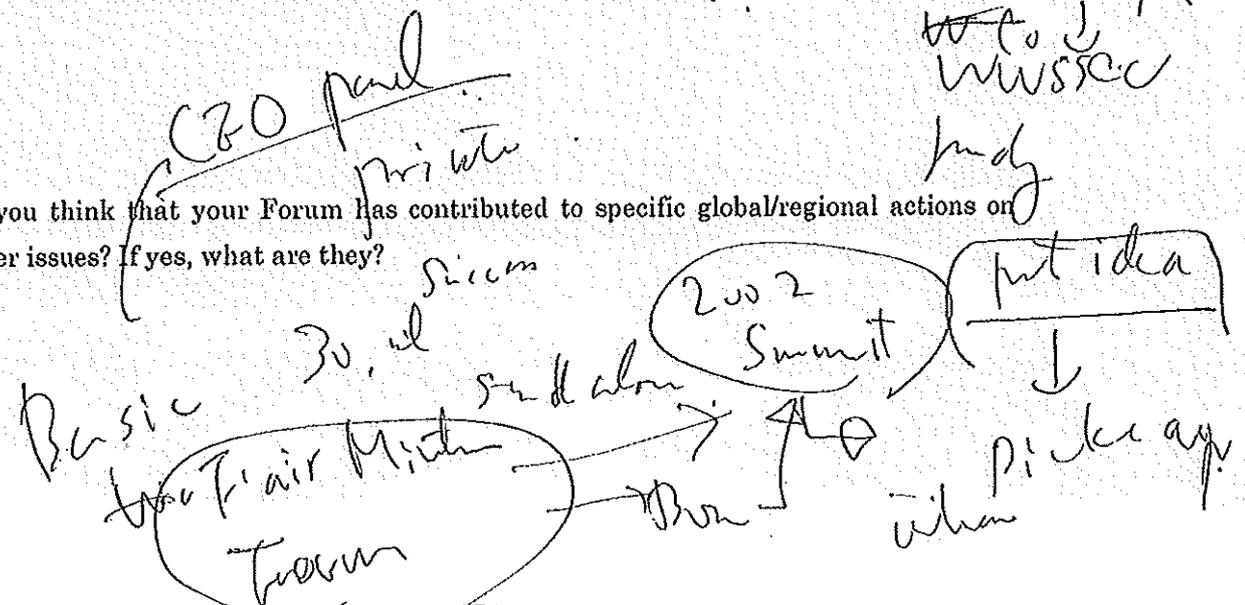
Consensus of stakeholders/participants in specific water topics: Priority (2)

Consensus of governments on specific water topics: Priority (2)

Women
↓
Money Patch
↓
Water for people
↓
WWSSEC
↓
Judg

Q7

Do you think that your Forum has contributed to specific global/regional actions on water issues? If yes, what are they?



What discussion process did you continue from the previous form?

7-12 - Concil

1st ^{to} World Water Forum ^(Vision & etc.)
March 2000 "Many a Vision" -> take up

What process did you newly start in your Forum? Why did you start them?

along
SD

2 WAs for 12 SDs
Appendix

What are difference between WWF and UN water conferences? What are advantages of WWF? What are advantages of UN conferences?

Stakeholders
Private Sectors

Prod. WWC
Minis

Are there any regional/international process that started as follow-up of your Forum?

What are they and how are they related to your Forum?

AMCOW
11 major May in the Region
Official - (negotiated text)
Sider events
resolutions
UN Code SD
UNEP
Minister
Bon
AMUW
200 p.

Water - Forum

Water Forum is why do it? establish
govt had sides

UN conferences for MHC/SDGs
High level
WWF - water is more mature
UN - UN

世界水フォーラムアンケート聞き取り結果 (WWF 3)

2013年9月17日(火) 東京都渋谷区

Q1：世界水フォーラムは水に関する世界的な意識高揚に貢献したと思うか。具体的な例はあるか。

はい：第3回世界水フォーラムの成功が国連の注目を集めた結果、国連事務総長から「国連水と衛生諮問委員会」の創設が提言され、第3回フォーラム会長である橋本龍太郎氏が同委員会の議長に就任することになった。

Q2 世界水フォーラムは経年的に開催される会合であるがゆえに政治的影響力のある議論になったと思うか

はい：第2回フォーラムで発表された水ビジョンを受けて、ビジョンから行動へ議論の軸足を移すことが第3回フォーラムの課題となった。このため、第3回フォーラムでは「全ての人に開かれたフォーラム」「全ての人に参加するフォーラム」「ビジョンから行動へ」をフォーラムの基本理念とした。この全員参加型で具体的な水行動を促す理念は、「バーチャルフォーラム」の創設、「水行動コンテスト」の開催、「世界水行動集」の編纂、「水の声」活動などで具体化され、その結果各国各地域での具体的な行動を促すことがその後の世界水フォーラムの継続的な目標（或いは水フォーラムの存在理由）となっていっていった。

Q3：世界水フォーラムは開催後の国際議論プロセスに影響を及ぼしたと思うか。具体的な事例を挙げよ。

はい：フォーラムの成果としてアジア太平洋水フォーラムが設立され、その後アジア太平洋水サミットが経年開催されるようになった。

Q5：各世界水フォーラムで世界・地域・国レベルの行動を促すために何が行なわれたか。

それらの行動の結果は何か。それらのモニタリングプロセスはあったか。

水行動コンテストの開催、「水の声」プロジェクトの実施、バーチャルフォーラムの開催など。こうしたプロジェクトを通じて前回プロジェクトをフォローし、次の水フォーラム開催までの期間、フォーラム開催国が主体的に水に関する国際意識の高揚、地域における水議論の継続と意見集約を行う「世界水フォーラムによる国際水議論の通年化」が図られるようになった。

Q7：世界水フォーラムは水課題に関する特定の世界/地域規模の行動に貢献することになったか。

はい：第3回フォーラムでは水の不足から過剰な水の問題（洪水問題など）が主要課題として初めて取り上げられ、これを受け水と災害問題が UNSGAB の6つの主要課題のうち

の一つとして取り上げられることにより「水と災害ハイレベルパネルの創設」や国連として初めての水と災害特別会合の開催に繋がっていった。これにより水・衛生の供給や水配分の問題など『西欧的視点』に偏った水問題の議論が水の多寡や地域的偏在を包括的に議論する「全球規模的視点」の議論に是正されていった。

Q 8 : どのような議論プロセスを前回フォーラムから継続したか

フォーラム会合、閣僚会合、水フェアというフォーラムの 3 大要素は第 2 回フォーラムから踏襲した。CNN といった国際メディアの公的広報を通じて水と水フォーラムへの関心を高めるプロセスは前回フォーラムに倣った。

Q 9 : 其々のフォーラムでどのような議論プロセスを新しく始めたか

水行動コンテストの開催、「水の声」プロジェクトの実施、バーチャルフォーラムの開催など。こうしたプロジェクトを通じて前回プロジェクトをフォローし、次の水フォーラム開催までの期間、フォーラム開催国が主体的に水に関する国際意識の高揚、地域における水議論の継続と意見集約を行う「世界水フォーラムによる国際水議論の通年化」が図られるようになった。

Q 10 : 世界水フォーラムと国連の水関連会合の違いは何か。

国連会合は政府主体で行われるのに対し、世界水フォーラムはマルチステークホルダー主体で行われる。国連会合はその会合の結論（国連決議）が主要な成果物であって、それ自体で議論と成果が完結するのに対して、世界水フォーラムは新たな提言、課題の論点整理や成功・失敗経験が共有されることにより、次の論議プロセスが発議され新たな問題提起がなされることにより、フォーラム以降の関係会議に繋がることで初めて会議としての効果が発揮される。

Q 11 : フォーラムの開催後始まった地域・国際議論プロセスはあるか。ある場合それはどのように水フォーラムと関係しているか。

第 3 回水フォーラムのフォローアップとして新たにアジア太平洋水フォーラム (APWF) が設立され、アジアの水問題に関する議論を政治レベルに高めることになった。

また、第 3 回世界水フォーラム自体はフォーラム準備期間の 3 年間全体が水フォーラムの議論プロセスであるというコンセプトを新たに提示し、地域議論プロセスとして多くの地域会合を開催、連携した。水フォーラムの位置づけを単体の会議から経年的な議論プロセスに転換したという意味で大きな意味があった。この地域プロセスはその後の水フォーラムでも継続され世界水フォーラムの大きな特徴となっている。

この副次効果として協力機関であった世界水パートナーシップ (GWP) の会員数・勢力が急成長することによって世界の水ネットワークが強化されることにもなった。地域活動

がADB他の地域開発銀行などの多様な資金を使って行ったことでこうした開発援助機関などの組織内部の活性化・意識高揚にもつながった。

Questions on the previous Forums

Q1

Do you think that WWF contributes to raising global awareness of water issues? If yes, are there any concrete examples?

Y. 世界の水を WWF が保護している。WWF の活動は、水資源の重要性を高めるのに役立っている。

Q2

Do you think that Forum is politically influential because they are continuous process (that happen every 3 years)?

Yes. 定期的に開催されるフォーラムは、政治的に影響力がある。これは、水資源の重要性を高めるのに役立っている。

Q3

Do you think that your Forum has affected water discussion after the Forum? If yes, are there any concrete examples?

Yes. 水資源の重要性を高めるのに役立っている。フォーラムの後、水資源の重要性が議論されるようになった。

Q4

How did the Forum organizer try to realize global/regional/national/community actions in your Forum in the following ways? (Strong emphasis: Score 5 through No emphasis: score 1)

- > By urging governments and organizations to announce new commitment
Your score (5)
- > By gathering and disseminating good practices by governments and stakeholders
Your score (5)
- > By bringing in various stakeholders/age groups to highlight their roles in solving issues
Your score (5)
- > By producing or high-quality paper/concept on specific topics
Your score (3)
- > By making consensus to establish new initiatives and programs

Questions on the previous Forums

Q1

Do you think that WWF contributes to raising global awareness of water issues? If yes, are there any concrete examples?

Y. WWFの活動がUNSGARの議決案の遂行に力を与えている。A PWSの開催

Q2

Do you think that Forum is politically influential because they are continuous process (that happen every 3 years)?

毎3年一回の定期的な開催は、(国際的なレベルで) 政治的に影響力がある。世界の人々が関心を持ち、水問題に取り組んでいる。

Q3 Do you think that your Forum has affected water discussion after the Forum? If yes, are there any concrete examples?

水問題の議論がForum後にも継続されている。Herald of State 誌に掲載された記事が、Forumの成果を報告している。Forumの原則 (action plan) を基に、Forum後にも水問題の議論が継続されている。

Q4

How did the Forum organizer try to realize global/regional/national/community actions in your Forum in the following ways? (Strong emphasis: Score 5 through No emphasis: score 1)

- > By urging governments and organizations to announce new commitment
Your score (5) (WWFの活動が政府や組織に新たなコミットメントを促している)
- > By gathering and disseminating good practices by governments and stakeholders
Your score (4) (政府や関係者から良い実践を集め、共有している)
- > By bringing in various stakeholders/age groups to highlight their roles in solving issues
Your score (5) (政治的レベルで様々なステークホルダーを巻き込んでいる)
- > By producing or high-quality paper/concept on specific topics
Your score (3) (特定のトピックに関する高品質な文書や概念を制作している)
- > By making consensus to establish new initiatives and programs
Your score (5) (新しいイニシアチブやプログラムを確立するために合意を形成している)

- Your score (2)
- > By urging binding consensus/agreements among governments and/or stakeholders
Your score (3)
- > By forging compromise/agreement among conflicting opinions/views on specific topics
Your score (5)
- > By announcing assertive clear message on specific topics and/or to specific organizations
Your score (2)
- > By doing the followings

Q5

What did your Forum do to promote global/regional/country actions? What were the results of those actions? Are there monitoring process?

アクリル → アクリル

1/10 声

Q6 11-4 April 2014 → 21-24 May 2014 高橋 さん さん さん
Did you put priority in the following items in organizing your Forum (High priority: 5 points lowest priority? What are the results?

- Number of participants: Priority (4) 5
- Number of Ministers and high officials: Priority (5) 5
- Number of concrete commitments: Priority (5) 5
- Number of coverage by media: Priority (5) 5
- Number of high quality papers: Priority (3) 5
- Consensus of stakeholders/participants in specific water topics: Priority (2) 5
- Consensus of governments on specific water topics: Priority (4) 5

(7) 水-アクリル 高橋 さん
アクリル さん → アクリル
アクリル さん さん さん
さん さん

Q7

Do you think that your Forum has contributed to specific global/regional actions on water issues? If yes, what are they?

1. (1) ↓ アクリル さん さん さん
2. (1) ↓ アクリル さん さん さん
3. (1) ↓ アクリル さん さん さん
4. (1) ↓ アクリル さん さん さん

1. 2021-2022 年 10 月 1 日 开始
2. 2021 年 10 月 1 日 开始

" 120-200 "] 200-200
" 110-100 "] 200-200
Speed session 200h

→ 200h 的 3 个 200h 的 200h
200h 的 200h 的 200h (speed next)
200h
200h-200h 的 200h

What discussion process did you continue from the previous form?

Water Vision, Water Action

Water Vision → Water Action

Water Vision (CNW-PSA) (Hybrid)

What process did you newly start in your Forum? Why did you start them?

3474 (River Basin) in the world

3474 (River Basin) in the world (Hybrid)

What are difference between WWF and UN water conferences? What are advantages of WWF? What are advantages of UN conferences?

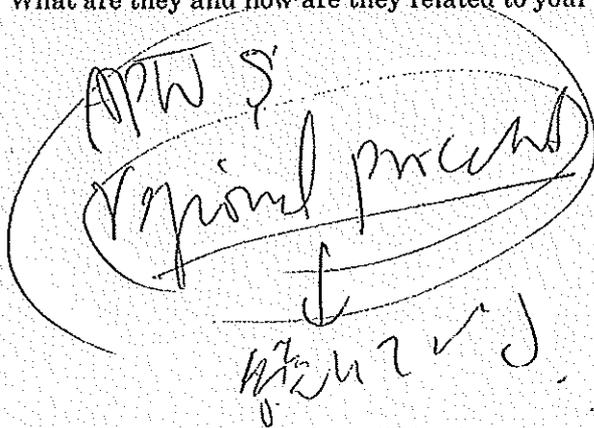
Regional Process

GWIP (Water Governance)

Water Action

Are there any regional/international process that started as follow-up of your Forum?

What are they and how are they related to your Forum?



Water Action (Water Governance)

Water Action

RDB (River Basin Development)

Water Action

Water Action (Water Governance)

Water Action (Water Governance)

Water Action (Water Governance)

Water Action (Water Governance)

www: Multi-stakeholder approach

UN, ... 2015

• 国が各々の利益を追求するのではなく、

2015年以降、国々の利益を追求するのではなく、

国々の利益を追求するのではなく、(2015年以降) の利益を追求するのではなく、

format

[国々の利益を追求するのではなく、
各々の利益を追求するのではなく]

trial → 国々の利益を追求するのではなく、

国々の利益を追求するのではなく、

国々の利益を追求するのではなく → Side

国々の利益を追求するのではなく

国々の利益を追求するのではなく、
国々の利益を追求するのではなく、
国々の利益を追求するのではなく

国々の利益を追求するのではなく

Questions on the previous Forums

The World Water Forum you mainly refer to below is WWF (4) (Put number 1-6 in ())

Q1

Do you think that WWF contributes to raising global awareness of water issues? If yes, are there any concrete examples?

Water problems have many dimensions (climate change is a global challenge, droughts are global but also local, and so.). 4th WWF was oriented to the local dimension especially to rural and poor areas. In that sense, the forum contributed with the approach (and a collection of local solutions), even though global problems were also analyzed. An example of awareness is the interest of governments to focus (it happens in Mexico and in other countries in Latin America), in local solutions in poor areas by means of rainwater harvesting, and community organizations for water management.

Q2

Do you think that Forum is politically influential because they are continuous processes (that happen every 3 years)?

My experience is that as soon as the forum is celebrated people starts working in the next forum. This happens because there are many actors; not only governmental. The forum is a reference in formal and non formal speeches. Governments find the forum as a framework and seek to align the water programs with the main proposals derived from it.

Q3

Do you think that your Forum has affected water discussion after the Forum? If yes, are there any concrete examples?

It's not easy to identify ideas coming only from the forum but a common language has been born in part because of these events. In the case of OCDE, World Bank, and ECLAD, many proposals have principles that have been part of the discussions held at the forums. In a recent document prepared by OCDE for water management in Mexico, governance concepts are very much like those contained in forum documents.

Q4

How did the Forum organizer try to realize global/regional/national/community actions in your Forum in the following ways? (Strong emphasis: Score 5 through No emphasis: Score 1. Put your score in ())

- By urging governments and organizations to announce new commitment
Your score (4)
- By gathering and disseminating good practices by governments and stakeholders
Your score (4)
- By bringing in various stakeholders/age groups to highlight their roles in solving issues
Your score (5)
- By producing or high-quality paper/concept on specific topics
Your score (3)
- By making consensus to establish new initiatives and programs
Your score (3)
- By urging binding consensus/agreements among governments and/or stakeholders
Your score (2)
- By forging compromise/agreement among conflicting opinions/views on specific topics
Your score (3)
- By announcing assertive clear message on specific topics and/or to specific organizations
Your score (4)
- By doing the followings

Q5

What did your Forum do to promote global/regional/country actions? What were the results of those actions? Are there monitoring process?

In the case of Mexico, at the highest level was decided to close the forum chapter since we were at the end of the governmental six years term. Hence, for some months nothing was done until the new government declared his interest in the forum, but with a new orientation, seeking a chair in the Council and with a water security main interest. In the meantime, an NGO that participated along the 4th WWF (ANEAS, the association of water and sanitation utilities), leaded the Mexican participation with the Council and maintained the chair that CONAGUA had before.

The New Mexican forum group, with Latin American partners impulsed an initiative for Climate Change which was presented at the COP 16 held in Mexico in 2010.

With the time, local actions have become important for solving water and sanitation in poor areas and recently a program to eliminate hunger is favoring local actions.

Q6

Did you put priority in the following items in organizing your Forum (High priority: Score 5 ; Low priority: Score 1 ? What are the results? Put your score in () .

Number of participants: Priority()

Number of Ministers and high officials: Priority(5)

Number of concrete commitments: Priority(4)

Number of coverage by media: Priority(5)

Number of high quality papers: Priority(5)

Consensus of stakeholders/participants in specific water topics: Priority(4)

Consensus of governments on specific water topics: Priority(5)

Q7

Do you think that your Forum has contributed to specific global/regional actions on water issues? If yes, what are they?

Yes indeed. Governance in the region, meteorological collaboration, the organization of a group of countries' representatives (governmental and non – governmental) that has been very active.

Q8

What discussion process did you continue from the previous form?

Most of the themes from previous forums were included in 4th WWF. In fact, the emphasis was in local actions but issues like water and sanitation, governance, financial topics and so were considered in extent.

Q9

What process did you newly start in your Forum? Why did you start them?

We invited outstanding experts in different themes to lead the preparation of documents on different topics. The so called beacons had an important role in the forum. The Secretariat only paid some expenses because most of them contributed with their time an effort to elaborate the thematic documents. An extraordinary effort was done to have at the beginning of the forum besides the thematic documents the regional ones. In addition, the main results of the forum were used as a basis to produce an important document with the conclusions of the event. All these documents were produced besides the final report. Also the data basis containing all the local actions of the participants was a contribution.

The reason to prepare documents was to try to preserve the rich experiences of all the

participants, because we considered that many people did not have access to information through computers, by that time.

Q10

What are differences between WWF and UN water conferences? What are advantages of WWF? What are advantages of UN conferences?

WWF are open spaces for all water actors. The forums gather thousands of persons interested in water issues, are the opportunity to contrast governmental opinions with non – governmental opinions in a respectful arena. The facilities of the forums are big enough to be very inclusive. The forums are parties where knowledge of experts is shared with many people in an environment that includes besides formal conferences and debates, films, music, theater, gender, children, and so. Resolutions are not binding. UN conferences are more formal. Conferences gather governmental representatives and only in some cases non-governmental participants. Facilities are not big enough for many people. Constraints for attending meetings intimidate participation. An important characteristic is that resolutions may be binding.

Q11

Are there any regional/international process that started as follow-up of your Forum? What are they and how are they related to your Forum?

Each forum has its own personality and organizers feedback from previous forums. The World Bank invited me to share with Turkish forum the Mexican experiences. For sure some of the actions of the Turkish forum was influenced by the Mexican same as 4th WWF took advantage of Japan's water forum

Questions on the previous Forums

The World Water Forum you mainly refer to below is WWF (5) (Put number 1-6 in ())

Q1

Do you think that WWF contributes to raising global awareness of water issues? If yes, are there any concrete examples?

Yes. Istanbul Water Concensus. More than 1000 municipalities signed.

Q2

Do you think that Forum is politically influential because they are continuous process(that happen every 3 years)?

Yes.. Continuity is important. WWC is aware of the fact that they have to follow up with the commitments made.

Q3

Do you think that your Forum has affected water discussion after the Forum? If yes, are there any concrete examples?

Rip +20 can be given as an example. Although water was only a small topic in the Energy section.

Q4

How did the Forum organizer try to realize global/regional/national/community actions in your Forum in the following ways?(Strong emphasis: Score 5 through No emphasis: Score 1.Put your score in ())

➤ By urging governments and organizations to announce new commitment

Your score (5)

➤ By gathering and disseminating good practices by governments and stakeholders

Your score (2)

- By bringing in various stakeholders/age groups to highlight their roles in solving issues
Your score (4)
- By producing or high-quality paper/concept on specific topics
Your score (1)
- By making consensus to establish new initiatives and programs
Your score (1)
- By urging binding consensus/agreements among governments and/or stakeholders
Your score (5)
- By forging compromise/agreement among conflicting opinions/views on specific topics
Your score (2)
- By announcing assertive clear message on specific topics and/or to specific organizations
Your score (4)
- By doing the followings

Q5

What did your Forum do to promote global/regional/country actions? What were the results of those actions? Are there monitoring process?

We had a strong regional process. We keep on contacting these groups during the International Istanbul Water Forums. We bring these regional groups together and publish the results.

Q6

Did you put priority in the following items in organizing your Forum (High priority: Score 5 ;Low priority: Score 1 ? What are the results? Put your score in ().

- Number of participants: Priority(4)
- Number of Ministers and high officials: Priority(5)
- Number of concrete commitments: Priority(4)
- Number of coverage by media: Priority(4)
- Number of high quality papers: Priority(2)
- Consensus of stakeholders/participants in specific water topics: Priority(3)

Consensus of governments on specific water topics: Priority(3)

Q7

Do you think that your Forum has contributed to specific global/regional actions on water issues? If yes, what are they?

We think we could bring some awareness to water issues in and around Turkey. As a result of the Forum, the Turkish Water Institute was established that continues the work of the secretariat.

Q8

What discussion process did you continue from the previous form?

Transboundary water issues

Q9

What process did you newly start in your Forum? Why did you start them?

Istanbul water consensus.. The Parliamentarians help desk.

Q10

What are the differences between WWF and UN water conferences? What are the advantages of WWF? What are the advantages of UN conferences?

WWF is a forum where discussions among opposite ideas are encouraged. UN conferences cover a narrower range. WWC includes children, youth Forums.

Q11

Are there any regional/international processes that started as a follow-up of your Forum?

What are they and how are they related to your Forum?

Istanbul water consensus, parliamentarians help desk. They are being followed up by the Istanbul Water Forums, and the 6th and 7th WWF

Questions on the previous Forums

Q1

Do you think that WWF contributes to raising global awareness of water issues? If yes, are there any concrete examples? **Yes. The WAPP process; the Camdesus panel and report; the HLP on water and disasters; the growing world awareness; the local officials' process and Istanbul consensus; the participation in Rio + 20; through Water Policy Journal and its very high public impact factor rating in the academic world**

Q2

Do you think that Forum is politically influential because they are continuous process(that happen every 3 years)? **Yes**

Q3

Do you think that your Forum has affected water discussion after the Forum? If yes, are there any concrete examples? **Yes. See answers to question #1. Note also discussion within World Bank; Asian Development Bank; Asia – Pacific Forum.**

Q4

How did the Forum organizer try to realize global/regional/national/community actions in your Forum in the following ways?(Strong emphasis: Score 5 through No emphasis: score 1)

- By urging governments and organizations to announce new commitment
Your score (2)
- By gathering and disseminating good practices by governments and stakeholders
Your score (2)
- By bringing in various stakeholders/age groups to highlight their roles in solving issues

Your score (4)

- By producing or high-quality paper/concept on specific topics

Your score (4)

- By making consensus to establish new initiatives and programs

Your score (3)

- By urging binding consensus/agreements among governments and/or stakeholders

Your score (2)

- By forging compromise/agreement among conflicting opinions/views on specific topics

Your score (2)

- By announcing assertive clear message on specific topics and/or to specific organizations

Your score (3)

- By doing the followings

Q5

What did your Forum do to promote global/regional/country actions? What were the results of those actions? Are there monitoring process?**Monitoring processes are weak and need to improve. Istanbul consensus most direct example.**

Q6

Did you put priority in the following items in organizing your Forum (High priority:5 points lowest priority ? What are the results?

Number of participants: Priority(3)

Number of Ministers and high officials: Priority(4)

Number of concrete commitments: Priority(3)

Number of coverage by media: Priority(5)

Number of high quality papers: Priority(4)

Consensus of stakeholders/participants in specific water topics: Priority(3)

Consensus of governments on specific water topics: Priority(4)

Q7

Do you think that your Forum has contributed to specific global/regional actions on water issues? If yes, what are they? **Yes. There is growing interest in the southern and northern borders (US) among the international agencies and with several states in the US**

What discussion process did you continue from the previous form? **Trailog. New forms of high level panels**

What process did you newly start in your Forum? Why did you start them? **New high level political actors at the forum**

What are difference between WWF and UN water conferences? What are advantages of WWF? What are advantages of UN conferences? **Get more stakeholders tougher to meet with technical experts. More open exchange. Gets far closer to improving dialog between technical and political. UN advantage is only formal declaration**

Are there any regional/international process that started as follow-up of your Forum? What are they and how are they related to your Forum? **See answers above**

Questionnaire de Kenzo Hiroki sur les Forums

Avant tout, et afin de planter le décors, ci-dessous les chiffres clés du 6^{ème} Forum Mondial de l'Eau de Marseille, le « Forum es Solutions » qui a réuni à Marseille plus de 35 000 participants

Participations (principaux chiffres)	Temps forts (principaux chiffres)
<ul style="list-style-type: none">• 15 chefs d'Etat, de gouvernement et commissaires européens,• 173 pays représentés• 103 Ministres, Vice-Ministres et secrétaires d'Etat,• 170 délégations nationales et d'organisations internationales participant à la conférence ministérielle,• Plus de 750 élus dont plus de 250 maires et 250 parlementaires,• Plus de 500 personnes sponsorisées,• 3 500 représentants d'ONG et de la société civile,• Plus de 2 600 jeunes et enfants.	<ul style="list-style-type: none">• Nombreuses sessions de haut niveau (Rio+20, Europe, Tchad, Gaza, Niger, etc.)• 1 conférence ministérielle,• 12 tables rondes ministérielles,• 6 dialogues (<i>débat entre autorités nationales, régionales et locales</i>),• 2 jours de conférence Autorités Locales et Régionales,• 10 panels de haut niveau• 2 grands débats sur l'eau,• 1,5 jour de conférence Parlementaire,• 6 processus régionaux et trans-continentaux.• 1 session des engagements.• Plus de 800h de débats et d'échanges, 300 sessions, 180 événements et projets labellisés « Racines & Citoyenneté », 120 conférences parallèles• plus de 1 200 solutions postées sur la plateforme internationale www.solutionsforwater.org• Un Village des Solutions, des espaces de sensibilisation et une Exposition• Prés d'une trentaine de pavillons pays et plus de 90 stands exposant incluant ONG, institutions, entreprises, collectivités, etc.

Les temps forts de ce 6^{ème} Forum sont récapitulés dans la synthèse qui a été réalisée après le Forum, ci jointe (ou téléchargeable sur le site du Conseil Mondial de l'Eau : <http://www.worldwatercouncil.org/fr/forum/marseille-2012/>).

Q1 : Bien sûr, pour preuve les succès grandissants des Forums, de part leur fréquentation, à haut niveau, mais aussi de part la diversité des acteurs, et la qualité des échanges. Les grandes avancées politiques du Forum ont permis d'inscrire l'eau dans l'agenda de

grands rendez-vous internationaux, pour preuve également, la place donnée dans l'année qui a suivi le Forum de Marseille :

avril 2012, en Corée, à l'occasion d'un sommet des Chefs d'Etats sur la Sécurité, le Président coréen a suggéré d'ajouter la sécurisation de l'eau parmi les sujets en discussion ;

juin 2012 à Rio +20, le Secrétariat Général de l'ONU et le Gouvernement brésilien ont décidé pour la première fois d'inscrire l'eau parmi les 10 thèmes clés débattus lors de l'événement ; le Conseil Mondial de l'Eau, garant de la continuité entre les Forums, a été en charge de préparer le segment préparatoire avec l'Agence Nationale de l'Eau du Brésil ;

pour la première fois, l'Assemblée Générale des Nations Unies, les 11 ou le 12 juillet 2012, a consacré une journée totalement dédiée à l'eau, à travers les désastres liés à l'eau. Par ailleurs une session spéciale sur l'eau et les désastres s'est tenue à New-York au siège des Nations-Unies, le 6 mars 2013, en présence de M.Ban.

A Doha fin 2012 et dans les conférences préparatoires, l'eau a été présente dans l'agenda, le Conseil Mondial de l'Eau a proposé officiellement le remplacement du paquet « énergie-climat » par le paquet « eau et énergie ».

En octobre 2013 à l'occasion du Sommet de Budapest organisé par le Conseil Mondial de l'eau et les Nations-Unies, l'eau a été placée au cœur des débats portant sur l'agenda post 2015.

Q2 : L'une des particularités des Forums est qu'il s'agit d'un des plus larges rassemblements permettant de réunir l'ensemble des décideurs de l'eau et de l'environnement à l'échelle de la planète. C'est avant tout un événement ouvert à tous, ce qui n'est possible dans aucune autre enceinte de cette taille.

Il rassemble tous les acteurs désireux de faire avancer concrètement la cause de l'eau : décideurs politiques (représentants gouvernementaux, parlementaires, autorités locales et régionales) organisations internationales des Nations Unies, institutions techniques, entreprises et représentants de la société civile dans un format qui permet l'expression de tous, les échanges entre catégories de parties prenantes qui n'ont pas forcément l'habitude de débattre (ex : dialogues, qui ont constitué une nouveauté au sein du 6ème Forum, qui rassemble des représentants de niveaux ministériels, parlementaires, et d'autorités locales). Aucune autre conférence internationale ne permet cela.

Par ailleurs, le concept du Forum a évolué au fil des éditions. La semaine qui lui est consacrée couronne désormais un processus de travail étalé sur les deux années précédentes. Ce nouveau concept est plus politique, plus tourné vers le grand public et plus régionalisé dans sa préparation.

Au fil des éditions, on a clairement vu l'évolution du Forum vers des sujets « hydrodiplomatiques ». La représentation politique n'a cessé de croître.

Par ailleurs, les engagements formulés n'ont de sens que s'ils s'inscrivent dans la durée et se concrétisent dans les faits. L'organisation de Fora tous les trois ans permet de voir si les engagements ont été tenus, et permet également de « maintenir » la pression pour que la cause de l'eau soit placée au cœur de l'agenda politique.

Q3 : la place du sujet de l'accès à l'eau dans les diverses conférences internationales ou événements qui ont suivi le 6ème Forum Mondial de l'Eau sont la preuve que cette dernière édition a fait avancer le débat et la cause de l'accès à l'eau pour tous (cf Q1)

Q4 :

By urging governments and organizations to announce new commitments (5).

→ La collecte des engagements pour l'eau, rendue visible notamment grâce à la Plateforme des Solutions www.solutionsforwater.org a été un des succès de ce 6ème Forum.

Plus de 100 engagements ont vu le jour au cours de ce 6ème Forum et ont été rendus visibles par une large gamme de rapports, déclarations et rendus de session, dans des vidéos, dans le Village des Solutions, l'une des grandes nouveautés et un succès de ce Forum... Un certain nombre d'engagements ont par ailleurs été formulés dans le cadre de la « Session des Engagements » du dernier jour du Forum par différentes catégories d'acteurs.

By gathering good practices (5) :

→ C'est exactement l'objectif du lancement de la plateforme des solutions et du Village des solutions, originalités et succès de ce nouveau Forum. La 1ère a vocation à héberger les solutions postées par tous les acteurs, le 2nd a eu pour objectif la « mise en scène » d'un certain nombre de solutions ou bonnes pratiques, pour dépasser les discours aller dans l'application concrète.

By bringing in various stakeholders (5) :

→ une place particulière a notamment été donnée aux jeunes ou la société civile au travers d'un processus particulier « Racines et citoyenneté », nouveauté de ce Forum, permettant leur participation, au travers de sessions spécifiques, au sein du Village des solutions, etc...

By producing high quality papers (5):

→ la qualité des travaux dans le cadre du processus préparatoire de 3 ans a permis l'élaboration de rapports et documents de très grande qualité, à l'image aussi de la qualité des débats de haut niveau qui ont pu avoir lieu au cours du 6ème Forum, au sein des panels de haut niveau, ou des sessions spéciales par exemple... L'ensemble des documents sont accessibles en téléchargement via le site du Conseil :

<http://www.worldwaterforum6.org/en/gallery/publications/>

Parmi les productions élaborées à l'occasion des différents forums, on peut citer le document sur le financement de l'eau ou encore celui sur le droit à l'eau (forum de Mexico), celui sur l'eau et les désastres (forum d'Istanbul), ou encore celui sur l'eau et la croissance verte (forum de marseille)

By making consensus.... (5).

→ 2 débats sur l'Eau ont été organisés durant cette semaine, initiative innovante, pour créer des ponts entre des points de vue opposés. Le premier débat a abordé le sujet de l'approvisionnement en eau et en assainissement par le secteur public ou privé. Le second débat a exploré différentes perspectives concernant le rôle des retenues artificielles pour lutter contre le changement climatique.

By urging binding consensus/agreements among governments (5)

→ Quelle que soit la session, le principe était la présentation de solutions, mais aussi d'engagements concrets, si possibles planifiés dans le temps. Les dialogues, rassemblant

des représentants des 3 niveaux ministériel, parlementaire et d'autorités locales, n'a pas échappé à la règle...

By urging compromise ... (5)

→ Cela a été l'objectif des 2 débats sur l'eau qui ont été organisés, mais d'autres sessions, de par la variété des parties prenantes, ont permis la confrontation de différents points de vue et des avancées vers des compromis

By announcing assertive clear message ... (5) : Même si la particularité des Forums est de faire en sorte que l'ensemble des parties prenantes puissent s'exprimer, l'objectif est de faire ressortir des messages clairs . Au sein du processus thématique par exemple : chaque priorité d'actions (ou thématique) était assortie de cibles, de plans d'actions, afin d'être lisible pour tous.

Q5 :

Le processus régional a pris de l'ampleur au fur et à mesure des différentes éditions, et a eu une vraie place au sein de ce 6ème forum avec 6 processus régionaux et trans-continentaux et leurs sessions spéciales : Afrique, Asie-Pacifique, Amériques, Europe, Méditerranée, Pays Arabes . A noter aussi l'organisation des dialogues sur une base régionale, rassemblant des représentants ministériels, parlementaires et des autorités locales et régionales et s'appuyant sur des objectifs-cibles sélectionnés par les régions elles-mêmes

En termes de résultats, on peut noter, par exemple :

Lors de la Conférence Spéciale sur l'approvisionnement en eau et l'assainissement dans les zones rurales en Afrique, 33 ministres africains des Finances et de l'Eau ont adopté la Déclaration de « Partenariat pour le Renforcement de la Sécurité en eau en Afrique » avec des responsables de haut niveau de la Commission de l'Union Africaine, la Banque Africaine de Développement, la Commission Economique des Nations unies pour l'Afrique et l'AMCOW, ainsi que des délégations gouvernementales et des représentants de la société civile en Afrique.

Des progrès importants pour la coopération internationale et la gestion des bassins versants ont été fait lors d'une session dans le cadre du processus régional Europe.

Q6 :

Number of participants (5) : l'objectif n'était pas tant de battre tous les records de fréquentation, mais de permettre à un maximum de personnes de participer aux débats de ce Forum, de vivre cette expérience formidable. L'effort a été placé à la fois sur le site accueillant les débats, le Parc Chanot, grand de 17Ha, et sur la logistique de manière générale.

Par ailleurs, plus de 500 personnes issues de pays en développement ont été sponsorisées. L'exposition et la Village des Solutions ont en partie été rendus accessibles, gratuitement. Ce 6^{ème} Forum a ainsi réuni à Marseille plus de 35 000 participants, battant des records d'affluence.

Number of ministers and ... (5)

Outre la conférence ministérielle et l'adoption de la déclaration élaborées lors des PRepcoms, la programmation de multiples tables rondes ministérielles, panels de haut niveau, ... ont permis de donner la parole aux décideurs politiques dans le cadre de plusieurs enceintes. L'ensemble de la logistique avait également été mise en place pour accueillir au mieux les délégations,

Résultat :

- 15 chefs d'Etat, de gouvernement et commissaires européens,

- 103 Ministres, Vice-Ministres et secrétaires d'Etat,
- 170 délégations nationales et d'organisations internationales participant à la conférence ministérielle,
- Plus de 750 élus dont plus de 250 maires et 250 parlementaires,

Number of concrete commitments : (5)

L'objectif de ce Forum était de passer véritablement de l'identification des problèmes, des débats, aux solutions, aux actions concrètes et aux engagements, objectif rappelé par l'organisation de la dernière session du Forum sur les engagements.

Plus de 100 engagements concrets ont ainsi été pris, par l'ensemble des parties prenantes, jusqu'au plus haut niveau...

Media (5) : L'ensemble des facilités ont été mises en place pour permettre une couverture optimale par les médias locaux, nationaux et internationaux, afin de donner aux débats et à la cause de l'accès à l'eau la couverture qu'elle mérite.

Plus de 1 200 journalistes ont ainsi été accrédités

Number of high quality papers (5): compléter avec des exemples de rapports particulièrement percutants??

Consensus of stakeholders (5): exemple des 2 débats (décrits plus haut)

Consensus of governments (5): les résultats et messages portés lors des sessions régionales (certaines citées plus haut) en sont un exemple

Q8:

Les Forums ne sont plus des événements isolés, le processus préparatoires et le follow-up sont devenus parties intrinsèques d'un Forum Mondial de l'Eau.

Naturellement un certain nombre de réflexions entamées à Istanbul, voire lors des précédentes éditions, ont été prolongées :

Un point a été fait sur les avancées sur le Pacte d'Istanbul par exemple, sur le droit à l'eau (réflexion qui datait du Forum de Mexico).

De manière générale, la majeure partie des thématiques de ce 6^{ème} Forum se sont placées dans la continuité du ou des Forums précédents.

Ci-dessous le cadre thématique identifié pour ce 6^{ème} Forum, pour certaines priorités d'actions, dans la continuité des précédentes éditions :

- 1.1 Garantir l'accès à l'eau pour tous et le Droit à l'Eau
- 1.2 Améliorer l'accès à l'assainissement intégré pour tous
- 1.3 Améliorer l'hygiène et la santé grâce à l'eau et à l'assainissement
- 1.4 Prévenir et répondre aux risques et aux crises liés à l'eau
- 1.5 Contribuer à la coopération et à la paix grâce à l'eau
- 2.1 Equilibrer les différents usages de l'eau par la gestion intégrée
- 2.2 Contribuer à la sécurité alimentaire par un usage optimal de l'eau
- 2.3 Harmoniser l'eau et l'énergie 2.4 Promouvoir la croissance verte et valoriser les écosystèmes
- 3.1 Améliorer la qualité des ressources hydriques et des écosystèmes
- 3.2 Ajuster les pressions et les empreintes des activités humaines sur l'eau
- 3.3 Faire face aux changements climatiques et globaux dans un monde qui s'urbanise
- CS1 Bonne gouvernance
- CS2 Financer l'eau pour tous
- CS3 Créer des conditions favorables

Q9 :

Ce Forum, celui du « Temps des Solutions » avait pour objectif de dépasser les débats et d'avancer concrètement par la présentation de solutions concrètes, dupplicables, etc.... La plateforme des solutions, site d'échanges de bonnes pratiques a été l'un des grands succès de ce Forum , elle a réceptionné plus de 1400 solutions avant la tenue du Forum. Elle existe aujourd'hui toujours, et est gérée par le Conseil Mondial de L'eau, avec un objectif de continuité lors du prochain Forum.

L'autre nouveauté a été le Village des Solutions, véritable lieu animé d'exposition des solutions, là aussi le Conseil a le souhait de le faire perdurer lors des prochains Forums. S'agissant des nouveautés, on peut également citer le processus Racines et citoyenneté pour incorporer une approche de la société civile aux politiques et projets ; également pour assurer leur implication et leur contribution tout au long du processus du 6ème Forum Mondial de l'Eau.

Q10 : Un Forum est un événement plus « ouvert », sans exclusive, qu'une conférence onusienne. Un simple citoyen peut y participer, alors que dans une conférence onusienne, la participation est restreinte aux délégations officielles.

Q11 : A titre d'exemple, on peut citer la « Water Governance Initiative » lancée par l'OCDE, dans la continuité du Forum.

Q1：はい、勿論。世界水フォーラムが回を追うごとに、ハイレベルの参加者、参加者の多様性、議論の質が向上していることがそれを証明している。世界水フォーラムの政治的な成果により、水（とその関連課題）が国際的問題を扱っているイベントで取り上げられるようになってきている。2012年4月韓国での安全保障サミットにおいて、韓国大統領は水の安全保障を議論にとりいれるよう提案した。

2012年6月にリオ+20において国連事務総長とブラジル政府はこの会合で水を10の主要課題の一つに取り上げることを選定した。世界水評議会（WWC）はブラジル水機構と共に水フォーラムの中間期間にこの準備会合を取り仕切った。

2012年7月11日と12日に国連総会は史上初めて水と災害に焦点を置いた水に特化した議論を行った。更に2012年3月6日国連事務総長出席のもと、国連本部で水と災害特別会合が開催された。

2012年末ドーハ及びその準備会合において水は議事に含まれていた。その中でWWCは気候とエネルギーを水とエネルギーに置き換えるよう提案した。

2013年10月国連とWWCによって開催されたブダペストサミットの場に置いて水はポスト2015年の主要課題に置かれた。

Q2：世界水フォーラムの特徴の一つは水と環境に関する意思決定者を一堂に集める最大の会合だということである。水フォーラムはこの規模の会議としては唯一、全ての人に開かれた会議である。

世界水フォーラムには水問題の解決を前進させる全ての関係者が集合する。政策決定者（政府関係者、国会議員、地方・地域機関指導者）、国連機関、技術機関、民間・市民社会が、それぞれの自己表現ができる形式で意見交換を行う。彼らは利害関係の分野ごとにそれまでに必ずしも行われていなかった方法（例えば第6回世界水フォーラムでは政府、国会議員、地方首長の3者対話を行った）で議論する。他の国際会議ではこのようなことは不可能である。

更に、世界水フォーラムのコンセプトは回を追うごとに進歩している。世界水フォーラムの開催される1週間はそれ以前の2年間にわたり展開されたプロセスの集大成である。kの新しいコンセプトはより政治的であり、より一般市民向けであり、より地域志向である。

世界水フォーラムは回を追うごとに「水外交」に向けて進化し、政治代表の参加が増加してきている。

世界水フォーラムでなされる約束は長期的プロセスの一部で具体性が無ければ意味がない。3年ごとの世界水フォーラムの開催はなされた約束が果たされるか監視することを可能にし、水問題の解決を政治的課題の中心に据え続けることを可能にする。

Q3：第6回世界水フォーラム後に開催された国際会議やイベントで「水へのアクセス」という課題が重要視されたことは、水フォーラムが全ての人々の水へのアクセスという目標及びそれに関する議論を前進させたことを証明している。

Q4-1：5

「解決プラットフォーム」を通じ明瞭に示された水へのコミットメントの集積は世界第6回フォーラム成果の一つである。第6回世界水フォーラムでは100を超えるコミットメントが表明され、幅広いレポート、ステートメント、セッション記録、ビデオ、解決村（第6回世界水フォーラムで成功した新しい試みの一つ）に掲載される機会を与えられた。

Q4-2：5

これはまさに第6回世界水フォーラムで水解決プラットフォーム及び水解決村の目的そのものであり、第6回世界水フォーラムの独創と成功である。解決プラットフォームは全てのプレーヤーにより提示された解決を格納するもので、解決村は数多くの解決策や良い事例を舞台に挙げる仕組みであり、それらにより単なる討論を越え実際の解決を目指すものである。

Q4-3:5

特に第6回世界水フォーラムの新しい仕組みである「ルーツと市民」を通じ若者及び市民社会の参加に力点が置かれた。これにより解決村の特別セッションを通じての参加が可能になった。

Q4-4:5

3年間の質の高い準備期間により、またフォーラム期間中のハイレベルパネルや特別討論などのハイレベル討論を通じ、高い質の報告や論文が作成された。これらの資料はWWCのウェブサイトを通じてダウンロード可能である。各フォーラムの中で、水資金調達及び水の人権（メキシコフォーラム）、水と災害（イスタンブールフォーラム）、水と緑の成長（マルセイユフォーラム）などが特に注目に値する報告書である。

Q4-5:5

世界水フォーラムの開催期間中2つの議論がなされた。最初の討論は水の民営化に関するもの、第2の討論は気候変動緩和の観点からの人口貯水池の様々な観点について討論を行った。

Q4-6:5

セッションに関わらず、解決策の提示が原則であったがコミットについても時間通りになされれば提示された。大臣、国会議員、首長の3者対話においてもこの原則は守られた。

Q4-7:5

これは2つの水討論の目的であったが、他のセッションにおいても対立する議論や妥協に向けての討論がなされた。

Q4-8:5

フォーラムの特徴は自己表現であるが、明瞭なメッセージに焦点をあてることが目標であった。テーマ別議論においては万人が理解できるターゲットやアクションプランを伴っていた。

Q5:

地域議論プロセスは世界水フォーラムの回を追うごとに進展し、第6回世界水フォーラムではアフリカ、アジア太平洋、南北アメリカ、欧州、地中海、アラブ諸国の6つの地域プロセスと大陸間プロセス、及び特別セッションが開催された。地域においても地域によって選ばれたターゲットに関する大臣、国会議員、首長の3者対話が開かれた。

その成果に関する一例としてはアフリカの地方部における水衛生の供給に関する特別会合がある。33のアフリカの水大臣及び財務大臣、アフリカ連合、アジア開発銀行、国連アフリカ経済社会委員会、アフリカ水関係会議の高級官僚、アフリカ各国政府代表及び市民代表が参加した。また、欧州の地域プロセスでは国際協力及び流域管理について大きな進展が見られた。

Q6-1:5

参加者数に関する記録を更新することが目標ではなく、フォーラムの議論に最大限の参加がなされフォーラムの経験をするのが目標であった。このため17ヘクタールの主会場（パルク・カノ）を用意しロジ面での配慮がなされるなどした。

これに加え、発展途上国からの500人の参加者への参加資金支援がなされた。展示会と解決村は一部無料の措置が取られた。第6回世界水フォーラムには3万5千人の参加がなされ、記録更新となった。

Q6-2:5

関係会合及び準備会合で進められた関係宣言の採択に加え、多くの関係ラウンドテーブルやハイパネルが開催され、政策決定者が複数の機会に自己表現する場が提供された。代表者に便宜を図るために最善がなされた。この結果：

- 15人の元首
- 103人の関係
- 170人の国際機関の関係会合への参加
- 250人の首長、250人の国会議員を含む750人の選良の参加を得た。

Q6-3:5

第6回世界水フォーラムの目的はその最終セッションで確認したように、問題の同定や議論から解決と約束及び行動に向かうことであった。最高のレベルに至るまでの全ての参加者により100以上の具体的なコミットメントがなされた。

Q6-4:5

水に関する議論と水へのアクセスについての大義に関し地方、国内、海外のメディアによる報道が十分なされるよう最大限の配慮がなされた。1200人以上のジャーナリストが会議登録した。

Q6-5:5

Q6-6:5

Q6-7:5

地域セッションで掲げられた議論の成果やメッセージがその一例である。

Q8

世界水フォーラムはもはや単独のイベントではない。準備プロセスやフォローアップは世界水フォーラムそのものの一部となった。イスタンブールやその前のフォーラムで始められた議論は自然と継続された。イスタンブール合意やメキシコフォーラムの水と人権宣言の進捗が分析された。全般的に言えば、第6回世界水フォーラムのテーマの主要部分はそれ以前のフォーラムからの継続であったと言える。第6回世界水フォーラムで選ばれたテーマの枠組みは下記のとおりであり、以前のフォーラムの路線に沿っている。

- 1.1 全ての人の水へのアクセスの保障と水の人権
 - 1.2 全ての人への改善された衛生のアクセス
 - 1.3 水と衛生を通じた衛生と保健の向上
 - 1.4 水に関する脅威と危機の防止と対応
 - 1.5 水を通じた協力と平和への貢献
 - 2.1 統合管理による異なる水利用の調整
 - 2.2 水の最適利用による食糧安全保障への貢献
 - 2.3 水とエネルギーの調和
 - 2.4 緑の成長と生態系の価値促進
 - 3.1 水資源と生態系の質向上
 - 3.2 人間活動の水に対する圧力と影響の調整
 - 3.3 都市化する社会における気候及び地球規模変化への対応
- CS1 良いガバナンス
CS2 全ての人々への水供給のための資金調達
CS3 良い条件の形成

Q9：解決の時間ともいべき第6回世界水フォーラムは議論を越え、实际的で複製可能な解決策を提示することを目指した。良い事例の交換の場である解決プラットフォームは第6回世界水フォーラムでの大きな成功を収めた活動の一つで、1,400以上の解決策を収めている。次回フォーラムでもこれを継続するため、WWCがこれを引き続き管理している。もう一つの新しい試みは解決村で、解決策が展示され実際に活動している場所である。WWCはこれについても将来のフォーラムで継続するよう希望している。先に述べたルーツと市民も新しい試みで、第6回世界水フォーラムプロセスを通じて市民社会のアプローチが政策とプロジェクトに活かされ、市民社会のフォーラムへの参加と貢献が保証されるよう図る場である。

Q10：国連会合に比べて世界水フォーラムは参加者を拒まない開かれた会議である。世界水フォーラムには普通の市民が参加できるのに対し、国連会議への参加は政府代表に限られる。

Q11：水フォーラムを繋いで行われる活動例として、OECDによって始められた水カバンスイニシアティブが挙げられる。

Questionnaire about Forums from Kenzo Hiroki

First of all, in order to set the scenery, here are some key numbers about the Marseille 6th World Water Forum, « the Solutions forum » which gathered more than 35,000 participants.

コメント [ASI]: Colloquial expression in French

Participations (main numbers)	Highlights (main numbers)
<ul style="list-style-type: none"> • 15 heads of States, governamnets and European Commissioner, • 173 countries represented, • 103 Ministers, Vice-Ministers and Secretaries of states, • 170 national and international organisations delegations participating to the ministerial conference, • More than 750 elects, among whom more than 250 mayors and 250 parliamentarians, • More than 500 sponsored persons, • 3 500 NGO representatives and civil society, • More than 2 600 children and teenagers. 	<ul style="list-style-type: none"> • Numerous high-level sessions (Rio+20, Europe, Tchad, Gaza, Niger, etc.) • 1 ministerial conference, • 12 Ministerial Roundtables, • 6 trialogues (<i>debates between national, regional and local authorities</i>), • 2 days of conference on Local and Regional authorities, • 10 high-level panels • 2 big/important debates on water, • 1,5 day of parlementary conference, • 6 regional and trans-continental processus. • 1 commitments session. • More than 800h of debate and exchange, 300 sessions, 180 events and Plus de 800h de débats et d'échanges, 300 sessions, 180 événements et projects labeled "Grassroots & Citizenship "; 120 parallel conferences • more than 1,200 solutions posted on the international platform www.solutionsforwater.org • A Village of Solutions, spaces of awareness raising and Exhibition • Near thirty country pavilions s and more than 90 exhibitor stands including NGOs, institutions, businesses, communities, etc..

The highlights of the 6th Forum are summarized in the synthesis written after the Forum, and attached below (or downloadable from World Water Council website: <http://www.worldwatercouncil.org/fr/forum/marseille-2012/>).

Q1 : of course, and the growing successes of the Forums are proving it, on both their attendance at a high level, but also because of the actors diversity and the exchanges quality. The Forum major political achievements made possible to include water (related

issues) in big international agenda events. For example, the importance given to water the year following Marseille Forum:

In April 2012, in Korea, at the Heads of State summit on Security, the Korean President suggested adding water security among the subjects under discussion;

In June 2012, at Rio+20, the UN Secretary-General and the Brazilian government decided for the first time to include water among the 10 key topics discussed during the event and the World Water Council, guaranteeing the continuity between Forums, was in charge of preparing the preparatory segment with the National Water Agency of Brazil;

For the first time, the UNGA, which took place on the 11th or 12th of July 2012, devoted a whole day dedicated to water, with a focus on water related disasters. In addition, a special session on water and disasters was held in UN headquarters in New York on March 6, 2013, in the presence of Mr. Ban.

At the end of 2012, in Doha and in the preparatory conferences, water was present in the agenda, and the World Water Council formally proposed to replace the "climate and energy" package by the "water and energy" package.

In October 2013, at the occasion of the Budapest Summit organized by the World Water Council and the UN, water was placed at the heart of debates on post 2015 agenda.

Q2 : One of the peculiarities of the Forums is that it is one of the largest gatherings to bring together decision makers on water and environment from across the world. This is primarily an event open to everyone, which is not possible in any other gathering of this size.

It brings together all actors who want to make the water cause progress: policy makers (government officials, parliamentarians, local and regional authorities) UN organizations, technical agencies, businesses and civil society in a format that allows each of them to express themselves, exchanges between categories of stakeholders who are not necessarily used to discuss (eg triologue, which were a novelty in the 6th Forum, bringing together governmental, parliamentarians and local authorities representatives). No other international conference makes this possible.

Moreover, the Forum concept has evolved over the editions. The week devoted to it is now the result of a process spread over the previous two years. This new concept is more political, more oriented towards the general public and more regionalized in its preparation.

Over the editions, we clearly saw the evolution of the Forum to « hydro-diplomatic » . Political representation keeps growing.

Moreover, the commitments made are meaningful only if they are part of a long term process time and are practically implemented. The organization of Fora every three years makes it possible to monitor if commitments made were honoured, and also allows to "maintain" the pressure in order to keep the cause of water at the heart of the political agenda.

Q3 :

The importance of the subject « access to water » in various international conferences or events that followed the 6th World Water Forum is proving that this latest edition made the debate and the cause of access to water for all progress (see Q1)

Q4 :

By urging governments and organizations to announce new commitments (5).

→ The collection of commitments for water, made visible notably through the Platform Solutions www.solutionsforwater.org was one of the success of this 6th Forum.

More than 100 commitments emerged during this 6th Forum and were given visibility by a wide range of reports, statements and records of session, in videos, in the Village of Solutions, one of the major innovations and success of this Forum ... A number of commitments were also made under the "Commitments Session " by different categories of actors, on the last day of the Forum.

By gathering good practices (5) :

→ This is exactly the objective of launching the solutions platform and the Village solutions, originality and success of this new Forum. The first (solutions platform) was intended to host the solutions posted by all players, the 2nd (Village solutions) was aimed at the "staging" of a number of solutions or best practices, to go beyond talks to practical application.

By bringing in various stakeholders (5) :

→ special emphasis was given in particular to young people and civil society through a particular process "Roots and citizenship" novelty of this Forum, allowing their participation through specific sessions within the Village of solutions, etc. ...

By producing high quality papers (5):

→ the quality of work in the 3years preparatory process allowed the development of reports and papers of high quality, also reflected in the quality of high-level discussions which took place during the 6th Forum, within e.g. the high-level panels or special sessions. All the documents are available for download via the Council website: <http://www.worldwaterforum6.org/en/gallery/publications/>

Among the productions developed during the various forums, a special attention to the following documents can be highlighted : the document on water financing or the one on water rights (Mexico Forum), the document on Water and Disasters (Istanbul Forum), or on water and green growth (Marseille Forum)

By making consensus... (5).

→ 2 debates on water were organized during this week, an innovative initiative to build bridges between opposing points of view. The first debate addressed the issue of water supply and sanitation by public or private sector. The second debate explored different perspectives on the role of artificial reservoirs in climate change mitigation.

By urging binding consensus/agreements among governments (5)

→ Regardless of the session, the principle was the presentation of solutions, but also concrete commitments if possible scheduled in time. The dialogue, bringing together representatives of three levels, ministerial, parliamentary and local authorities, did not escape the rule ...

By urging compromise ... (5)

→ This was the objective of the two organized water debates, but other sessions, by the range of stakeholders, led to different views confrontation and advanced towards compromise.

By announcing assertive clear message ...(5) : Although the specificity of the Forums is to ensure that all stakeholders can express themselves, the goal is to highlight a clear message. Within the thematic process eg each action or thematic priority was accompanied by targets, action plans, to be readable for all.

Q5 :

The regional process grew in progressively along the different editions, and had a real place in this 6th forum with 6 regional and trans-continental process and special sessions: Africa, Asia-Pacific, Americas , Europe, Mediterranean, Arab countries. Note also the organization of trialogue on a regional basis, bringing together government and ministerial representatives, parliamentarians, local and regional authorities, trialogue based on targets selected by the regions themselves.

In terms of results, it may be noted, for example:

At the Special Conference on Water Supply and Sanitation in rural Africa, 33 African Ministers of Finance and Water adopted the Declaration of "Partnership for Strengthening Water Security in Africa" with senior officials of the Commission of the African Union, the African Development Bank, the Economic Commission for Africa United Nations and AMCOW, as well as government delegations and representatives of civil society in Africa. Significant progress have been made in international cooperation and watershed management at a meeting in the European regional process.

Q6 :

Number of participants (5) : the goal was not so much to beat all records for attendance, but to allow the maximum number of people to participate in the Forum discussions, to live this great experience. The effort was placed on both the venue, Parc Chanot, of 17Ha, and logistics in general.

In addition, more than 500 people from developing countries were sponsored. The exhibition and the Village Solutions were partly made available, free of charge.

The 6th World Water Forum in Marseille gathered more than 35 000 participants, a record-breaking attendance.

Number of ministers and ... (5)

In addition to the Ministerial Conference and the adoption of the declaration developed during PrepCom, multiple Ministerial Roundtables were programmed, panels of high-level ... helped policy makers to express themselves in several fora. The entire logistic was set up to accommodate delegations in the best way,

Result:

- • 15 Heads of State and Government and European Commissioners,
- • 103 Ministers, Deputy Ministers and Secretaries of State,
- • 170 national and international organizations participating in the Ministerial Conference
- • More than 750 elects including over 250 mayors and 250 parliamentarians,

Number of concrete commitments : (5)

The objective of this Forum was to go truly from identifying problems, debates, to solutions, concrete actions and commitments, which was the objective reminded by the organization of the last session of the Forum on commitments.

More than 100 concrete commitments were thus made by all stakeholders up to the highest level ...

Media (5) : All facilities were put in place to ensure optimal coverage from local, national and international media to give the debate and the cause of access to water the coverage it deserves.

More than 1,200 journalists were accredited

Number of high quality papers (5): complete with particularly striking examples?

Consensus of stakeholders (5): Example of the 2 debates (described above)

Consensus of governments (5): results and messages carried in regional sessions (some mentioned above) are one example

Q8:

Forums are no longer isolated events, the preparatory process and follow-up became integral parts of a World Water Forum.

Naturally a number of discussions initiated in Istanbul or in previous years, were extended: Progress on Istanbul Pact for example were analysed, and also on the right to water (reflection dating Forum Mexico).

In general, the major part of the themes of this 6th Forum were placed in continuity of previous Forums.

The thematic framework identified for the 6th Forum is described below, with certain priority actions in line with previous editions :

- 1.1 Ensuring access to water for all and the Right to Water
 - 1.2 Improve access to integrated sanitation for all
 - 1.3 Improving hygiene and health through water and sanitation
 - 1.4 Prevent and respond to threats and crises related to water
 - 1.5 Contribute to cooperation and peace through water
 - 2.1 Balancing the different uses of water by the integrated management
 - 2.2 Contribute to food security by optimal use of water
 - 2.3 Harmonize water and energy
 - 2.4 Promote green growth and value ecosystems
 - 3.1 Improve the quality of water resources and ecosystems
 - 3.2 Adjust pressures and footprints of human activities on water
 - 3.3 Coping with climate and global change in an urbanizing world
- CS1 Good Governance
CS2 Financing Water for All
CS3 Create favorable conditions

Q9 :

The Forum, the one of the "Time for Solutions" was intended to beyond the debate and make concrete progress by presenting practical, replicable solutions, etc.

The solution platform, the site for good practices exchanges were one of the great success of the Forum, it received more than 1400 solutions prior to the Forum. It still exists today, and is managed by the World Water Council, with the objective to continue with the next Forum.

Another novelty was the Village Solutions, real lively venue for exhibition and solutions, again the Council has the desire to make it last in future Forums

With regard to novelties we can also mention the Roots and citizenship process to incorporate a civil society approach to policy and projects, also to ensure civil society involvement and contribution throughout the 6th World Water Forum process.

Q10: Forum is a more "open" and without exclusion than a UN conference event. An ordinary citizen can participate to it, while in a UN conference, participation is restricted to official delegations.

Q11: As an example the "Water Governance Initiative" launched by the OECD in the continuity of the Forum can be cited.